

Part 1. 名詞と動詞を中心に
: 抽象名詞構文・無生物主語構文の研究

英語構文研究

【1】

格関係の of

<考え方>

①動詞(または形容詞)の意味を背景とする抽象名詞が、後に of+具体名詞の形を導く場合、of は、その具体名詞が、前の抽象名詞に対し、意味上の主語(S')または目的語(O')であることを示す。これを『格関係の of』と呼ぶ。

②(派生)抽象名詞は、客観的な『映像』表現である、動詞+副詞中心構文から、話し手の主観的認識を伴う『残像』表現となる、形容詞+(抽象)名詞構文に派生・転化されたものである。『主観』というフィルターを通した表現であるため、直訳が極めてしにくい、または、不可能となる。したがって、訳出には様々な工夫が必要となる。¹

cf. (1) the (enormous) *rise of* scientific methods
: (Det.) 自動・名詞 of 具体名詞→『主格』の of(Vi'-S')

(2) the *honesty of* John
: (Det.) 形容・名詞 of 具体名詞→『主格』の of(C'-S')

(3) the *understanding of* the fact
: (Det.) 他動・名詞 of 具体名詞→『目的格』の of(Vt'-O')

NB 主格の of は、直訳しても意味が通ることが多い。が、形容詞を伴い、情報量が重くなって複雑化すると、直訳では意味不明の日本語になることが多い、ということに注意が必要である。

Question A 他と異なる用法の of を選択せよ。²

- (1) (a) the exploration of outer space
(b) the freeing of men and women
(c) our intellectual use of high technology³
(d) the very future of civilization

(日本・理工 1988年)

1. 諸君は、たとえば、「彼女は英語を上手に話す」という日本語を、どう英作文するであろうか。最初に頭に浮かぶ例文は、おそらくは、次のものであろう。

cf. She **speaks** English **well**. : 動詞+副詞中心構造(整合形 : congruent form)

この英文が先に浮かび、次の例がそれより後に浮かぶのはなぜなのか、を考えて頂きたい。

cf. She is a **good speaker** of English. : 形容詞+抽象名詞中心構造(文法的メタファー : grammatical metaphor)

Question B 見出しと同じ用法の of を選択せよ。

- (2) the arrival from the outside of medicine⁴
- (a) the descent of a hawk (b) man of tact
(c) on the point of leaving (d) to make an ass of him
(e) a teacher of English

(日本・法一法律、新聞 1989年)

Hint: (Det.) 派生抽象名詞+of+具体(具象)名詞で用いられる of は、『格関係』を表す。この時、派生抽象名詞が、自動詞派生→『主格』の of(Vi'-S')、形容詞派生→『主格』の of(C'-S')、他動詞派生→『目的格』の of と判断する。

- (3) Air contains enough oxygen for the burning of a fire in a house or in a railway engine.⁵
- (a) He is a friend of mine.
(b) The love of art is common to all men.
(c) You must reap the harvest of your own sowing.
(d) The works of Shakespeare are read by many people.
(e) The aim of science is to foresee, and not, to understand.

(慶應義塾・理工(改) 1995年)

Hint: 派生抽象名詞が、自動詞派生とも、他動詞派生ともとれる場合、人間の『意志』が関わる場面・状況であるなら、他動詞派生(Vt')、関わらない場面・状況なら、自動詞派生(Vi')と判断してよい。

2. 要するに、(Det.) 抽象名詞+of+具体名詞の構造を眼にしたら、抽象名詞が、もともと①自動詞派生 ②形容詞派生 ③他動詞派生のいずれであるのかを、よく考えよ、ということである。①なら、『主格』の of: Vi'-S' ②なら、『主格』の of: C'-S' ③なら、『目的格』の of: Vt'-O'が成立する。

3. このように、抽象名詞に形容詞がついている場合、原則として、その形容詞は「副詞」的に訳出されることになる。その理由は、形式上、名詞を修飾しているから、形容詞の姿をとっているだけであり、実質的な修飾対象は、抽象名詞の持つ述語的意味であるからだ。

cf. Give the cat a good brush. (江川, 1991³: 38)
(猫によくブラシをかけてやりなさい)

4. 選択肢の of は、それぞれ次のようになる。(a) (Det.) 自動・名詞+of+具体名詞(主格の of) (b) (Det.) 具体名詞+of+形容・名詞(主格修飾関係の of) (c) (Det.) 抽象名詞+of+抽象名詞(同格修飾関係の of) (d) (Det.) 他動・名詞+of+具体名詞(目的格の of) (e) (Det.) 他動・名詞+of+具体名詞(目的格の of)

5. 選択肢の of は、それぞれ次のようになる。(a) 不特定名詞+of+特定複数名詞/所有代名詞(部分集合関係の of) (b) (Det.) 他動・名詞+of+具体名詞(目的格の of) (c) (Det.) 具体名詞+of+他動詞派生抽象名詞(目的格修飾の of) (d) (Det.) 具体名詞+of+具体名詞だが、後に他動詞派生 Ving の自明省略が見抜ければよい(目的格修飾の of) (e) (Det.) 自動・名詞+of+具体名詞(主格の of)

Practice

<<A>>

(1) With *the rise of* science and *the decline of* traditional religion, suffering became meaningless.

(長崎・二次一前期 1993年)

参考 suffering は、「肉体的苦痛」か「精神的苦痛」か。これを見抜くためには、次のような習慣をつけておくのがよい。それは、「名詞の意味・訳出で困ったら、文中どこかの名詞を絡めて考えてみる」というものである。

(2) Historically, *the absence of* a human population was one of the main reasons for the development of the island's unique ecological system.

(東京・二次一前期 2004年)

参考 V^oとV^gが、一つの文に複数含まれている場合、V^oが「動作動詞(Dynamic Verb)」か「状態動詞(Stative Verb)」かの区別に注意が必要である。後続のV^oが『動作』を表す場合、意味(情報)の重点は後に shift するため、前から後へと意味を取れることが望ましいことが多い。

(3) *The love of* money is the root of all evil; but by *a proper use of* money men can do much good.

(陸軍主計学校 1909年)

参考 基本前置詞句や、準動詞など、訳出パターンが一定化していない副詞語句の意味・訳出は、主文との相対関係から決まる、ということに、注意が必要である。

Words & Phrases ※*sb*=somebody; ヒト/ *sth*=something; モノ・コトを表す。(以下同じ)

(1) rise (n. 上昇、進歩、出現、台頭) decline (n. 衰退、減退) traditional (adj. 伝統的な、昔ながらの) religion (n. 宗教、信仰) suffering (n. 苦しみ) meaningless (adj. 意味のない ⇔ meaningful)

(2) historically (adv. 歴史的に[言えば]) absence (n. 欠席、欠如、欠落) population (n. 人口、住民、個体数) main (adj. 主要な cf. chief, principal) reason (n. 理由、根拠、動機、理性) unique (adj. 独特の、唯一の) ecological system (n. 生態系)

(3) root (n. 根源、原因) evil (n. 悪、悪事 cf. sin) proper (adj. 適切な、正しい cf. right) do good [to/for *sb*] ([人]のためになる cf. do harm [to/for *sb*] [人]のためにならない)

【考え方】

(1) ▶1. **with+抽象名詞**(=変化・変遷の意味を内包)：『同時進行』を表し、as SVX に変換可能。

cf. And **with the death of curiosity** we may reckon that active intelligence, also, died.

(お茶の水女子・二次 1970年)

▶2. **the rise of science / the decline of traditional religion** : (Det.) **自動・名詞+of+具体名詞**→「S'が[は]Vi'する[こと]」を基盤に訳出を調整する。したがって、the rise(Vi') of science(S'), the decline(Vi') of traditional religion(S')と考える。また、science(物理的)と religion(心理的)の対比から、後出の suffering が、「肉体的苦痛」なのか「精神的苦痛」なのかを読み取るだけの注意力が欲しい。

(2) ▶3. **the absence of a human population** : (Det.) **形容・名詞+of+具体名詞**→「S'が[は]C'する[こと]」を基盤に訳出を調整する。the absence(C') of a human population(S')と考える。

▶4. **one of the main reasons for+抽象名詞** : **for+抽象名詞**は、『相当理由』を示す。

cf. We could hardly see **for** the mist.

(LDCE⁵)

▶5. **the development of the ... system** : (Det.) **自動・名詞+of+具体名詞**を再度確認。「S'が Vi'すること」、つまり、the development(Vi') of the ... system(S')を訳出する。

▶6. **the island's unique ecological system** : この所有格(POSS)は、本来の「所有」の意味ではなく、『場所』の意味を表す。つまり、the unique ecological system **in the island** の変形と考える。

(3) ▶7. **The love of money** : (Det.) **他動・名詞+of+具体名詞**→「O'を[に]Vt'する[こと]」を基盤に、The love(Vt') of money(O')を訳出する。

▶8. **The love of money is the root of all evil** : be 動詞は、S=C の関係を示す繋合詞(copula)であり、言語は、後に示される情報がより強い意味を持つため、「お金への愛は諸悪の根源である」という訳は、頂けない。⊕イメージを⊖イメージとイコールでつないでしまうことになるからである。

▶9. **by a proper use of money** : 後出の can は、総称物主語から、続く do は、無意志動詞扱いされる。このように、**助動詞+無意志動詞**は、『推量』の意味を表す。ということは、**どこかに if SVX[代用表現]を捜す**のが基本姿勢。したがって、ここまで全体を if SVX のつもりで訳出する。例を1つ追加しよう。

cf. *With a little more capital, they would be sure to succeed.*

(関西・社会 1985年)

NB 色がなく、従って眼に見えない名詞でも、音声・文字化して、具体的なイメージ映像化が可能なものは、具体(具象)名詞と考えることができる。つまり、文法的には抽象名詞でも、心理的距離感が近ければ、具体名詞と考えてよい。

<>

(4) ①The vastness of America's land and the richness of her opportunities have taught the American that it is not necessary to kill one another for a place in the sun. ②This is another factor contributing to the broadmindedness and tolerance of Americans.

(小樽商科・二次 1962年)

参考 他動詞の訳出が、直訳(つまり、辞書に記載されている意味)でうまく対処できない場合、辞書に記載できない、つまり、裏の意味を考えてみるとよい。私は、平素から、他動詞(前提 : premise) ⇨ 受身(途中経過 : process) ⇨ 自動詞(結果 : result)のローテーションを考えることにしている。たとえば、explain なら、「説明する(他動詞)」⇨「説明される(受身)」⇨「わかる(自動詞)」といった具合である。

(5) ①The prosperity of a country depends, not on the abundance of its revenues, nor on the strength of its fortifications, nor on the beauty of its public buildings, ②but it consists in the number of its cultivated citizens, in its men of education, enlightenment, and character; here are to be found its true interest, its chief strength, its real power.

(京都府立医科・二次 1975年)

参考 語彙の類推では、(意味上の)S^o/O^oをヒントにすることが、非常に有効である。一般に、(意味上の)S^o/O^oが(ほぼ)等しいV^oは、反復[or 対比]の可能性を持つ。

Words & Phrases

(4) vastness (n. 広大さ、莫大さ) richness (n. 豊かさ、重要性) opportunity (n. 機会、好機 (chance, occasion)) a place in the sun (n. 陽の当たる場所) factor (n. 要因、要素、因子) contribute to NP (vt. ~につながる、~に寄与する、貢献する) broadmindedness (n. 心の広さ cf. narrow-mindedness(心の狭さ)) tolerance (n. 忍耐力、我慢)

(5) prosperity (n. 繁栄、成功(success)、幸運(luck)) depend on NP (①[ヒトが]~に頼る・~をあてにする ②[モノゴトは]~で決まる・左右される・次第である cf. rely on, count on) abundance (n. 豊富さ) revenue (n. 歳入(⇨ expenditure)、予算、収入(income)、利益(profit)) strength (n. 強さ、力) fortification (n. 要塞、砦) consist in NP (~の中にある cf. lie in, end in, result in, issue in) cultivated (adj. 洗練された) enlightenment (n. 啓蒙 cf. education) character (n. 性格、個性、人物、文字) interest (n. 興味、利益) chief (adj. 最高の、主要な(main)) strength (n. 強さ) power (n. 力、権力)

【考え方】

(4) ▶10. **The vastness of America's land / the richness of her opportunities / the broadmindedness and tolerance of Americans** : (Det.) 形容・名詞+of+具体名詞の構造で、ofは『主格関係』を示す。

▶11. 無生物 **S have taught O₁ that SVX**. : 「無生物によって O₁に SVX が(教えられる→)わかる」いわゆる無生物主語構文は、**主語を副詞的(M')**に、**他動詞を受身または自動詞(Vi')**として、**目的語を主語(S')**として**訳出する**とうまくいくことが多い。ただし、直訳でも意味が通ればよいことはもちろんである。

▶12. **This is another factor contributing to ...** : この contributing の先行詞は『文全体』で、疑似無生物主語構文が変形されたものであるため、「このことがもう一つの原因となって、...が生じる」としてよい。

cf. **The attempt to appeal to the basic desires of members of the opposite sex is the most important factor determining** what a person wears.

(上智・法—法律、文 1988年)

(5) ▶13. 無生物 **S depend on NP** : 「S[かどうかは]~で決まる」(= determine)なお、無生物を主語にとる depend on(= rely on, count on)の他の訳語としては、「S[かどうかは]~次第である」とか、「S[かどうかは]~に左右される」などを訳語のバリエーションとして頭に入れておきたい。

cf. **Biological evolution has depended upon** inborn differences between individuals or tribes.

(横浜市立・二次—商 1966年)

▶14. **the prosperity of a country / the abundance of its revenues / the strength of its fortifications / the beauty of its public buildings** : (Det.) 形容・名詞+of+具体名詞の構造で、ofは『主格関係』を示す。⁶

▶15. **here are to be found its ... power** : M+Vi'+S の(情報)倒置構造で、be to は適当な「助動詞」に置換えて考えてみる。「Sは~することになっている」が基本。なお、be to 不定詞の例を追加しよう。

cf. **A new Earthly City of Progress was to replace** the City of God.

(早稲田・政経 1982年)

ここでは、「人間」と「神」との『対比』を訳出することを意識しておこう。

6. (無生名詞の)所有格(属格: genitive)を細分化すると、単純な擬人化を除けば、次のようになる。ただし、本書では、**a), j), k)**のみを重点的に扱うものとする。

cf. **a)度量属格**(genitive of measure) **b)慣用句** さらに、**c)所有**(possessive genitive): my son's wife **d)起源**(genitive of origin): Einstein's theory **e)特質**(genitive of characteristics): a girls' school **f)関係**(genitive of connection): the earth's surface **g)同格**(appositive genitive): time's fleeting river **h)素材**(genitive of material): a flock of birds(of 属格でしか表現できない) **i)属格最上級**(genitive superlative): the song of songs(of 属格でしか表現できない) **j)主語属格**(subjective genitive): John's appearance **k)目的語属格**(objective genitive): his children's education

<<C>>

- (6) ①The aim ⁽¹⁾of technology has always been the extension and improvement of material culture, by the observation and use ⁽²⁾of natural objects, phenomena, and forces.
- ②Civilization began man's first attempt to convert into artificial products the materials he found in nature.

(芝浦工業・工一建築、電機 1972年)

【参考設問】 下線部(1), (2)の of と同じ用法の of を、それぞれ1つずつ選べ。

- (a) the development of social science
- (b) the shortage of manual labor
- (c) the taming of fire

(東京外語・一次 1963年、明治学院、法一法律A 2004年、慶應義塾・環境情報 2005年)

参考 完了形の訳出では、完了形(perfect form)の持つ相(aspect)を利用して、「これまで(に)」とか、「これまでずっと」などを添えて訳すと、訳文にすわりがでる。なお、extention の訳出には、注意が必要である。というのは、extention の動詞形 extend では、通例、extend A to B の to B が顕在するからである。この、動詞レベルで示される、時制(tense)・態(voice)・相(aspect)・義務的副詞(A)などが、抽象名詞レベルでは、自明のこととして内包されてしまうため、訳出にあたっては、自明要素として内包されているものを、よく考えて、補ってやる必要があるところが、抽象名詞の訳出の難しさのひとつと言えよう。

Words & Phrases

(6) aim (n. 目的、目標、意図 cf. intention) technology (n. 科学技術) extension (n. 拡大、拡張、範囲) improvement (n. 改善、改良、進歩、向上) material (adj. 物質的な(⇔ spiritual, immaterial)) culture (n. 文化、教養、修養) observation (n. 観察) object (n. 対象、もの) phenomena (n. 現象 cf. phenomenon の複数形) force (n. 力、猛威) civilization (n. 文明) attempt to VX (n. ～しようとする) convert A into B (vt. A を B に変える) artificial(adj. 人工的な(⇔ natural)) product (n. 生産物、成果)

【考え方】

(6) ▶16. **The aim of technology** : (Det.) 自動・名詞+of+具体名詞の構造で、ofは『主格関係』を示す。

▶17. **the extension and improvement of material culture / by the observation and use of ..., and forces** : (Det.) 他動・名詞+of+具体名詞の構造で、ofは『目的格関係』を示す。ここまでが見抜けたとして、これを「物質文化を拡張(拡大)し、改善すること」とか、「自然界に存在する様々なもの、現象、猛威などを観察し、利用することによって」などとしても、いまいちピンとこない。これはなぜなのか、を考えることが、本文での課題。

▶18. **Civilization began** : 無生物主語+他動詞+O(=抽象名詞)の構造。したがって、主語を副詞的に訳出する。「SによってOがVtする」を基盤に訳出を考える。なお、無生物主語が「具体名詞」の場合、文脈上自明の(the 抽象名詞 of/Ving)を補って訳出することを考える。これは一般に『補充訳』と呼ばれる。また、beganは、ここでは訳出不要。その理由は、O(=抽象名詞)だからである。(→形式動詞)

cf. Many times *the etymology will illuminate* not only a particular meaning but all the meanings a word has, and **will show** the way to related words and their meaning.

(京都・二次 1972年)

▶19. **man's first attempt to convert into B+長いA⁷** : 所有格+形容詞+抽象名詞+to VX→所有格(POSS)をS'として、形容詞をM'として副詞的に、抽象名詞+toを助動詞または副詞的(M')に、VX部分をV'として訳出するとよい。「人間が初めてto Vしようとしたこと」なお、この不定詞は、一般には『同格修飾』と呼ばれる形容詞用法不定詞の一種。(後述)

cf. The capacity of man to make wealth out of what nature provides depends on *his ability to invent and use tools*.

(立命館・理工 1980年)

▶20. **the materials he found in nature** : NP₁+NP₂+V(Oなし)の構造で、一般には関係代名詞・目的格の省略と呼ばれる構造。「NP₂がVするNP₁」を基盤に訳出を整える。

cf. How can we keep *the government we create* from becoming a monster that will destroy *the very freedom we establish it to protect*?

(慶應義塾・経済 1971年)

7. 他動詞+A+into+Bの語法で用いられ、「SによってAがBに変わる」と訳出できる動詞を『変化型動詞』と呼ぶ。主な変化型動詞としては、次のものを覚えておきたい。cf. make, put, translate, turn, change, transform, convert, generate, get, throw, lead, drive

cf. *Marking a book* thus **turns** the reader **into** a writer, engaged, as it were, in a conversation with the author.

(広島・二次 1971年)

＜考え方＞

①所有格+抽象名詞の『所有格(POSS)』は、抽象名詞に対する意味上の主語、または目的語として機能するのが原則である。主語相当(主語属格)か目的語相当(目的語属格)かは、抽象名詞の派生関係に着目する。

②所有格+他動詞派生抽象名詞+of+具体名詞の構造における『所有格』は、抽象名詞の意味上の主語として機能するのが原則⁸である。この所有格が、前置詞+具体名詞の形になると、抽象名詞に後置⁹される。

cf. (1) my **brother's** (sudden) *death*

：所有格+自動・名詞→『主格』関係(S'-Vi')

NB my brother's death では、death に、the death of my brother では、my brother に、それぞれ、情報の重点が置かれる。

つまり、前者では、「弟が(生まれたのではなく)死んだ」、後者では「(妹ではなく)弟が死んだ」ということである。

(2) in her **father's** *presence*

：所有格+形容・名詞→『主格』関係(S'-C')

(3) No one came to my **brother's** *rescue*.

：所有格+他動・名詞→『目的格』関係(O'-Vt')

(4) But for my **brother's** *rescue*, I would have been drowned.

：所有格+他動・名詞→『主格』関係(S'-Vt')

(5) the *love of* Browning **for** Italian art (≡ **Browning's** *love for* Italian art)

：限定詞+他動・名詞+of+具体名詞+前置詞+具体名詞(Vt'-S'-O')

(6) the *destruction of* the city **by** the enemy (≡ **the city's** *destruction by* the enemy)：限定詞+他動・名詞+of+具体名詞+by+具体名詞(Vt'-O'-S')

Question A

見出しと同じ用法の所有格を選択せよ。

(1) You say that illness and disease are nature's s levelers.¹⁰

(a) His father's s bankruptcy was a great shock to him.

(b) The bullet had missed her heart by a hair's s breath.

(c) Plato was one of Socrates' s disciples.

(d) Caesar's s murderers fled from the city.

(e) A moment's s delay will prove disastrous.

(和歌山県立医科・二次 1974年)

Question B 与えられた指示に従って解答せよ。

問 次の文中で下線部分(a),(b)の関係は論理上、次の3種類に分類される。それぞれの該当する種類の記号を()内に書け。

- (A) 主語と述語(またはその逆) (B) 述語と目的語(またはその逆)
(C) 同格¹¹

例 Father encouraged (a)my (b)love of nature. (答 A)

(2) He severely attacked (a)our (b)service to the doctrine. ()

(3) The (a)pursuit (b)of happiness is her only desire. ()

(4) He was not aware of the (a)danger (b)of discovery by the police. ()

(5) The maid suddenly left (a)our (b)service last night. ()

(以上 千葉・二次 1972年)

8. a **week's notice**: 所有格+抽象名詞→所有格が副詞的な意味を持つ例(M'-V')だが、意味は常識で判断できよう。

9. 他動・名詞+of+具体名詞+(by以外の)前置詞+具体名詞のように、他動・名詞より後に続く of;具体名詞は、他動・名詞に対する、「意味上の主語(S)」、(by以外の)前置詞+具体名詞は、「意味上の目的語(O)」、として機能するのが原則である。

cf. the **influence on** people **of** the machine (限定詞+他動・名詞+前置詞+具体名詞+of+具体名詞: Vt'-O'-S')

10. これらの所有格の用法は、次のようになる。(a)所有格+形容・名詞→形容・名詞の意味上の主語(S'-C') (b)a breath by a hair→度量属格(genitive of measure)・「距離」 (c)所有格+具体名詞で、ここでは、「関係」 (d)所有格+他動・名詞→他動・名詞の意味上の目的語(O'-Vt') (e)所有格+抽象名詞→所有格が無生類名詞で、「度量(時間)」

11. いわゆる「同格」には、『純粹同格』と『同格修飾』の、大きく2通りがある。『純粹同格』は、さらに『緊密同格』と『弛緩同格』の2つに下位区分される。なお、同格修飾のofを細分化すれば4通りに下位区分できるが、ここでは特に触れない。

① <具体名詞+of+具体名詞>の構造:『純粹同格』(of~という[名の]具体名詞)

cf. the city (in the name) **of** Rome

② <抽象名詞+of+抽象名詞/Ving>の構造:『同格修飾』(「of~という抽象名詞」を基盤に考える)

cf. (1) the idea **of** starting a band

(2) Todd has the annoying *habit of* questioning everything I say. (MED²)

Practice

<<A>>

(1) Instead, *protectiveness* of the environment around us is a necessary consequence of *our increasing knowledge of the depth of our dependence on it*.

(広島・二次一前期 1995年)

参考 一文が長い(と感じられる)場合、受験生は、部分点を取りに行く必要がある。そういう場合は、「次のような」という言葉を活用し、「つまり、すなわち、そしてそれは、だがそれは」などで訳文を繋ぐのがよい。ピリオドが1つしかないからといって、和訳までも1つの文にする必然性などない、ということである。

(2) In spite of *the love of the parents for their child and their fears for her safety*, they both knew that their beautiful daughter was an incredibly stupid, dull little girl.

(慶應義塾・文 1962年)

参考 代名詞の訳出では、その中身を的確に表現しないと、意味が大きく変わり、語訳の可能性が生じることに注意が必要である。たとえば、John loves **his** wife.などが好例であろう。「ジョンは彼の妻を愛している」とすると、ちょっと厄介なことになりかねない。

(3) *Enlargement of the European Union (EU) by ten new states will have the effect of consolidating the ongoing economic and political unification of Europe*.

(慶應義塾・商A・B 2004年)

参考 具体名詞をそのまま訳出しても、どうも「腑に落ちない」と考えられる場合、その具体名詞の前後に省略されている自明要素を補充することを考えてみるのがよい。

Words & Phrases

(1) instead (adv. その代わり cf. instead of Ving[or NP] ~する代わりに) protectiveness (n. 保護) environment (n. 環境 cf. surroundings) consequence (n. 結果、重要性 cf. importance) knowledge (n. 知識) depth (n. 深さ) dependence on NP (~に対する依存)

(2) in spite of NP (~にかかわらず cf. despite NP) fear (n. 不安、恐怖) safety (n. 安全) incredibly (adv. 信じられないくらい) stupid (adj. 間抜けな) dull (adj. 愚鈍な、鈍い、つまらない)

(3) enlargement (n. 拡大) state (n. 国家、状態) effect (n. 効果、結果、影響) consolidate (vt. ~を合併/統合/整理する) ongoing (adj. 継続している、前進中の) economic (adj. 経済的な) political (adj. 政治的な) unification (n. 統合)

【考え方】

(1) ▶1. **protectiveness of the environment around us** : (Det.) 他動・名詞+of+具体名詞の構造であるから、ofは『目的格関係』を示す。「O'をVt'すること」を基盤に訳出を調整する。

▶2. **our increasing knowledge of ... it** : 所有格+他動・名詞+of+具体名詞の構造であるから、原則として、所有格は抽象名詞の『意味上の主語』として働き、ofは『目的格関係』を示す。「S'がO'をVt'すること」を基盤に訳出を調整する。

▶3. **the depth of our dependence on it** : 最初のofは、(Det.) 抽象名詞+of+抽象名詞で、ofは『同格修飾』関係を示す。ここでは、the depthが『程度概念』を示すため、これをM'として、前から後に訳出する方が、訳文がまとまりやすい。cf. width, length, strength; development, progress, etc.

cf. Your pension will depend on your *length of employment*.

(LDCE⁵)

(2) ▶4. **the love of the parents for their child** : (Det.) 他動・名詞+of+具体名詞+for+具体名詞の構造。このように、他動・名詞の後にof+具体名詞とfor[by以外]+具体名詞が続く構造では、of+具体名詞をS'として、for[by以外]+具体名詞をO'として訳出するのが原則となる。なお、ofは『主格関係』を、forは『目的物』を示す。「S'がO'をVt'すること」を基盤に訳出を調整する。

▶5. **their fears for her safety** : 所有格+他動・名詞+for[by以外]+具体名詞の構造であるから、原則として、所有格は抽象名詞の『意味上の主語』として働き、ofは『目的格関係』を示す。「S'がO'をVt'すること」を基盤に訳出を調整する。

cf. **Einstein's denial of** the principle that two parallels can never meet is another stupendous proof of intellectual independence.

(東京農工・二次 1971年)

(3) ▶6. **Enlargement of the European Union (EU) by ten new states** : それぞれ、enlargement(Vt'), of the European(O'), by (adding) ten new states(M': by+抽象名詞は『経路』を示す)と考える。

▶7. **consolidating the ongoing economic and political unification of Europe** : consolidatingは『形式他動詞』¹²で、ここでは訳出不要。したがって、consolidating(×) the ongoing(M') economic(M') and political(M') unification(Vt') of Europe(O')を訳出することを考える。

12. 形式他動詞とは、おおまかに言えば、**他動詞+派生抽象名詞**の構造で用いられる他動詞の総称で、動詞としての意味は希薄なため、訳出はせずともよい。詳細はここでは触れないが、例文をひとつだけ追加しておこう。

cf. Let's **take/have a break**

(Swan, 1995³; §551)

(一休みしようぜ)

<>

(4) ①Our love of fire comes partly, doubtless, from our natural love of destruction for destruction's sake. ②Fire is savage, and so, even after all these centuries, are we, at heart. ③Our civilization is but as the crust that encloses the old planetary flames.

(大阪外語・二次 1959年)

参考 SVXと SVX'が、一つの文に複数含まれている場合、見えない接続詞を補って訳出しないと、訳文にまとまりが出ないことが多い。そういう場合、論説文体ならば、前の SVX'=『前提』の副詞節代用、後の SVX'=『結果』、つまり、主文相当と考えてみるのがよい。

(5) ①The development of intelligent appreciation of music by listeners is just beginning, ②as more and more people realize that enjoyment of the great music now available to them is enhanced ③when their knowledge of music enables them to take an active part in it by understanding and appreciating what they enjoy instinctively.

(日本女子・文理 1965年)

参考 as SVX の意味の識別では、節内の V に着目する。順接関係において、as SVX の V=状態動詞や、動作・状態を問わず、過去形・完了形等、『断定』表現の場合、as は『理由』を表すものと解することができる。

cf. **As** it was *getting* late, they decided to book into a hotel. (Carter, 2006; 52)

(遅くなりそうだったので、ホテルを予約することに決めた)

Words & Phrases

(4) partly (adv. 部分的には) doubtless (adj. 疑いのない) natural (adj. 生来の、生まれつきの) destruction for destruction's sake (破壊のための破壊) savage (adj. 野蛮な) civilization (n. 文明) but (adv. ~のみ、~だけ cf. only) crust (n. 外皮、外郭) enclose (vt. ~を囲む) planetary (adj. 惑星の) flame (n. 炎)

(5) intelligent (adj. 知能の高い、理解力のある) appreciation (n. 理解、評価、観賞) realize that SVX (SVX がわかる) enjoyment (n. 楽しみ、享受) available (adj. 入手できる) enhance (vt. ~を高める、増す) enable O to V (S によって O が to V できる) take an active part in NP (~に積極的に参加する) instinctively (adv. 本能的に)

【考え方】

(4) ▶8. **Our love of fire / our natural love of destruction for destruction's sake** : 所有格+他動・名詞+of+**具体名詞**の構造であるから、所有格は抽象名詞の『意味上の主語』を、of は『目的格関係』を示す。「S'がO'をVt'すること」を基盤に訳出を調整する。

cf. *The most important effect of machine production on the imaginative picture of the world is an immense increase in the sense of human power.*

(神戸商科・二次 1957年)

▶9. **Fire is savage, and so, even after all these centuries, are we, at heart** : so の品詞が何で、何を受けているのかが、運命の分かれ道。

▶10. **but as the crust that encloses the old planetary flames** : NP that VX の構造ゆえ、主格の関係代名詞。「VXするNP」を基盤に訳出を考える。また、the old planetary flames は、asにより、比喩表現である。どう比喩解除するか、が、今後の課題。

(5) ▶11. **The development of intelligent appreciation of music by listeners** : まず、the development ofまで全体をM'と考え、副詞的に訳出する。また、(Det.) 他動・名詞+of+**具体名詞**+by+**具体名詞**の構造では、ofが『目的格関係』を、byが『動作主→主格関係』を、それぞれ示す。「S'がO'をVt'すること/S'によってO'がVt'されること」を基盤に訳出を調整する。

cf. *Among animals and primitive peoples, wars consist of brief attacks by individuals or small groups upon others with whom they recognize few social relations.*

(明治・商-商 1971年)

▶12. **enjoyment of the great music now available to them is enhanced** : まず、enjoyment(Vt') of the great music(O')を把握する。続く、now available to them は、前出 the great music にかかる、形容詞の後置修飾。ここまでは容易。is enhanced は、形式自動詞なので、訳出は不要、または、副詞的に訳出する。

▶13. **their knowledge of music** : 所有格+他動・名詞+of+**具体名詞**の構造を確認。

▶14. **enables them to take an active part in it** : 無生物主語+enable+O+to V¹³は、「SによってOがto Vできる」を基盤に訳出を考える。

cf. *This combination of natural and artificial isolation enabled the Japanese more than most other peoples to develop on their own and in their own way.*

(関西学院・法、神 1983年)

13. S+Vt+O+to V の語法をとり、「SによってOがto Vする」と訳出される動詞を総称して、『使役型動詞』と呼ぶ。代表的なものとして、以下のものを記憶しておきたい。… a) cause, enable(無生物主語型) b) allow, permit(許容型) c) force, compel, imple, oblige(強制) d) bring, lead, tempt, encourage, drive, stimulate, etc.(その他)

<<C>>

(6) ①On most of us the effect ⁽¹⁾of our general education has been such that we have tended to believe rather uncritically, first that liberty is a good thing, and secondly that the possession ⁽²⁾of it is likely to increase ⁽³⁾our happiness. ②It may well be said that at all times a moment's consideration should have been sufficient to have shown us that neither of these propositions is self-evident.

(慶應義塾・文 1969年、青山学院・経営 1975年)

【参考設問】 下線部(1), (2), (3)と、それぞれ同じ用法のものを1つずつ選べ。

- (1), (2) a. Man's conquest of the earth moved slowly.
b. Some people mention the riches of the past.
c. He has sudden attacks of coughing.

(神戸市外語・二次-前期 1993年、山口・二次-前期 1996年、慶應義塾・経済 1994年)

- (3) a. our misperception of the risks
b. his spiritual growth
c. her absence from home

(東北・二次-前期 1993年、鹿児島・二次-前期 1992年、筑波・二次-前期 2002年)

参考 等位接続詞(and, but, or)を含む文で躓いたら、次の手順を踏んで、接続対象 A と B を把握し、共通要素の省略を(必要なら)補ってみるのがよい。

(手順)

1. 等位接続詞の後の語句を見て、品詞・形(準動詞・that・wh-など)を確認し、これを B とする。
2. B の品詞・形を手掛かりに、等位接続詞より前方に、(ほぼ)同じ品詞・形の A を探す。
3. A の文中での役割(S・V・O・C・M)をヒントに、B の文中での役割を見抜き、共通要素の省略を補ってみる。

cf. The end of law is not *to abolish or restrain*, but *to preserve and enlarge freedom*. (江川, 1995: 495)

(法の目的は自由を廃したり制限したりすることではなく、これを守り拡大することにある)

Words & Phrases

(6) tend to V (～しがちである cf. be inclined to V, be liable to V, be apt to V) uncritically (adv. 無批判に)
liberty (n. 自由) possession (n. 所有) may well (aux. v. ①[+有意志動詞]～するのをもっともだ(well=justifiably)
②[+無意志動詞]おそらく～だろう(well=probably)) consideration (n. 考察、熟考) be sufficient to V (to V するのに十分である) show O₁ that SVX. (O₁に SVX がわかる) proposition (n. 提案、陳述、命題) self-evident (adj. 自明の)

【考え方】

(6) ▶16. **On most of us the effect of our general education** : 普通の語順であるならば、the effect of our general education on most of us となるということが、見抜けるかどうかポイント。これが見えれば、the effect(Vt') of our general education(S') on most of us(O')を訳出することになる。

cf. Before considering something of *the effect of* that frontier **on** the people, let me explain what we mean by that word.

(滋賀・二次-後期[経済] 1993年)

このように、通常の語順を離れても、抽象名詞を含む構文では、迷った時は、とりあえず、**抽象名詞をV'と置き、前後にS', O'を追いかける姿勢を貫く**ことが、非常に重要である。

▶17. **we have tended to believe ... that SVX, and ... that SVX** : SVt that SVX and that SVX.の構造。この場合、「that SVX(O₁)と that SVX(O₂)の2つをSがVtする」を基盤に考える。

cf. *They were convinced that* one of their goals should not have been disallowed **and that** their opponents' victory was unfair.

(青山学院・経営 1983年)

▶18. **the possession of it** : (Det.)+他動・名詞+of+具体名詞の構造を確認。

▶19. **increase our happiness** : 他動詞+所有格+抽象名詞であるから、確かに increase は形式他動詞である。しかし、形式他動詞といえども、『変化・変遷・強弱・分離』等、「程度概念」を含む場合は、話は別。こういう場合、形式動詞は「副詞的」に処理する必要がある。

cf. *All these things can widen* a parent's knowledge and **reduce** his bias towards his child.

(九州・二次 1986年)

▶20. **a moment's consideration should have been sufficient** : 所有格+他動・名詞+形式自動詞+形容詞の構造では、所有格をS'として、他動・名詞をVt'として、形式自動詞は訳出不要(×)、形容詞を副詞的(M')に、それぞれ訳出するのが原則である。

cf. **Our need for** heroes to worship, however, generally makes us disregard or deny what is ordinary in a great man.

(東京・二次 1982年)

ただし、所有格が「度量衡」を表す場合は、話の次元が異なる。この場合、所有格の訳出は副詞的(M')に行う。(度量属格 : genitive of measurement)

cf. Our land(= America) was **many months'** journey by sea from civilized regions of Europe and Asia from which all of us originally came.

(中央・経済 1968年)

▶21. (S have been sufficient)**to have shown us that SVX** : 無生物主語構文の変形。「Sによって、十分にSVXがわかる」とする。

〈考え方〉

人間が、自身の目にした『映像』を、客観的に伝達(または表現)しようと考えた場合、具体名詞を主語や目的語に用いて、動詞+副詞中心の構文を用いるのに対し、その映像に基づく、主観的『残像』を伝達する場合、抽象名詞を主語・補語・目的語に用いた文で表現しようとする。このような文には、「時制・法・相・肯定否定関係」を表すだけで、動詞としての意味は極めて希薄な動詞¹⁴が用いられる。これを『形式動詞』と呼ぶ。

- cf. (1) The little girl **made** a *polite bow* to me. : 他動詞+◎(=抽象名詞)
: The little girl bowed me politely.
- (2) The bus **came** to a *dead stop*. : 自動詞+前置詞+◎'(=抽象名詞)
: The bus stopped completely.
- (3) *His flat refusal* **came** to the offer. : ◎(=抽象名詞)+自動詞
: He refused the offer flatly.

Question A

上下ともほぼ同じ意味を表すよう、適語を入れよ。

- (1) Nobody can speak so eloquently as he.
= He is so most () a () as anybody else.
(早稲田・一文 1966年)
- (2) I perfectly agreed with him.
= I () a () () with him.
(神戸商科・二次 1955年、電気通信・二次 1964年)
- (3) We should make a peaceful use of atomic.
= Atomic should () () ().
(中央・経済 1985年)
- (4) The natives believe firmly in their god.
= The natives have a () () in their god.
(広島修道・人文 1987年)

14. 形式動詞は意味が希薄なため、訳出はせずともよい。敢えて訳出するならば、副詞的に行う。

cf. **Take/Have** a look at this map.

(江川, 1991³: 37)

take の場合、「何らかの意図を持って」という含みがあるのに対し、have の場合には、「特に何らかの意図はない」という違いがある。よくいわれるように、have(米), take(英)の違いなどでは決してない。

(5) The boy gave a brief response to my question.

= The boy () () to my question.

(早稲田・一文 1962年)

(6) He was interested in ecology keenly.

= He () a () () in ecology.

(広島工業・工 1989年)

(7) He visited the temple again last summer.¹⁵

= He () the temple () () last summer.

(法政・経済 1971年)

Question B 次の文をわかりやすく訳出せよ。

(8) I **have** not *a positive dislike* of dogs, but I **have** *no wish* for their company.

(新潟・二次 1970年)

(9) We create routines to rule our lives, to **give** them *a surface permanence*.

(慶應義塾・経済 1996年)

(10) Actually, the history of science **throws** *a particularly revealing light* on Tolstoy's problem.

(東京工業・二次 1973年)

(11) Today, however, a woman can obtain status from a job or from special skills and interests. As a result, single women **enjoy** *a greater acceptance* in American society.

(専修・経済 1988年)

(12) The development of biological science began with Pasteur and **got** *an enormous lift* with the production of antibiotic just before the late war.

(大阪学院 1969年)

15. どの抽象名詞に、どの形式動詞が結びつくのか、については、現時点では、明確な判断基準はなく、今後の研究を待たなければならない。なお、形式動詞を、おおまかに下位区分すると、①他者に積極的に働きかけるもの(make, take, do, cast, throw, catch, pay) ②他者からの行為を受けることを示すもの(give, have, receive, put, bear, wear) ③その他(get, enjoy, acquire, need, require, demand, meet, lay, place, etc.)となる。

Practice

<<A>>

(1) Yet it **needs** *but a moment's reflection* to convince us that this naturalness of speech is only an illusory feeling.

(青山学院・文 1972年、東京医科歯科・二次 1974年、早稲田・理工 1983年、他多数)

参考 形式代名詞 *it* や、断定認識を示す名詞節形成の *that* は、意味の重点が後の SVX⁹⁾に shift される。したがって、It+VX や SV *that* まで全体を、ひとつの文修飾副詞出来に捉える事が出来る。ここでは、(it needs but a moment's reflection)と(to convince us that)をひとくくりで捉えるのである。すると、(it ... reflection)までの M'は、後続の to V(近未来を示す)がヒントとなり、if SVX の代用表現と判断することが出来る。

(2) Germans **are now making** *higher demands* on the quality of their work and expect more out of life than mere work.

(慶應義塾・法 1984年)

参考 前置詞とは、前の名詞(A)と前置詞に続く名詞(B)の、『空間的(時間的)』位置関係や『心理的(状态的)』位置関係を表すものである。したがって、前置詞の意味を識別する場合、1)前置詞に続く名詞(B)は、具体名詞か抽象名詞か、2)共起する動詞は、有意志動詞か無意志動詞か、の2点に着目する。

(3) Only the smallest fraction of the human race has ever **acquired** *the habit of taking an objective view* of the past.

(大阪・二次-前期 1991年)

参考 the smallest fraction of the human race の訳出が、「人類の最も小さな断片だけが」として、???となっている人はいないだろうか。このあたりは、日本語の語彙力の問題である。たとえば、私なら、「ほんの一握りの人間だけが」とする。

Words & Phrases

- (1) reflection (n. 反射、熟考、意見) convince sby that SVX (vt. S によってヒトに〜がわかる cf. tell, persuade, remind, warn, notify, admonish; inform, assure 等も Vt+O+that SVX/Vt+O₁+of+O₂ の語法をとる『伝達型』動詞) speech (n. 話し言葉 cf. written language 書き言葉) illusory (adj. 幻想的な、錯覚的な)
- (2) demand (n. 要求、必要) quality (n. 質) expect A (out) of[or from] B (BにAを期待する) mere (adj. 単なる)
- (3) fraction (n. 一部、断片、破片) the human race (人間) acquire (vt. ~を身につける) habit (n. 習慣) objective (adj. 客観的な) view (n. 視野、見方、見解) past (n. 過去)

【考え方】

(1) ▶1. **it needs but a moment's reflection** : it は形式主語で、to convince 以下全体を承ける。ここでは、needs は形式他動詞で、訳出は不要。また、この所有格は、いわゆる度量属格で、訳出は副詞的(M')になされる。したがって、a moment's(M') reflection(Vt')と考える。

cf. My house is situated within **five minutes' walk** of the railway station.

(東京農科大学豫科 1910年)

▶2. **to convince us that SVX** : convince(Vt') us(S') that SVX(O')と考える。ここまではよいとして、次のことを記憶しておきたい。1つの文の姿をとっていても、**意味上のS' - V' が複数含まれている場合、表層には現れない「接続詞」の意味を自力で補って訳出する。**

cf. Yet *it takes only a moment's reflection to realize* that there are many nations of which this is not true.

(島根・二次 1971年)

▶3. **this naturalness of speech** : (Det.) 形容・名詞+of+具体名詞の構造であるから、of は『主格関係』を表す。したがって、this(M') naturalness(C') of speech(S')を訳出に反映する。

(2) ▶4. **Germans are now making higher demands on NP** : 形式動詞は、時制(tense)・態(voice)・相(aspect)を表すため、進行形(progressive form)にも出来る。こういう場合は、「進行相」(progressive aspect)の意味をきちんと訳出に反映する必要があることを確認しておきたい。Germans(S') are now making(M' : ~し続けている、~している等) higher(M') demands(Vt') on NP(O')と考える。

(3) ▶5. **has ever acquired the habit of Ving** : acquired は形式他動詞なので、「身につける」の訳出はせずともよい。だが、完了形であることに留意し、has ever acquired(M' : これまでに)と、『完了相』(perfect aspect)を訳出に反映する。

▶6. **the habit of Ving** : (Det.) 抽象名詞+of+Ving/抽象名詞の構造は、『同格修飾』と呼ばれるもので、「of ~ということ」を訳出の基盤と考えてよい。だが、細分化すると、その訳出は、4通りが考えられる。詳しくは後に譲るとして、ここでは、次のことを覚えておきたい。

『時・場所・方法』の意味を持つ先行詞や、『程度・様態』を意味する先行詞に続く同格修飾の of は、意味的に、①when[where, how] SVX (関係副詞節相当) ②at [in, on, to, with, etc.] which SVX(前置詞+関係代名詞節相当)の2通りに分類可能で、先行詞を M'として訳出することもできる。

cf. A very high barrier stands between us and *the habit of making* rough estimates – *the fear of getting* the “wrong” answer.

(慶應義塾・環境情報 2004年)

▶7. **taking an objective view of the past** : taking は形式他動詞で、訳出は不要。したがって、taking(×) an objective(M') view(Vt') of the past(O')と考える。

<>

- (4) ①Acquiring a knowledge of history is a pleasant and safe pastime for the amateur.
②Developing an understanding of history is essential for those who would influence the future.

(大阪・二次-前期 1989年)

参考 those に続く関係詞節は、who 以下に would influence(助動詞+無意志動詞)と、『推量』表現が続くため、この who は、カンマなし・非制限用法(文末)である。したがって、等位接続詞+代名詞に置換えて訳出することも可能となる。

- (5) ①Art may be defined as skill on the part of man in the production of the beautiful, or in giving embodiment or expression to the ideal. ②The beauty of Nature is changing and transient. ③It has its coming and going. ④The storm may smite and darken it, or the rude hand of winter lay it low. ⑤Art captures it and presents it for us in permanent and ideal forms.

(京都府立医科・二次 1974年)

参考 この文の訳出で、最も難を覚えるとすれば、それは、③文であろう。この部分の解釈の仕方は、次の点を参考に考えてみる必要がある。まず、③文は、文頭副詞語句なし、つまり、主語(S)から始まる文で、S=『特定存在物』を示す(代)名詞ならば、その文は、前文の『言換え・詳述』を示すということ(したがって、②文に着目する)、次に、come は「近接」を、go は「離接」を表すことから、この「近接」と「離接」のニュアンスを利用し、それぞれ changing を coming に、transient を going に、いわば、被せてみて、訳語を考えてみるのである。

Words & Phrases

(4) acquire (vt. ~を身につける) knowledge (n. 知識) pleasant (adj. 喜ばしい) safe (adj. 安全な) pastime (n. 娯楽) amateur (n. 素人) be essential for NP (~にとって必要不可欠な) influence (vt. ~に影響を与える)

(5) art (n. 芸術、技術) define O as C (O を C と定義する) skill (n. 技術) on the part of sby (~の立場の人間が) production (n. 生産) the beautiful (美しいもの、美 cf. beauty) embodiment (n. 具体化、具現) expression (n. 表現) the ideal (理想[的なもの]) transient (adj. 一時的な、つかいの間の) smite (vt. ~を強打する) darken (vt. ~を見えなくする、~を暗くする) rude (adj. 無礼な、野蛮な、荒っぽい) capture (vt. ~を捕らえる、引きつける) permanent (adj. 永久の)

【考え方】

(4) ▶8. **Acquiring a knowledge of history** : 他動詞+O(=抽象名詞)の構造であるから、acquire は形式他動詞。したがって、Acquiring(×) a knowledge (Vt') of history(O')と考える。

▶9. **Developing an understanding of history** : この develop も形式他動詞だが、『程度概念』を内包するため、Developing を M'とおき、「ますます～、これまで以上に～」等、訳出は副詞的に行う。なお、an understanding(Vt') of history(O')の目的格関係の of に注意。

cf. All these things can **widen** a parent's knowledge and **reduce** his bias towards his child.

(九州・二次 1986年)

(5) ▶10. **in the production of the beautiful** : in+抽象名詞[or Ving]は、when SVX の同値表現。また in は『時・場合・分野』を表す。Ⓜ=in the production(Vt') of the beautiful(O')を訳出する。

cf. We seem **in** this conception of the ocean to forget for a moment that the world is round and without edges.

(早稲田・一文 1975年)

▶11. **in giving embodiment or expression to the ideal** : give は形式他動詞で訳出不要。Ⓜ=in giving(×) embodiment(Vt'₁) or expression(Vt'₂) to the ideal(O')と考える。

▶12. **The beauty of Nature is changing and transient. It has its coming and going.** : 連続する SVX. Ⓜ VX.において、Ⓜ=『特定存在物』である場合には、後文は前文に対する『言換え・詳述』となる。このことをヒントに、訳出を工夫する。なお、go は、「話題の中心点から遠ざかる(離接)」ことを、come は「話題の中心点に近づく(近接)」ことを表す。これを利用して、訳文に具体性を与えればよい。

▶13. **the rude hand of winter lay it low** : 無生物主語構文であるから、the rude hand of winter(M') lay(Vi') it(S') low(C')と、訳出にひと工夫が必要。なお、この hand は、ほとんどの辞書には記載がないが、「特徴」の意味である。ちなみに、蛇足だが、lay の前には共通要素の省略があり、may を補って考える。

NB センテンスの相互関係(1)–連続する2つのSVXの間に、副詞的Mがない場合

(1) a. SVX. Ⓜ VX. : Ⓜ=『特定存在物・特定物(概念)照応の代名詞』の場合→前文に対する『言換え・詳述』

cf. This peaceful, bamboo-eating member of the bear family faces a number of threats. **Its** forest habitat is fragmented and populations are small and isolated from each other. (WWF HP)

(1) b. SVX. Ⓜ VX. : Ⓜ=『不特定存在物・不特定照応の(代)名詞・固有名詞』の場合→前文に対する『具体的例述』

cf. The Panda Bear is probably the most famous Endangered Animal. **The Panda** lives in six small areas located in China. (Gander Academy HP)

<<C>>

(6) ①But, astounding (1)as it may seem to some people, the truth is, each one of us is in fact an incarnation of *Life*, itself. ②If we (2)are to be true to ourselves and true to the *Life* which we are, we will not deny the responsibility of choosing what we will do with our own lives.

(島根・文理、理・特音、特体課程 1971年)

【参考設問】(1), (2)と同じ用法のものを、それぞれ1つずつ選べ。

- (1) (a) He used to tell a lot of lies as a young boy.
(b) We will witness more traffic accidents as our community grows rapidly.
(c) His talents as a designer were soon recognized.
(d) Strong as he was, he couldn't lift the luggage.
(e) She is not so old as you are.

(同志社・文 1994年)

- (2) (a) It was quiet in the street and not a soul was to be seen.
(b) My aim in life is to become a doctor.
(c) You are always to knock before entering my room.
(d) I was introduced to a girl, who was to be my wife.
(e) We must reduce labor cost if we are to make a profit.

(芝浦工業・工一機械第二、電気、建築工 1986年(改))

Words & Phrases

(6) astounding (adj. びっくりさせるような) X as S [may] V (～かもしれないが) incarnation (n. 輪廻) be true to NP (～に忠実[誠実]である) deny (vt. ～を否定する) responsibility (n. 責任) do A with B (BをもってAに対処する)

【考え方】

(6) ▶14. **astounding as it may seem to some people** : X as SV で、逆接関係が成立することから、『譲歩』の副詞節を形成するものとする。「中には驚いてしまう人もいるかもしれないが」

cf. Young **as** he *was*, and poor **as** he *was*, no king's or lord's son could come up to him in learning.

(明治・工 1984年)

▶15. **If we are to be true to ourselves and true to the *Life* which we are** : if S be to V(=動作動詞・有意志)の be to は、助動詞の代用となる。ここでは、「～しようと本気で願うなら」と『意志・願望』の意味に近い。また、具体名詞+which[who] S be は、be 動詞の時制を訳出することを心掛ける。「S そのものである具体名詞」

cf. If our technology **is to bring** about superhuman beings, it may well be out of ourselves that it will arise.

(京都・二次 1986年)

▶16. **we will not deny the responsibility** : deny+O(=抽象名詞)であるから、この deny は形式他動詞。ただし、否定の意味があることに注意しよう。not と打ち消しあって二重否定を形成するため、「否定することはない→必ずや～する」とする。

▶17. **the responsibility of choosing what we will do with our own lives** : (Det.) 抽象名詞+of+Ving で、of は『同格修飾』を示す。ここでは、the responsibility of(M' : 責任を持って) choosing(Vt') <what we will do with our own lives>(O')と考える。

cf. But in fact progress does offer *the means of overcoming* poverty, **of solving** even the problems of its own creating.

(中央・経済 1970年)

NB センテンスの相互関係(2)–連続する2つのSVXの間に、副詞的Mがある場合

(2) **SVX. M+SVX.** : 明確に論理関係を表すものでない場合、『具体的例述』を表すと考えてよい。

cf. ① *By mid-2005*, the Chinese government had established over 50 panda reserves, protecting more than 10,400km² and over 45% of remaining giant panda habitat. ② **However**, habitat destruction continues to pose a threat to the many pandas living outside these areas. ③ **Currently**, only around 61% of the population, or about 980 pandas, are under protection in reserves. ④ **As China's economy continues its rapid development**, it is more important than ever to ensure the giant panda's survival. (WWF HP)

＜考え方＞

①形式動詞には、2通りある。1)(全体)他動詞+目的語(=抽象名詞)の場合、『形式他動詞』 2-a)主語(=抽象名詞)+自動詞の場合、または、2-b)自動詞+補語(=抽象名詞)の場合、『形式自動詞』と考える。

②形式動詞は、自動詞・他動詞にかかわらず、訳出はせずともよい。その理由は、客観的『映像』が、主観的『残像』化するに伴って生じた、いわば、意味の「あまり・歪み・ひずみ」を表すものだからである。だが、『否定・増減・強弱・変化』などの意味を内包する場合、これを副詞的に訳出しなければならないことに注意する。¹⁶

- cf. (1) The plane **made** a smooth take-off. : 他動詞+◎(=自動・名詞)
: The plane smoothly took off.
- (2) The car **has had** a polish. : 他動詞+◎(=他動・名詞・受身代用)¹⁷
: The car has been polished.
- (3) He **gave** me a strange look when I came in. : 他動詞+◎(=他動・名詞・受身代用)
: I was looked at strangely by him.[or He looked strangely at me.]
- (4) There **was** a flat refusal to the offer. : There is +◎(=他動・名詞・受身代用)
: The offer was refused flatly.
- (5) The **rapidity** of his movements **was** astonishing. : ◎(=形容・名詞)+自動詞
: His movements was astonishingly rapid.
- (6) She **is** an enthusiastic cook. : 自動詞+◎(=自動・名詞)
: She is very fond of cooking.
- (7) Higher taxes are likely to **discourage** investment. : 他動詞+◎(=他動・名詞)
: In case of (imposing) higher taxes, investment is likely to be discouraged.

16. 副詞的に訳出される形式動詞としては、①leave, lose, prevent, hinder, stop, discourage, delay, slow down など『(広い意味の)否定』の意味を表すもの ②increase, decrease, diminish, reduce, lessen; extend, enlarge, lower; strengthen, weaken など『増減・強弱』を表すもの ③develop, mature, change, alter など『変化・変遷』を表すものなどが挙げられよう。ただ、すべての形式動詞には、動詞固有のニュアンスがあるのだから、別に特別なものと考えする必要は、もちろん、ない。

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) A study of human history and prehistory shows that **there has been** a wonderful *development* of ethics and of religion.

(東京女子・文理 1956年)

(2) If *his introduction to the Earth* **occurred** in the Sahara, the man from some other planet might leave or perish without seeing a human being.

(法政・社会 1977年)

(3) Wisdom and understanding can only **become** *the possession of men* by travelling the old road of observation, attention, perseverance, and industry.

(東京商船学校・特別試験 1902年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(4) A hairdresser must **get** customers' *trust* before they'll become regulars.

(東京都立・二次-A日程(工) 1993年)

(5) Within a few decades the expansive energies of modern activism **increased** *the size* of the earth by continents.

(奈良女子・二次 1974年)

(6) The primary importance of soil conservation to man should not, therefore, **require** *further argument*.

(早稲田・法 1982年)

17. 形式他動詞+O(=抽象名詞)の構造において、抽象名詞が他動詞派生の場合、後に O'となる前置詞+具体名詞が続かないことがある。その場合は、文主語の具体名詞が意味上の目的語となっていることに注意が必要。(能動・受動に関わらず)抽象名詞化(nominalization)においては、態(voice)・相(aspect)・法(modality)・時制(tense)といった、(助)動詞の性質が中和されてしまうのである。抽象名詞の解釈は、この点一つをとってみても、実に懐が深いと言えよう。

cf. Scientific astronomy **has** always **exercised**, in fact, a *great influence* upon everyday thinking and upon the popular conception of the universe.

(立命館・経済 1971年)

Practice

<<A>>

(1) It is not only that **there is an increasing emphasis** on thinking for oneself (in university); **there is also much more responsibility** for deciding how to use one's time, etc.

(立教・文 I 1970年)

参考 モノゴト+on+モノゴト/ヒトの構造で、動作用動詞と併用される場合、on/upon は『影響力・作用力』を表す。

(2) *Our respect towards a person* **lies** not so much in what he can say, or even do, as in what we feel he really is.

(長崎高等商業学校 1905年)

参考 what he can say, or even do の訳出では、「その人の言ったりやったりさえできること」とするより、「その人の言動」と、動詞を名詞に品詞転換した訳出の方がすっきりする。これは、各人の好みの問題であろうが、私見では、くどいよりは、あっさりとした訳出の方がよいと思う。

(3) Similarly, *the interval* that has elapsed since the days of ancient Greece **strengthens** rather than **weakens** the impact its writers make upon our mind.

(上智・外国語 1976年)

参考 A rather than B では、A=「主張」を、B=「一般論」を示すことに注意。ほぼ同意表現である、not so much A as B や、B more than A などでも同じことである。

Words & Phrases

(1) emphasis (n. 強調、重点 cf. stress) for oneself ((動作動詞修飾で)自力で、独力で cf. without any help) responsibility (n. 責任、負担、重荷 ⇔ irresponsibility)

(2) respect (n. 尊敬(⇔ disrespect)、点(point)、事項、細目(detail)、関係(relation)) lie in NP (～の中にある cf. consist in) not so much A as B (A というよりもむしろ B)

(3) similarly (adv. 同様に) interval (n. 間隔、隔たり、距離) elapse (vi. 経過する、過ぎ去る) ancient Greece (古代ギリシャ) strengthen (vt. ～を強化する) B rather than A (A というよりもむしろ B) weaken (vt. ～を弱める) make impact upon NP (～に影響を与える)

【考え方】

(1) ▶1. **It is not only that SVX; {but} also that SVX.** : 分裂文(強調構文)の典型パターン。It is ... that のフレームは、日本語の強調語句に置き換えて、訳出をアピールするとよい。「...こそ/まさしく.../...に他ならない」

▶2. **there is an increasing emphasis on thinking for oneself (in university)** : there is S(=抽象名詞)の構造であるから、there is は、『形式自動詞』として、訳出は不要である。したがって、there is(×), an increasing(M') emphasis(Vt') on thinking for oneself (in university)(O')を訳出に反映する。なお、be 動詞の代わりに、exist, go, come など用いることができる。

cf. In the United States *there exists an emphasis* on informal interaction.

(福島・二次-前期 2000年)

there exists(×) an(M': ある程度(= in some degree)) emphasis(Vt': 重視される) on informal interaction(O': くれた会話)となり、やはり受身代用構文である。**他動・名詞を用いた構文において、意味上の目的語が明示されない場合、「受身」の意味を示すと**考えて、ほぼ、差し支えない。

▶3. **there is also much more responsibility for deciding how to use one's time, etc.** : there is はやはり形式自動詞。much more(M') responsibility(M') for deciding(Vt') <how to use one's time, etc.>(O')を訳出することを考える。

(2) ▶4. **Our respect towards a person** : ここまでが、⑤=抽象名詞。したがって、Our(S') respect(Vt') towards a person(O')を訳出に反映する。すると lies は『形式自動詞』となり、訳出はしないか、または、副詞的(M')に行く。

(3) ▶5. **the interval that has elapsed since the days of ancient Greece** : NP that VX の構造であるから、この that は、一般には、主格の関係代名詞と呼ばれるもの。「VX する NP」を基盤に訳出を調整する。

▶6. **S strengthens rather than weakens the impact** : S=無生物で、他動詞が続くことから、いわゆる無生物主語構文。「Sによって O が V される」を基盤に訳出を考える。ここでは、strengthen, weaken の O=the impact : 抽象名詞なので、strengthen, weaken の訳出は副詞的(M')に行えばよい。「Sによって、弱まるどころかますます V」

▶7. **the impact its writers make upon our mind** : NP₁+NP₂+V(Oなし)、つまり、関係代名詞・目的格の省略といわれるものだが、もともとの構造を考えてみれば、its writers make an impact upon our mind からの名詞化なので、直訳してもあまり意味がない。its writers(S') make(×) an impact(Vt') upon our mind(O')をまず訳出し「S'が O'に影響を及ぼした」とし、次に、「S'が O'に及ぼした影響」と考えを変える。

<>

(4) ①She(= a duck) had no trust even in the human beings who for twelve long years had never offered her anything but kindness, and she would fly at them in a fury if they approached too close. ②But her absurdity went far beyond that. ③If one persisted in coming near she would presently, in a very excess of anger, forget who it was she was mad at and start attacking the ducklings themselves.

(広島・二次 1957年)

参考 ①文の would は、後に if SVX が続くからということで、いわゆる「仮定法」と即断してはいけない。主文に would[or could]+原形 V が見える場合は、時を表す副詞語句、または、前後の文の時制に着目することが肝要である。時が「過去」と「過去」で対応すれば、would[or could]+原形 V は、『直説法』である。

(5) ①The interest of the gods in human affairs is keen, and on the whole beneficent; ②but they become very angry if neglected, and punish rather the first they come upon than the actual person who has offended them; ③their fury being blind when it is raised, though never raised without reason.

(東京 1951年)

参考 ②文の if neglected や、③文の though never raised は、接続詞+分詞の構造である。このように、副詞節を形成する接続詞内部に S'-V が顕在しない場合は、主文の主語と等しい代名詞主語[or 一般不定代名詞の we/you/they]+be 動詞の省略を補って考える。ここでは、if {they are} neglected, though {it is} never raised といった具合である。

Words & Phrases

(4) have no trust in NP (v. ～をまったく信用しない) offer (vt. ～を与える cf. will give) anything but NP (～以外は何もない) in a fury (怒って) absurdity (n. 馬鹿さ) persisted in NP (v. しつこく～し続ける) presently (adv. ①(現在形とともに)今 cf. now, at present, currently ②(過去形とともに)まもなく、やがて ③(未来形とともに)すぐに cf. soon) excess (n. 過度) anger (n. 怒り)

(5) affair (n. 関心事、事件、出来事) keen (adj. 鋭い cf. sharp(⇔dull, blunt)、熱心な cf. enthusiastic) beneficent (adj. 慈善心に富んだ(⇔maleficent)) neglect (vt. ～を無視する) punish (vt. ～に罰を与える) come upon NP (～に偶然出会う cf. find) offend (vt. <ヒトの感情>を害する) fury (n. 激しい怒り cf. wrash>rage、激しさ、猛威 cf. violence)

【考え方】

(4) ▶8. **she would fly at them in a fury** : would+動作動詞+頻度副詞が、過去の副詞/前後の過去形の文と併用された場合、would は、直説法・『過去の習慣』を表す。「昔はよく～したものだ」

cf. He **would feed** an apple *to any horse* he might see standing on the street.

(早稲田・政経 1982年)

▶9. **her absurdity went far beyond that** : S=抽象名詞であるため、went は形式自動詞。したがって、これを訳出する必要はなく、her(S') absurdity(C') went(×) far(M') beyond that(M')と考える。

cf. If *his introduction to the Earth* **occurred** in the Sahara, the man from some other planet might leave or perish without seeing a human being.

(法政・社会 1977年)

▶10. **If one persisted in coming near** : persist in Ving(=動作動詞)なので、If one(S') persisted(M' : しつこく) in coming(Vi') near(M')を訳出する。

cf. Our *first efforts at sending* our thoughts beyond Earth have taken a very ancient form: pictographs.

(都留文科・二次一中期日程(文・英文) 2001年)

▶11. **in a very excess of anger** : in は『時・場合・分野→完了状態』を表す。ここでは、a very excess of(M') anger(Vi')と考える。

(5) ▶12. **The interest of the gods in human affairs is keen, and ... beneficent** : ⑤=抽象名詞であるため、is は形式自動詞。したがって、The interest(Vt') of the gods(S') in human affairs(O') is(×) keen(M'), and beneficent(M')の関係を訳出する。

▶13. **the first they come upon** : NP₁+NP₂+V(Oなし)、つまり、関係代名詞・目的格の省略といわれるもの。「NP₂がVするNP₁」を基盤に訳出する。

▶14. **their fury being blind** : やはり、⑤=抽象名詞であるため、being は形式自動詞。したがって、their(S') fury(C') being(×) blind(M')の関係を訳出することを考える。

また、SVX, NP+Ving ...の構造であるから、NP+Ving は、いわゆる独立分詞構文。文末なので、最優先で等位節の代用と考え、接続詞の意味(and, but, for)を訳出することを考える。

cf. Identifying faces usually involves attaching a name to the face, *the faces being* easier to remember than the names.

(東京理科・工一建築、電気工 2003年)

NB ;(semicolon)の用法は、①言換え・詳述(namely, that is [to say])が原則で、他に、②順接結果(, and) ③逆接結果(, but) ④対照・対比(, while) ⑤追叙理由(, for)が挙げられる。

<<C>>

(6) ①In childhood, a considerable number of languages may be learned one after another, ②without the preceding language leaving any trace of its grammar or sound system on the one that succeeds. ③As we grow older, however, this facility of language acquisition leaves us.

(早稲田・教育 1983年)

参考 段落冒頭の文頭副詞語句(M)は、『話題の導入』の役割を果たす。このように、話題の導入副詞から始まる場合、主文の文型に着目すると、『話題名詞』が得られる。ここでは、(In childhood), <a considerable number of languages>(S) may be learned(Vi) (one after another), ... と、自動詞・受身で書かれているため、話題名詞は language であると判断する。このように、『話題名詞』を把握したら、設問や、未知の名詞などは、すべて、話題名詞に絡めて考えてみるのがよい。たとえば、次例の term などは、English(英語), Japanese(日本語)が、ともに「言葉」であるから、それに絡めて見れば、term が、いわゆる、多義語であるからと言って、辞書の意味を一つずつ代入していく必要などないことが理解できよう。

cf. Compared to Japanese, *English* does not have **many honorific terms**.

(金城学院 2011年)

Words & Phrases

(6) considerable (adj. かなりの) learn (vt. ～を身につける cf. acquire) precede (vi. 先行する) leaving a trace of A on B (A が B に影響を及ぼす) succeed (vi. 連続する) facility (n. 容易) acquisition (n. 習得)

【考え方】

(6) ▶15. **without the preceding language leaving any trace of its grammar or sound system on the one that succeeds** : この部分は、前置詞+目的格+ Ving の構造で、目的格は Ving(動名詞)の意味上の主語として機能する。without(M' : 否定) the preceding language(S') leaving(×) any(M') trace(Vt') of its grammar or sound system(S') on the one that succeeds(O')を訳出する。なお、形式他動詞(leave)+他動・名詞+of S'+on O'を確認。

cf. The business of a university is not *the transformation of* undergraduates **into** fountains of information.

(明治学院・文-英文 1991年)

▶16. **this facility of language acquisition leaves us** : まず、this facility of language acquisition は、(Det.) **抽象名詞+of+抽象名詞**の構造なので、of は『同格修飾』を示す。ここでは、facility(容易さ)が「状態」の意味を表すため、これを副詞的(M')に訳出し、acquisition(Vt')につなげることを考える。したがって、this(M') facility(M') of language(O') acquisition(Vt')と考える。すると、S=抽象名詞であることから、leaves は『形式他動詞』。ただし、「否定」の意味を表すため、leaves→not 程度に考えればよい。もちろん us は S'である。なお、同格修飾の of が、抽(M')+of+抽(V')と訳出することの出来る例文を追加しよう。

cf. This is a theory that can never be proved or disproved because there is *no way of* determining when or where spoken language originated.

(関西学院・理 1983年)

NB would の識別(1)―直説法過去(過去の副詞[相当語句]を伴う点に着目)

(1) would+原形動詞(=動作動詞・有意志)

: a) 肯定文・積極的意志「～しようとした」

cf. She **would** Hoover, dust and iron, but she *didn't* like doing windows. (Swan, 1995²; §604)

: b) 否定文・拒絶意志「どうしても～しようとしなない」

cf. The car **wouldn't** start *this morning*. (CALD²)

(2) would+原形動詞(=動作)+頻度副詞

: 過去の習慣「昔はよく～した」

NB used to V(動作)は、「昔はよく～したものだ(が、現在はそうではない)」を意味する。

cf. *On summer evenings* they **would** sit out in the garden. (LDCE⁵)

(3) would+原形動詞(無意志動詞)

: 過去推量「おそらく～だったのだろう」

cf. "The guy on the phone *had* an Australian accent." "That **would** be Tom, I expect." (CALD²)

＜考え方＞

①英語において、他動詞を用いた構文は、情報の中心を目的語(以下)に置くものと考えられることができる。そのため、他動詞の主語は、名詞としての価値が『格下げ』(down grade)され、副詞的に訳出されることになる。これを一般に『無生物主語構文』(または物主構文)と呼ぶ。

②無生物主語構文において、主語の訳出は様々であるが、概略、「SによってOがVされる」としておき、文脈を吟味して、「Sによって」の部分調整¹⁸する。また、他動詞の訳出調整は、他動詞(前提 : premise)→受身(経過 : process)→自動詞(結果 : result)のローテーションを考え、訳語を決めるのがよい。

- cf. (1) **A more detailed exploration** *will take* at least a month.
: **If we have a more detailed exploration**, ...(条件)
- (2) **This map** *shows* where pandas live on a map of the world.¹⁹
: **When(ever) we look at this map**, ...(時・場合)
- (3) **His flat refusal** *discouraged* them.
: **As he refused flatly**, ...(原因・理由)
- (4) **Fame** *hasn't* really *changed* him.
: **Though he gained fame**, ...(既定譲歩・未定譲歩)
- (5) **This job** *carries* me all over the world.
: **Having this job**, ...(付帯状況)

Question A 次の文をわかりやすく訳出せよ。

- (1) **Your choice of a potential reader** *will* subtly *alter* the way you write.
(大阪女子・二次-前期 1995年)
- (2) **Learning a foreign language** *implies* approaching a new world and it inevitably leads to a widening of intellectual experience.
(秋田・二次 1972年)
- (3) Second, **wars and dictatorships** greatly *weakened* the German cultural sphere.
(早稲田・社会科学 2005年)

(4) **Having a fine library does not prove** that its legal owner has a mind enriched by books.

(広島・二次 1971年)

Question B 次の文をわかりやすく和訳せよ。

(5) PCs are important to business because, in theory, *they* simultaneously **save** you **money** and **make** you **money**.

(東京外語・二次-前期 1997年)

(6) *It* **has cost** many a man **life or fortune** for not knowing what he thought he was sure of.

(長崎高等商業学校 1911年)

(7) Again, *nature* **makes** us **male or female**, but *the beliefs and values of our society* **make** us **the kind of men or women** we become.

(東北・二次-後期 1998年)

(8) *Present APA guidelines* merely **prohibit** psychologists **from** diagnosing problems, or **from** offering psychotherapy on the radio. *APA=American Psychology Association

(横浜市立・二次-A 日程(商) 1989年)

(9) *The growth of scientific knowledge* **has allowed** us **to control** some of the risks of life and **eliminate** some of its worst evils.

(東京・二次-前期 2000年)

18. 無生物主語構文における主語部分の副詞的訳出については、述語動詞の時制・肯定文・否定文の区別が、一応の目安にはなる。①未来形(助動詞有)→『条件(if)』 ②現在形→『時・場合(when)』 ③状態動詞の現在形・(動作動詞、状態動詞に関わらず)過去形・完了形→『理由(as)』 ④時制に関わらず、否定文で「逆接関係」が成立すれば『未定譲歩(even if)・既定譲歩(though)』 ⑤その他、となるが、全体の意味をよく考えて決めるというのが妥当であろう。

19. 無生物主語構文の主語は、本来は、接続詞+SVXの副詞節が、抽象名詞化したものであるから、抽象物主語として表現されるべきである。が、cf.-(2), (4), (5)に代表されるように、具体名詞主語であることも珍しくない。そういう場合は、具体名詞の『(本来の)利用目的(→他動詞のVing)』または『存在事由(→自動詞のVing)』を考え、自明のVingの省略を補ってみると、訳出がうまくまとまる場合が多い。

cf. (Reading) **This book** gives us a fairly good idea of life in Colonial America. (江川, 1991³: 28)

(この本を読むと、植民地時代のアメリカの生活がかなりよくわかります)

Practice

<<A>>

(1) *Imparting information may increase* the store of factual knowledge, but *it does not develop* the intellect to the same extent as does active attack on a problem.

(日本女子・文理 1961年)

参考 active attack on a problem における on は、ヒト+on+モノゴトの形で、動作動詞(有意志)と併用されていることから、『(気持ちの接触→)着手・執着』を表すものと判断する。したがって、「ある問題に積極的に取り組む」と訳出できる。

(2) *Nature has given* man an inquiring mind, and *nothing will prevent* him from using it.

(立命館・産業社会 1986年)

参考 文主語に、文否定の no が含まれている場合、「いかなる/どんな S も...ない」と訳出する。

(3) While *the printing press made* entirely new uses of the written word **possible** (for instance, the newspaper), *it also made* text universally **readable**.

(法政・法一法律、政治 2004年)

参考 論説文における While SVX, SVX.の while は、(一般に言われるように、譲歩ではなく)『対比・対照』を表す。したがって、「SVX だ。だがその一方で SVX」とする。

Words & Phrases

(1) impart (vt. ~を与える、知らせる) information (n. 情報、知識) increase (vt. ~を増す) store (n. 貯蔵)
factual (adj. 事実に基づく) intellect (n. 知性) the same A as B (B とまったく同じ A) to an extent (ある程度)
active (adj. 積極的な) attack (n. 攻撃、着手)

(2) nature (n. 自然、性質、本質) an inquiring mind (n. 探究心) prevent O from Ving (S によって O が Ving し
ない/できない)

(3) entirely (adv. まったく、ひたすら) for instance (たとえば) universally (adv. 普遍的に、例外なく) readable
(adj. 読むことのできる)

【考え方】

(1) ▶1. **Imparting information may increase the store of factual knowledge** : Imparting information ここまでが主語で、無生物。後出の may(+無意志動詞)→『推量』から、if SVX の代用表現と考える。さらに、SVtO 型の無生物主語は、S→M'(ここでは「条件」として、Vt→受身 or Vi'として、O→S'として、それぞれ訳出する。したがって、「SによってOがVtされる」を基盤に訳出を調整する。また、the store(Vt') of factual knowledge(O')を訳出すれば、increase は、相対的に M'(これまで以上に、等)となるはず。

▶2. **it does not develop the intellect to the same extent as does active attack on a problem** : 無生物主語構文で、否定文であることから、文主語は、『譲歩』の副詞節代用の可能性を優先的に想定する。なお、この it は『人称』を表し、前の imparting information を承ける。develop(Vi') the intellect(S')と考える。

▶3. **to the same extent as does active attack on a problem** : to the same extent の to は『程度・結果』を表す。as 以下の does は「代動詞」で、前出 develop the intellect を反復する。また、active(M') attack(Vt') on a problem(O')で、on は『(気持ちの接触→)着手』を表す。

(2) ▶4. **Nature has given man an inquiring mind** : Nature は無生物主語であるから、これを副詞的に訳出する。また、SVtO₁O₂型の無生物主語は、「SによってO₁がO₂を手にする/失う(save, spare, cost, deny)」を訳出の基盤とする。したがって、has given(Vt') man(S') an inquiring mind(O')と考える。

▶5. **and nothing will prevent him from using it** : これも無生物主語構文で、否定文であることから、文主語は、『譲歩』の副詞節代用の可能性を優先的に想定する。nothing(M') will prevent(×) him(S') from(分離状態 : not) using(Vt') it(O')を訳出する。²⁰なお、ここでは二重否定になっていることに注意が必要。

(3) ▶6. **While the printing press made entirely new uses of the written word possible** : SVtOC 型の無生物主語は、「SによってOがCする/Cになる」を訳出の基盤とする。また、無生物主語として用いられている the printing press は、具体名詞。したがって、自明の Ving/the 抽象名詞 of を補って考えるとよい。(the appearance or invention of) the printing press(M') made(Vi' : become) entirely(M') new(M') uses(Vt') of the written word(O') possible(C')を訳出する。

▶7. **it also made text universally readable** : it(M') also made(×) text(O') universally(S') readable(Vt' : can be read)を見抜くことは、そう難しくはない。ここで憶えてきたいのは、**形容詞や副詞をS'やO'として訳出することも可能**ということである。翻訳の世界では、これを『品詞転換訳』と呼ぶ。

20. (無生物)主語+他動詞+O+from+Ving/抽象名詞の語法をとり、「SによってOがVing/抽象名詞しない・できない」と訳出できる動詞を『分離型動詞』と呼ぶ。prevent の他、stop, keep, prohibit, hinder, save, rescue 等を記憶しておく。

<>

(4) ①Drawing from life keeps one visually fit – perhaps acts like water to a plant – and it lessens the danger of repeating oneself and getting into a formula. ②It enlarges one's form repertory, one's form experience.

(横浜市立・二次－文理[文科] 1975年)

参考 ダッシュ(-)とダッシュでくくられた部分は、挿入句であるため、マルかっこでくくって飛ばすのがよい。

(5) ①The years after the cessation of hostilities with victory have not brought us peace; ②rather, to the contrary, they have made us aware how long and hard the road is which separates us from its realization.

(横浜国立・二次－経済 1956年)

参考 この文の *hostilities* を、単語集によくあるように「憎しみ」としても、意味不明となる。こういう場合で、辞書が手元がない、または、ひけない場合は、品詞に着目し、文中どこかの同じ品詞を被せてみるのがいい。ここでは、*hostilities* は名詞であるから、*victory* や *peace* を絡めて考えてみるのである。

Words & Phrases

(4) draw from NP (～から取り出す、引き出す) visually (adv. 見た目にも) fit (adj. 身体の状態がよい) lessen (vt. ～を減らす) repeat (vt. ～を繰り返す) get into NP (～の中に入る) formula (n. 公式、決まったやり方 cf. formulas, formulae) enlarge (vt. ～を広げる) form (n. 表現形式、儀礼) repertory (n. レパートリー、技術のすべて) experience (n. 経験)

(5) cessation (n. 停止、中断) hostility (n. 憎しみ) victory (n. 勝利) rather (adv. むしろ) to the contrary (それどころか) aware (adj. 気付いている) separate A from B (BからAを切り離す) realization (n. 認識、実現)

【考え方】

(4) ▶8. **Drawing from life keeps one visually fit** : 本来 draw は他動詞だが、目的語がない(他動詞の自動詞化)。こういう場合は、次の3点を考える。①自明要素の省略 ②受身の代用 ③oneselfの省略

cf. a. You have to **learn** from your mistakes.

(LDCE⁵)

b. *The minister's speech* does not **make** for peace.

(小西, 1980; 908)

c. *I* **made** towards the door, but he called me back.

(MED²)

ここでは、c.に該当し、oneselfの省略を drawing の後に補って考える。また、無生物主語構文であるから、Drawing from life(M') keeps(Vi' : remain) one(S') visually fit(C')を訳出する。

▶9. **it lessens the danger of repeating oneself and getting into a formula** : これも無生物主語構文で、ここでは、it(M') lessens(M' : あまり...でなくなる) the danger(C') of repeating oneself(S₁') and getting into a formula(S₂')と考える。なお、ofは『同格修飾』を表すものだが、ここではこれでよい。

▶10. **It enlarges one's form repertory, one's form experience** : これも同様である。It(M') enlarges(Vi') one's form repertory(S₁'), one's form experience(S₂')を訳出する。なお、このカンマは『同格』を表す。

(5) ▶11. **The years after the cessation of hostilities with victory have not brought us peace** : SVtO₁O₂型の無生物主語²¹は、「SによってO₁がO₂を手にする/失う」を訳出の基盤とする。したがって、The years after the cessation of hostilities with victory(M' : 既定譲歩) have not brought(Vt') us(S') peace(O')を訳出する。なお、形容詞句 after the cessation(Vi') of hostilities(S') with victory(M')を、先行詞 The years にかける。

▶12. **they have made us aware how long and hard SVX** : they(M') have made(×) us(S') aware(Vt') <how long and hard SVX>(O')は容易。なお、they=the years ... victory である。

21. SVtO₁O₂型の無生物主語構文の中で、save, spare, deny; cost の4つは『否定』の意味を含意するため、特に記憶が必要となる(costは厳密にはSVtO₁O₂ではなく、副詞的目的格が2つ並んでいるだけである)。

cf. (1) *A little more care would have spared* her a great deal of trouble.

(立命館・2/8 日程 2005年)

(2) We got our first phone in 1989. *It cost* \$5,000 and **took** a week to install.

(島根・二次-前期 2001年)

<<C>>

(6) ①Civilization does not make the race any better. ②It makes men know more: and if knowledge makes them happy it is useful and desirable. ③The one purpose of every sane human being is to be happy. ④No one can have any other motive than that. ⑤There is no such thing as unselfishness. ⑥We perform the most generous and self-sacrificing act because we should be unhappy if we did not.

(千葉商科・商経 1970年)

【参考設問】下線部とほぼ同じ意味・用法の make を1つ選べ。

- ① She will make him a new suit.
- ② She will make him a good wife.
- ③ All work and no play will make him a dull boy.
- ④ This length of cloth will make him a suit.

(東海・工 1980年)

Words & Phrases

(6) civilization (n. 文明) the race (n. 人類) desirable (adj. 望ましい) purpose (n. 目的) sane (adj. 正気の)
motive (n. 動機) unselfishness (n. 利己的でないこと) perform (vt. ～を遂行する) generous (adj. 寛大な)
self-sacrificing (adj. 自己犠牲の)

【考え方】

(6) ▶13. **Civilization does not make the race any better** : 具体名詞 Civilization の前に、自明要素 the development of/the progress of を補って考えることが出来るかどうか、が訳出の第一歩。(The development of) Civilization(M : 既定譲歩) does not make(Vi' : become) the race(S') any better(C')を訳出する。

▶14. **It makes men know more** : 無生物主語の make+O+原形 V の場合、make は『使役動詞』で、訳出はせずともよい(訳出するなら M' : 「無理矢理～」等とする)。It(M' : 時・場合) makes(×) men(S') know(Vt') more(O')は容易。²²

cf. *The sight of so much injustice made his blood boil.*

(中央・法—法律 1986年)

▶15. **if knowledge makes them happy** : 無生物主語の make+O+C(=形容詞・名詞)の場合、make は『作為動詞』で、become の他動詞形と考えればよい。knowledge(M') makes(Vi') them(S') happy(C')をとらえ、if でまとめる。

cf. *Whatever you do to make things better makes them worse.*

(東京外語・二次—前期 1993年)

22. 複文構造において、副詞節(前提)を無生物主語に、主節(肯定結果)を O+to V に用い、S+Vt+O+to V の語法をとることの多い動詞を総称して『使役型動詞』と呼ぶ。主な動詞と例文をグループに1つに限り、追加しておこう。

i) **cause, enable** (無生物主語型)

cf. *The fatigue of frequent journeys to London caused Newton to have a nervous breakdown.*

(中央・理工 1986年)

ii) **allow, permit** (許容型)

cf. *Consumerism does permit people to find known consumer products virtually everywhere they travel. It does encourage a sense of global belonging, but it does not remove all differences.*

(東京・二次—後期[論文I] 2004年)

iii) **force, compel, impel, oblige** (強制型)

cf. *New situations, new experiences, new feelings are always compelling us to give new uses to old words.*

(関西・工 1984年)

iv) **tempt, bring, lead, drive, encourage, stir, move** (勧誘型)

cf. *An eager devotion to sport may lead those devoted to it to live in an unreal world.*

(東京・二次 1977年)

＜考え方＞

①無生物主語構文の動詞に着目すると、2通りに下位区分が可能となる。i)無生物主語+他動詞+O+Xの構文をとる『純粋無生物主語構文』 ii)無生物主語+他動詞相当語句+O+Xの構文をとる『疑似無生物主語構文』に下位区分される。また、疑似無生物主語構文における他動詞相当語句には、a)自動詞+前置詞 b)他動詞+抽象名詞+前置詞 c)be+形容詞+前置詞 d)be+抽象名詞+前置詞がある。

②無生物主語構文の主語と目的語とに着目すると、＜抽象名詞主語+他動詞相当語句+抽象名詞目的語＞の構造をとるものがある。この場合、抽象名詞主語を『前提の副詞節』として、他動詞相当語句は訳出せず、抽象名詞目的語を『主文相当』と考える。

cf. (1) *The event led to* the great revolution.

: 無生物主語+自動詞+前置詞+O'

(2) *These figures do not take account of* changes in the rate of inflation.

: 無生物主語+他動詞+抽象名詞+前置詞+O'

(3) *Heart disease was responsible for* most of the deaths.

: 無生物主語+be 形容詞+前置詞+O'

(4) *Continual conflict among city-states was the cause of* the eventual decline of Greek civilization.²³

: 無生物主語+be 抽象名詞+前置詞+O'

Question A 次の文をわかりやすく和訳せよ。

(1) *Our efficiency in living our lives as ordinary human beings depends on* what we do with information.

(東海・工 1975年、立命館・法 1988年)

(2) *This insight into the mystery of life, coupled though it be with fear, has also given rise to* religion.

(京都 1949年、立教・文II 1970年、和歌山県立医科・二次 1983年)

23. 抽象名詞に伴う形容詞は、副詞的(M')に訳出するのが原則である。しかし、形容詞はまた、抽象名詞の意味上の主語・目的語・補語としても機能することがある。これを見抜く一定の指針はなく、意味を考えるしかない。

(3) *The desire for a quick tan* **has led to** the invention of pills and lotions that darken the skin artificially without exposure to sunlight.

(中央・理工 1983年、島根・二次-A日程 1991年)

Question B 次の文をわかりやすく和訳せよ。

(4) Improved methods of transportation are forcing man to discard *the concept of distance* which **has** in the past **been responsible for** keeping people separated.

(早稲田・政経 1975年)

(5) But *the competition* on which the life or death of an individual or a society depends will **be the cause of** a quarrel or a war.

(成蹊・経済 1977年)

(6) I firmly believe that before many centuries more, *science* **will be the master of** man. The engines man will have invented will be beyond his strength to control.

(立教・経済 1957年)

(7) *The effectiveness of human society*, therefore, **is** largely **dependent upon** the clarity, accuracy, and efficiency with which language is used or understood.

(東京都立・一次-文科系 1968年、京都市藝術・二次 1974年)

形容詞+抽象名詞の具体例を追加しよう。

- cf. (1) His **rapid** *movements*: 所有格+**語修飾形容詞(M)**+抽象名詞(自動詞派生: Vi)
: He moved with rapidity.
- (2) **dubious** *moral support* for Tibet crackdown: **文修飾形容詞**+**語修飾形容詞(M)**+抽象名詞(他動詞派生: Vt)
: It is dubious that Tibet crackdown are morally supposed.
- (3) sustainable **industrial** *development*: **語修飾形容詞**+**主語相当形容詞(S')**+抽象名詞(自動詞派生: Vi)
: the industry (has) developed sustainably.
- (4) unrestricted **personal** *freedom*: **語修飾形容詞**+**主語相当形容詞(S')**+抽象名詞(形容詞派生: C)
: persons are free to an unrestricted degree.
- (5) **more efficient** *use* of existing resources: **語修飾形容詞(M)**+抽象名詞(他動詞派生: Vt)+of+具体名詞(O)
: existing resources are used more efficiently/we use existing resources more efficiently.
- (6) **mutual** *disrespect* in society: **語修飾形容詞(O)**+抽象名詞(他動詞派生: Vt)
: we disrespect each other in society.

Practice

<<A>>

(1) *Subjection for a long time to a foreign yoke is one of the most potent causes of national deterioration.*

(東京商船学校・体格試験合格者選抜(2月施行) 1909年)

参考 無生物主語に限らず、部分点を取りに行く場合、「つなぎ」の言葉を軽く付け足すことを習慣化しておく、読むのも訳出も非常に楽になる。ここでは、「Sの状態に置かれていると、そのことが一つの大きな...となって、~になる」等とすれば、前から後に意味も取れるし、訳出も可能となる。

(2) *The discovery of the Pacific Ocean with its islands and inlets added to Europeans' knowledge of the earth.*

(早稲田・商 1977年)

参考 the Pacific Ocean と the earth の関係は、「部分」と「全体」であるから、the earth の訳出に具体性を持たせたいと思うなら、「地球全体」とすることも可能である。

(3) *In short, I am not a fixed character, for I am constantly enlarged by my own experiences. Any definition of the self must allow for this enlargement.*

(神戸・二次 1970年)

参考 character が、次の I に、not a fixed が、constantly enlarged に言換えられていることに着目すると、訳出が容易になる。

Words & Phrases

(1) subjection (n. 征服、服従) yoke (n. 支配、圧迫、隷属) potent (adj. 有力な、勢力のある) cause (n. 原因)
deterioration (n. 悪化、低下)

(2) inlet (n. 入り江) add to NP (v. ~を増す)

(3) in short (つまり) fixed (p.p. 固定された) character (n. 性格) enlarge (vt. ~を大きくする、広くする)
definition (n. 定義) self (n. 個性、本性) allow for NP (~を考慮に入れる)

【考え方】

(1) ▶1. **Subjection for a long time to a foreign yoke** : Subjection(Vi' : 受身代用) for a long time(M') to a foreign yoke(M')を見抜き、無生物主語であるから、ここまです副詞的(M')に訳出する。主文の動詞が現在単純形であることをヒントに、ここでは、『時・場合』と考えるのが妥当であろう。

▶2. **無生物 S is one of the most potent cause of national deterioration** : 無生物を S にとる be the cause of=cause と考えてよい。したがって、the most potent(M') cause(Vt') of national deterioration(O') を主文相当部分と考える。さらに、national(S') deterioration(Vi')を訳出する。

(2) ▶3. **The discovery of the Pacific Ocean with its islands and inlets** : The discovery(Vt') of the Pacific Ocean(O') with its islands and inlets(M')を見抜き、ここまです副詞的(M')に訳出する。なお、この its は『場所属格(genitive of location)』で、its=on the Pacific Ocean と考える。

▶4. **無生物 S added to Europeans' knowledge of the earth** : ここでは、added to+抽象名詞であるから、add to は副詞的(M')に処理するのがよい。added to(M') Europeans'(S') knowledge(Vt') of the earth(O') と考える。他動詞相当部分を副詞的(M')に処理できる例を追加しよう。

cf. The physical and mental training required in *kyudo* **contributes to** *physical fitness* as well as self-awareness, and **provides** *insights* into the learning process.

(山口・二次-前期 1998年)

(3) ▶5. **Any definition of the self** : Any(M') definition(Vt') of the self(O')を見抜き、ここまです副詞的(M')に訳出する。ここでは、any(疑念性)をヒントに、『譲歩』ととるのが妥当であろう。

▶6. **無生物 S must allow for this enlargement** : ここでは、must allow for(Vi') this enlargement(S') で、受身代用表現と考えられる。

cf. *Making comparisons* **doesn't lead to** trouble – *it can* just as easily **lead to** appreciation and admiration.

(東北・二次-後期 2004年)

NB –(dash)の用法は、①前出の語句／文の言換え(SVX/NP – ～) ②挿入句(... – ～ – ...)の2通りである。

cf. (1) The way people act is conditioned by the social custom of their day and age – even the way they think and feel with what one might call their outer layers.

(東京・二次 1981年)

(2) Other – though less clear – physical differences may explain why boys are more likely than girls to develop such early-onset illnesses as autism.

(上智・文-英文、他、法-国際関係法 2004年)

<>

(4) ①The protection of mankind from fear and terror doesn't imply the abolition of risk; ②it implies, on the contrary, the permanent presence of a certain amount of risk in all aspects of social life; ③for the absence of risk weakens courage to the point of leaving the soul, if the need should arise, without the slightest inner protection against fear.

(東京工業・二次 1961年)

参考 the+初出の名詞句では、最優先で話題名詞に絡む省略要素を補ってみる習慣をつけておくのがよい。ここでは、the need がそれで、the need {off/for courage}と考えてみるのである。

(5) ①Scientists also have a duty to prove to their colleagues that their observations are correct within the limitations of measurement, ②or that their hypotheses give a better account of a set of observations than all previous hypotheses, ③or that otherwise their view of the world is justified.

(京都・二次一前期 1995年)

参考 後から前に訳出して意味不明となるなら、発想を変えて、前から後に訳出してみる。意味の単位というのは、全体と部分の関係で、どちらから訳出しても、結局は同じことになるからである。ここでは、within the limitations of measurement を前から捉え、「限られた測定の範囲内では」とする。

Words & Phrases

(4) protection (n. 保護) mankind (n. 人類) fear (n. 不安、恐れ) terror (n. 恐怖) imply (vt. ～をほのめかす (suggest)) abolition (n. 廃止) risk (n. 危険) on the contrary (それどころか) permanent (adj. 永久の) presence (n. 存在) aspect (n. 局面、様相) absence (n. 欠如、欠落) weaken (vt. ～を弱める) courage (n. 勇気) arise (vi. 生じる) slight (adj. わずかな) inner (adj. 内側の(⇔ outer))

(5) duty (n. 義務) colleague (n. 同僚) observation (n. 観察) correct (adj. 正しい) limitation (n. 制限、限界) measurement (n. 測定) hypotheses (n. 仮説) give an account of NP (～を報告/説明する) previous (adj. 以前の) otherwise (adv. ①さもなければ(= if not) ②別のやり方で(= in a different way) ③他の点では(= in another respect)) justify (vt. ～を正当化する)

【考え方】

(4) ▶7. **The protection of mankind from fear and terror doesn't imply the abolition of risk** :無生物主語構文で、The protection(Vt') of mankind(O') from fear and terror(M')を見抜き、これを副詞的(M')に訳出することを考える。また、否定文であるから、『譲歩』の読みの可能性を考える。さらに、一見すると、doesn't imply(Vt')だが、O=抽象名詞であるため、imply は M'(暗黙のうちに、等)と考えることができる。さらに、the abolition(Vt') of risk(O')を読み取る。

▶8. **it implies, ..., the permanent presence of a certain amount of risk in all aspects of social life** : it(M') implies(M')とし、以下を主文相当部分と考える。the permanent(M') presence(C') of a certain amount of risk(S') in all aspects of social life(M')を訳出に反映する。

▶9. **for the absence of risk** : for は等位接続詞。the absence(C') of risk(S')を見抜き、全体を『譲歩』の副詞節相当語句と考える。

▶10. **weakens courage to the point of leaving the soul** : weakens(Vi') courage(S') to the point of(M') leaving(Vi') the soul(S')を訳出する。また、to+抽象名詞は、『程度・結果』を表す。

▶11. **if the need should arise** : if S should VX の should は、不都合の生じないと話し手が考えている「万一」を表す。したがって、主文には、直説法(Indicative Mood)や命令法(Imperative Mood)も用いられる。

▶12. **without the slightest inner protection against fear** : without the slightest(M') inner(M') protection(Vt') against fear(O')と考える。

(5) ▶13. **SVt that SVX, or that SVX or that SVX** : 3つの that SVX は、ともに他動詞の目的語で、「S が Vt しているのは、that SVX、あるいは that SVX、または that SVX だ」を基盤に考える。なお、have a duty to VX の不定詞は『同格修飾』で、have(×) a duty(M') to VX(V')の関係を訳出する。

▶14. **within the limitations of measurement** : the limitations(Vt') of measurement(O')を見抜き、これを within でまとめる。

▶15. **their hypotheses give a better account of a set of observations** : their hypotheses(M') give a better account(Vi') of a set of observations(S')と考える。

▶16. **otherwise their view of the world is justified** : この otherwise は、『判断』を表す動詞 justify を修飾しているため、in another respect(他の点においても)の意味と判断する。

<<C>>

(6) ①The impressions a child receives from his environment during the first years of life influence his intellectual development and character very basically. ②So, the impressions of childhood are responsible for whether as a grown-up a person can enjoy and appreciate the beauty of nature or not. ③Therefore, contact with plants and animals should be provided from infancy.

(青山学院・経営 1976年)

【参考設問】 下線部と同じ用法の as を1つ選べ。

- ① Few people are as brave as he is.
- ② Bad as he may be, he has some good points.
- ③ He was trembling as he watched.
- ④ His intention, as I saw easily, was entirely selfish.
- ⑤ He was respected both as a judge and as a man.

(電気通信・二次 1976年)

参考 多機能語 as は、(1)接続詞(副詞節形成)－a)時「SVXの時」 b)同時進行「SVXにつれて」 c)理由「SVXなので」 d)譲歩「SVXだけれども」 e)様態「SVXのように」 (2)接続詞(形容詞節形成)－a)関係代名詞的・語修飾 b)関係代名詞・文修飾 c)名詞限定 (3)副詞として「同じくらい」 (4)前置詞として「～として[の]」に分類される。

ここでは、副詞節形成に限って、例を挙げておこう。

- a) **As** I walked in, I heard the students talking loudly in the classroom. (早稲田・理工 2001年)
- b) The value of the yen declines **as** the rate of inflation rises. (早稲田・理工 2001年)
- c) **As** there seem to be no more question, we will move to the next topic. (西南学院 2012年)
- d) Strange **as** it may seem, learning these skills can be a lot of fun. (青山学院・法 2013年)
- e) Towns can grow old just **as** people do. (西南学院・神、商 2002年)

Words & Phrases

(6) impression (n. 印象) receive (vt. ～を受ける) environment (n. 環境) influence (vt. ～に影響を及ぼす) intellectual (adj. 知性の) character (n. 性格) basically (adv. 根本的に) be responsible for NP (①<ヒトが>～の責任を取る ②<モノゴトが原因となって>～が生じる ③<S かどうかは>～で決まる) a grown-up (n. 大人) appreciate (vt. ～を正しく評価/理解する) contact (n. 接触) provide (vt. ～を与える) infancy (n. 幼児)

【考え方】

(6) ▶17. **The impressions a child receives from ...** : NP₁+NP₂+V(Oなし)から、関係代名詞・目的格の省略と判断する。

cf. The world which a poor man inhabits is not the same as *the world a rich man inhabits*.

(埼玉・二次 1969年)

▶18. **無生物 S influence his intellectual development and character very basically** : S+influence+◎で、無生物主語。「Sによって O が影響を受ける(→「変わる」としてもよい)」さらに、◎=his(S') intellectual(M) development(Vi'1) and character(Vi'2)を訳出することを考える。²⁴

▶19. **the impressions of childhood are responsible for whether SVX** : be responsible for が全体で他動詞を形成するため、疑似無生物主語構文と考える。したがって、the impressions of childhood(M) are responsible for(Vi) <whether SVX>(S')を訳出に反映する。

cf. *The gift of speech and a well-ordered language are characteristic of every known group of human beings.*

(東京外語・二次 1975年)

▶20. **whether as a grown-up a person can enjoy and appreciate the beauty of nature or not** : as a grown-up は、副詞節を導く as 以下に、<主文の主語と等しい代名詞主語+be 動詞>が省略されたもので、as she/he is a grown-up と考える。

cf. Titles of short stories should be brief, apt, pleasing, and in addition, **if (it is) possible**, suggestive or picturesque or both.

(山形 1969年)

▶21. **contact with plants and animals should be provided from infancy** : contact with(Vt)と考えるなら、<plants and animals>(O') should(M') be provided(×) from infancy(M')となり、結果的に be provided は形式動詞扱いされる。したがって、必ずしも訳出の必要はない。

24. いきおい重複するが、無生物主語構文の表層に用いられている他動詞(相当語句)は、受身(=過程)の意味を経て、自動詞(=結果)の意味にまで及ぶ。このように、**他動詞(=前提)⇔受身(=過程)⇔自動詞(=結果)**という、意味のローテーションを考えることは、設問を解く上でも非常に重要なものである。日本語で例を挙げれば、「酒を飲む」→「酒に飲まれる」→「酔っ払う(物理的結果)」とか、「喧嘩を売る」→「売られる」→「ムカつく(心理的結果)」などといった具合である。それでは、英文の例を追加しよう。

cf. The creation is a perpetual feast to a good man; *every thing* he sees **cheers and delights** him.

(盛岡高等農林学校 1918年)

Part 2. 形容詞・副詞を中心に
：修飾構文の研究

＜考え方＞

①具体名詞を先行詞とする of+抽象名詞は、抽象名詞の派生に応じて i)主格修飾関係 ii)目的格修飾関係の2つがある。これらは、関係代名詞節に変換して考えてみれば分かりやすい。

②具体名詞を先行詞とする形容詞相当語句には、前置詞+(抽象)名詞の他、i)分詞 ii)不定詞 iii)形容詞句等がある。これらの場合も、関係代名詞節に相当するが、具体名詞と準動詞句との意味上の S'-V'関係に注意が必要である。

cf. (1) He had saved a young girl from *a life of poverty*.²⁵

: 具体名詞+of+形容・名詞(関係代名詞・主格修飾 : S'-C')

→a life **which is of poverty**(≒ poor)

(2) Will you have *a husband of your friends' choosing*?²⁶

: 具体名詞+of+他動・名詞(関係代名詞・目的格修飾 : O'-Vt')

→a husband **who[m] your friends chose**

(3) There's *a woman crying her eyes out over there*.

: 具体名詞+Ving...(現在分詞・具体名詞との意味関係は、『能動/継続』)

→a woman **who was crying her eyes out over there**

(4) *Most of the people invited to the party* didn't turn up.

: 具体名詞+p.p....(過去分詞・具体名詞との意味関係は、『受動/完了』)

→most of the people **who had been invited to the party**

(5) *The man to help you* is John.

: 具体名詞+to VX(主格修飾・具体名詞との意味関係は、S'-V')

→The man **who is to**(≒ can) help you

(6) There's *a lot of work to do*.

: 具体名詞+to V(O'なし)(目的格修飾・具体名詞との意味関係は、O'-Vt')

→a lot of work [which] we **are to**(≒ should) do

(7) Gossiping is *an activity typical of old spinsters*.

: 具体名詞+AP(形容詞は2語以上になると、原則として名詞より後に置かれる)

Question A 同じ用法の of を 1 つ選べ。

(1) Usually that which a man calls fate is a web of his own weaving, from threads of his own spinning.

- (a) the problem of great importance
- (b) the habits of your own choice
- (c) the device of adding a picture
- (d) survival of the fittest

(同志社・一次(改) 1963年)

Question B 各文をわかりやすく和訳せよ。

(2) The **increased** *economic productivity* of the nation led to a **corresponding** *rise* in the standard of living.

(早稲田・商 1979年)

(3) A few minutes' inspection of *flint implements* **used by primitive barbarians** will teach more than *pages of description*.

(名古屋 1949年)

(4) Inadequate weather-stripping let in *enough wind* **to cause** some movement of pictures.

(立教・経済-経済 1985年)

(5) If children are to learn to discriminate in their reading, they must have around them as *great a variety of books* as possible **from which to choose**.

(京都・二次 1977年)

cf. *A normal child* acquires this knowledge without **specific training**.

(青山学院・国際政経 1982年)

25. 具体名詞+of+形容・名詞→具体名詞+wh.・be C にほぼ等しい。(主格関係代名詞相当)

26. 具体名詞+of+他動・名詞→具体名詞+wh.・S'+Vt' にほぼ等しい。(目的格関係代名詞相当)

Practice

<<A>>

(1) One important aspect of chemistry is the identification of substances. *The identification of minerals* was and still is **of great importance** to prospectors.

(東京・二次－後期[総合科目 I] 2004年)

参考 was and still is のように、時制が対比的に示されている場合、時制を副詞的に訳出するとよい。ここでは、「昔もそして今も」といった具合である。

(2) The use of *aircraft to drop bombs* began in 1914 and, by the end of the war in 1918, about 1,400 people had been killed by *bombs dropped from the air*.

(早稲田・文 2007年)

参考 (Det.) 具体名詞+to VX(不定詞・主格修飾)の場合、その示す内容が事実であれば、助動詞の意味を訳出する必要はない。また、具体名詞を修飾する分詞の場合、「～している/しかかっている/され[て]いる具体名詞」とすることも可能だが、「具体名詞が～している/しかかっている/され[て]いること」と訳出することも可能である。

(3) The use of words itself yields, upon analysis, *valuable results illustrative of the various temperaments of authors*.

(東京 1951年)

参考 具体名詞を修飾する形容詞の場合、「～な具体名詞」とすることも可能だが、「具体名詞(S)が～である(C)こと」と訳出することも可能である。

Words & Phrases

(1) aspect (n. 局面、様相) chemistry (n. 化学) identification (n. 同定、正体を明らかにすること cf. making clear) substance (n. 物質) mineral (n. 鉱物) still (adv. それでも) prospector (n. 試掘者、炭鉱者)

(2) aircraft (n. 航空機) bomb (n. 爆弾)

(3) yield (vt. ①～に屈服する(= surrender, give in to) ②～を生み出す(= produce)) analysis (n. 分析) valuable (adj. 価値のある) result (n. 成果、結果) illustrative of NP (～を分かりやすく示す) various (adj. 様々な) temperament (n. 気質、気性) author (n. 著者)

【考え方】

(1) ▶1. **the identification of substances** : (Det.) 他動・名詞+of+具体名詞の構造であるから、ofは『目的格関係』を示す。the identification(Vt') of substances(O')と考える。

▶2. **The identification of minerals** : これも上記同様。The identification(Vt') of minerals(O')と考える。

▶3. **of great importance** : 一般に greatly important と変換されるが、意味は等価ではない。of importance は、抽象名詞化されているため、話し手の内省を伴う『主観的』な意味となる。

cf. In short *this machine of great convenience is a weapon of great danger.*

(早稲田・理工 1964年)

(2) ▶4. **The use of aircraft to drop bombs** : まず、The use(Vt') of aircraft(O')を見抜くのは容易。ここでは、aircraft(S') to drop(Vt') bombs(O')が、具体名詞+to VX、つまり、形容詞用法不定詞・主格修飾で、aircraft that dropped bombs と置換えて考える。

cf. I know of *nothing* better **to stimulate one's appetite** than this stupid sort of prohibition.

(関西・経済 1981年)

▶5. **bombs dropped from the air** : 具体名詞+p.p. ...は、分詞の後置修飾。bombs which had been dropped from the air と関係詞節に置換えて考える。

(3) ▶6. **The use of words itself yields, ..., valuable results** : いわゆる無生物主語構文。まず、The use(Vt') of words(O') itself(M)をとらえ、ここまです副詞的(M')に訳出する。yields, ..., valuable results は、SVtO型の無生物主語であるから、全体は「SによってOがVtされる」を基盤に訳出を調整する。

▶7. **upon analysis** : (up)on+抽象名詞(動作動詞派生)における、(up)onは、『時の接触→同時動作』を表し、as soon as SVX とほぼ同値。「SVXするとすぐに」なお、analysisは、他動・名詞であるのに、意味上の目的語(O')が後にない。こういう場合は、文主語がOを兼ねているものと考えるのが原則である。

cf. **On the appearance** of anything new and important, the majority of people ask, "Of what use is it?"

(慶應義塾・経済一二次 1961年)

▶8. **valuable results illustrative of the various temperaments of authors** : illustrative of the various temperaments of authors は、形容詞の後置修飾。前出の valuable results にかかる。

cf. a. a **concerned** expression

b. the people **concerned**

(Swan, 1995; §405)

この例-b.では、形容詞が1語単独なのにも関わらず、後置修飾となっている。なぜだろうか。その理由は、前置修飾の形容詞が、名詞の持つ『恒久的・永続的』性質を示すのに対し、1語でも後に置かれる後置修飾の形容詞は、名詞の持つ『一時的』状態を示すという点に求められる。

<>

(4) ①Lasting, world-wide peace has long been mankind's most cherished hope for the future. ②For hundreds of years, men of good will have preached the desirability and possibility of doing away with war. ③Recently, the emphasis has changed. ④Now that mankind has new and terrible weapons, guaranteed permanent peace has ceased to become a luxury and has become a necessity.

(慶應義塾・法 1966年)

参考 the+初出の名詞を目にしたら、話題名詞絡みの省略を想定する。

(5) ①When the male acquires a true understanding of the importance of the mother in the life of the child, especially during its first years, ②he will realize that he has a principal function as a husband and father to enable his wife to perform her maternal role as happily as possible.

(金澤・二次 1966年)

参考 as については、p.49 で(1)接続詞(副詞節形成)について例を挙げておいたが、ここでは、(3)副詞として「同じくらい」(4)前置詞として「～として[の]」の例を追加しておこう。

a) His money enabled us to travel **as** much as we wanted. (福岡・2/11 実施 2005年)

b) We like to think of love **as** arising from romantic sources. (明治学院・経済-経済、社会-社会福祉 2002年)

Words & Phrases

(4) lasting (adj. 永続の) world-wide (adj. 世界中に広まった) cherish (vt. ～を大切にする) will (n. 意志) preach (vt. ～に説き勧める、衝動する) desirability (n. 望ましさ) do away with NP (～を廃止する、～をなくす cf. abolish) emphasis (n. 重点、強調、重要視) now that SVX (今やSVXなので) terrible (adj. ひどい) guarantee (vt. ～を保証する) permanent (adj. 永久の) cease to V (to V しなくなる) luxury (n. 贅沢) necessity (n. 必要性)

(5) male (n. 男性) especially (adv. とりわけ) realize that SVX (SVXがよくわかる) principal (adj. 主要な cf. chief) function (n. 機能、作用、役割) maternal (adj. 母の(⇔paternal)、母親らしい cf. motherly) role (n. 役割)

【考え方】

(4) ▶9. **men of good will have preached NP** : of good will の of は、(Det.) 具体名詞+of+抽象名詞で、ここでは『主格修飾関係』を表す。

cf. *Anything of value* in life takes a socially responsible attitude.

(関西・社会 1989年)

▶10. **the desirability and possibility of doing away with war** : この of は、一見、(Det.) 抽象名詞+of+抽象名詞に見えるため、『同格修飾関係』を表すものと考えがちだが、『主格関係』を表す of と考えた方が、訳出しやすい。したがって、the desirability(C₁') and possibility(C₂') of doing away with war(S') を訳出する。

▶11. **the emphasis has changed** : この抽象名詞(他動詞派生 : Vt') emphasis は、意味上の目的語(O')となるはずの、on+具体名詞/所有格が明示されていないため、**受身代用**である。

cf. *Shrimp* hardly get a mention.

(岡山・二次-前期 2004年)

(5) ▶12. **acquires a true understanding of the importance ...** : まず、acquire は形式他動詞で、訳出はせずともよい。続く of は『目的格関係』を表し、a true(M') understanding(Vt') of <the importance of the mother in the life of the child>(O') と考える。

▶13. **the importance of the mother in the life of the child** : この of は、『主格関係』を表す。the importance(C') of the mother(S') in the life of the child(M') と考える。

▶14. **a principal function ... to enable his wife to perform her maternal role** : (Det.) 具体名詞+to VX で、不定詞は形容詞用法・主格修飾であることまでは、誰にでもわかる。が、ここでの訳出の難しさは、この不定詞が、そもそも無生物主語構文からの名詞化であるという点に求められる。したがって、直訳は通用せず、a principal function(S→M') ... to enable(Vt→aux. v) his wife(O→S') to perform(C→Vt') her maternal role(O') を訳出する。²⁷なお、a principal function の M' としての訳出だが、後出の to V(近未来→推量表現)をヒントに、if SVX 代用と考えてよい。

27. 具体名詞(=無生物)+to V+O+X/具体名詞(=無生物)+Ving+O+X/具体名詞(=無生物)+which[or that]+V+O+X の構文は、無生物主語構文からの名詞化であるため、直訳すると意味不明の訳文となってしまうことが多い。したがって、訳出にはそれなりの工夫が必要となる。とりあえず、Ving に限って例を追加しよう。

cf. The attempt to appeal to the basic desires of members of the opposite sex is *the most important factor determining* what a person wears.

(上智・法-法律、文 1988年)

<<C>>

(6) ①Man is the supreme object of their study and care; ②there is nothing higher than him, nor is there anything in the world of nature more worthy of their devotion and service. ③They are thus opposed to the political principle which treats the individual as a mere tool of the state, or to an industrial system which regards him as a mere part in a gigantic wealth-producing machine.

(青山学院・文一英米文、他 1969年)

Words & Phrases

(6) supreme (adj. 至高の) object (n. 対象、目的) care (n. 心配、注意、世話) worthy of NP (～にふさわしい)
devotion (n. 献身) service (n. 奉仕) be opposed to NP (～に反対する) political (adj. 政治的な) principle (n. 原理)
treat O as C (OをCとしてあつかう) individual (n. 個人、個体) state (n. 国家) regard O as C (OをCとみなす)
gigantic(adj. 巨大な) wealth (n. 富)

【考え方】

(6) ▶15. **the supreme object of their study and care** : (Det.) 具体名詞+of+抽象名詞(他動詞派生)の構造であるから、of は『目的格修飾関係』を表し、目的格の関係代名詞節に変換して考えると分かりやすい。ここでは、the supreme object(O') of their(S') study and care(Vt')、すなわち、the supreme object that they study and care と考える。例を追加しよう。

cf. Understanding the world around us usually seems simple and effortless. But in fact our conception of the world is in large part *a matter of our own creation*.

(埼玉・二次-前期(教養) 2007年)

▶16. **nor is there anything in the world of nature more worthy of their devotion and service** : more worthy of their devotion and service は、形容詞句の後置修飾で、先行詞は anything である。

cf. The fact that the Japanese of the lower classes show superior qualities is *a matter difficult of interpretation to the average accidental*.

(長崎高等商業学校 1911年)

▶17. **the political principle which treats the individual as a mere tool of the state** : (Det.) 具体名詞+which+V+O as C で、『主格関係代名詞』の形成する形容詞節。「O を C とみなす具体名詞」を基盤に訳出する。

▶18. **an industrial system which regards him as a mere part in a gigantic wealth-producing machine** : これも上記同様。やはり、「O を C とみなす具体名詞」を基盤に訳出する。

主格関係代名詞節の例を1つ追加しよう。

cf. There are *some people who* never have the grace to answer *any letter that* does not bring them some personal advantage.

(陸軍士官学校 1918年)

ここで知っておきたいことが1つある。それは、**there be 具体名詞+関係詞節(AP, to V(X), Ving, p.p., 前置詞+抽象名詞)**における、there は、『視線誘導詞』として、be 動詞は時制のマーカ―として、それぞれ機能するため、訳出は不要、ということである。こういう場合は、具体名詞を S'(O')として、関係詞は無視し、後に続く動詞を V'として、それぞれ訳出する。

cf. Democracy has another merit. It allows criticism, and if there is not public criticism, *there are sure to be scandals are hidden*.

(愛知県立・二次-A 日程(外国語) 1991年)

NB 具体名詞(=無生物)+which[or that]+Vt+O+X の例をさらに追加しよう。

cf. The survey fits in with Government forecasts of *a shortage of school leavers* over the next decade **which** is likely to lead firms into finding a bigger role for women.

(大阪外語・二次-A 日程 1991年)

<考え方>

①抽象名詞を先行詞とする of+抽象名詞は、先行詞である抽象名詞の意味特性に応じて、i)同格断定節相当(that SVX) ii)同格疑念節相当(whether SVX) iii)関係副詞節相当(when/where/that(= in which) SVX) iv)前置詞+関係代名詞節相当の4つに分類される。この中で、特にiii), iv)の訳出には注意を要する。

②抽象名詞を先行詞とする to 不定詞は、先行詞である抽象名詞の意味特性に応じて、i)助動詞相当(M') ii)副詞相当(M') iii)動詞相当(V')の3つに分類される。これらは、抽象名詞の派生に応じて識別する。

cf. (1) Is there *any chance of his changing his mind*?

: 抽象名詞+of+抽象名詞(同格修飾・断定名詞節相当)

→any chance **that** he *will/can/may* change his mind

(2) There remains *the question of his agreement to it or not*.

: 抽象名詞+of+抽象名詞(同格修飾・疑念名詞節相当)

→the question **whether** he *will* agree to it or not

(3) *Another way of making new friends* is to go to an evening class.²⁸

: 抽象名詞+of+抽象名詞(同格修飾・前置詞+関係代名詞節相当)

→another way **in which** you *can* make new friends

(4) I was amazed at *the extent of his knowledge of the giant panda*.²⁹

: 抽象名詞+of+抽象名詞(同格修飾・前置詞+関係代名詞節相当)

→the extent **to which** he knows the giant panda

(5) She has *the power to charm* any man she meets.

: 抽象名詞(形容詞派生)+to VX(同格修飾 : aux. v'-V')

→ She **can** charm any man she meets.

28, 29. 同格修飾 of の先行詞となる抽象名詞が、『方法・様態(cf. way, method, manner, art, etc.)』や、『過程・程度(cf. process, habit, custom, practice; degree, exten, etct)』を表す場合、of は前置詞+which SVX にほぼ等しい。こういう場合、前の抽象名詞を M' として、後の抽象名詞を V' として、前から後に訳出する(どのようにしていかなる過程を経て/習慣的に/どの程度まで SVX かということ)と訳がまとまることが多い。ただし、先行詞の抽象名詞を M' として訳出する際の目安となるのは、実は先行詞の意味的特性ではなく、of に続く抽象名詞[or Ving]が、動作動詞派生の場合で、かつ、of 以下の情報量が重くなる場合である。

(6) The police have *a duty to protect the public*.

: 抽象名詞(形容詞派生)+to VX(同格修飾 : M'-V')

(7) *His refusal to pay the fine* got him into even more trouble.³⁰

: 抽象名詞(動詞派生)+to VX(同格修飾 : he refused to pay the fine の抽象名詞化と考える)

Question A 同じ用法の **of** を 1 つ 選べ。

(1) Parents seldom assume the responsibility of passing on the religious tradition to their children.

- (a) our admiration of Nature
- (b) the long struggle of man to understand history
- (c) the art of fitting new evidence into old explanation

(京都・二次 1980年(改))

Question B 各文をわかりやすく和訳せよ。

(2) *The practice of asking* others what they think is especially risky at work, where talk is not only *a way to get work done* but also, and always, a means of evaluation.

(神戸・二次-前期 1997年)

(3) There is plenty of *evidence to suggest* that *the will to create* a national sport grew from *a desire* on the part of Americans **to free** their games from foreign models.

(早稲田・国際教養 2004年)

(4) What I do know is that there is *an increasing tendency to accept and take for granted such personal dishonesty*.

(大阪女子・二次-前期 1995年)

(5) History is *the long struggle* of man, by the exercise of his reason, **to understand** his environment and **to act** upon it.

(京都・二次 1981年、一橋・二次 1986年、大阪・二次-前期 1996年、他)

30. 抽象名詞の派生云々といっても、要は、抽象名詞+to VXは、「to VXしようとする/しようとならない(refusal, decline, unwillingness 等)」を基盤に訳出を考えればよい。

Practice

<<A>>

(1) As we have indicated previously, the true function of a child's education should be *the process of helping* him to discover his uniqueness.

(東洋・経営 2003年)

参考 help+O+(to) Vにおいては、toの有無により、それぞれ i)toあり→間接的援助 ii)toなし→直接的援助という違いがあるとする説もある。(Wood, 1962: 107, Quirk et al., 1972: 841, Dixon, 1991: 199)

(2) Central to this approach is *the willingness* of the scientist **to abandon** a theory if evidence is produced against it.

(筑波・二次一前期[A日程] 1991年)

参考 文頭の Adj.(形容詞)の後に名詞が続かず、Adj. ... と文が始まる場合、Adj. ...+S なら、分詞構文、Adj. ...+be 動詞なら、C+Vi+S の『移動構文』と判断する。

(3) The most dangerous intellectual aspect of the contemporary scene is *the widespread refusal* of thinking men **to distinguish** between authority and power.

(横浜市立・二次一商 1971年)

参考 the contemporary scene を、「現代における場面」などと訳すと、いかにもくどい。私なら、「現代」とあっさり仕上げる。

Words & Phrases

(1) as we have indicated previously (以前示しておいたように) function (n. 機能、目的) process (n. 過程) help O to V (O が to V しやすくなる) uniqueness (n. 独自性)

(2) central (adj. 中心の、中核的な、重要な) approach (n. 研究法、接近法) willingness (n. 進んで~すること、意欲) abandon (vt. ~を捨てる、断念する) theory (n. 理論) evidence (n. 証拠)

(3) intellectual (n. 知的な) aspect (n. 局面、様相) contemporary (adj. 現代の) scene (n. 現場、場面、光景) widespread (adj. 広範囲に及ぶ、広く受け入れられた) refusal (n. 拒絶) thinking (adj. 思考力のある、理性ある、分別のある) distinguish between A and B (A と B を区別する) authority (n. 権威) power (n. 権力)

【考え方】

(1) ▶1. **the true function of a child's education** : (Det.) 自動・名詞+of+具体名詞の構造なので、ofは『主格関係』と判断する。したがって、the true(M') function(Vi') of a child's education(S')を訳出する。

▶2. **the process of helping him to discover his uniqueness** : (Det.) 抽象名詞+of+抽象名詞の構造なので、ofは『同格修飾』と判断するまでは、誰でもわかる。先行詞 processは『様態・過程』を表すため、これを副詞的(M')に訳出するのがよい。したがって、the process(M') of helping(M'(=can)) him(S') to discover(Vt') his uniqueness(O')と考える。「いかなる過程を経ればS'がO'をVt'出来るのか」

cf. *The habit of reading poetry should be acquired when people are young.*

(跡見学園 1971年)

(2) ▶3. **Central to this approach is NP** : AP+be+NPの構造より、全体は、C+Vi+Sの移動構文である。

▶4. **the willingness of the scientist to abandon a theory** : (Det.) 抽象名詞+of+具体名詞+to VXの構造は、不定詞の形成する『同格修飾』である。この場合、具体名詞をS'として、抽象名詞はM'として、to VXをV'として、それぞれ訳出する。「S'がV'しようとする事」を基盤に訳出を調整する。

(3) ▶5. **the widespread refusal of NP to distinguish between authority and power** : 上記同様、(Det.) 抽象名詞+of+具体名詞+to VXの構造で、『同格修飾』の不定詞。このof+具体名詞を1語変換すると、所有格となり、抽象名詞に前置される。

cf. *Man's ability to walk upright and use his hands, and his natural capacity to see into the distance instead of looking at the ground, became weapons of survival.*

(長崎・二次-前期 1994年)

NB asの識別(1)-接続詞の場合(副詞節：同時進行・時・理由・譲歩)→as節内のVに着目する。

(1) **V=動作動詞の場合**(変化・変遷・移行・増減の意味の有無に着目) : a. 『同時進行』 b. 『時』

a. I cannot describe his looks because I caught only a momentary glance of him **as he flashed** by.

(東京・二次 1981年)

b. **As** the infant *grows* into a child, the richness of detail increases and with this the bond between father and mother can become even deeper.

(関西・文 1982年)

(2) **V=状態動詞[or 断定表現]の場合**(X as SVだからといって、『譲歩』とは限らない) : a. 『理由』 b. 『譲歩』

a. **As** those things *are* easy to break, you had better leave them as they were.

(立命館・経済 1982年)

b. In learning to read well, scholarship, *valuable as it is*, is less important than instinct.

(奈良県立医科・二次 1971年)

<>

- (4) ①During their early days of exploration there were neither laboratory nor museum collections to assist them in the identification of the plants and animals they found. ②They had comparatively few books at their disposal, and of those, since they were of Old world origin, almost none were of direct use to an American naturalist. ③No matter what field of natural history they investigated, they were pioneering.

(京都・二次 1970年)

参考 一般に、of+形容詞派生抽象名詞は、形容詞に変換できるとされる。しかし、意味は等価ではない。たとえば、of importance は、形容詞 importance を抽象名詞化するにあたり、話し手の内省を伴う主観的な意味が含まれる。

- (5) ①As far as a particular society is concerned, ②its advancement is the result of its members' contact with the tools, techniques and ideas of other groups, their readiness to recognize advantages in ways and forms not their own, and their opportunity to accept these ways and forms, should they wish to do so.

(津田塾・学芸－英文、国際関係 1971年)

Words & Phrases

(4) exploration (n. 探検、調査) laboratory (n. 実験室、研究室) assist (vt. ～の手助けとなる、～の手がかりとなる cf. help) identification (n. 同一視、同一化) comparatively (adv. 比較的) at one's disposal (～の自由になる) Old world (旧世界(ヨーロッパのこと) cf. New world) origin (n. 起源) of use (役に立つ cf. useful) direct (adj. 直接の) naturalist (n. 自然科学者) field (n. 分野) investigate (vt. ～を調査する) pioneering (adj. 先駆的な cf. innovative)

(5) as far as S is concerned (conj. Sに関する限り[時以外の制限・範囲] cf. as long as SVX[時の制限・範囲]) particular (adj. 特定の) advancement (n. 前進、進歩 cf. progress) result (n. 結果) contact (n. 接触、連絡) tool (n. 道具) technique (n. 技術) readiness (n. 用意、準備、快諾) recognize (vt. ～を認める) advantage (n. 有利な点) opportunity (n. 機会 cf. chance, occasion)

【考え方】

(4) ▶7. **During their early days of exploration** : (Det.) 抽象名詞+of+抽象名詞の構造で、先行詞が『時・場所』を表す場合、of は『関係副詞』節の代用となる。したがって、(Det.) 抽象名詞 of→M'として、(of以下の)抽象名詞→V'として訳出する。例を追加しよう。

cf. Our faith sees the wedding day not as *the place of* arrival but as the place where the adventure really begins.

(立教・法 1982年)

▶8. **neither laboratory nor museum collections to assist them** : (Det.) 具体名詞+to VXの構造なので、このto不定詞は『主格修飾』。ただし、具体名詞(=無生物)+to Vt+Oで、無生物主語構文からの名詞化であることから、訳出にはひと工夫が必要となる。「自分たちの手掛かりとなる研究室(の資料)や博物館の標本」

▶9. **in the identification of the plants and animals they found** : in+抽象名詞の構造であるから、when SVXの同値表現。さらに、ofは『目的格関係』を示し、in the identification(Vt') of the plants and animals they found(O)を訳出に反映する。蛇足だが、the plants and animals they foundは、NP₁+NP₂+V(Oなし)の構造で、関係代名詞・目的格の省略。「自分の見つけた動植物」

▶10. **almost none were of direct use** : (Det.) 具体名詞+be+of+抽象名詞(形容詞派生)を確認のこと。

(5) ▶11. **its advancement is the result of its members' contact with the tools, techniques and ideas of other groups** : 2つの所有格は、抽象名詞の意味上の主語(S')として機能する。its(S') advancement(Vi) is the result of its members'(S') contact(Vt') with the tools, techniques and ideas of other groups(O') を見抜き、これを訳出に反映する。

▶12. **their readiness to recognize advantages in ways and forms not their own** : POSS+抽象名詞+toVXのPOSS(=所有格)は、抽象名詞の意味上の主語(S')として機能する。したがって、their(S') readiness to(M') recognize(Vt') <advantages in ways and forms(M') [not their own]>(O')を訳出する。

▶13. **their opportunity to accept these ways and forms** : 上記同様、POSS+抽象名詞+toVXの構造だが、opportunityは、対応する動詞形・形容詞形を持っていないため、このtoVXは、『断定名詞節』のthat SVXに相当するもの。したがって、their opportunity that they **are to** accept these ways and formsに置き換えて考える。

▶14. **should they wish to do so** : ifの省略による倒置構造。if they should wish to do soに戻せるのが実力。なお、if S should VXのshouldは、不都合が生じないと話し手が考える『万一の可能性』を示す。

<<C>>

(6) ①The ability of an individual to profit by experience is a consequence of the joint action of memory and his higher powers of mental association. ②We commonly assume this power to be very great and, in comparison with its development in any other animal, it undoubtedly is. ③On the other hand, if we observe people at low levels of culture, or ignorant and uninformed people in our own culture, we realize that even the capacity to profit by experience is developed to only a rudimentary degree in man.

(神戸商科・二次 1956年)

【参考設問】下線部と同じ用法の by を用いたものはどれか。

- ① The telephone is by the window.
- ② Mary was frightened by the noise.
- ③ Jane passed the exam by studying hard.
- ④ By this time next week we'll be in Kobe.

(神戸学院 2010年)

Words & Phrases

(6) profit (vi. 利益をあげる) consequence (n. 結果、成り行き cf. result 重要性 cf. importance) joint (adj. 共同の) association (n. 連合、交際) commonly (adv. 普通) assume (vt. ～を想定する、～を帯びる cf. take on) in comparison with NP (～と比べて) undoubtedly (adv. 疑いなく) culture (n. 文化) capacity (n. 能力、受容力) rudimentary (adj. 初歩的な、基本的な)

【考え方】

(6) ▶15. **The ability of an individual to profit by experience** : (Det.) 抽象名詞+of+具体名詞 to VX の構造では、of 具体名詞は**抽象名詞の意味上の主語(S')**として機能する。したがって、The ability(M': can) of an individual(S') to profit(Vi') by experience(M')と考える。「S'が to VX しようとする事」また、この profit は直訳しても意味不明。こういう場合は、辞書の意味を参考にしつつ、**話題の中心に即して訳語を考えてみる**。ここでのヒントは、ignorant, uninformed などとの対比である。

▶16. **its development in any other animal** : これは、**所有格+自動・名詞の構造**であるから、its(S') development(Vi') in any other animal(M')を見抜き、これを訳出に反映する。

▶17. **even the capacity to profit by experience** : (Det.) 抽象名詞+of+具体名詞 to VX の構造で、不定詞はやはり『同格修飾』である。even(M') the capacity(M': can) to profit(Vi') by experience(M')を訳出する。

▶18. **to only a rudimentary degree in man** : to+抽象名詞の to は、『程度・結果』を表す。「～なくらい／結果として～」どちらの意味になるかは、文脈から判断するしかない。

cf. The idealism which freed men from most of their ancient fetters awakened women **to a realization** of their unequal position in society.

(関西学院・商 1963年)

NB as の識別(2)―接続詞の場合(様態・名詞限定)

(3) 主文の V と as 節内の V が同内容、または省略・代用表現を伴う場合 : 『様態』

cf. **As** the seasons return, *so do* the flowers.

(関西学院・文 1984年)

cf. **As** anyone who has tried it knows, unabated leisure and relaxation soon become boring.

(関西学院・法 1981年)

なお、主文の内容全体を先行詞とする as (S)V(X)は、節内が主文との「整合性」を示す場合に限って用いられることに注意したい。たとえば、She has married again, as was expected.(彼女は予想通り再婚した)とは言えるが、*She has married again, as was unexpected.とは言えず、この場合 as ではなく which が用いられる。

(4) **NP as SVX** の形で(V=know, understand の場合が圧倒的に多い) : 『名詞限定』

cf. “Culture,” **as** we understand it here, is synonymous with the “ways of a people.”

(九州・二次 1971年)

＜考え方＞

①関係詞節は、前出の具体名詞を修飾する形容詞節を形成する場合、i)関係代名詞・『主格修飾』→「VX する/である先行詞」 ii)関係代名詞・『目的格修飾』→「SV する先行詞」 iii)関係副詞→「SVX する時・場所・理由・方法」などを基盤に訳出を考える。また、やや特殊な例として、多重限定・並列限定の構造をとることがある。

②前置詞+関係代名詞には、先行詞が、i)具体的な「ヒト・モノ」を表す場合(関係代名詞の前置詞随伴構造)³¹ ii)「時・場所・理由・方法」を表す場合(関係副詞代用)では、訳出に際し、前置詞を無視しても差し支えないが、先行詞が抽象名詞で、iii)「程度・結果・様態」を表す場合(関係代名詞の前置詞随伴構造)には、訳出に工夫が必要となる。特に、iii)のパタンの1つである、<the 抽象名詞 with which SVX>の構造はhow+ly+SVXに相当するものとする。

cf. (1) He is *the only friend* **(that)** I have who really understands me.

: 多重限定(who の先行詞は、the only friend (that) I have 全体である)

(2) He is *the only friend* **(that)** I have and who really understands me.

: 並列限定(that と who はどちらも friend にかかる)

(3) That's the man **(that)** I wish I'd married.

: (Det.) NP that[or wh.-] S[⊙]+SV/VX.(関係詞連鎖・S の V によれば SV/VX な NP)

NB この \emptyset は、think, believe, suppose, know; say, expect; seem, be certain など、『認識・伝達・推量』の意味を持つ動詞である。

(4) *the speed at which* far-flung galaxies move³²

: the speed at which SVX(どれほどの速度で SVX か)

(5) *the degree to which* students are free to select the research topic

: the degree [extent] to which SVX(どれほど SVX かということ)

31. 先行詞が具体名詞の場合、前置詞+関係代名詞の前置詞は、特に訳出しなくとも、全体の意味が通ればそれでよい。なお、訳出に不都合を感じる場合は、一旦、先行詞を関係詞に代入して副詞句を作り、もとの文の主要素にかかるように訳出することを考えてみればよい。たとえば、This is *the house in which* I lived in my early days.では、「これが私が住んでいた家です」「この家に私は住んでいた」「こちらがその家で、そこに私は住んでいた」などとなる。つまり、In this house I lived in my early days.と直感的に捉えられるのが実力なのである。

(6) *the ease with which* the information could be retrieved

: the ease with which SVX(how easily SVX: いとも簡単に SVX すること)

Question A 各文をわかりやすく和訳せよ。

(1) Great things are done by *those alone who* pour their whole souls into what they are doing at the moment, **and who** allow nothing to interrupt or divert them.

(東京外国語学校 1911年)

(2) Our expectations are often deceived. *Things which* we feared **might do** us hurt turn out to be our advantage, and **what** we thought **would save** us proves our ruin.

(大阪府立・二次一全学共通 1962年)

Question B 各文をわかりやすく和訳せよ。

(3) *The war by which* the conquest is made, and then the establishments necessary to maintain the conquest, call for a new system of government and finance.

(東京商船学校・体格試験合格者選抜(1月施行) 1907年)

(4) *The rapid pace at which* the world has progressed in all branches of applied learning this past century has given rise to a disturbing paradox.

(上智・外国語一英語 1965年)

(5) There have always been people who have disliked the digital revolution and have been skeptical about *the degree to which* computer technology rules our lives.

(青山学院・国際政経 2007年)

(6) *The rapidity with which* the computer revolution has come upon us emphasizes the astounding acceleration of change.

(同志社・神、文 1974年)

32. (4-6)の諸例で、基盤訳の中にも示しておいたように、先行詞が、

(i) 『速度・割合』(the speed, rate, pace at which SVX) (ii) 『程度』(the extent, degree to which[or that] SVX)

(iii) 『(広い意味での)様態』(the ease, difficulty, skill, fluency, courage, vividness, boldness, accuracy, rapidity, swiftness, promptness, slowness, tenacity, zeal, eagerness, passion, enthusiasm)等である場合、「どれほど、実に」等、『程度副詞』の意味を添えて訳出する方が、訳にまとまりが出やすい。

Practice

<<A>>

(1) Human beings must have a sense of achievement, of *being able to do or be* something **for which** they are respected and loved.

(神戸市外語・二次 1987年)

参考 一般に、カンマがなければ、関係詞節は『制限用法』とされるが、実はそうではない。カンマの有無にかかわらず、先行詞が不特定要素で、他の類項との対比・区別が意識されていないのであれば、非制限用法と解してよい。

(2) An instrument is efficient to *the extent to which* the using of it enables the purpose, for which the instrument was designed, to be achieved.

(横浜市立・二次 1975年)

参考 接続詞や関係詞以下に動詞要素が続くことは誰でも知っているが、接続詞や関係詞に続く V=動作動詞の場合、意味・情報の重点が後ろに shift されるため、前から後に訳し下げることが可能である。

(3) Be careful not to let *the ease with which* you talk and understand other people prevent you from perfecting your use of the language.

(慶應義塾・経済一二次 1969年)

Words & Phrases

- (1) sense (n. 感覚) achievement (n. 達成、業績) respect (vt. ～を尊敬する、尊重する)
- (2) instrument (n. 手段、器具) efficient (adj. 効率がよい) the extent to which SVX (SVX の程度) enable O to V (O が to V できる) purpose (n. 目的) design (vt. ～をあつらえる) achieve (vt. ～を達成する)
- (3) let O V (O に自由に V させる) the ease with which SVX (いとも簡単に SVX) S prevent O from Ving (S によって O が Ving しない/できない) perfect (vt. ～を完璧にする)

【考え方】

(1) ▶1. **Human beings must have a sense of achievement** : 法助動詞(auxiliary verb)の意味は、後続する原形動詞の意志の有無で決まる。must+無意志動詞[or be Ving, have p.p.]の場合、mustは『確信推量』の意味を示し、「～にちがいない」とする。なお、must+有意志動詞なら、『義務・命令』を表す。

cf. We **must put** ourselves on guard against the delusion of trying to bring about these conditions for the sake of the improvement of our culture.

(関西学院・商 1986年)

▶2. **of being able to do or be something for which SVX** : この部分は、前出 of achievement の言換え・詳述部分。「SVX なことが出来たり、なれたりする」

▶3. **something for which they are respected and loved** : 前置詞+wh.-の先行詞=具体名詞の場合、前置詞は、特に訳出せずともよい。ちなみにこの for は『交換・相当・通用』を示す。

(2) ▶4. **the extent to which SVX** : to は『程度・結果』を表す。「SVX なくらい」または「その結果 SVX」を基盤に訳出を整える。

▶5. **the using of it enables the purpose, ..., to be achieved** : 使役型動詞 enable の形成する無生物主語構文。まず、④=the using(Vt') of it(O')を副詞的に訳出する。次に、enables(=can) the purpose(S'), ..., to be achieved(Vi')と考える。

▶6. **the purpose, for which the instrument was designed** : 非制限用法・文中であるから、とりあえず「～て・～で・～して」と軽くとらえ、全体とのバランスを考え、後から調整すればよい。なお、for は『一般的な用途・目的』を示す。

(3) ▶7. **Be careful not to VX** : 副詞用法の不定詞が、not to VX の形で「～しないように」と、『否定目的』を示すことが出来るのは、この言い方のほか、類似の take care not to VX だけである。

▶8. **let O ... prevent you from perfecting your use of the language** : let が見えれば、O+原形 V が続くことを予測するのは、基本である。原形 V=prevent であるから、「Oによって V しない・できない」を基盤に考えてみる。あとは、prevent(×) you(S') from(M' : not) perfecting(M') your(S') use(Vt') of the language(O')を、どう訳出するかがこの文の難しさ。「...だからといって、そのことでは S'が M'に O を Vt'することができなくなる」

▶9. **the ease with which you talk and understand other people** : the ease with which SVX は、実例表現ならば、how easily SVX に相当する認識表現で、「いとも簡単に/何の苦もなく SVX」と訳出する。

<>

(4) ①There is no creature with which man has surrounded himself that seems so much like a product of civilization, so much like the result of development on special lines and in special fields, as the honey-bee. ②Indeed, a colony of bees, with their neatness and love of order, their division of labor, their public-spiritedness, their thrift, and their complex economies, seems as far removed from a condition of rude nature as does a walled city or a cathedral town.

(神戸・二次 1962年)

(5) ①I wish I could impress upon your minds the immense importance of improving your opportunities, and bitterness of the unavailing regret with which you will look back on the neglect of them; ②or convey to you some adequate idea of the price at which such opportunities would be purchased by some of us, for whom they are long since past and over.

(神戸・二次 1957年)

Words & Phrases

(4) creature (n. 生き物) surround (vt. ～を取り囲む) product (n. 産物) civilization (n. 文明) result (n. 結果) line (n. 列) colony (n. 植民地、集落) neatness (n. 整然) order (n. 秩序) division (n. 分業) public-spiritedness (n. 公共心) thrift (n. 質素、節訳) complex (adj. 複雑な) economy (n. 経済) remove A from B (BからAを切り離す) rude (adj. 無礼な、過酷な) cathedral (adj. 権威のある)

(5) impress A upon B (BにAの大切さをはっきりと分からせる) immense (adj. 莫大な) improve (vt. ～を改善する・改良する) opportunity (n. 機会) bitterness (n. 苦々しさ) unavailing (adj. 無駄な) regret (n. 後悔) look back on NP (～を顧みる) neglect (n. 無視) convey A to B (AをBに伝える) adequate (adj. 適切な) purchase (vt. ～を苦労して得る、獲得する cf. gain)

【考え方】

(4) ▶10. **There is no creature with which SVX that VX : NP+with which SVX+that+VX** は、関係詞節の形成する多重限定構造。「SVX な NP の中で that VX な NP」を基盤に訳出を調整する。

cf. **Nothing new that is really interesting** comes without collaboration.

(立命館・A・C・PS方式 2003年)

▶11. **with their neatness and love of order, their division of labor, their public-spiritedness, their thrift, and their complex economies** : with は『付帯事由』を示す。また、**所有格+抽象名詞+前置詞+具体名詞**の構造、ならびに、**抽象名詞の派生関係**に留意して、their(S') neatness(C') and love(Vt') of order(O'), their(S') division(Vt') of labor(O'), their(S') public(M')-spiritedness(C'), their(S') thrift(C'), and their(M') complex(C') economies(S')を訳出する。

▶12. **as does a walled city or a cathedral town** : as[than]に続く S+V の S=名詞句が『新情報』を表す場合で、述語動詞が短い場合、話し手の任意で語順転倒が生じることがある。

cf. One does not ask even a scientist what life is. The origin of life is as much beyond our fathoming **as is the nature of the universe.**

(東京教育・二次 1971年)

(5) ▶13. **I could impress upon B+長い(=重い)A** : 通常は impress A upon B の語順をとるものが、A の情報量が重くなり、文末重心の原理が作用し、impress upon B+A の移動構文となっていることを確認。

▶14. **the immense importance of improving your opportunities** : (Det.) **形容詞+形容+名詞+of+具体名詞**より、the immense(M') importance(C') of <improving your opportunities>(S')を訳出する。

▶15. **bitterness of the unavailing regret with which you will look back on the neglect of them** : bitterness(C') of <the unavailing regret [with which SVX]>(S')は容易。だが、(the unavailing regret with which→with the unavailing regret)(M') you(S') will look back on(Vt') <the neglect of them>(O')をうまく訳出できるか、が課題。

▶16. **convey to you some adequate idea of the price at which SVX** : 通常は convey A to B の語順を取るはずだが、A に修飾語がついて情報量が重くなったことによる、重名詞句転移(heavy NP shift: HNPS)。また、the price at which SVX は、「どれくらいの値段で SVX かということ」を基盤に訳出を考える。

▶17. **by some of us, for whom they are long since past and over** : for whom 以下は、they(S') are(Vi') (long since past and over)(M')と考える。

<<C>>

(6) ①The ease with which they adopt foreign customs while abandoning their own, irrespective of whether what is abandoned is worth preserving, gives the impression that they are terribly naive and careless about their destiny. ②The rapidity with which they can give up what was recently adopted suggests their coolness in dealing with foreign cultures – ③a coolness that seems to hide beneath the exterior of change the constancy of their own culture.

(金澤・二次一前期 1995年)

Words & Phrases

(6) adopt (vt. ～を取り入れる、採用する) custom (n. 慣習) abandon (vt. ～を放棄する、断念する) irrespective of NP (～に関係なく) be worth Ving (Vingする価値がある) preserve (vt. ～を保存する) impression that SVX (SVXという印象) terribly (adv. ひどく) naive (adj. 単純な、無邪気な、素人の) destiny (n. 運命) rapidity (n. 速さ) suggest (vt. ～をほのめかす cf. imply) coolness (n. 冷静さ) deal with NP (～に対処する、～を扱う) hide (vi. 隠れる) beneath NP (prep. ～より下の、～より劣って、～に値しない) exterior (n. 外の ⇔ interior) constancy (n. 普遍、安定)

【考え方】

(6) ▶18. **The ease with which SVX : the 抽象名詞 with which SVX** の構造で、抽象名詞が『様態』を表す形容詞派生であるため、how -ly SVX に置き換えて考える。「どれほど〜に SVX か」

cf. A number of factors influence *the accuracy with which* people judge distances.

(慶應義塾・環境情報 2006年)

▶19. **while abandoning their own** : 接続詞+C(=AP, NP, PP, Ving, p.p., to V)の構造は、そのほとんどが、主文の主語と等しい代名詞主語+be 動詞の省略形となる。ここでは、while {they are} abandoning their own と考える。

cf. Interest of this kind, **when (it is) inspired** by good teachers, endures during the whole life of a pupil.

(鹿児島・二次-前期(法文) 1994年)

なお、**代役主語(虚辞)として機能する it is, there is** や、**一般人を表す we [you, they, people]+be 動詞** が省略されることもある。一般には、こう考えられているが、中には省略と言いかねるものもある。

cf. Conversation had all but ceased. **If (it were) not for the shifting and blinking of eyes** there'd be little sign that anyone was alive.

(金沢・二次-前期 2002年)

▶20. **irrespective of whether what is abandoned is worth preserving** : この部分は、形容詞の非制限用法である。ここまでは誰でもわかるが、それでは、先行詞は何なのか、が把握できているかどうかが実力。

▶21. **gives the impression that SVX : (Det.) 抽象名詞 that SVX** の構造で、抽象名詞が、人間の『概念・認識・可能性』を意味するものであることから、この that は同格修飾節を形成する接続詞。また、無生物 S(M')+gives(Vi') <the impression [that SVX]>(S')を訳出する。

▶22. **The rapidity with which SVX** : まず、The rapidity with which SVX を how rapidly SVx に変換し、「あっという間に SVX すること」としておく。次にここまでが無生物主語構文であるから、これを副詞的(M')に訳出することを考える。

▶23. **無生物 S suggests their coolness in dealing with foreign cultures** : 無生物 S+suggest(= imply, mean)+O は、「Sによって O がほのめかされる→それとなく分かる」を基盤に考える。

▶24. **a coolness that seems to hide beneath the exterior of change the constancy of their own culture** : that は主格の関係代名詞で、「どうやら to hide ...しているように思われる冷静さ」とする。続いて、a coolness that seems to hide(Vt') (beneath the exterior of change)(M') <the constancy [of their own culture]>(O')という、『重名詞句転移』が見えるかどうかのカギ。

＜考え方＞

①形容詞の用法には、i)修飾する名詞を、他の名詞と分類・対比する『制限用法(restrictive use)』と、ii)他の名詞と分類・対比するのではなく、修飾する名詞の持つ属性を記述する『非制限用法(non-restrictive use)』³³の2つがある。この区別は、関係詞節だけではなく、形容詞相当語句すべてに共通して見られるものである。

②関係詞節の場合、制限用法か非制限用法かは、カンマの有無に関わらず、i)先行詞が不特定要素である場合、ii)関係詞節中に推量の助動詞が含まれている場合、iii)主文の述語動詞が推量の助動詞を伴っている場合、非制限用法と考えてよい。³⁴

- cf. (1) a **white rose**, a **young lady**は、それぞれ、a red [blue, violet] rose などとの区別、an old lady との対比を示し、形容詞は『制限的(restrictive)』である。
- (2) **white snow** (白雪), **red blood** (真っ赤な血、鮮血), **young children** (幼い子供), **sweet seventeen** (花も恥らう 17 歳、妙齢)などは、修飾する名詞の持つ本来の属性を強動的に示すもので、『非制限的(non restrictive)』なものと考えることが出来る。
- (3) *All the soldiers that were brave pushed on.*
: 制限用法・「勇敢でない兵士」との『区別・対比』を示す。
- (4) *The soldiers, who were brave, pushed on.*
: 非制限用法・「全員が勇敢であった」という『属性』を記述する。
- (5) Love, **which** is a wonderful feeling, comes to everyone at some time in his or her life. : 非制限用法・文中挿入副詞節代用→「～て・で・して」ととらえ、適当に調整する。
- (6) She was *modest*, **which** he liked young women to be.
: 非制限用法・文末等位節代用→順接・逆接関係その他を考慮し、「そして、それゆえ(=, and)・しかし(=, but)・というのも～だからだ(=, for)」と、前から後に訳し下げる。

Question A

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

- (1) *The absent Paul, haunting her(= Dora) with letters and telephone bells and imagined footsteps on the stairs had begun to be the greater torment.*

(一橋・二次 1970年、一橋・二次-前期 1997年)

(2) *A tyrannical father* may be responsible for his children's conception of marriage as a kind of slavery.

(小樽商科・二次 1970年)

(3) Today's Japanese are notorious for *their poor English ability*, but this is not for their lack of trying. They make enormous efforts to learn English.

(島根・二次一前期 1995年)

(4) In *the coming age of automation* we shall find it impossible to consider anybody as adequately educated if he does not understand at least some science.

(姫路工業・二次 1969年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) Recent discoveries about the fate of our universe predict that *our sun will burn out*, **meaning** life will cease to exist.

(小樽商科・二次一前期 2004年)

(6) *The spontaneous wish to learn, which* every normal child possesses, as shown in its efforts to walk and talk, should be the driving force in education.

(慶應義塾・商 1981年)

(7) A major reason for Japan's continuing great cultural distinctiveness is *the language and writing system, which* cut her off sharply from the rest of the world.

(都留文科・二次-C日程 1993年)

33. 非制限用法とは、修飾する名詞に対し、同種の名詞との区別・対比を示すのではなく、その名詞の持つ本来の属性的・記述的情報を与える。その意味では『感情的・主観的』意味関係を表すと言えよう。

34. Leech & Svartvik(2003: 384)には、カンマのない非制限用法の例として、次の例がある。この差は(話し言葉では)強勢によって区別される。

(i) My sister who lives in Nagóya will be **thirty** next year.

(名古屋在住の妹は、来年 30 歳になります) [制限用法: I have two or more sisters]

(ii) My **síster** who lives in Nagóya will be **thirty** next year.

(妹は、名古屋在住なのですが、来年 30 歳になります) [非制限用法: I have only one sister.]

Practice

<<A>>

(1) The majority of men are willing to surrender their will to *anyone* **who** speaks with a voice that is threatening or sweet enough to sway them.

(早稲田・理工 1981年)

参考 関係詞節の先行詞が「不特定」存在物であり、他の類項との『対比・区別』がなされていない場合、カンマの有無にかかわらず、非制限用法と考えてよい。

(2) Virus weakens or destroys tissues of the nose and throat, *leaving them susceptible to attacks by bacteria* **which** might cause a serious disease.

(慶應義塾・医 1984年)

参考 関係詞節内に助動詞+無意志動詞[or have p.p.]が用いられている場合、カンマの有無にかかわらず、非制限用法と考えてよい。その理由は、制限用法の関係詞節とは、断定情報を付与するものだからである。

(3) The **natural** *appearance* of the neighbourhood has in recent years undergone substantial alteration by the cutting down of the major portion of the fine old trees.

(商船学校 1921年)

Words & Phrases

(1) the majority of NP (大多数の～) be willing to V (to Vしようとする、to Vする用意がある cf. be ready to V) surrender (vt. ～を引き渡す、～に降伏する) will (n. 意志) threatening (adj. 脅しの、脅迫的な) sway (vt. ～を揺らす、傾かせる)

(2) virus (n. ウィルス) weaken (vt. ～を弱める) destroy (vt. ～を破壊する) tissue (n. 組織) throat (n. 喉) leave O+C (OをCのままにしておく) susceptible to NP (～にかかりやすい) cause (vt. ～を引き起こす cf. bring about) serious (adj. 深刻な)

(3) appearance (n. 外見、様子、出現) undergo (vt. ～を経験する、経る cf. experience; go through) substantial (adj. 実質的な) alteration (n. 変更、修正、変化) cut down NP (～を切り倒す) portion (n. 一部)

【考え方】

(1) ▶1. **anyone who speaks with a voice** : 限定詞(determiner : Det.)の any は、『疑念性』を表す。したがって、関係詞節は、if SVX に近いものと考えてよい。「もし VX ならいかなる人にも」

cf. **Anything that you do not usually do but would permit yourself were you invisible** owes less to ethics than it does to caution or hypocrisy.

(一橋・二次-前期 2006年)

▶2. **a voice that is threatening or sweet enough to sway them** : (Det.) 具体名詞+that+VX の構造から、この that は、一般には、主格の関係代名詞節を形成するもの、と判断してよい。また、enough to V+O+X で、不定詞の意味上の主語(S')=無生物であることから、a voice(M') that is threatening(M'₁) or sweet(M'₂) enough(M') to sway(Vi') them(S')と、訳出には工夫が必要となる。

cf. **One fact is enough to give** it a unique place in the records of royal travel; during the entire tour they traversed a distance nearly equal to twice the circumference of the globe.

(大阪高等工業学校 1918年)

(2) ▶3. **Virus weakens or destroys tissues of the nose and throat** : SVtO 型の無生物主語構文。Virus(S→M') weakens or destroys(Vt→Vi') <tissues [of the nose and throat]>(O→S')を訳出するとともに、無生物主語 Virus が「具体」名詞であるから、自明の Ving を補って訳出することをも考える。

▶4. **SVX, leaving them susceptible to attacks by bacteria** : SVX, Ving ...で、この、Ving は分詞構文・文末。文末の分詞構文は、等位節の代用として機能することが多いため、接続詞(and, but, for)の意味を考えるとともに、leaving(×) them(O') susceptible(M') to attacks(Vt') by bacteria(S')を訳出することを考える。

cf. *My right arm* fell from him, **paralyzed**.

(大阪・二次 1966年)

▶5. **bacteria which might cause a serious disease** : 無生物主語+cause+O からの関係詞化であるから、訳出にはひと工夫必要。bacteria(M') [which might cause(Vi') a serious disease](S')を訳出する。

(3) ▶6. **The natural appearance of the neighbourhood** : (Det.) 自動・名詞+of+具体名詞の構造であるから、of は『主格関係』を表し、The natural(M') appearance(Vi') of the neighbourhood(S')を訳出することも可能だが、ここではむしろ直訳の方がすっきりする。

▶7. **S has in recent years undergone substantial alteration** : undergone は形式他動詞で、特に訳出は不要となる。S has(M') (in recent years) undergone(×) substantial(M') alteration(Vi')を訳出する。

▶8. **by the cutting down of the major portion of the fine old trees** : by+抽象名詞は、『経路』を表す。あとは、by the cutting down(Vt') of <the major portion [of the fine old trees]>(O')をという、『目的格関係』の of を見抜き、これを訳出する。

<>

(4) ①In daily life, we assume as certain many things which, on closer examination, are found to be so full of apparent contradictions ②that only a great amount of thought enables us to know what it is that we really may believe.

(青山学院・文一英米文 1966年)

(5) ①This is a demographic time-bomb that will require societal and economic changes. ②Especially needed are opportunities for the elderly to work and to make more productive use of their time, as well as a better medical system and improved care for those living alone.

(高知・二次一前期 1998年)

Words & Phrases

(4) assume O as C (O を C と思う) close (adj. 綿密な) examination (n. 調査) apparent (adj. 明らかな) contradiction (n. 矛盾) enable O to V (S によって O が to V できる)

(5) demographic time-bomb (人口統計上の時限爆弾) societal (adj. 社会の) economic (adj. 経済) opportunity (n. 機会) the elderly (n. 年長者) make use of NP (~を利用する) productive (adj. 生産的な) medical (adj. 医療の)

【考え方】

(4) ▶9. **we assume as certain many things which V so X that SVX** : 本来は、assume O as C の語順を取るはずだが、ここでは、O=many things に、which+VX がついて、情報量が「重く」なったため、文末重心の原理(principle of end-weight)により、後に回ったもの。これを重名詞句転移(heavy NP shift, HNPS)と呼ぶ。また、**SV so X that SVX**.という、『程度・結果』の副詞節構造を確認。「SVX なくらい〜／とても〜なのでその結果 SVX」

▶10. **on closer examination** : on+抽象名詞(動作派生)の on は、『(時の接触→)同時動作』を表し、as soon as SVX と(ほぼ)同意表現。「〜するとすぐに」

cf. It becomes evident **on further reflection**, however, that in most circumstances density alone is one of the least important considerations.

(神戸・二次 1972年、立命館・法、経営 1973年)

▶11. **only a great amount of thought enables us to know+O** : enable の形成する無生物主語構文。したがって only a great amount of thought(M') enables(→can) us(S') to know(Vt')+O を訳出する。

▶12. **what it is that we really may believe** : what[who(m)] it is/was that (S)V(X)は、典型的な分裂文(=強調構文 : cleft sentence)「いったい何を信じてよいのか」

(5) ▶13. **a demographic time-bomb that will require societal and economic changes** : (Det.) NP **that+V+O** の構造で、先行詞となる NP が無生物であるから、後出の will(推量)から判断して、この NP を if SVX の代用表現と考える。したがって a demographic time-bomb(M') that will require(Vi') <societal and economic changes>(S')を訳出する。さらに、③'=societal(S''₁) and economic(S''₂) changes(Vi'')に注意。

▶14. **Especially needed are opportunities for S to VX** : Ving/p.p./to V ...+be+S ...は、動詞句前置(VP preposing)と呼ばれる現象。なお、動詞句前置には、2通りの構造があり、一つは、先行文に同一の動詞句があり、旧情報(old information)→新情報(new information)の流れを維持するためのもの、もう一つは、新情報となる動詞句を先に述べた後、『追加想念(afterthought)』的に、SV が付け加えられたものである。

cf. **Sitting at her desk in deep concentration** was my sister Flora. She looked as though she had spent a sleepless night.

(Quirk et al, 1985: 1378)

▶15. **to make more productive use of their time** : 他動詞+O(=抽象名詞)であるから、この make は形式他動詞で訳出は不要である。to make(×) more productive(M') use(Vt') of their time(O')を基盤に訳出を考える。

<<C>>

(6) ①What is the evidence that our primate relatives (or other organisms) are attracted to alcohol as a sign of nutrition? ②It is known that fruit flies follow increasing concentrations of ethanol vapor as a way to find the ripe fruit within which they lay their eggs. ③A similar sensory mechanism is likely at play in other species, including primates. ④The excessive consumption of fruit due to alcohol, similar to the one seen on Barro Colorado, have been observed several times in monkeys.

(東京医科歯科・二次-前期(医) 2006年)

Words & Phrases

(6) evidence (n. 証拠) primate (adj. 霊長類) relative (n. 親類) organism (n. 生き物) be attracted to NP (～にひきつけられる) alcohol (n. アルコール) sign (n. 象徴、徴候) a fruit fly (n. ミバエ) nutrition (n. 栄養) concentration (n. 濃縮) ethanol (n. エタノール) vapor (n. 蒸発) ripe (adj. 熟した) similar (adj. ～に似ている) sensory (adj. 感覚の) mechanism (n. からくり、メカニズム) likely (adv. たぶん、おそらく) be at play (機能する、役割を果たす) species (n. 種) including NP (prep. ～を含んで) excessive (adj. 過度の、余分な) consumption (n. 消費) due to NP (～が原因で)

【考え方】

(6) ▶17. **fluit flies follow increasing concentrations of ethanol vapor** : 無生物主語構文であるから、fluit flies(M')とし、適当な Ving を補って考える。次に、(Det.) 形容詞+自動・名詞+of+具体名詞の構造であるから、of は『主格関係』を示し、follow(M' : 続けて、続けざまに) increasing(M') concentrations(Vi') of ethanol vapor(S')を訳出することを考える。

cf. The **recent** *evolution* of English as a global language has taken an even greater toll.

(東京工業・二次-後期 2007年)

▶18. **A similar sensory mechanism is likely at play in other species** : この likely は「たぶん、おそらく」の意味の文修飾副詞。A similar sensory mechanism is ... at play in other species と、be at play というつながりが見えればよい。

▶19. **The excessive consumption of fruit due to alcohol** : (Det.) 形容詞+他動・名詞+of+具体名詞の構造であるから、of は『目的格関係』を示し、The excessive(M') consumption(Vt') of <fruit [due to alcohol]>(O')を訳出する。

cf. Curiosity properly so called is inspired by a **genuine** *love* of knowledge.

(お茶の水女子・二次 1970年)

▶20. **NP, similar to the one seen on Barro Colorado** : similar to ...Barro Colorado は、being の省略された分詞構文で、先行詞は、前出の NP である。ここでは、NP が抽象名詞であるため、実質的には、抽象名詞に内包された文(sentence)を修飾していることに注意が必要。

cf. Sometimes I went to *a deep, narrow valley* in the hills, **silent and solitary**. The sky crossed from side to side, like a roof supported on two walls of green.

(高等学校共通選抜試験 1919年)

NB 次のように、that が非制限用法で用いられるのは、一般には誤りとされているが、名詞句中に含まれた特定の名詞だけを先行詞にしたい場合に生じるとの指摘が Quirk, et al.(1985: 1259)にある。

(i) I looked at Mary's *face*, **that** I had once so passionately loved.

(メアリの顔を見た。かつてあれほどまでに愛したことのある顔であった)

(ii) *The domestic cat*, **that** sits purring so tamely in front of the fire, has a secret wild life outside.

(京都・二次-前期 1996年)

(飼い猫は、暖炉の前では、いかにもおとなしそうに(猫の特性として)喉をゴロゴロ鳴らして座っていながらも、外では、密かに野生の生活を送っているのである)

〈考え方〉

副詞用法の分詞(=一般に言う分詞構文)は、文頭・文中・文末いずれの位置も取り得るが、特に文末の分詞構文は、付帯状況を表す他に、等位節相当表現を形成し、and[but, for] SVX の代用となる。また、文末の分詞構文は、その意味上の主語が i) 文主語 ii) 分詞に前置される主格の(代)名詞の他に、iii) 主文全体の場合、iv) 直前の名詞句の場合とがある。このうち iii), iv) には、特に注意が必要である。

- cf. (1) *Worker bees* are neuter, **being** neither male nor female.
: SVX, Ving ... (分詞の意味上の主語は、文主語; , and they are ...)
- (2) In came *the first runner*, **closely followed** by the second.
: SVX, p.p. ... (分詞の意味上の主語は、文主語; , and he was ...)
- (3) A little girl walked past, *her doll* **dragging** behind her on the pavement.³⁵
: SVX, NP+Ving ... (分詞の意味上の主語は、前出の NP)
- (4) They will send you the book, for \$25.00, *postage* **involved**.
: SVX, NP+p.p. ... (分詞の意味上の主語は、前出の NP)
- (5) He looked remarkably well, *his skin* **clear and smooth**.
: SVX, NP+adj. ... (分詞の意味上の主語は、前出の NP で、NP と Adj. の間に being が省略)
- (6) Max built *an additional room*, **measuring** 12 by 12 feet.
: SVX, Ving ... (分詞の意味上の主語は、直前の名詞; , and the room measured ...)

35. 分詞構文の意味上の主語は、文主語と一致するのが正用法とされることが多い。が、以下のような例も見受けられる。

cf. **Being French**, it's surprising that *she's* such a terrible cook. (Swan, 1995; §406)

(フランス人なのに、こんなに料理が下手だとは驚きものだ)

この構造は、一般には、懸垂分詞構文(Dangling Participial Construction : Curme(1931: 159)の用語)と呼ばれ、非難されることが多い。が、要は、常識から考え、意味が分かればよいのである。ちなみに、個人的な感覚では、it's surprising that ≡ surprisingly と、文副詞に近いものと感じられ、that-clause が、実質的な主文と感じられるため、分詞の意味上の主語が she であることに、まったく抵抗を感じない。

(7) *It rained for two weeks on end, completely ruining* our holiday.³⁶

: SVX, Ving ... (分詞の意味上の主語は、主文全体; , and this completely ruined ...)

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) *He* proceeded from one step of improvement to another, **always aiming at** the greatest perfection possible.

(東京商船学校・豫備試験 1902年)

(2) *He* built up his fortune by honest industry, **aided** by exceptional good fortune.

(高等学校共通選抜試験 1901年)

(3) A decentralization under central direction would be a contradiction; a religious unity cannot be imposed **in the hope that it will bring about unity of faith.**

(関西学院・商 1986年)

(4) “In Europe,” said Jefferson, “the object is to make the most of their land, *labor being abundant*; here it is to make the most of our labor, *land being abundant.*”

(早稲田・教育 1960年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) It became conventional to place *a cat* under a lady’s chair – **eagerly biting** into a fish or playing with a cord in order to reach a nearby bowl of food.

(東北・二次-前期 1999年)

(6) *Dreams are odd and striking phenomena, similar* to waking thought in some ways, but **quite dissimilar** in others.

(一橋・二次 1972年)

36. 次のように、分詞の意味上の主語が、前出の名詞句全体の例も存在する。

cf. He recommended me *to keep a diary of my life, full and unreserved.* (新潟・二次 1974年)

(彼は私に、生活の日記を付けるように勧めた。しかも、完全に、あますところなく、である)

Practice

<<A>>

(1) The central event of the festival was the arrival from his home above the sea of *the god Lono*, **symbolized** by a giant image made of cloth and bird-skin.

(早稲田・法 1997年)

(2) By assuring good supply, *agriculture gave man leisure for other pursuits*, **leading** to new cultural advances.

(上智・外国語 1977年)

(3) Every individual has *his own vocabulary*, **distinct** in some way or other from that of other people in the circle in which he moves.

(岩手・二次 1968年)

Words & Phrases

(1) central (adj. 中心的な) event (n. 出来事) festival (n. 祭り) the god Lono (Lono 神) symbolize (vt. ～を象徴する) giant (adj. 巨大な) image (n. イメージ)

(2) assure (vt. ～を保証する) supply (n. 供給) agriculture (n. 農業) leisure (n. 余暇) pursuit (n. 追及) lead to NP (～につながる) advance (n. 進歩、発展)

(3) individual (n. 個人、個体) vocabulary (n. 語彙) distinct (adj. 際立った、大きく異なる)

【考え方】

(1) ▶1. **the arrival from his home above the sea of the god Lono** : (Det.) 自動・名詞+of+具体名詞の of の前に形容詞[or 副詞]語句が挿入的に位置するのは、かなり有標(marked)の例。the arrival(Vi') (from his home [above the sea])(M') of the god Lono(S')と考える。

▶2. **the god Lono, symbolized by NP** : SVX, p.p. ...で、文末の分詞構文。だが、通常に分詞構文と異なり、symbolized の先行詞は、文主語ではなく、直前の名詞句 the god Lono であることに注意が必要。したがって、the god Lono, and it was symbolized ...と考える。

(2) ▶3. **agriculture gave man leisure for other pursuits** : SVtO₁O₂型の無生物主語構文。また、無生物主語が具体名詞なので、自明の Ving を補って考えるとよい。ここでは、(developing) agriculture(M') gave(Vt') man(S') <leisure [for other pursuits]>(O')を訳出する。

▶4. **SVX, leading to new cultural advances** : SVX, Ving ...で、文末の分詞構文。leading の先行詞は、ここでは、前出の SVX 全体である。したがって、SVX(= M' : 原因・理由) leading to(Vi') new cultural advances(S')を訳出する。

cf. *This anticipation of the future almost invariably becomes an attempt to control it, rendering it more manageable and less uncertain.*

(関西学院・社会 1993年)

(3) ▶5. **Every individual has his own vocabulary, distinct ...** : SVX, adj. ...の構造なので、これも文末の分詞構文。形容詞 distinct の先行詞は、前出の SVX 全体、つまり、Every individual has his own vocabulary, {and this is} distinct と考えるのがよい。

NB 次の例に注意。

cf. *He is fond of children, a winning trait.*

(お茶の水女子・二次 1965年)

この文も、SVX, NP.の構造であるから、NP は副詞的に機能する。ここでは、

He is fond of children, **and this is** a winning trait. → He is fond of children, **which is** a winning trait.

→ He is fond of children, **[being]** a winning trait.

とでも書換えられるもので、a winning trait の先行詞(=意味上の主語)は、文全体である。

<>

(4) ①I was consulted by a man who held a prominent position in the world. ②He was afflicted with a sense of anxiety and insecurity, and complained of dizziness, of a heavy head and difficulty in breathing – ③this being an exact description of the symptoms of mountain sickness.

(香川・二次 1971年)

(5) ①The acceptance of the inevitability of our own death serves as the “ultimate deadline,” forcing us to focus on our goals and reorder our priorities with an urgency we never felt before. ②Taking stock of our lives and making midcourse adjustments have long been associated with the much talked about “midlife crisis,” which some psychologists believe occurs at around forty.

(広島・二次 1981年)

Words & Phrases

(4) consult (vt. ～に相談する) prominent (adj. 突出した、有名な) be afflicted with NP (～に苦しむ、悩む) anxiety (n. 心配) insecurity (n. 不安) complain of NP (～に不満を言う) dizziness (n. 目眩) exact (adj. 正確な) description (n. 描写) symptom (n. 徴候)

(5) acceptance (n. 受諾) inevitability (n. 必然性) serves as C (Cとして役に立つ) ultimate (adj. 究極の) deadline (n. 境界線) force O to V (Sのために、Oがto Vせざるを得ない) focus on NP (～に焦点をあてる) goal (n. 目標) priority (n. 優先順位) urgency (n. 緊急) take stock of NP (～を再検討する、判断する、評価する) midcourse (n. 中間軌道) adjustment (n. 調整) associated A with B (AとBを関連づける) midlife crisis (中年の危機)

【考え方】

(4) ▶6. **SVX** — **this being an exact description of the symptoms of mountain sickness** : SVX, NP Ving
…の構造であるから、文末の分詞構文。分詞構文を形成する Ving が、being, having been や、状態動詞の Ving(knowing など)の場合、主文の動詞が「断定」表現なら、『理由』と判断してよい。したがって、this(S') being(Vi') ◎'=an exact(M') description(Vt') of <the symptoms [of mountain sickness]>(O')を訳出する。
なお、文末の独立分詞構文の例を追加しよう。

cf. Silently he started the engine again, while the lovely girls stood and laughed and waved good-bye to us, *a light rain falling* on them, *the wet road shining* at their feet.

(同志社・神、文 1973年)

(5) ▶7. **The acceptance of the inevitability of our own death** : (Det.) 他動・名詞+of+具体名詞の構造から、of は『目的格関係』を表す。したがって、The acceptance(Vt') of <the inevitability [of our own death]>(O')をとらえ、さらに、◎'=(Det.) 形容・名詞+of+具体名詞(of は『主格関係』を表す)に内包された the inevitability(C') of our own death(S')を訳出する。

▶8. **SVX, forcing us to focus on our goals and reorder our priorities** : SVX, Ving …の構造で、分詞構文を見抜くのは容易。ただし、①先行詞は何なのか ②接続詞の意味は何が適切か、に留意したい。ここでは、forcing の先行詞は文主語(The acceptance of the inevitability of our own death)で、forcing(M') us(S') to focus on(Vt') our goals(O') and reorder(Vt') our priorities(O')を訳出する。

▶9. **with an urgency we never felt before** : with+抽象名詞(形容詞派生・様態)は、主文の動作動詞と併用されて、『様態』の副詞句を形成する。また、we の前には、関係代名詞・目的格の省略がある。

cf. No one can accomplish great things unless he aims at great things, and pursues that aim **with determined courage and perseverance**.

(海軍兵学校 1899年)

▶10. **Taking stock of our lives and making midcourse adjustments** : taking, making はともに形式他動詞で、Taking(×) stock(Vt') of our lives(O') and making(×) midcourse(O') adjustments(Vt')と考える。

cf. **Doing a deed** is like sowing a seed; if not done at just the right time it will be forever out of season.

(鹿児島高等農林学校 1919年)

<<C>>

(6) ①As surely as an ancient cottage possesses that moving quaintness for us, so surely will our buildings of today have some of it as soon as a few centuries have removed part of our mechanical difficulties, and shown some of our methods to be roundabout means to simple ends. ②Buildings that people will treasure for their quaintness in five hundred years ago going up today.

(大阪外語・二次 1961年)

Words & Phrases

(6) ancient (adj. 古の) cottage (n. 小さな別荘、山荘) possess (vt. ～を持っている) quaintness (n. 古風な趣)
method (n. 方法) roundabout (adj. 遠回りの、間接の) means (n. 手段) end (n. 目的) treasure (vt. ～を蓄える、
取っておく)

【考え方】

(6) ▶11. **As SVX, so surely will our buildings of today have some of it** : As SVX, so SVX.における **as** は『様態』を表す接続詞。この **so** は主節の始まりを示すマーカー程度のもにすぎず、訳出する必要は必ずしもない。なお、ここでは、**so** 以下が倒置構造になっている点に注意が必要。

cf. **As the seasons return, so do the flowers.**

(関西学院・文 1984年)

主文の **so do** が、「反復」表現であることをヒントに、**as SVX** は『様態』を表す副詞節と考える。

また、**Just as SVX, so SVX.**という表現もある。**Just as SVX, so SVX.**(SVX であるのと同じように SVX だ)は、「様態」の意味の相関表現と考えられよう。なお、2つ目の **so** はなくともよい。

cf. **Just as the establishment of the Welfare State in the 1940s helped them, so cuts in the 1980s can put women in a worse position.**

(都留文科・二次-英文 1995年)

Just as 以下の **of** は『目的格関係』を表し、**the establishment(Vt': 制定された) of the Welfare State(O': 福祉国家が) in 1940s(M': 1940年代に)までが、help** に対する無生物主語構文を形成していることに注意しよう。

▶12. **Buildings that people will treasure for their quaintness in five hundred years ago going up today** : この部分は文としては完全な破格構造。文末の独立分詞構文が、追加想念(afterthought)的に、そのまま独立してしまったものと考えてよいと思う。

Part 3. 法・情報構造を中心に
： 特殊構文の研究

＜考え方＞

①英語の動詞は、ある事柄を事実として述べる直説法(叙実法: indicative mood)と、事柄を心の中で想定して述べる仮定法(叙想法: subjunctive mood)に分類することが出来る。主文に過去形助動詞(would, could, etc.)が用いられている場合、現実的可能性の有無を考える。

②if SVX に代表される条件節³⁷は、様々なバリエーションを持つ。without [but for, except for] NP (もし～がなければ[なかつたら]), with NP (もし～があれば[あつたら])、などを始めとし、i -a) 時・場所・様態その他の前置詞句・副詞句 i -b) 副詞用法の準動詞 ii)形容詞・形容詞用法の準動詞・関係詞節 iii)不特定主語・目的語などでも if SVX の代用が可能である。

- cf. (1) If he **had** the money, I **would pay** you *right now*.
: 時の副詞語句や直示記号と時制にズレがある。→仮定法過去・単純形
- (2) If she **had asked** me *then*, I **would have not answered**.
: 時の副詞語句や直示記号と時制にズレがある。→仮定法過去・完了形
- (3) **With a little more capital**, they *would be* sure to succeed.
: With a little more capital→If they had a little more capital
- (4) **Without[= But for] your help**, I *would have failed*.
: Without your help→If you had not helped me
- (5) I think that picture *would look* better **on the wall**.
: on the wall→if it hung on the wall
- (6) **In different circumstances**, I *would have said* yes.
: in different circumstances→if I had been in different circumstances
- (7) I'm lucky that I'm interested in school work, **otherwise** I'd go mad.
: otherwise→if not で「さもなければ」or [else]と表現されることもある。

NB 仮定法過去・単純形とは、『現在の事実』に反する仮定、または、『未来の実現性が(著しく)乏しいと話者が判断している内容』に対する仮定を表す。これに対し、仮定法過去・完了形とは、『過去の事実』に反する仮定を表す。

37. 条件文を大別すると、a)叙実的条件文(factual conditional sentence) b)予測的条件文(predictive conditional sentence) c)非叙実的条件文(non factual conditional sentence)となる。が、ここではそこまでの分類には言及しない。

(8) **A hundred years ago** not a doctor in the world *could have assured* a patient that an operation would be painless.

: A hundred years ago→if it had been a hundred years ago

(9) The same thing, **happening in wartime**, *would amount* to disaster.

: happening in wartime→if it should happen in wartime(if SVX に相当する部分の V が、動作動詞の過去単純形の場合、未来に対する実現の度合いの低い仮定を表す。この蓋然性が極めて低いと判断すれば、その気持ちを should, were(was) to, could 等で表現する)

(10) **Used economically**, one tin *will[or would] last* for six weeks.

: Used economically→If it is used economically

(11) A Jew *would have wept to see [or to have seen]* our parting.

: to have seen our parting→if he had seen our parting

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) **Without frugality** none *can be* rich; and **with it** very few *would be* poor.

(第二高等學校 1900年)

(2) Forbearance and self-control smooth the road of life, and open many ways which *would otherwise remain* closed.

(東京商船學校・豫備試験(5月施行) 1903年)

(3) **Even a decade ago** few people *would have predicted* a public-health victory of such magnitude against a substance as habit-forming as tobacco.

(立教・経済-経済 1988年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(4) In the present state of the world a dependency **held by military force** *may easily be* like a mill-stone round the neck of a nation.

(東京商船學校・体格試験合格者選抜(5月施行) 1908年)

(5) What *could have been done* to me **to make me afraid to grow up out of such a childhood?**

(東京・二次 1982年)

Practice

<<A>>

(1) **In a society devoted wholly to labour**, leisure *would be thought of* as merely rest or spare time.

(京都・二次 1974年)

(2) Much more serious were the long droughts that ruined cities that **otherwise might have had** a place on the map of the world forever.

(立教・社会 1985年)

(3) It *would be* the greatest of errors **to suppose that Bushido calls upon the faithful for a mere stupid sacrifice of life**. Nothing could be further from the truth.

(専門學校入學検定試験 1906年)

Words & Phrases

(1) devote A to B (AをBに捧げる) wholly (adj. 完全に、すっかり) labour (n. 強制労働) leisure (n. 余暇) think of O as C (OをCとみなす) merely (adv. 単に cf. only) rest (n. 休息) spare time (n. 暇)

(2) serious (adj. 深刻な、まじめな) drought (n. 干ばつ) ruin (vt. ～を破滅/崩壊させる) otherwise (adv. (文飾)さもなければ cf. if not)

(3) suppose that SVX (SVXと考える) Bushido (n. 武士道) call upon NP (～を要求する、～を訴える cf. request, appeal to) faithful (adj. 忠実な) stupid (adj. 愚かな) sacrifice (n. 犠牲)

【考え方】

(1) ▶1. **In a society devoted wholly to labour, S would VX** : 主文の帰結推量助動詞 *would* に着目し、*In a society devoted wholly to labour* 部分を *if SVX* の代用表現と考える。また、*In a society(S') devoted(Vt') wholly(M') to labour(O')* を訳出してよい。

(2) ▶2. **Much more serious were the long droughts that ruined cities** : 全体は、**AP be NP** の構造であるから、*[Much more serious](C) were(Vi) <the long droughts [that ruined cities]>(S)* と判断する。

cf. *Characteristic of his "mental attacks" was an intensification of his imagery.*

(広島・二次-前期 1994年)

▶3. **cities that otherwise might have had a place** : 主文の推量表現と共に起する *otherwise* は、まず、*if not* の可能性を考える。なお、*otherwise(adv.)* の用法を整理すると以下ようになる。

(i) **if not** : この意味の場合、修飾対象は文全体である。

You'll have to go now, otherwise you'll miss your bus.

(ii) **in a different way** : 動作動詞を修飾する。

A lot of people think otherwise.

(iii) **in another respect** : *be* 動詞や、判断・推定・認識型動詞を修飾する。

He was tired but otherwise in good health.

cf. *This spoiled an otherwise excellent piece of work.*

(以上 LDCE⁵)

(3) ▶4. **It would be the greatest of errors to suppose that SVX** : *It would [could, might, etc.] AP/NP to VX* の構造の *it* は『状況』を表すもので、厳密には形式代名詞ではない。また、不定詞部分は、*if SVX* に相当する副詞用法である。

▶5. **Bushido calls upon the faithful for a mere stupid sacrifice of life** : *call upon* の形成する疑似無生物主語構文。*Bushido(M') calls upon(Vi') <the faithful [for a mere stupid sacrifice of life]>(S')* を訳出に反映する。

cf. *Many of Chikamatsu's plays deal with the conflict between giri, obligation or duty, and ninjo, human feeling.*

(釧路公立・二次-中期 2000年)

38. 仮定法を意味の面から見ると、①現実の可能性がない・またはないと話者が考えていること(帰結推量) ②可能性のあることに対する断定を避けた物言い(婉曲推量)の大きく2通りに分類することができる。

cf. *New studies suggest that things could be worse. The rate of impacts would be as much as 10,000 times higher if it were not for Jupiter.*

(慶應義塾・理工 2004年)

<>

(4) ①Why is this unusual feeding behavior important for the vitality of the ecosystem?
②After all, in the absence of bears, the salmon would still die after laying their eggs, and their carcasses would be eaten by birds, fishes and insects in the rivers, and flushed out to the ocean.

(九州・二次-前期 2007年)

(5) ①To remain a possible supporter of life, our earth would need to move in ever nearer and nearer to the dying sun. ②Yet, science tells us that, so far from its moving inwards, unstoppable dynamical laws are even now driving it ever further away from the sun until life is frozen off the earth. ③This prospective fate is not peculiar to our earth; any life there may be on other planets must meet the same inglorious end.

(北海道・二次 1976年)

Words & Phrases

(4) unusual (adj. 尋常ならざる) feeding behavior (捕食行為) vitality (n. 活力、生命力) ecosystem (n. 生態系)
after all (とどのつまり) absence (n. 不在、欠席、欠如) salmon (n. 鮭) still (adv. それでも) lay eggs (産卵する)
carcass (n. 死骸) insect (n. 虫) flush A out to B (AがBに流れる)

(5) supporter (n. 支持すること、後ろ盾) move in (vi. 中に入る、近づく) far from Ving (Vingではまったくない)
inwards (adv. 内側に *Am.E* inward) unstoppable (adj. 止められない、抑制できない) dynamical (adj. (=dynamic) 動力の、起動的な、活動的な ⇔ static) prospective (adj. 将来の、見込みのある) fate (n. 運命) be peculiar to NP (~に特有の、独特の (=proper)) meet the end (目的にかなう) inglorious (adj. 不名誉な、恥ずべき (=shameful))

【考え方】

(4) ▶6. **the vitality of the ecosystem** : (Det.) 形容・名詞+of+具体名詞の構造で、ofは『主格関係』を表す。したがって、the vitality(C') of the ecosystem(S')を訳出する。

▶7. **in the absence of bears** : in+抽象名詞で副詞節代用。原則として「～することにおいて」とし、前後関係から訳出を調整する。ここでは、主文の still から逆接関係が成立するため、譲歩節代用(even if SVX)と考える。

cf. **In his presentment** as a member of society he should take a sacred care to be more than he seems, not to seem more than he is.

(東京帝國大學農科豫科 1918年)

(5) ▶8. **To remain a possible supporter of life** : まず remain+C(=抽象名詞)から、この remain は『形式自動詞』と判断し、ここでは副詞的(M')に訳出する。また、possible は文修飾形容詞であるため、To remain(M' : ずっと) a possible(M' : can) supporter(Vt') of life(O')と考える。

▶9. **science tells us that SVX** : 無生物主語構文で、science(M') tells(Vt') us(S') <that SVX>(O')と考える。あとは、具体名詞 science の前に、適当な Ving[or the 抽象名詞 of : the advance of]を補って訳出を調整する。

▶10. **so far from its moving inwards** : so far from its(S') moving(Vi') inwards(M')は、分詞構文的なもの。「地球は太陽に向かって近づいていくどころか」

▶11. **unstoppable dynamical laws are even now driving it ever further away from the sun** : 無生物主語構文で、unstoppable dynamical laws(M') are even now(M') driving(Vi') it(S') ever further away(C') from the sun(M')を訳出する。

▶12. **any life there may be on other planets must meet the same inglorious end** : NP+there be の構造に着目。life の後には、主格の関係代名詞 that の省略がある。<any life [(that) there may be on other planets]>(S')とする。また、meet は形式他動詞で、訳出はせずともよい。must meet(M') the same inglorious(M') end(Vi')と考える。

cf. Now **all there is** is a wasteland of garbage, and all my friends look miserable.

(横浜国立・二次-経済 2004年)

all (that) there is を、直訳すれば「今そこにあるすべてのもの」となる。 (今あるのは塵の荒野だけで、友達はみんなみすぼらしいなりをしているわ)なお、この構造では、特に there is を無視してしまっても、大きな不都合はないと思われる。が、訳出するなら there is の時制を大事にして「その場に実際にある/あった」などとしたい。

<<C>>

(6) ①Psychologists also have a high interest in juvenile delinquency. ②Using paper-and-pencil tests, they might test the hypothesis that gang leaders, when compared with their followers, have more outgoing personality traits, or greater hostility and aggressiveness.

(慶應義塾・総合政策 2004年)

Words & Phrases

(6) psychologist (n. 心理学者) juvenile delinquency (n. 青少年犯罪) hypothesis (n. 仮説) gang leaders (不良少年のボス) compare A with B (A と B を比べる) follower (n. 仲間) outgoing (adj. 社交的な、外交的な) personality (n. 個性) trait (n. 特徴、特色) hostility (n. 敵意、対立) aggressiveness (n. 攻撃性)

【考え方】

(6) ▶13. **have a high interest in juvenile delinquency** : have は『形式他動詞』で、訳出不要である。
have(×) a high(M') interest(Vt') in juvenile delinquency(O')と考える。

cf. The presence of a high proportion of females **can have several far-reaching effects upon a society.**

(電気通信・二次 1976年)

▶14. **Using paper-and-pencil tests, they might tesse ...** : might に着目すれば、if SVX の代用表現と瞬時に判断できる。

▶15. **the hypothesis that SVX** : (Det.) 抽象名詞 that SVX の構造であるから、この that は『同格修飾』節を導く。

cf. But *the fact that* reason too often fails does not give fair ground for *the hysterical conclusion that* it never succeeds.

(横浜市立・二次一医 1970年)

▶16. **when compared with their followers** : 接続詞+C' の構造であるから、主文の主語と等しい代名詞主語+be 動詞の省略を補い、when {they are} compared with their followers としてみればよい。

cf. That self, **though (it is)** perhaps a poor thing, is your own: and **though (it is) your own**, it can be discovered only by trial and error, indeed, **if (it is) not given** a chance to grow, it will probably die.

(成城・文芸 1983年)

NB 仮定法(叙想法)をさらに細分化すると、帰結推量は i) 反実仮想 ii) 程度強調に、婉曲推量は i) 婉曲 ii) 丁寧・皮肉・批判 iii) 残念・遺憾に下位区分される。例を追加しよう。

(i) a. (I'm so hungry,) I **could eat** a horse. (CALD, LDCE⁴, OALD⁷)

(馬一頭喰えるくらい)お腹がペコペコだ: 程度強調

[各辞書によって、それぞれ、humorous, spoken, informal のレーベルが異なる点に注意]

b. The report **couldn't have come** at a worse time for the European Commission. (COB⁴)

((これ以上悪い時にはやって来ないくらい)→)その報告は最悪のときにやってきた: 程度強調

(ii) You **could ask** before you borrow my car. (Swan, 1995²: 124(6))

(車を使う前に一声頂けたらと思うのですが: 丁寧・皮肉・批判)

(iii) It's ridiculous that John **should refuse** (or refuses) to help his son. (Declerck, 1991: 422)

(ジョンが息子に手を貸そうとしないなんて変だ: 残念・遺憾)

〈考え方〉

主文の推量表現に対する条件節は、①副詞句・副詞節の他に、②形容詞句・形容詞用法の準動詞・関係詞節
③不特定主語・目的語など³⁹でも代用が可能である。

- cf. (1) A man **proud of his children** *would not do* this.
: proud of his children→if he were proud of his children
- (2) A **more skillful** teacher *would have treated* such a child otherwise.
: A more skillful teacher→a teacher, if he or she had been more skillful,
- (3) Anyone **wishing to leave early** *may do* so.
: wishing to leave early→if he or she wishes to leave early
- (4) A letter **sent by airmail** *should arrive* sooner than one sent by regular mail.
: sent by airmail→if it were sent by airmail
- (5) A person **having achieved success early in life** *may become* bored in life.
: having achieved success early in life→if he or she had achieved success early in life
- (6) Any person **who had behaved in that way** *would have been dismissed*.
: who had behaved in that way→if he or she had behaved in that way
- (7) **The use of nuclear weapons** *would be* an outrage against humanity.
: やや強引にパラフレーズすれば、If nuclear weapons were to be/are used となろう。
- (8) In my days a lady *would not have married* a **stable-boy**.
: 不定目的語も、不定主語同様、if-clause の代用表現を形成することが可能である。

Question A

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

- (1) Dreams affect the body's internal processes. **An exciting dream** *will cause* the dreamer's heart to beat faster and his blood pressure to increase.

(富山・二次-前期 1993年)

(2) Neither love **without knowledge**, nor knowledge **without love** *can produce* a good life. It *will be* a good life **inspired by love** and **guided by knowledge**.

(早稲田・一文 1950年)

(3) Any attempt **to understand women's experience**, therefore, *must inevitably come* to grips with both their oneness and their diversity.

(大阪女子・二次-A日程 1993年)

(4) He **who thinks himself already too wise to learn of others**, *will never succeed* in doing anything either good or great.

(水産講習所 1905年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) **Intimacy with great writers of the past** *would be* enough to enrich one's whole life.

(中央・法一政治 1970年)

(6) While I'm in Madrid, I *would like* to take advantage of **the opportunity to visit the famous Prado Museum**.

(センター・本試 1994年)

(7) A student, moreover, should develop into a citizen who contributes to the well-being of humanity in general. Otherwise, **mastery of a foreign language** *will have* little meaning.

(日本医科・医 1970年)

39. 主語となる不定詞、主語・目的語になる動名詞、及び、代名詞が条件節の代用になる例を、訳例とともに、江川(1991³: 264)から借用しよう。

cf. (1) **To accept their offer** *would be* foolish.

(彼らの申し出を受けるだなんて、愚かというものです)

(2) *Would you object to* **my naming** you as a reference?

(身元保証人としてお名前をお借りしても、差し支えないでしょうか)

(3) A lifetime of happiness! No one can bear it; **it** *would be* hell on earth.

(一生幸福が続くなんて。やりきれたものじゃない。地上の地獄だ)

Practice

<<A>>

(1) **A loving and wise God** *would not cause* one part of you to grow to maturity and leave another part far beyond.

(鹿児島・二次-B日程 1991年)

(2) When a bee stings it will perish inevitably for having made use of its sting. **He who uses atomic weapons to defend freedom** *would become* subject to a similar fate.

(慶應義塾・経済-二次 1963年)

(3) **Finding life on Mars** obviously *would be* thrilling. **It would**, in a small way, *ease* our loneliness.

(大阪・二次-前期 2005年)

Words & Phrases

- (1) loving (adj. 愛情に満ちた、やさしい) cause O to V (Sが原因でOがto Vする) maturity (n. 成熟、熟成)
(2) sting (vi. 刺す) perish (vi. 滅ぶ) inevitably (adv. 必然的に) make use of NP (～を利用する) atomic weapons (n. 核兵器) defend (vt. ～を守る、防御する) become subject to NP (～の被害を受けやすくなる、にさらされるようになる) fate (n. 運命)
(3) Mars (n. 火星) thrilling (adj. 心躍るような) ease (vt. 不安などを癒す) loneliness (n. 孤独)

【考え方】

(1) ▶1. **A loving and wise God would not ...** : would に着目し、if a God were loving and wise, it would not ... と考える。

▶2. **cause one part of you to grow to maturity** : cause(×) one part of you(S') to grow(Vi') to maturity(C')を訳出する。なお、**to+抽象名詞**は、『程度・結果』を表す。

▶3. **and leave another part far beyond** : cause との並列から、無生物主語構文に等しいため、leave(Vi') another part(S') far beyond(C')を訳出する。文脈上、far beyond は、前出 to maturity の対比表現となる。

(2) ▶4. **for having made use of its sting** : この **for+抽象名詞**は、『相当理由』を表す。また、having made(×) use(Vt') of its sting(O')を訳出する。

▶5. **He who uses atomic weapons to defend freedom would** : 本文の He は、古い言い方で、man(人間)を表す。また、主文の would に着目し、who uses atomic weapons to defend freedom を if he uses atomic weapons to defend freedom と考える。

(3) ▶6. **Finding life on Mars obviously would be thrilling** : 主語になる動名詞が、would から、if SVX に相当するものと判断し、If life were found on Mars, it obviously would be thrilling と考える。

▶7. **It would, ..., ease our loneliness** : 代名詞もまた、if SVX の代用として機能することがある。なお、ease {us of} our loneliness と、**不特定の自明要素は省略可能**である。⁴⁰

cf. The doctor promised that *the medicine* he had prescribed would **ease** the poor man **of** his suffering.

(ODCIE)

40. 除去型動詞(deprive, rob, rid, heal, cure, ease, relieve, clear, strip, empty etc.)は、他動詞+A+of+Bの語法をとり、Aには「除去の対象(主にヒト)」が、Bには「除去物」がそれぞれ用いられる。「SによってAがBを失う」などと訳出する。

cf. (1) *One failure after another* **robs** them **of** their nerve.

(中央・法-政治 1982年)

(2) *Schools and colleges* thus **empty** books **of** their true meaning.

(青山学院・文-教育、日本文 1982年)

(3) *Various electric appliances* **have relieved** housewives **of** much labour.

(慶應義塾・法 1983年)

<>

(4) ① Courage and endurance may still be required, but not eccentricity or individualism. ② In fact, the only great explorer from a previous century who might have been happy to exchange his ship for a space capsule, would be steady, calm, highly conventional Captain Cook.

(神戸・二次－後期 1991年)

(5) ① Boys are given the impression that the masters know everything; ② if on the contrary the great lesson impressed on them was that the great ocean of truth lies all undiscovered before us, ③ surely this would prove a stimulus and many would be nobly anxious to enlarge the boundaries of human knowledge and extend the intellectual kingdom of man.

(東京外国語学校 1898年)

Words & Phrases

(4) courage (n. 勇気) endurance (n. 忍耐) eccentricity (n. 常軌を逸した行動、異常) individualism (n. 個人主義) explorer (n. 探検家) previous (adj. 前の) exchange A for B (AをBと交換する) a space capsule (宇宙船) steady (adj. 安定した、変わらない、堅実な) calm (adj. 落ち着きのある) conventional (adj. 因習的な)

(5) impression (n. 印象) master (n. 大家、師) on the contrary ((文頭で)これとは反対に、それどころか) prove (vt. ～を証明する) stimulus (n. 刺激) nobly (adv. 高貴に、気高く) be anxious to V (to Vしようとする) enlarge (vt. ～を広げる) boundary (n. 境界線) extend (vt. ～を拡大する) intellectual (adj. 知的な) kingdom (n. 王国、分野、領域)

【考え方】

(4) ▶8. **the only great explorer ... who might have been happy to exchange A for B, would be steady, calm, highly conventional Captain Cook** : the only great explorer ... who might have been happy to exchange A for B は、「喜んで A を B と交換したであろう唯一の冒険家は」で、for は『交換・相当・通用』を表す。また、would 以下の形容詞+具体名詞部分は、直訳しても意味不明の訳しかできない。こういう場合は、**形容詞を C' として、具体名詞を S' として**、つまり、steady(C'1), calm(C'2), highly conventional(C'3) Captain Cook(S') を捉え、これを訳出する。「揺るぎない心を持ち、落ち着きがあり、伝統を大切にする」やや強引に書き換えれば、the only explorer ... would be Captain Cook, who was steady, calm, highly conventional とでもなろう。「キャプテンクックであろう。というのは、S' は C' であるからだ」

(5) ▶9. **the impression that SVX : (Det.) 抽象名詞 that SVX** で、先行詞が『概念・認識・可能性』に関わる名詞であるから、この that は『同格修飾』節を形成する。

cf. But *the fact that* reason too often fails does not give fair ground for *the hysterical conclusion that* it never succeeds.

(横浜市立・二次一医 1970年)

▶10. **this would prove a stimulus** : この prove は形式他動詞と考え、訳出はせずともよい。ただし、その場合、a stimulus を受身で訳出できるかどうかが問題。

cf. Science is *a method of knowledge* that arose and first **proved** its usefulness within the realms of mechanics, physics, and chemistry.

(同志社・商 1963年)

▶11. **many would be nobly anxious to enlarge the boundaries of human knowledge and extend the intellectual kingdom of man** : many(S' : many people) would be nobly anxious to(M') enlarge(Vt') <the boundaries [of human knowledge]>(O') and extend(Vt') <the intellectual kingdom [of man]>(O') をとらえ、これを訳出に反映する。

NB 形容詞+具体名詞の例を追加しよう。

cf. For example, the wife of a London-based Japanese businessman says that she is very happy to be living in England since *her workaholic husband* pays more attention to her and the family than he does in Tokyo.

(福井県立・二次一前期 1994年)

「彼女の旦那」は、一人しかいないのが、日本や西欧の常識である。「(自分の)他の旦那」との対比を示すわけではな
いから、非制限的と判断しなければならない。ここでは、「自分の旦那は、仕事中毒だったのに」と訳すことができる。
(例えば、ロンドンに駐在している、あるビジネスマンの妻の言葉によれば、イギリスで暮らしているのはとても楽しい。
というのも、自分の旦那は、仕事中毒だったのに、東京にいるときよりも、自分や家族に、より関心を示してくれるか
らなのだ、とのことである)

<<C>>

(6) ①It is not enough that men and women should be made comfortable in a natural sense. ②Many members of the well-to-do classes at present, in spite of opportunity, contribute nothing of value to the life of the world, and do not even succeed in securing for themselves any personal happiness worthy to be so called. ③The multiplication of such individuals would be an achievement of the minutest value.

(東京商船・二次 1959年)

Words & Phrases

(6) comfortable (adj. 快適な) the well-to-do classe (富裕階級) sense (n. 意味) in spite of NP (〜に関わらず) opportunity (n. 機会) contribute A to B (AをBに与える) of value (価値がある cf. valuable) secure (vt. 〜を確保する) worthy to be p.p. (〜されるにふさわしい) multiplication (n. 多様性) individual (n. 個人、個体) achievement (n. 達成、業績) minute (adj. 些細な)

【考え方】

(6) ▶12. **It is not enough that SVX : it be C(=AP/NP/Ving/p.p.) that SVX.**の構造で用いられる **it** は、形式主語で、**that SVX** 全体を「予告指示」する。「SVX では十分ではない」

▶13. **any personal happiness worthy to be so called** : **worthy to be so called** は、形容詞の後置修飾。前出の **happiness** にかかる。

cf. To reenergize their university systems, these countries would need to set up *new institutions free from the rules and regulations of the current system.*

(早稲田・社会科学 2005年)

▶14. **The multiplication of such individuals would be an achievement of the minutest value** : S, C それぞれに含まれている 2 つの **of** は、(Det.) **他動・名詞+of+具体名詞** であるから、**of** は『目的格関係』を表す。したがって、<The multiplication(Vt') of such individuals>(O') **would be** <an achievement(Vt') of the minutest value(O')>をとらえ、これを訳出する。ただし、**would** に注意し、どこかに **if SVX** 代用表現を求めることをお忘れなく。

NB should の識別・その 1(仮定法の場合)

(i) 仮定法の **if-clause** 中・主文に用いられる **should**(主文の S=1 人称なら **would** の代用)

(a) *If you **should** be fired, your health and pension benefits will not be automatically cut off.* (COB⁴)

(万一解雇されても、健康状態も年金収入も自動的に落ちたりはしない)

(b) *I **should** like to thank you all for coming here tonight.* (LDCE⁵)

(今夜はお越しいただきまして、皆様に感謝の気持ちを述べたいと思います)

(ii) 『義務・当然・推定』を表す主文の **should**(原形動詞の意志の有無・形に着目)

(c) *You **should** change trains at Peterborough if you're going to Newcastle.* (CALD²)

(ニューキャッスルに行くのであれば、ピーターバラで列車を乗り換えるべきですね)

(d) *They **should** have called the police.* (LDCE⁵)

(警察を呼ぶべきだった)

(e) *Sheila's a brilliant student – she **should** get a first class degree.* (MED²)

(シエラは優秀な生徒ですから、クラスで一位をとれるはずです)

(f) *It was an easy test and he **should** have passed, but he didn't.* (LDCE⁵)

(簡単な試験だったので、当然合格できたはずなのですが、落ちてしまいました)

(g) *Where **should** (= do you suggest that) we meet tonight?* (CALD²)

(今夜はどこで会うべきですかね)

＜考え方＞

仮定法の条件節から、if を省略すると、倒置語順で代用される。その理由は、本来 if が『疑念』標識であり、『疑念』標識が表層から消えたことにより、疑問文語順で、その『疑念』の意識を代用するためと思われる。⁴¹

- cf. (1) **Were she** here, she *would support* the motion.
: Were she here→If she were here, ...
- (2) **Had we not changed** our reservations, we *should all have been killed* in the clash. : Had we not changed ...→If we had not changed ...
- (3) But **were he** to come, he *would most likely be invited* before the summit starts. : were he to come→if he were to come⁴²
[if S were to V は、『不都合の生じる』と考えられる未来の可能性を示し「仮に」の意味を表す]
- (4) **Should you be late once again**, you *ll lose* your job.
: Should you be late once again→If you should be late once again⁴³
[if S should V は、『不都合の生じない』と考えられる未来の可能性を示し「万一」の意味を表す]
- (5) He *would be ruined*, **could he not win** this battle.
: could he not win this battle→if he could not win this battle
[could/might+SV=if S could/might VX は、稀]
- (6) **Could he have foreseen** that he was to lose everything, his iron soul *must not have been shaken*. : Could he have foreseen ...→Even if he could have foreseen ...

41. 「if を省略すると倒置が生じる」というのを、もう少し敷衍すると、歴史的な派生(そもそもは祈願文の名残(Curme, 1931: 428, 細江: 1933: 82, 136, 毛利, 1954: 17)とする説と、疑問文出身とする説(Jespersen, 1933: 371, 大塚, 1970: 274)とがある)を度外視すれば、次のように考えられよう。まず、if というのは、そもそも疑問詞の一種であり、これを省略すると、①『疑念標識』が(見え)なくなる→②疑問の形(語順)でその意味を補う必要が生じる→③倒置(= 疑問文の語順)で『疑念』の意味を補填する、と考えて、概略、よいと思われる。また、この構文の判断の仕方としては、(1)を例にとれば、i) <動詞の数-1=接続語の数>を前提に、ii) 動詞の数(2: were, would support)-1=接続語の数(0)となり、iii) 接続語が1つ足りない。iv) S-V 語順を含むところ(she would support)に『推量助動詞』が含まれる。の4点から、⑤疑問文語順の箇所(were she here)は、if SVX の代用表現(if she were here)と判断する。

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) **Were virtues unknown among men**, order and happiness *would be* strangers to human life.

(札幌農学校 1905年)

(2) Indeed, we now realize that humans *could not have become* thinkers **had they** not at the same time **been** makers.

(北海道・二次 1980年、大阪外語・二次 1980年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(3) **Were the silent volcanoes to explode**, these supervolcanoes *would set off* terrible earthquakes and put the western United States under a thick blanket on ash.

(東京・二次一前期 2007年)

(4) A person who has come to a strange country *must not feel hurt nor grow angry* **should he hear people laugh at his mistakes**.

(神戸高等工業学校 1922年)

(5) **Could reality come** into direct contact with the senses, art *would be* useless, or rather we *should all be* artists.

(上智・経済 1969年)

42. should と were(was) to とで、意味に差のない場合もある。(江川, 1991³: 258; 安井, 1996²: 319)

(i) If he **were to/should** hear of your marriage, he would be surprised. (Hornby, 1975²: 5.110)

(もし彼が君の結婚の話を聞いたら、驚くだろう)

(ii) What would you say if I **were to tell/told** you that Fred has divorced his wife? (Declerck, 1991: 430)

(フレッドが奥さんと別れたと伝えられたら、君は何と言うだろうね)

43. should happen to とすれば、さらに偶然性が高まる(should by any chance もほぼ同じである)。

(i) If it **happens to/should happen to rain**, I'll stay home. (C.-Murcia & L.-Freeman, 1999²: 550)

(万一雨なら、家に居るつもりだ)

Practice

<<A>>

(1) The current, extraordinary spread of the English language around the world *would never have begun*, **were English a difficult language to learn.**

(千葉・二次 1967年)

(2) Often in adult life I have come across people doing jobs that *would have thrilled me had I been told about them at school.*

(関西・文 1983年)

(3) **Should an infection sweep through vulnerable, genetically uniform breeds**, food production *could suffer.*

(神戸・二次-後期 1993年)

Words & Phrases

(1) current (adj. 現在の) extraordinary (adj. 並はずれた、非凡な、尋常ではない cf. remarkable) spread (n. 広がり) learn (vt. ~を身につける cf. acquire)

(2) come across NP (<ヒトに>偶然出会う、<モノゴトを>偶然見つける) thrill (vt. 心をときめかせる)

(3) infection (n. 伝染、感染) sweep (vi. 瞬く間に広がる) vulnerable (adj. 傷つきやすい、被害などを被りやすい) genetically uniform breeds (遺伝子組み換えの種子) production (n. 生産) suffer (vi. 苦しむ、打撃を受ける)

【考え方】

(1) ▶1. **The current, extraordinary spread of the English language around the world** : (Det.) 自動・名詞+of+具体名詞の構造で、of は『主格関係』を示す。したがって、The current(M'), extraordinary(M') spread(Vi') of the English language(S') around the world(M')を訳出する。

▶2. **were English a difficult language to learn** : would に着目し、if English were a difficult language to learn に等しいものと考え。⁴⁴

(2) ▶3. **jobs that would have thrilled me** : 無生物主語構文なので、jobs(M') that would have thrilled(Vi') me(S')を訳出することを考える。

▶4. **had I been told about them at school** : 前出の would から、if I had been told about them at school と判断する。

(3) ▶5. **Should an infection sweep through vulnerable, genetically uniform breeds** : 後出の could から、if an infection should sweep through vulnerable, genetically uniform breeds と考える。なお、if S should VX=should+S+VX の場合、主文の動詞は、仮定法だけでなく、直説法や命令法も用いられる。例文をひとつ追加しよう。

cf. **Should the queen (bee) die**, the workers *will start* feeding royal jelly to several larvae.

(小樽商科・二次-前期 2000年)

44. 一般動詞を用いた仮定法過去における<if S+過去形動詞 ...>から、if を省略して、<did+S+原形動詞 ...>を用いることは、一般には容認されず、我々外国人としては、こうした表現を用いることは避けるべきである。ただし、次のような例はごく稀に存在する。

(i) It *would be* a wise move, **did they only realise**. (= if they only realised) (Chalker, 1984: 137)

(もし理解しているのなら、そのように動くのが賢明だろう)

(ii) Now that I do know of your distress, I *should* indeed *be* ungrateful, **did I not render** you all the help in my power. (陸軍主計学校 1919年)

(今はもう君の心配ごとを知っているのだから、出来る限りのことをしなければ、恩知らずということになりましょう)

(iii) **Did we consider** that the mind of a man is the man himself, we *should think* it the most unnatural thought of self-murder to sacrifice the sentiment of the soul to gratify the appetites of the body.

(東北帝國大學豫科(乙) 1919年)

(もし精神がその人間そのものであると考えるのであれば、魂の情緒を犠牲にして肉体の欲求を満たすことは、自我を破壊してしまう最も不自然な考えと判断することになるだろう)

<>

(4) ①Science rests as much upon philosophical assumptions as does any other mode of orientation to the world about us. ②There is no need here, even were it possible, to examine the ultimate truth or falsity, or even the relative adequacy of those assumptions.

(慶應義塾・医 1958年)

(5) ①It would be interesting to speculate what might have happened had the Japanese been aware of, and adopted the Roman alphabet in about A.D. 400. ②But the speculation would, in a sense, be idle; ③for Japan's neighbors were China and Korea, and it was inevitable that the influence of the much older civilization and culture of China should make itself felt, whether direct or through Korean channels.

(東京外語・二次 1967年)

Words & Phrases

(4) rest upon NP (～に左右される、～で決まる) philosophical (adj. 哲学的な) assumption (n. 仮定) mode (n. 方法、様式) orientation (n. 志向、好み) examine (vt. ～を検証する) ultimate (adj. 究極の) truth (n. 真実、真相) falsity (n. 偽り、嘘) relative (adj. 関係のある、相対的な) adequacy (n. 適切さ、妥当性)

(5) speculate (vt. ～を憶測する、あれこれ考える) be aware of NP (～を知っている) adopt (vt. ～を採り入れる) the Roman alphabet (ローマ字) A.D. (西暦、紀元; Latin, *Anno Domini* cf. B.C. 紀元前) in a sense (ある意味では) idle (adj. 怠惰な) inevitable (adj. 必然的な) influence (n. 影響) civilization (n. 文明) culture (n. 文化) direct (adj. 直接の) Korean channels (朝鮮海峡)

【考え方】

(4) ▶6. **Science rests as much upon philosophical assumptions** : 無生物 S+rest on+O であるから、「S(かどうか)は O で決まる」を基盤に、訳出を考える。

cf. *The cosmology of the Egyptians also rested on a blending of human observation and the supernatural.*

(一橋・二次-前期 1999年)

▶7. **as does any other mode of orientation to the world about us** : as 以下では、新情報である主語が焦点化され、倒置語順をとっていることに注意が必要。また、does は代動詞で、前出 rests ... assumptoins を反復する。また、any other mode(M') of orientation(V') to the world about us(O')を訳出する。

▶8. **There is no need here, even were it possible, to examine the ultimate truth or falsity, or even the relative adequacy of those assumptions** : even were it possible は、if it even were possible からの if の省略による、倒置構文。また、the relative(M') adequacy(C') of those assumptions(S')の意味構造に注意が必要。

(5) ▶9. **It would be interesting to speculate what might have happened** : It は『状況』の it で、to speculate what might have happened が if SVX の代用表現。

▶10. **had the Japanese been aware of, and adopted the Roman alphabet in about A.D. 400** : この部分は、if the Japanese had been aware of, and adopted the Roman alphabet in about A.D. 400 からの倒置構文。また、(A+B)X 型の共通構文であるから、共通要素 X 部分を、日本語では、先に訳出するのがよい。

cf. *The restoration and rapid growth of Japan, Western Europe, and some other nations, have made the United States proportionately less influential.*

(早稲田・商 1976年)

▶11. **it was inevitable that SVX** : it was inevitable that まで全体が、文修飾副詞の代用構文を形成する。実質的にも、inevitably に近い意味を持つ。

▶12. **whether direct or through Korean channels** : whether {it is} direct or through Korean channels と、文主語と等しい代名詞主語+be 動詞の省略を補って考える。

cf. *Automation can confer marked benefits on mankind, if properly applied, there is no doubt, but it will also raise problems of employment and of social life.*

(明治・商-産業経営 1957年)

<<C>>

(6) ①Could thought be controlled as easily as speech, all government would rule in safety, and none would be oppressive; ②for everyone would live as rulers wanted, and his judgments of true and false, good and bad, fair and unfair, would be determined entirely by the will.

(法政・法 1967年)

Words & Phrases

(6) speech (n. 話し言葉) rule (vi. 統治する) safety (n. 安全) oppressive (adj. 圧政的な) ruler (n. 統治者)
judgment (n. 判断) fair (adj. 反意語 unfair) determine (vt. ~を決める) entirely (adv. まったく) will (n. 意志)

【考え方】

(6) ▶13. **Could thought be controlled as easily as speech** : 後出の *would* に着目し、本来、*if thought could be controlled as easily as speech* という構造からの、*if* の省略に伴う倒置構造と判断する。⁴⁶

cf. The whole system of government *would break down*, **could a man escape** the consequences of his wrongful act by asserting that he did not know that he was breaking the law.

(早稲田・教育 1963年)

▶14. **for everyone would live as rulers wanted** : *for* は等位接続詞で、「追叙理由」を示す。また、*would* は仮定法・帰結推量を示し、「生活しようとするだろう」となる。なお、*as* は『様態』を表す接続詞で「統治者が望むように/通りに」とする。なお、仮定法・帰結推量の例文を追加しよう。

cf. His whole attitude toward his work **would** be different if he had a wider knowledge of all the technical problems involved in the production of the whole product.

(慶應義塾・商 1984年)

▶15. **his judgments of true and false, good and bad, fair and unfair** : 所有格+他動・名詞+*of*+具体名詞の構造であるから、*of* は『目的格関係』を表し、*his(S')* *judgments(Vt')* *of true and false,(O₁)* *good and bad,(O₂)* *fair and unfair(O₃)*を訳出する。

cf. A better *understanding of* these phenomena may completely alter **our conception of** the nature of the universe.

(中央・理工 1985年)

46. 理屈の上からは、*might/could S+VX* や *would S+VX* の構造も(かなり稀ではあるが)可能である。

(i) **Might/Could I but see** my native land, I *would die* a happy man. (Quirk et al., 1985: 1094)

(一目生まれ故郷を眺めることが出来るなら、死んでも幸せだ)

(ii) **Could he have cast** himself in the part of Mr Copthorne, the villain and apostate, he *would not have attempted* to run away from his captors. (Huddleston & Pullum, 2002: 970)

(もし Copthorne 氏の役(悪者と背教者)に、自分自身をキャストすることができたならば、その男は。自分を捕まえようとしている人たちの手から逃げようとはしなかっただろう)

(iii) **“Might I advise,”** said the owl, “I *would* recommend you to repair to Seville.” (宮内, 1955: 76)

(「御助言してよろしければ[= 失礼な御助言申し上げますが]」とふくろうが言った。「あなたはセヴィルへお戻りなさるようお勧めしますね」)

＜考え方＞

倒置とは、英語の通常の語順を破って、動詞や助動詞が主語の前におかれる現象を呼ぶ。文頭に(文否定の)否定語句が置かれると、それに伴い、後続のSVXは、疑問文の語順になる(否定辞前置)。^{47, 48, 49}

- cf. (1) *On no account are the visitors allowed to touch* the exhibits.
- (2) *At no time was the President* unaware of what was happening.
- (3) *Not a finger do men lay* on women.
- (4) *Not a wink did she get* last night.
- (5) *Never/Seldom has there been* so much protest against the Bomb.
- (6) *No sooner had the meeting started* than there was an uproar.
- (7) *Under no circumstances can we cash* cheques.
- (8) *Vainly(= In vain) did he try* to persuade her.

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

- (1) *No longer is the emphasis* on grammar alone for the first two years of study as it has been in the past.

(慶應義塾・法 1976年)

47. このような倒置構造は、二重否定的な意識を利用した、話し手の命題内容に対する『断定の意識』を、聞き手に対し、強調的に明示するためのものと考えることが出来る。また、原則として、この手の倒置は主文にしか生じない。では、次の例はどうだろうか。

cf. The doctor told his patient that *on no account should he return* to work until he had made a complete recovery. (医者は「どんなことがあっても、完全に回復するまでは仕事に戻ってはいけません」と言った)

この例で(学校文法でいう)従文に倒置が生じているのは、the doctor ...that ので、文修飾副詞の代用と話者が感じ取っているために他ならない。つまり、形の上では従文だが、意味・情報の上からは、主文に相当しているのである。

(2) *At no period of man's existence upon this earth does he appear* to have been without music.

(神戸・二次 1975年)

(3) *Never has civilized man forgotten* Plato's discovery without regret, and *never has he remembered* it without a revival of spirit.

(立命館 1959年)

(4) *Only* then **will one** really **meet** people and have some chance to develop a sense of fellow feeling.

(静岡県立・二次一前期(国際関係) 1997年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) ①The opening of the Panama Canal in August 1914 brought about many changes in ocean routes, ②but it should be observed that *by no possibility can it have* such an important effect on the commerce of the world, ③as was brought about by the opening of the Suez Canal.

(高松高等商業学校 1926年)

48. 次の例では、文頭に否定要素があるのに、倒置が生じていないのは、何故だろうか。

cf. (1) *In no time at all the hotels would be jammed* to the doors. (Biber, 2002: 408)

(あっという間に、そのホテルは入り口まで人があふれかえっただろう)

それは、否定の作用域(scope)に原因がある。否定の作用域が文全体に及んでいないと、倒置は生じないのである。

cf. (2) *Neither politics nor burdens of diplomacy have been able to spoil* her(= Madam Pandit) charm and grace.(政治も外交の重責も彼女の魅力と優雅さを損ねることは不可能だったのである)

(津田塾・学芸 1955年)

49. only, alone, in vainなども、否定的な意味合いを有しているので、文頭に置かれ、文修飾ならば倒置が生じる。

cf. *In one area alone is there* prospect of real progress. (村田, 1982: 163)

(ある一つの分野にしか、真の意味での進歩は見い出せない)

Practice

<<A>>

(1) Thus, Japan's leaders in all fields are generally men of great caution and endurance. *Rarely are they* highly imaginative, creative individuals.

(都留文科・二次一前期[文・英文] 1998年)

(2) *In vain did he urge* the child to go back; the brave little fellow would be in the thick of the fight beside his father.

(海軍機関学校 1903年)

(3) In the case of justice, *neither could friendship make* him do wrong, for his friends' sake, *nor could hatred move* him to do injustice, even to his worst enemy.

(新潟醫學専門學校 1914年)

Words & Phrases

(1) thus (adv. このように、かくして) generally (adv. 一般的に cf. as a rule) caution (n. 用心) endurance (n. 忍耐力) rarely (adv. めったに～ない) imaginative (adj. 想像的な、発想力豊かな) creative (adj. 創造性のある) individual (n. 個人)

(2) in vain (無駄に、空しく) urge O to V (O に to V するように言う) brave (adj. 勇敢な) fellow (n. 仲間) in the thick of NP (～の真っただ中で/に) be beside NP (近くにいる)

(3) in the case of NP (～の場合) justice (n. 正義、公正) for one's sake (～のための/に) hatred (n. 憎しみ) move O to V (O に to V させる cf. stir O to V, tempt O to V) injustice (n. 不正)

【考え方】

(1) ▶1. **men of great caution and endurance** : (Det.) 具体名詞+of+抽象名詞(形容詞派生)の構造であるから、<men(S') [of great caution and endurance](C')>、つまり、men that are of great caution and endurance に近いものと考ええる。

cf. From the beginning it(= the Massachusetts Bay Colony) had *a high degree of self-government* which was to be *of great significance* in *the political development of* New England.

(早稲田・第一商 1968年)

▶2. **Rarely are they highly imaginative, creative individuals** : 文否定副詞 rarely が文頭に生じた結果、後続の語順が倒置語順、すなわち、be+S+NP となっていることに注意。

cf. *Very seldom, and then only for exceptional reasons, has the writing of poetry brought* the poet an adequate income.

(神奈川・外国語 1968年)

(2) ▶3. **In vain did he urge the child to go back** : 文否定副詞 in vain が文頭に生じた結果、後続の語順が倒置語順、ここでは、did+S+VP となっていることを確認。「SVX だが、それは無駄であった」

▶4. **the brave little fellow would be in the thick of the fight beside his father** : the brave little fellow は、前出の the child であるから、「勇敢で小柄な仲間」は無意味。また、in the thick of the fight は、挿入的なもので、would be beside his father という結びつきを見抜く。この would は直説法で、『過去の積極的意志』を示す。

(3) ▶5. **In the case of justice, neither could friendship make him do wrong** : まず、In the case of justice は、そのまま訳出して、「公平/正義の場合」としても、意味がよくわからない。こういう場合は、**自明の Ving を、意味の中心となる名詞の前後(ここでは justice)に補い、補充訳を試みる**のがよい。ここでは、In the case of **considering** justice とするのである。また、neither could S+原形 V の語順を確認。さらに、**無生物主語+make+O+原形 V の構造**から、friendship(M') make(M'or×) him(S') **do wrong**(V') を訳出する。

cf. The industrial revolution has, of course, not been confined to Britain; **neither is it** at an end.

(九州・二次 1968年)

▶6. **nor could hatred move him to do injustice** : やはり、nor could S+原形 V の語順を確認。また、hatred(M') move(M'or×) him(S') to do(Vt') injustice(O') を訳出する。

cf. **Nor are disease and similar afflictions** the worst handicaps that can follow bad living conditions or bad upbringing.

(明治・商一商 1965年)

<>

(4) ①Perhaps the essential reason why *Casablanca* is now a classic, and a legend is that it was concerned with our war! ②Rarely, if ever, have an actor and actress had the opportunity to work so dramatically, if unknowingly, on our emotions, when defeat seemed a possibility and victory far away.

(横浜国立・二次(経済) 1993年)

(5) ①Not only does such a broken-up community provide no substitutes should a mother or father be temporarily or permanently incapable of child care ②but, by putting this great load on parents, it may destroy a family which in better circumstances could hold together.

(大阪市立・二次-A日程(前期) 1991年)

Words & Phrases

(4) perhaps (adv. 多分、おそらく) essential (adj. 本質的な、必要不可欠な) *Casablanca* (カサブランカ) classic (n. 古典) legend (n. 伝説) The reason is that SVX (その理由は SVX だからだ) be concerned with NP (～に関心がある、～を扱っている) if ever (たとえあるにしても) opportunity to VX (to VX する機会) work on NP (～に作用する cf. tell on, act on) dramatically (adv. 劇的に) unknowingly (adv. つゆしらずして) emotion (n. 感情、情感) defeat (n. 敗北) possibility (n. 可能性) victory (n. 勝利)

(5) broken-up (adj. 崩壊してしまった) community (n. 地域社会、共同体、一般社会) provide (vt. ～を与える) substitute (n. 代用) temporarily (adv. 一時的に) permanently (adv. 永久に) be incapable of NP (～ができない) care (n. 世話、気配り) putting a load on NP (～に負担をかける) destroy (vt. ～を破壊する) circumstance (n. 環境、事情) hold together (まとまる、一致する、つじつまが合う)

【考え方】

(4) ▶7. **the essential reason why SVX is that SVX** : 「SVX の本質的な理由は、SVX だろう」

▶8. **Rarely, if ever, have an actor and actress had the opportunity to VX** : 文頭否定副詞 Rarely の後には、倒置語順が続くことを確認せよ。また、if ever は決まり文句で「たとえある/するにしても」、have(M) an actor and actress(S') had(Vt') <the opportunity [to VX]>(O')を見抜く。

▶9. **work so dramatically, if unknowingly, on our emotions** : 2つの挿入部分を外して、**work** (so dramatically), (if unknowingly), **on**(Vt') our emotion(O')という、群他動詞 work on のつながりが見えるかどうか最大のポイントとなる。

(5) ▶10. **Not only does such a broken-up community provide no substitutes** : 文頭否定副詞 Not only does S+原形 V を確認。such a broken-up community(S') provide(Vt') no substitutes(O')を訳出する。

▶11. **should a mother or father be temporarily or permanently incapable of child care** : 結論的にいうと、if a mother or father should be temporarily or permanently incapable of child care からの、if の省略による倒置構造である。したがって、この should は、不都合が生じないと話し手の考える「万一の可能性」を表す。ただし、ここでは、even if S should VX の代用となっていることに潮位が必要。

▶12. **by putting this great load on parents** : put は形式他動詞で訳出不要。putting(×) this(M) great(M) load(Vt') on parents(O')をとらえ、by でまとめる。後出の may から、if SVX と判断する。

cf In America religion concerns itself with the relations not only between man and God but between man and man. It **puts** less *emphasis* on the religious life than on the good life of man.

(東北 1949年)

▶13. **it may destroy a family which in better circumstances could hold together** : 無生物主語構文 (SVtO 型)であるから、主語を副詞的(M)に、他動詞を受身または自動詞(Vi)として、目的語を主語(S')として、すなわち、it(M) may destroy(Vi) <a family [which ...+VX]>を訳出する。なお、which 以下の in better circumstances は、後出 could から、if SVX の代用表現と判断する。

NB should の用法・その2

(iii) **that-clause** の中で『想念』を表す **should**(訳出不要のことが多い。また、ある場合は間接的・依頼を示す)

(h) I *suggest* (that) he **should see** the doctor. (Beaumont and Granger, 1989: 94)

(個人的な提案だが、医者に診てもらうのがよい)

(i) It is *essential* that the ban **[should] be** lifted tomorrow. (Quirk et al., 1985: 1224)

(明日その禁は解除しなければならない)

<<C>>

(6) ①Not only is it vital to the development of the nation that each should make a wise choice of occupation ②but it is essential to the happiness and success of the individual. ③In choosing an occupation, you determine many things that involve your happiness and satisfaction in life. ④The home you make, the community in which you will live, the standard of living that you will maintain, the recreations you pursue, and the environment in which your children will grow up will depend largely upon your choice of a vocation.

(神戸市外語・二次 1964年)

Words & Phrases

(6) vital (adj. 重要な) make a choice of NP (～を選ぶ) occupation (n. 職業) essential (adj. 必要不可欠な) individual (n. 個人、個体) determine (vt. ～を決定する) involve (vt. ～を含んでいる、～と関係がある) satisfaction (n. 満足感) community (n. 地域社会、共同体、一般社会) the standard of living (生活水準) maintain (vt. ～を維持する) recreation (n. 気晴らし、娯楽) pursue (vt. ～を追及する) environment (n. 環境) depend upon NP (～に左右される) largely (adv. ほとんど) vocation (n. 仕事)

【考え方】

(6) ▶14. **Not only is it vital to the development of the nation that SVX** : Not only+be+S+AP の倒置語順を確認するとともに、it は形式主語で that SVX を予告指示する。また、the development(Vi') of the nation(S')を見抜き、これを訳出する。

▶15. **each should make a wise choice of occupation** : make は形式他動詞で訳出不要。each(S') should make(×) a wise(M') choice(Vt') of occupation(O')と考える。

▶16. **the happiness and success of the individual** : (Det.) 形容・名詞 and 自動・名詞+of+具体名詞であるから、of は『主格関係』を表す。したがって、the happiness(C1') and success(Vi') of the individual(S')を訳出する。

▶17. **many things that involve your happiness and satisfaction in life** : 具体名詞+that+Vt+OX の構造であるから、that は、いわゆる関係代名詞・主格に相当するもの。ただし、同時に無生物主語構文が成立していることから、訳出にはひと工夫が必要となることもある。

▶18. **The home you make/the recreations you pursue** : とともに(Det.) NP₁+NP₂+V(Oなし)の構造で、関係代名詞・目的格の省略といわれるもの。

cf. Radio and television use *every dramatic device they have to get their messages across*.

(釧路公立・二次 1993年)

▶19. **無生物 S will depend largely upon your choice of a vocation** : まず、「S かどうかは◎でほぼ決まる」とする。さらに、◎= your(S') choice(Vt') of a vocation(O')を訳出する。

NB should の用法・その3

(iv) **that-clause** の中で『驚き・残念・怒り』等の感情を表す **should**(なければ『諦念』を表す)

(j) Claudia was *shocked* that anyone **should believe** such a scandalous story. (MED²)

(クラウディアは中にはそんなスキャンダラスな話を信じる人もいと知ってショックだった)

(v) **否定目的を表す副詞節**の中で(in order S should not VX, lest S should VX, for fear that S should VX)

(k) He disguised himself *lest* he **[should]** be recognized. (OALD⁶)

(見破られないようにしっかりと変装した)

(vi) **that-clause** の中で、a)主文の動詞が過去時制で、b)1人称主語の場合、『時制の一致』(would の代用)

(l) I said that *I should* be happy to cooperate with the investigation. (MED²)

(この調査に協力させてもらえるなんて光栄です、とあの時言った : 主文の動詞は、認識・伝達型動詞である)

＜考え方＞

①名詞主語+『存在・出現・消失』の意味を持つ動詞句(cf. be; go, come; be lost, etc.)を用いた構文において、場所(位置・方向など)を表す副詞語句が、通常的位置を離れて、動詞句より前置された場合、主語と動詞句部分に語順転倒が生じる。(M+V+S/Ving[p.p.]+be+S)⁴⁹

②CやOが、他の語句との対照など、情報関係上の理由(話題化: topicalization)で前置される場合、それぞれ、C+Vi+S や O+S+Vt(+C)の語順で用いられることがある(随意的: optional)。ただし、(O+S+Vt(+C)などは)疑問文の語順をとっているわけではないため、厳密な意味での倒置とは言えない。

- cf. (1) *In came Jasper*, smiling jauntily, stepping like a dancer.
- (2) *Among the audience were the Prime Minister and his wife.*
- (3) *Under a tree was lying one of the biggest men* I had ever seen.
- (4) *In the distance could be seen the snow-capped mountains.*
- (5) *Brightly shone the moon* that night, though the frost was cruel.
- (6) *Best of all would be to get a job in Wellingham.*⁵⁰
: Adj. ...+be 動詞→C+Vi+S (Adj. ...+S なら、being[or having been]省略の分詞構文)
- (7) Sandy moved ahead. ‘*This I do not understand*’, he said.
: N ...+S+Vt(O なし)+X(≠V)→O+S+Vt (X=V なら、関係代名詞の省略構文)

49. 本セクションで扱う、M+V+Sの倒置構文は、新話題となる不定主語を導入する場合に話し手の任意で生じる。また、『存在・出現・消失』の意味を持つ動詞句を追加すると、be, exist, live, stand, lie, stay, go, come, jump, enter, appear, be lost, etc.などが挙げられる。

50. 次の例では、主語が代名詞(=旧情報)のため、倒置語順にならない。文末は新情報(new information)の占める位置だからである。

cf. *Certain it is* that no bread eaten by man is so sweet as that earned by his own labour.

(鹿兒島高等農林學校 1916年)

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) *With physical ability to move around comes a new mental outlook and a new social mobility.*

(関西学院・商 1983年)

(2) *Coming soon is its first Asian coffee roasting plant, possibly in the Phillipines, Hong Kong or Japan.*

(静岡・二次一前期 2001年)

(3) *Connected with this is another result of science, namely, the greater unity of the world.*

(慶應義塾・法 1962年)

(4) *Characteristic of his “mental attacks” was an intensification of his imagery.*

(広島・二次一前期 1994年)

(5) *A dominant trend of the period is the rise of the scientific method, both in the natural and in the human science.*

(上智・文一心理, 史, 英文, 他 1981年)

(6) *What the diameter of the object glass was we do not know, perhaps two inches or possibly a little more.*

(東北学院・文 1970年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(7) ① Among the aims of a university education must be included the acquisition of knowledge, ② but of far greater importance are the development of intellectual curiosity and the realization that the acquisition of knowledge is pleasurable, ③ for the development of these qualities is a guarantee that the acquisition of knowledge will continue after the student has left the university.

(武蔵・人文 1964年)

Practice

<<A>>

(1) The word “modern” has not always been a weighty word; but *for us it is, and behind it lies a particular idea* of history and of our relationship to it.

(京都・二次 1973年)

(2) *Rare indeed is the person* who can sit down and dash off a wonderful letter without giving it a second thought.

(筑波・二次 1988年)

(3) *The large part of our thoughts and feelings* that we do not know and cannot control **he(= Freud) called the unconscious.**

(成城・文芸 1972年)

Words & Phrases

(1) modern (adj. 現代の、近代の) weighty (adj. 重みのある) particular (adj. 特定の、特別な) relationship (n. 関係)

(2) rare (adj. 稀な) indeed (adv. 実際) dash off NP (vt. ～を一気にやる、さっと書く) wonderful (adj. 素敵な)
give NP a second thought (～を再考する)

(3) thought (n. 思考) control (vt. ～を制御する) Freud (フロイト・人名) unconscious (adj. 無意識の)

【考え方】

(1) ▶1. **but for us it is, and behind it lies a particular idea** : is の後には、a weighty word の省略がある。このことを踏まえ、but (for us)(M') it(S' : the word "modern") is(Vi') {a weighty word}(C), and (behind it)(M) lies(Vi') <a particular idea>(S')を捉え、訳出する。

▶2. **our relationship to it** : 所有格+他動・名詞+to+具体名詞の構造で、to は『目的格関係』の of の代わりに用いられたもの、つまり、we are related to it の抽象名詞化である。したがって、our(S') relationship(Vt') to it(O')を訳出する。

(2) ▶3. **Rare indeed is the person** : 文頭形容詞句(AP) ...+V となることから、C+Vi+S の移動構文。

▶4. **dash off a wonderful letter** : 「素敵なお手紙を一気にやる」としても、まともな日本語ではない。こういう場合は、自明の Ving の省略を補って、『補充訳』を作ることを考える。

▶5. **without giving it a second thought** : give は確かに形式他動詞。だが、イディオムとして処理出来れば十分である。

(3) ▶6. **The large part of our thoughts and feelings that we do not know and cannot control** : 文頭の名詞句(前置詞なし)であるから、本来ならこれを S と考え、対応する V を探す。つまり、**文頭 NP ... +V とするはず、と思って読み進むのが原則**である。だが、ここで、NP ...+S(he は主語にしかたれない)となってしまうことに気付いて、考え方を変えなければならない。一般に、**NP ...+S という構造**になる場合、NP の働きは、次の 2 通りしかない。

(a) **NP ... +SVX** : NP ... は、being/having been の省略された分詞構文。(または、副詞的目的格)

cf. **The dead more hideous, the surface of the earth more utterly devastated.**

(慶應義塾・文 2011 年)

(b) **NP ... +SV(O なし)** : NP=O となり、O+S+Vt(+C)の移動構文。

cf. **Some I know, who, though born to comparative wealth, find no pleasure so keen as that of trying how much physical hardship they can endure.**

(山口高等商業学校 1919 年)

▶7. **he(= Freud) called the unconscious** : called の後に O が欠落していることを確認せよ。なお、O+S+Vt+C の例をひとつ追加しよう。

cf. Above all, conversation is a social activity and, such as, it shares characteristics of all social activities. **These characteristics we usually take for granted** so that it is only their absence we notice.

(大阪女子・二次-前期 1990 年)

<>

(4) ①New and accumulated knowledge now makes it possible to send missiles from one continent to the other in a matter of minutes. ②Into these missiles can be fitted the nuclear cargo which on arrival will completely destroy the societies of the humans and shatter the delicate conditions which alone make life possible.

(一橋・二次 1958年)

(5) ①In the history of man's cultural development, the communication of ideas ranks as one of his most significant achievements. ②Only when man learned to pass on knowledge that he had accumulated did he become distinguished from the lower animals. ③Even more significant than the ability to communicate knowledge by means of signs and sounds was the development of a means of preserving the knowledge through written records.

(同志社・工、経済 1967年)

Words & Phrases

(4) accumulated (adj. 蓄積された) make it possible to VX (to VX を可能とする) missile (n. ミサイル) continent (n. 大陸) be fitted into NP (A を B に分ける、当てはめる) nuclear (n. 核) cargo (n. 船荷、貨物) completely (adv. 完全に) shatter (vt. ～を粉々/滅茶苦茶にする) delicate (adj. 繊細な)

(5) cultural (adj. 文化的な) communication (n. 伝達、連絡、通信) rank as NP (～の地位/順序を占める) significant (adj. 重要な) achievement (n. 業績、達成) learn to V (～できるようになる) pass on NP (～を伝える、次へ回す) distinguish A from B (A と B を区別する cf. tell A from B, know A from B, differentiate A from B) the lower animals (下等生物) communicate (vt. ～を伝達する) by means of NP (～を使って) sign (n. 兆候) preserve (vt. ～を保存する) record (n. 記録)

【考え方】

(4) ▶8. **New and accumulated knowledge now makes it possible to VX** : 主語部分を「新しく、蓄積された知識のおかげで」としても、日本語として心もとない。こういう場合は、New(C₁') and accumulated(C₂') knowledge(S')と考えるのもよい。つまり、**形容詞(C')+具体名詞(S')**は、必要に応じて「S'はC'だ」と訳出可能なのである。

▶9. **Into these missiles can be fitted the nuclear cargo which VX** : into ... missiles を外しても、Sが見えないこと、及び、原則として、**受身の後に、直接名詞句が続くはずがないこと**、の2点から、考え、Into these missiles(M') can be fitted(Vi') <the nuclear cargo [which VX]>(S')と判断する。この文も、主語の名詞句に関係詞節がついて、情報量が重くなった結果生じた『重名詞句転移』である。

▶10. **which on arrival will completely destroy the societies of the humans** : on+動作動詞派生抽象名詞は、as soon as SVX とほぼ同値表現。また、will completely destroy(Vi') <the societies [of the humans]>(S')を訳出する。

▶11. **shatter the delicate conditions which alone make life possible** : 上記同様、SVtO 型の無生物主語構文であるから、shatter(Vi') <the delicate conditions [which alone make life possible]>(S')と考える。あとは、「その状態でのみ唯一生存を可能としてくれる繊細な状態」の「繊細な」をどう解釈するかがカギ。

(5) ▶12. **In the history of man's cultural development** : この所有格 man's は、抽象名詞 development の意味上の主語というより、むしろ、man's(M') cultural(S') development(Vi')と考えるべきであろう。

▶13. **Only when man learned to pass on knowledge that SVX did he become distinguished ...** : that は同格修飾節を形成するもの。それよりも、文頭・否定語句に着目し、後続部分が倒置構造であることを予測できなければならない。

▶14. **Even more significant than ... was the development of ...** : [Even more significant than ...] という形容詞句を外すと、あるべきはずの S より先に be 動詞が眼に入る。ということは、C+Vi+S の倒置と判断する。[Even more significant than ...](C) was(Vi) <the development [of ...]>(S)を訳出する。

▶15. **the development of a means** : (Det.) 自動・名詞+of+具体名詞より、the development(Vi') of a means(S')を捉える。

▶16. **a means of preserving the knowledge through written records** : (Det.) 抽象名詞+of+抽象名詞より、of は『同格修飾関係』を表すことを確認しておきたい。

<<C>>

(6) ①That the beauty of life is a thing of no moment, I suppose few people would venture to assert, ②and yet most civilized people act as if it were none, and in so doing are wronging both themselves and those that are to come after them; ③for that beauty, which is what is meant by art, using the word in its widest sense, is, I contend, no mere accident to human life, which people can take or leave as we choose, ④but a positive necessity of life, if we are to live as nature meant us to, that is, unless we are content to be less than man.

(明治・商一商 1956年)

Words & Phrases

(6) of moment (束の間の、重要な cf. of importance, of significance) suppose (vt. ～と思う) venture to V (敢えて～しようとする) assert (vt. ～を主張/断定する) civilized (adj. 文明化された) wrong (vt. ～を不当に扱う、害を与える) art (n. 芸術) contend (vt. ～を強く主張する) accident (n. 偶然) positive (adj. 積極的な) necessity (n. 必要性) mean O to V (O に to V させる) that is (すなわち cf. namely) be content to V (満足して～しようとする)

【考え方】

(6) ▶17. **That the beauty of life is a thing of no moment** : 文頭の **that SVX** は、必ず名詞節(S or O)として機能する。ここでは、**That SVX+SV(O なし)**の構造であるから、**That SVX** 全体は目的語(O)として機能する。

cf. **That the safety of a nation lies in the possession of an efficient and powerful navy, is now taken for granted among the nations of the world.**

(海軍經理學校 1914年)

▶18. **I suppose few people would venture to assert** : **I suppose** は挿入的に処理するのがよい。つまり、(I suppose)(M') few people(S') would venture to assert(Vt')と考へ、**assert** の目的語(O)が、本来あるべきはずの場所がない、ということを確認する。すると、文頭の **That SVX** が、**assert** の O であることに気がつくはず。

▶19. **those that are to come after them** : 具体名詞を意味上の主語とする **be to V** であるから、とりあえず「to V することになっている」と訳出し、文脈上の調整を図る。

cf. I will not dwell upon *the innumerable difficulties* that **were to overcome**.

(関西・文 1989年)

▶20. **for that beauty, which is what is meant by art, using the word in its widest sense, is, I contend, no mere accident to human life** : **for** は等位接続詞で、『追叙理由』を示す。その後の構造は、やや、複雑だが、**that beauty(S')**, (**which is what is meant by art, (using the word in its widest sense), ig(Vi)**), (**I contend**), **<no mere accident [to human life]>(C')**と判断する。蛇足だが、カンマが見えたら次のカンマまでは、挿入句として、カッコでくくる習慣があればよい。

▶21. **, which people can take or leave as we choose** : **which** の先行詞は前出の **accident** である。また、**as** は『様態』を表す接続詞であることを確認のこと。

▶22. **but a positive necessity of life** : この **but** は、前出 **no** と呼応するもので、**not A but B** の強意形と考へる。また、抽象名詞 **necessity** が含まれていることから、**a positive(M') necessity(C') of life(M')** の関係を出す。

▶23. **if we are to live as nature meant us to** : これも具体名詞+**be to V** の構造で、一般に **if-clause** 中の **be to V** は、『意志・願望』を表すものといわれる。「本気で～しようと思うなら」また、**as** は『様態』を表し、**to** は代不定詞で **to live** の代用形である。

cf. If men hesitate to give up present benefits for advantages in their own future, they will be even more hesitant if *the advantages are to be gained* only by their descendants.

(立教・経済—経済 1983年)

〈考え方〉

他動詞の目的語が、形容詞語句等を伴って複雑になり、情報価値が重くなった場合、「文末重心の原理(principle of end-weight)」に従い、本来の位置を離れて、文末に移動することがある。これを重名詞句転移(heavy NP shift; HNPS)、または、複合名詞句転移(complex NP shift)と呼ぶ。^{51, 52}

- cf. (1) You **should read** *with the greatest attention* **all the instructions** which you receive in the course of the day. : with ... attention は随意的副詞句(M)→S+Vt+M+O
- (2) Even if these descriptions are valid they still **leave open a number of questions**. : S+Vt+C+O(ただし、leave open を複合動詞句と考えることもできる)
- (3) **Get back to Ireland** *her nationality, her individual existence*.
: back to Ireland は義務的副詞句(A)→S+Vt+A+O(やはり、get back を複合動詞句と考えてもよい)

Question A

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) To love others you must love yourself. We have already stated several times that you can only **give to others what you have yourself**.

(東洋・経営 2003年)

(2) Through memory man **keeps alive the knowledge and experience that have been gained in past times**.

(東北学院 1969年)

(3) Science **has revealed to us a universe so ancient and vast that human affairs seem at first sight to be of little consequence**.

(京都府立・二次-前期 2005年)

51. 名詞句の移動現象(NP 移動)には、左側への移動(左方移動)と、右側への移動(右方移動)とがあり、左方移動の代表としては、受動化(passivization)、及び、繰り上げ構文(raising construction)、wh 移動(wh-movement)等が挙げられる。が、本章では、便宜上、右方移動を中心に扱うこととする。

(4) The world is going through a period of profound and rapid change, **placing upon men and nations unusual strains** which will endure as far as we can see into the future.

(小樽商科・二次 1963年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) Never, in any country or at any time, has public opinion, however well informed it may have been (which was hardly ever the case), reflected an element of dissent sufficiently strong to **make known its condemnation of its government's abuses in foreign policy.**

(大阪外語・二次 1973年)

cf. The free man, says Spinoza, thinks of nothing less often than death. *Free*, in his sense of the word, **I may not call myself.** I think of death very often; the thought, indeed, is ever in the background of my mind; yet *free* in another sense **I assuredly am,** for death inspires me with so fear.

(金澤医科大学・醫 1933年)

52. いわゆる形式主語/目的語の構文も、右方移動の典型例である。これも文末焦点の原理(=文末に新情報の焦点を置く)が働くからと考えてよい。

53. 次の例では、目的語は移動していないので、重名詞句転移の例とはいえない。しかし、目的格補語を前置することで、目的語を際立たせているので、「文末焦点」の例と見ることが出来る。(安藤, 2005: 866)

cf. But as we rode along **I saw coming toward us the doctor in his dogcart.**

(しかし、馬車で走っている時に見えたのは、二輪馬車でこちらにやってくる医師の姿だった)

Practice

<<A>>

(1) We **accept** *with little question* the **immense variety of sensations to which we are exposed during daily life.**

(東京・二次一前期 1991年)

(2) A re-examination of liberal ideas of freedom of expression will help **make clear** what such factors are.

(早稲田・法 2010年)

(3) In the practical intercourse of life, **there has been developing at the same time a need and a demand for exchange of ideas through group discussion.**

(日本女子・文 1968年)

Words & Phrases

(1) accept (vt. ~を受け入れる) immense (adj. 莫大な) a variety of NP (さまざまな) sensation (感情) be exposed to NP (~にさらされる、~を経験する)

(2) re-examination (n. 再調査、再検討) liberal (adj. 気前のよい cf. generous 偏見のない(⇔ narrow-minded, blinkered) 心の広い cf. tolerant) expression (n. 表現) help O V (OがVしやすくなる) make clear NP (~をはっきりさせる) factor (n. 要因)

(3) practical (adj. 実際の、実用的な) intercourse (n. 交際、交流) demand (n. 需要) exchange (n. 交換) discussion (n. 議論)

【考え方】

(1) ▶1. **We accept with little question the immense variety of sensations** : 他動詞 *accept* が能動形であるから、その後ろには、必ず目的語が現れるはずである、という考え方のもとに、*with little question* をカッコにくくって飛ばす。すると、*the immense variety of sensations* という、前置詞のついていない名詞句が見える。したがって、これを他動詞 *accept* の O と判断する。

cf. The myth quickly **bestows on him his Man Friday**; and the building of a new society begins.

(中央・経済 1986年)

(2) ▶2. **A re-examination of liberal ideas of freedom of expression** : まず、(Det.) 他動・名詞+of+具体名詞の構造を見抜き、*A re-examination(Vt')* of <liberal ideas [of freedom of expression]>(O')を捉える。なお、*ideas* に続く *of* は、『純粹同格』の *of* である。「表現の自由というリベラルな考え」

▶3. **will help make clear what such factors are** : *help* の後に (to) V が直接続く構造は、不特定目的語が任意で省略されたものと考えればよい。これは、*make believe*, *make do with*, *hear say*, *hear tell* などでも同じことである。さらにここでは、原形 V の *make* との間に、無生物主語構文が形成されているため、*will help(M')* *make clear*(Vi') <what such factors are>(S')の関係を訳出する。

cf. *The recognition of assembly-line illness may help to prevent some of these disorders from occurring, but more intensive remedies are probably needed.*⁵³

(鹿児島・二次-前期 2004年)

(3) ▶4. **there has been developing at the same time a need and a demand ...** : *there has been developing* までが、述語動詞であるから、主語になる名詞がふつうは直後に見えるはず。だが、*at the same time* という副詞語句が現れることで、それなら主語がその後に移動しているはずだ、と考える姿勢が重要。

53. *may* の識別

(1) **may+有意志動詞**(語修飾 : *be allowed to V*)→『許可』『(否定文で)禁止』

cf. a. Thank you. You **may go** now. (LDCE⁴)

(ありがとう。じゃあ、お行きなさい)

b. You **may not watch** that programme. (Declerck, 1991: 373)

(あんな番組を見てはいけない)

(2) **may+無意志動詞**(文修飾 : *It may be the case that SVX*)→『妥当性推量』

cf. *What he told you may or may not be true.* (Declerck, 1991: 399)

(彼の言葉は本当かもしれないし、本当ではないかもしれない)

may の用法としては、他に『祈願・呪詛』『譲歩』などが挙げられるが、いずれも、本来は『許可』の *may* から二次的に生じたものである。譲歩の例に限りひとつ挙げておこう。

cf. It **may be** a comfortable car, *but* it uses a lot of petrol. [譲歩] (Swan, 1995²: 334)

(なるほど快適な車ではあるが、ガソリンを喰いすぎる)

<>

(4) ①Whenever society demands of a mother sacrifices to her child which go beyond reason, ②the mother, if she is not usually saintly, will expect from her child compensations exceeding those she has a right to expect.

(奈良女子・二次 1965年)

(5) ①Among writers who have left behind them works sufficient to keep their memory alive, one here and there has also had the peculiar power to impress his personality, not only upon his contemporaries, but upon posterity likewise, which accordingly thinks of him with the kind of interest usually reserved solely for the living. ②The mere sight or sound of his name brings with it a train of attractive associations and arouses the same sort of pleasure as we feel at the unexpected reappearance of an old friend.

(奈良女子・二次 1962年)

Words & Phrases

(4) demand A of B (AをBに期待[要求]する) sacrifice (n. 犠牲) saintly (adv. 聖人のような) expect A from B (BにAを期待する) compensation (n. 償い、代償) exceed (vi. 超えている、優っている)

(5) leave A behind B (Bの後にAを残す) sufficient to V (～するくらい cf. enough to V) alive (adj. 生きている) peculiar (adj. 特有の) impress A upon B (BにAの印象を与える) personality (n. 個性) contemporary (n. 同時代の人) posterity (n. 子孫、後世の人々) likewise (adv. 同様に) accordingly (adv. それに応じて、適宜に) reserved A for B (BのためにAを取っておく) solely (adv. 専ら、単独で) bring A with B (AがBを伴う) attractive (adj. 魅力的な) association (n. 協会、交際、関連、連想) arouse (vt. ～を呼び起こす)

【考え方】

(4) ▶5. **Whenever society demands of a mother sacrifices to her child which go beyond reason** : 他動詞 demand の後に、前置詞のつかない名詞が直に続いていない。ということは、demand A of B における A の情報価値が(修飾語がついて)重くなり、demand of B+長い A という重名詞句転移が生じたものと判断する。

▶6. **the mother, ..., will expect from her child compensations** : 上記同様、expect A from B における A の情報価値が(修飾語がついて)重くなり、expect from B+長い A となったもので、やはり重名詞句転移。

▶7. **exceeding those she has a right to expect** : those(NP₁)+she(NP₂)+has a right to expect(Vt'・Oなし)という構造から、関係代名詞・目的格の省略といわれる構造。なお、those は、compensations を反復する『反復代名詞』。日本語ではくどいと感じられるなら、訳出せずともよい。「母親が当然のことながら期待するもの」

(5) ▶8. **Among writers who have left behind them works sufficient to keep their memory alive** : これも、本来なら leave A behind B の語順をとるはずが、A=works に sufficient to keep their memory alive という形容詞がついて、情報価値が重くなり、後にまわった、重名詞句転移。

▶9. **, which accordingly thinks of him with the kind of interest** : which の先行詞は意味から判断するしかないのだが、ここでは his personality である。また、**with+形容詞派生抽象名詞**が動作動詞を修飾し、『様態』の副詞句を形成する。

▶10. **The mere sight or sound of his name** : (Det.) **形容詞+他動・名詞+of+具体名詞**の構造であるから、of は『目的格関係』を表し、The mere(M') sight or sound(Vt') of his name(O')と考える。なお、ここまでは他動詞に対する無生物主語であるから、訳出は副詞的に行う。

▶11. **brings with it a train of attractive associations** : bring A with B から、bring with B+長い A という語順となっていることを確認。

▶12. **and arouses the same sort of pleasure** : 無生物主語であるから、arouses(Vi') <the same sort of pleasure>(S')を訳出する。

▶13. **the unexpected reappearance of an old friend** : (Det.) **形容詞+自動・名詞+of+具体名詞**の構造で、of は『主格関係』を表す。したがって、the unexpected(M') reappearance(Vi') of an old friend(S')を訳出する。

<<C>>

(6) ①Everything that we need to satisfy our wants has to be derived finally from two sources – the natural resources that are available and the human ability to make use of them. ②As our knowledge grows and we increase our skill, we can exploit more and more of the opportunities that nature offers to us. ③The increase in communications, for example, has brought within our reach the resources of vast areas that were closed to us before; ④the development in scientific knowledge has made accessible many valuable minerals from depths below the earth's surface that could not be reached by earlier generations.

(法政・経済 1964年)

Words & Phrases

(6) satisfy (vt. ～を満たす cf. meet) want (n. 不足 cf. need, lack) derive A from B (B から A を引き出す) source (n. 源) natural resources (天然資源) available (adj. 入手可能な) make use of NP (～を利用する) exploit (vt. ～を搾取する、～を巧みに利用する、～を活かす) opportunity (n. 機会) offer (vt. ～を与える) within one's reach (手の届くところの[に]) vast (adj. 広大な) be closed to NP (～に対して封鎖する) make O accessible (O を近づける) valuable (adj. 価値のある) mineral (n. 鉱物) depth (n. 深さ) surface (n. 表面)

【考え方】

(6) ▶14. **Everything that we need to satisfy our wants** : need と to satisfy の間に、O となる名詞が欠落している、すなわち、(Det.) **具体名詞 that SV(O なし)** であることから、that はいわゆる関係代名詞・目的格と呼ばれるもの。また、ここに含まれる不定詞は、副詞用法・目的を表す。

▶15. **the human ability to make use of them** : (Det.) **抽象名詞 to VX** の構造で、不定詞は前出の抽象名詞を説明する『同格修飾』。また、make は形式他動詞で訳出不要。ここでは、the human(S') ability to(M') make(×) use(Vt') of them(O')を訳出する。

▶16. **As our knowledge grows and we increase our skill** : as SVX の V=動作動詞(変化・変遷の意味を包含)であるから、as は『同時進行』を表す。

cf. **As we lose** interest in things other than the material, we become correspondingly less like human beings, and in that sense we lose humanity.

(東京・二次 1980年)

▶17. **the opportunities that nature offers to us** : (Det.) **具体名詞 that SV(O なし)** であることから、that はいわゆる関係代名詞・目的格と呼ばれるものであることを確認。

▶18. **The increase in communications** : この in は、『主格関係』を表す of の代用形と考えてよい。前出の抽象名詞に対する意味上の主語(S')を表す前置詞は、of だけに限られるわけではなく、筆者の経験上、in, between, among; from, to などでも示すことが出来る。

cf. *The comprehensive change in* the outward appearance of Japanese life is beyond dispute.

(東北・二次-前期 1996年)

▶19. **has brought within our reach the resources of vast areas that were closed to us before** : 他動詞 bring の O である the resources に修飾語句がついて情報量が重くなった結果、O が文末に移動した『重名詞句転移』。したがって、has brought(Vt') (within our reach)(M') <the resources [of vast areas [that were closed to us before]]>(O')を読み取らなければならない。

▶20. **the development in scientific knowledge** : 前述▶18.同様、この in も、抽象名詞 development に対する意味上の主語(S')を示すものと考えてよい。したがって the development(Vi') in scientific knowledge(S')を「副詞的に」訳出することを考える。

▶21. **has made accessible many valuable minerals** : 本来なら、make+O+accessible の語順を取るはずだが、これも重名詞句転移の例。has made(×) accessible(Vi') <many valuable minerals>(S')を訳出する。

〈考え方〉

so や such を伴う語句と、前文との情報関係上の結びつきが緊密である場合、これらを文頭に移動すると、倒置が生じる。これを結果句前置(resultative preposing)と呼ぶ。また、副詞語句を新情報の焦点として文頭に置いて強調する場合にも随意的(optional)に倒置が生じる。これを副詞語句前置(adverbial preposing)と呼ぶ。⁵⁴

- cf. (1) *So strange was his appearance* that no one recognized him.
: So adj.[adv., Ving, or p.p.] be S that SVX.
- (2) *So ridiculous did she look* that everybody burst out laughing.
: So adj.[or adv., Ving, p.p.] do[does, did] SVX that SVX.
- (3) *Such was his strength* that he could bend iron bars.
: Such be S that SVX.
- (4) *Such rare birds were they* that they had not even been recorded in any book.
: Such NP be that SVX.
- (5) *Well do I remember* the day.
: Adv. do[does, did] SVX.
- (6) *Often had I intended* to speak of it.
: Adv. have[has, had] S p.p. ...
- (7) *Far be it* from me to condemn him.
: Adv. be S ...

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) **So intimate** is the relation between a language and the people who speak it **that** the two can scarcely be thought of apart.

(青山学院・経営 1968年、日本歯科・歯 1977年、他多数)

(2) **So well** *do I* generally *sleep* **that**, when I roll round in bed for more than fifteen minutes or so before falling asleep, I consider it a troubled night.

(千葉・二次-前期 1998年)

(3) But now **such** *is the intensity* with which he(= an Englishman) is pursuing his love, **that** he is killing the country with too much kindness.

(新潟・二次 1975年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(4) *Well* **may he feel** humble in realizing the defectiveness of his senses.

(北海道帝國大學豫科 1931年)

(5) This is a superb achievement, and it does not belittle man to claim that he is capable of it. *Rather* **do we** then **perceive** his ultimate, his incomparable distinction.

(西南学院・文-英文、外国語 1975年)

(6) *Far* **be it** from me to suggest that the size and shape of a lady's nose are, at any rate in the lady's estimation, trivial things.

(慶應義塾・医 1966年)

54. 動詞句が強調のために文頭の位置へ移動することもある(動詞句前置)。そうした例を追加しよう。

cf. **Eat** *we must*; and it is literally a subject of vital importance whether what we eat be properly adapted for healthful digestion or not.

(東京都立・二次 1965年)

Practice

<<A>>

(1) In fact **so closely** *do we associate* schooling with books **that** we often presume that if a man has no schooling he can hardly have any education.

(日本女子・文 1968年)

(2) **So extensive**, however, *have been the sources* from which my information has been derived, **that** it will hardly be surprising if some have been left unacknowledged.

(東京農科大學豫科 1908年)

(3) The Japanese returned home from a visit abroad may abuse his foreign hosts in print, **so confident** *is he that* no one abroad will read Japanese.

(関西学院・経済 1967年)

Words & Phrases

(1) closely (adv. 密接に、ぴったりと) associate A with B (B で A を連想する、A と B を結びつけて考える)
schooling (n. 学校教育、教室授業) presume that SVX (SVX だと想定する、みなす)

(2) extensive (adj. 広範囲に渡る ⇔ intensive) source (n. 源、原因) information (n. 情報、知識) derive A from B (A を B から得る、A を B から導き出す) unacknowledged (adj. 認められていない、無視された)

(3) abuse (vt. ～を乱用する、～につけこむ、～を侮辱する、罵る) host (n. (招待客をもてなす)主人) confident (adj. ～を確信して、自信のある)

【考え方】

(1) ▶1. **so closely do we associate schooling with books that SVX** : so や such と結びつく形容詞句や副詞句が、前文との情報関係上、密接なつながりを持つ場合、これを前置すると、後に続く文が倒置構造をとることがある。これを『結果句前置』と呼ぶ。この部分は、本来の語順に戻せば、we associate schooling with books so closely that SVX とすることが出来る。

▶2. **SVt that if a man has no schooling he can hardly have any education** : SVt that まで全体は、**文修飾副詞代用構文**⁵⁵を形成し、これを**副詞的に訳出**することが可能。「S の Vt 的には/S が Vt しているのは」続く if ... schooling までは副詞節で、これを排除すれば、that 節内の S-V が把握できる。

(2) ▶3. **So extensive, however, have been the sources from which SVX that SVX** : これも『結果句前置』の例。通常なら、however, the sources from which SVX have been so extensive that SVX の語順となる。

(3) ▶4. **The Japanese returned home from a visit abroad** : returned ... abroad までは、変異動詞 return の p.p. が形容詞化した、後置修飾の形容詞句。ただし、後出の may+無意志動詞→「推量」表現から、この部分を if SVX の代用表現ととらえて訳出することも可能である。

▶5. **may abuse his foreign hosts in print** : この部分を文字通り捉え、そのまま訳出しても、「文字の形で外国のホストを濫用するかもしれない」と、意味不明の訳語(?)にしかならない。こういう場合は、何らかの省略が絡む、または、意味上の S'-V 関係が含まれるのではないか、と考えることが重要である。ここでは、英英辞典の定義を参考に、host : someone who has invited the guests 程度に考えてみれば、his(O') foreign(M') hosts(Vt')を訳出することも可能であろう。「海外で自分をもてなしてくれた人」

▶6. **so confident is he that no one abroad will read Japanese** : これも『結果句前置』の例。通常なら、he is so confident that SVX の語順となる。ただ、厳密には、so の前に等位接続詞 and が欲しいところ。

55. 文修飾副詞代用構文(1)

(1) **S+be+that SVX.**(断定認識)

cf. **The result is that** a child rarely ever gains the full attention of the adults.

(弘前・二次-前期 1993年)

(2) **S+Vt+that SVX.**(断定認識)

cf. **Some believe**, furthermore, **that** to compel a left-handed child to write with his right hand may make him nervous and may cause stammering.

(慶應義塾・商 1980年)

<>

(4) ①A man's power and intelligence are limited. ②He who wants to do everything will never do anything. ③Only too well do we know those people of uncertain ability who say: ④"I could be a great musician." ... "Business would be easy for me." ... "I could surely make a success in politics."

(千葉・二次 1963年)

(5) ①Today it is expected of every person that he can say, in simple direct fashion, with correctness and reasonable fluency, the things that he has in mind that are related to the moment's need. ②To reading and writing we continue to give extensive attention; ③but to listening and speaking we are gathering the talents of professionals and professors, in order to determine how we may teach and train each individual to achieve efficiency in a culture that is laying increasing emphasis upon what is said and heard.

(日本女子・文 1968年)

Words & Phrases

(4) power (n. 能力) intelligence (n. 知性) limit (vt. ～を制限する) uncertain (adj. はっきりしない) ability (n. 能力) make a success (成功を収める) politics (n. 政治)

(5) expect A of B (BにAを要求する) fashion (n. 流行、やり方) simple (adj. 単純な) direct (adj. 直接の) correctness (n. 正確さ) reasonable (adj. 納得できる) fluency (n. 流暢さ) have NP in mind/have in mind that SVX (NP/SVXを心に留めておく) be related to NP (～と関係がある) extensive (adj. 広範囲にわたる) give attention (注目する) gather (vi. 集まる) talent (n. 才能) professional (n. 専門家) professor (n. 教授) in order to V (～するために) determine (vt. ～を決定する) train (vt. ～を訓練する) individual (n. 個人) achieve (vt. ～を達成する) efficiency (n. 有能、効率) culture (n. 文化) lay emphasis upon NP (～に重点を置く cf. put[give] emphasis on NP)

【考え方】

(4) ▶7. **He who wants to do everything will never do anything** : He は「ヒト(=man)」を表すやや古い言い方で、who ... everything までは、後出の will と呼応する条件節代用構文と考えることもできる。

▶8. **Only too well do we know those people of uncertain ability** : only too well と程度副詞が前置されたことにより、後続の語順が倒置形式になっていることを確認。また、those people of uncertain ability は、(Det.) 具体名詞+of+抽象名詞(形容詞派生)の構造で、『主格修飾関係』を表し、of ... ability=able にほぼ等しい。

▶9. **who say: "I could be a great musician." ... "Business would be easy for me." ... "I could surely make a success in politics."** : could, would は、いずれも仮定法・帰結推量を表す。このことは、who say の時制から判断可能である。

(5) ▶10. **Today it is expected of every person that SVX** : it is p.p. that SVX の構造であるから、it は形式代名詞。

▶11. **he can say, ..., with correctness and reasonable fluency** : 動作動詞と併用される、with+抽象名詞(形容詞派生)は、『様態』を表す副詞句を形成する。

▶12. **the things that he has in mind that are related to the moment's need** : (Det.) NP that SV that VX の構造で、関係代名詞の二重限定。

▶13. **To reading and writing we continue to give extensive attention** : 文頭の to reading and writing は、本来 attention に続くはずのものが、前文との情報構造上の理由で前置された、副詞句前置。また、give は形式他動詞で訳出不要。したがって、To reading and writing(O') we(S') continue to(M') give(×) extensive(M') attention(Vt')を訳出する。

▶14. **but to listening and speaking we are gathering the talents of professionals and professors** : この文も上記 13.と同じ。to Ving ...は副詞句前置である。

▶15. **to achieve efficiency in a culture that is laying increasing emphasis upon what is said and heard** : 不定詞は副詞用法・目的を表す。また、lay は形式他動詞だが、進行形で用いられているため、相(aspect)の意味を副詞的に訳出しなければならない。したがって、a culture(s') that is laying(M') increasing(M') emphasis(Vt') upon <what is said and heard>(O')と考える。

<<C>>

(6) ①To combine the two visions to create a universal set of environmental ethics is, on the other hand, very difficult. ②But combine them we must, because universal environmental morals are the only guide by which humanity and the rest of life we can, during the 21st century, safely make it through the ecological crisis which our species has foolishly provoked.

(国際基督教・教養 2004年)

Words & Phrases

(6) combine (vt. ～を結びつける) create (vt. ～を生み出す) universal (adj. 普遍的な) environmental (adj. 環境の) ethics (n. 倫理) moral (n. 道徳) guide (n. 指針) humanity (n. 人間性) rest (n. 残り) ecological (adj. 生態系の) crisis (n. 危機 cf. 複数形 crises) species (n. 人類、種) provoke (vt. ～を怒らせる、～を引き起こす)

【考え方】

(6) ▶16. **To combine the two visions to create a universal set of environmental ethics is, on the other hand, very difficult** : To combine ...ethics まだが全体の主語。また、to create ... ethics までは、動作動詞(有意志)と併用される副詞用法の不定詞で、『目的』を表す。なお、不定詞そのものを文主語に用いた文は、形式主語 *it* を用いた文体に比べ、主観的な意味が強い。

cf. **To be a gentleman does not depend** upon the tailor or the toilet.

(大阪高等工業学校 1913年)

▶17. **combine them we must** : VP+S+aux. **v の語順**は、『動詞句前置』と呼ばれる現象で、前出情報との対比、その他の理由で、話し手の任意で生じる移動現象。訳出に際しては、通常の語順に戻した訳出を考えればよい。

▶18. **the only guide by which humanity and the rest of life we can, during the 21st century, safely make it through the ecological crisis** : by which SVX 部分の情報量が重いため、先行詞 *the only guide* を *by which* に代入して副詞句を作り、適当な接続詞を補って、訳し下ろすことは可能である。

56. 文修飾副詞代用構文(2)

(3) **S+be+wh.- SVX.**(疑念認識)

cf. **The question is not whether** our society is imperfect (we can take that for granted), but **how** to deal with it.

(東京外語・二次 1970年)

(4) **S+Vt+wh.- SVX.**(疑念認識)

cf. **I wonder whether [if]** there is anybody today who is collecting anthologies.

(日本女子・文理 1956年)

(5) **It is AP/NP that SVX.**

cf. Our fears, **it is evident**, do not march in all respects with our sense of physical danger.

(筑波・二次 1975年)

(6) **It is AP/NP wh.- SVX.**

cf. **It is wonderful that** we live in so coloured a world.

(東京芸術・二次 1969年)

(7) **It is AP/NP {for S} to VX.**

cf. **It is indeed fortunate that** we can forget; **it is as necessary** to forget as it is to remember.

(岩手・二次 1974年)

(8) **It seems[appears, happens, occurs, chances] that SVX.**

cf. On the whole, **it would seem that** it is right for the so-called literary culture to be critical of the so-called scientific.

(奈良女子・二次 1975年)

＜考え方＞

『存在・出現・消失』の意味を持つ動詞句(cf. be, go, come; be lost, etc.)を用いた構文において、主語を修飾する形容詞語句の表す情報価値が重くなった場合、本来の位置を離れて、動詞句より後に置かれ、主語を修飾することがある。これを外置限定(extra position from VP)と呼ぶ。⁵⁷

- cf. (1) *All* is not gold **that** glitters.
: SVX+that+(S)V(X).→関係代名詞節の外置限定
- (2) *The time* will come **when** your dream will come true.
: SVX+when+SVX.→関係副詞節の外置限定
- (3) *A suggestion* came from one of the committee members **that** a dinner be given to raise more money. : SVX+that+SVX.→同格断定節の外置限定
- (4) *The question* still remains **whether** it is right to choose, “to die, or not to die.”
: SVX+whether+SVX.→同格疑念節の外置限定
- (5) I am aware that *a heavy responsibility* rests on you, **to help** support your aging parents. : SVX+to V(X).→形容詞用法不定詞の外置限定
- (6) *No one* looks important **wearing** shabby clothes.
: SVX+Ving[or p.p.]→形容詞用法分詞の外置限定
- (7) *The time* had come **for the sailing** of the emigrant ship.
: SVX+prep NP.→前置詞句の外置限定

Question A

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

- (1) *Regularities in the workings of nature* are sought **which** hopefully reveal the fundamental laws that govern the behavior of matter and forces.

(筑波・二次－前期[A日程] 1991年)

(2) *The time* will come **when the speed of innovation will slow down as this industry matures**. With that, its function as an engine of economic growth vanishes.

(大阪・二次-前期 1997年)

(3) *An unjustified assumption* is being made **that since smoking and low grades go together, smoking causes low grades**.

(東京・二次 1989年)

(4) *The question* arises, therefore, **whether anything could be done to make language even more effective than it already is**.

(徳島・二次-前期(総合科学) 1999年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) At that point, *the logical step* would have been **for American manufacturers to increase their productivity and enforce strict quality control**.

(東京都立科学技術・二次-A日程 1989年)

(6) Shockingly *little research* has been done **on driving under the influence of prescription drugs**, because many authorities measure only alcohol consumption.

(九州・二次-前期 1994年)

57. 主語からの外置だけでなく、目的語からの外置も存在するが、英文解釈上、先行詞を見失う可能性は少ないので、本書では、主語からの外置にのみ焦点をあてることにする。そうした例を安藤(2005: 863-4)から借用しよう。

(i) John read *a book* over the summer **by Chomsky**.

(ひと夏かけてチョムスキーの本を読んだ)

(ii) *What business* is it **of yours**?

(それは君にどんなかわりがあるのかね)

Practice

<<A>>

(1) For *he* is blind **who** will not see that in the lives of the proletariat in the great cities all is misery and confusion.

(大阪府立・二次一経済 1968年)

(2) *Circumstances* may and do arise **in which** it is possible to hit a fellow creature over the head in a spirit of charity.

(早稲田・第一政経 1954年)

(3) From time to time *attempts* have been made in every tongue **to expel** foreign words from its vocabulary **and to replace** them by native words that have been less used.

(九州・二次 1960年)

Words & Phrases

- (1) blind (adj. 眼の見えない) proletariat (n. プロレタリア階級) misery (n. 惨めさ) confusion (n. 困惑)
- (2) circumstance (n. 環境、事情) do (aux. v. 本当に、実際に、ぜひ) arise (vi. 生じる) fellow (n. 仲間) creature (n. 生き物) spirit (n. 精神) charity (n. 慈善、施し、思いやり)
- (3) attempt (n. 試み) tongue (n. 言語) expel (vt. ～を追い出す、追放する) vocabulary (n. 語彙) replace (vt. ～を置き換える) native (adj. 土着の)

【考え方】

(1) ▶1. **For he is blind who will not see that SVX** : 文頭 for は等位接続詞で『追叙理由』を表す。また、who の先行詞は文主語 he(=man)である。関係代名詞の外置限定の例をひとつ追加しよう。

cf. But *no man* has ever yet made his mark on the world **who** was not possessed by some master passion.

(東京高等師範学校・豫科 1904年)

▶2. **in the lives of the proletariat in the great cities all is misery and confusion** : in the lives of the proletariat in the great cities までを文頭・Mとして、マル括弧でくくればよい。カンマがないので、少し見えにくいかもしれない。

(2) ▶3. **Circumstances may and do arise in which SVX** : in which SVX は、文主語 circumstances を修飾する外置限定。また、肯定文における do[does, did]+原形 V の do[does, did]は、いわゆる『強調』の助動詞。「本当に、実際に、ぜひ」などと訳出する。なお、『妥当性推量』を表す may の訳語としては、「～かもしれない」の他、「ことによると」なども臨機応変に使いこなしたい。

cf. We **do** accept contradictions and uncertainty: and we **do** prefer to go along with others in most circumstances. That is how ordinary life is lived and must be lived.

(東京理科・理一数、物理、化学 2005年)

▶4. **it is possible to hit a fellow creature over the head in a spirit of charity** : it is AP to VX.の構造であるから、it は形式代名詞で、いわゆる形式主語の構文。

cf. **It** is impossible to over-estimate the importance of training the young to virtuous habits, in them they are the easiest formed, and when formed, they last for life.

(海軍兵学校 1904年)

(3) ▶5. **attempts have been made in every tongue to VX and to VX** : 2つの to VX は、ともに文主語 attempts を修飾する外置限定。また、make は形式動詞で訳出不要となる。したがって、attempt to VX(to VXしようとする)を念頭に置き、attempts(M') have been made(×) in every tongue(M') to VX and to VX(V')を訳出する。

▶6. **native words that have become less used** : (Det.) NP that VX の構造で、that はいわゆる関係代名詞・主格といわれるもの。なお、英語の受動態は、日本語では、能動態変換して訳出することは可能であり、そうしないと意味不明の日本語になりやすいので、適宜調整が必要である。つまり、英語と比べると、日本語はあまり受動態が得意な言語ではないとだけは言える。

<>

(4) ①Attempts have been made to reconstruct the vocal tract of Neanderthal man, ②and although early reports claimed that Neanderthals had only a limited capacity for speech because their vocal tract was shaped differently from that of modern humans, ③recent evidence from Neanderthal remains suggests that they had a vocal tract shaped like ours.

(弘前・二次－前期[人文] 1995年)

(5) ①Tremendous progress has been made in scientific research into the mind, which can add considerably to our understanding. ②For example, over the last few years researchers have discovered much about the difference between the right- and left-hand sides of the brain. ③The two sides of the physical brain are responsible for controlling very different aspects of our mental process.

(愛知県立・二次－前期(外国語) 1997年)

Words & Phrases

(4) attempt (n. 試み) reconstruct (vt. ～を再構築する) vocal tract (声道) Neanderthal man (ネアンデルタール人) claim that SVX (SVX と主張する) capacity (n. 能力、受容力) speech (n. 話し言葉) modern (adj. 現代の、近代の) recent (adj. 最近の) evidence (n. 証拠) suggest that SVX (SVX をほのめかす cf. imply, mean)

(5) tremendous (adj. 莫大な) research (n. 研究) add to NP (～を付け加える) considerably (adv. かなり) be responsible for NP (～につながる) aspect (n. 局面、様相) mental (adj. 精神的な)

【考え方】

(4) ▶7. **Attempts have been made to reconstruct the vocal tract of Neanderthal man** : to reconstruct は、文主語 Attempts に対する『同格修飾』の不定詞が外置(extra position)されたものである。また、完了形を訳出する際には、日本語の「これまで[ずっと]」を添えてみると、訳がまとまりを見せることが多い。なお、外置限定の不定詞の例を追加しよう。

cf. Over the past 40 years *several efforts* have been made **to teach a chimpanzee human language**.

(島根・二次-前期 1998年)

▶8. **because their vocal tract was shaped differently from that of modern humans : that[or those]+** 後置修飾語句の形で用いられる that[or those]は、『反復代名詞』と呼ばれるもので、その指示内容は、**後置修飾語句の形、意味をヒントに、前方に求める**。ここでは、of modern humans[形容詞的修飾語・+ヒト・複数]等を手掛かりに、(their) vocal tract=the vocal tract (of theirs)を受けると判断する。

cf. He certainly talked less than any man I have ever met, but his day's work could put **that of most men to shame**.

(東北農科大学豫科 1911年)

▶9. **recent evidence from Neanderthal remains suggests that SVX** : まず、remains は、動詞ではなく、名詞である。また、無生物主語で用いられた suggest=imply に等しいことを踏まえ、具体名詞主語の前に自明要素の Ving を適宜補って訳出することを考える。

(5) ▶10. **Tremendous progress has been made in scientific research into the mind** : in ... mind は、文主語 tremendous progress を修飾する前置詞句の外置限定。また、make は形式動詞で、訳出は不要である。したがって、Tremendous(M') progress(Vi') has been made(×) in scientific research into the mind(M'or S')を訳出することを考える。

▶11. **, which can add considerably to our understanding** : which の先行詞は主文全体である。これは、意味から判断するしかない。また、to+抽象名詞は『程度・結果』を示すことを確認しておきたい。すると、which(M') can add(M'or×) considerably(O') to our(S') understanding(Vt')を訳出することになる。

▶12. **The two sides of the physical brain are responsible for controlling very different aspects of our mental process** : 全体は疑似無生物主語構文。したがって、(The two sides of the physical brain)(M') are(×) responsible(M') for controlling(Vt') <very different aspects [of our mental process]>(O')と考える。

cf. *Melanin*, a chemical produced by specialized cells within each hair follicle, **is responsible for giving hair color**.

(早稲田・人間科学 2004年)

<<C>>

(6) ①No one can think effectively without admitting the inherent limitations of the mind. ②To begin with, our senses are few and their ranges small. ③Only two of them (sight and touch) really help us to extend our knowledge. ④Throughout the world interesting and important things are happening which our senses do not report, which they cannot possibly report. ⑤Waves and currents of energy are incessantly flowing through our surroundings and even our bodies; we neither see nor hear nor feel them. ⑥One of the principal aims of the sciences is to extend the range of our limited senses by translating invisible and inaudible phenomena into events that can be heard or seen.

(神戸市外語・二次 1956年)

Words & Phrases

(6) inherent (adj. 受け継いだ) limitation (n. 制限) range (n. 範囲) help O to V (O が to V しやすくなる)
extend (vt. ～を拡張する) current (n. 波) incessantly (adv. 絶えず) principal (adj. 主要な) aim (n. 目的)
invisible (adj. 見えない) inaudible (adj. 聞こえない) phenomena (n. 現象 phenomenon の複数形)

【考え方】

(6) ▶10. **Only two of them (sight and touch) really help us to extend our knowledge** : 他動詞 help+O+to V を用いた無生物主語構文であるから、(Only two of them (sight and touch))(M') really(M') help(M' : ~しやすくなる) us(S') to extend(Vt') our knowledge(O')を訳出する。

cf. *Running and jogging* might even **help** you **to tolerate** frustration at work and arguments at home, and **to avoid** headaches at both places.

(青山学院・文-教育 1986年)

▶11. **interesting and important things are happening which our senses do not report** : which+SV(目的格)の先行詞は、文主語 interesting and important things で、この文も外置限定。なお、which+VX(主格)の外置限定の例を追加しよう。

cf. *Regularities in the workings of nature* are sought **which** hopefully reveal the fundamental laws that govern the behavior of matter and forces.

(筑波・二次-前期[A日程] 1991年)

▶12. **, which they cannot possibly report** : which の先行詞は、やはり文主語 interesting and important things だが、こちらは**非制限用法・文末**なので、**適当な接続詞の意味を補って**、前から後に訳し下ろす。

cf. The Englishman is an individualist. Such is *the traditional view*, **which** requires more precise definition.

(京都府立・二次 1970年)

▶13. **One of the principal aims of the sciences is to extend the range of our limited senses** : **抽象物主語+be+to VX** の構造における不定詞は、いわゆる名詞用法で、「Sは to VX することだ」が基本の訳となる。なお、この構造を導く抽象物主語としては、aim, object, hope, desire, plan, decision, proposal, suggestion 等、『近未来』の意味を包含する場合がほとんどである。

cf. **An efficient way** to attack English rule was *to produce* goods to meet their own demands.

(早稲田・理工 1987年)

▶14. **by translating invisible and inaudible phenomena into events that can be heard or seen** : translate A into B という『変化型動詞』が用いられていることを確認。また、that は、(Det.) **具体名詞+that+VX** の構造であるから、いわゆる主格の関係代名詞と呼ばれるもの。

cf. *Marking a book* thus **turns** the reader **into** a writer, engaged, as it were, in a conversation with the author.

(広島・二次 1971年)

＜考え方＞

分裂文(学習文法でいう強調構文⁵⁸: cleft sentence)とは、It be X that (S)V(X)の構造をとり、他の何かとXとを比較して、一方を打ち消すことにより、X を対比的に強調する構文と考える。強調の焦点Xには、副詞相当語句・名詞相当語句が用いられる。

- cf. (1) **It is *only recently* that** I noticed the leak of the roof.
: It is 副詞句 that SVX.
- (2) **It is *in the kitchen* that** I study (not in the den).
: It is 前置詞句 that SVX.
- (3) **It was *to save them from destruction* that** he did it.
: It is to VX(目的) that SVX.
- (4) **It was *not until I met you* that** I knew real happiness.
: It is 副詞節 that SVX.
- (5) **It was *a very troubled wife* that** \emptyset greeted Harry on his return that night.
: It is 名詞句 that VX.
- (6) **It's *your help* that** I need \emptyset , not your sympathy.
: It is 名詞句 that SV.
- (7) **It was *you* that** I gave it to \emptyset .
: It is 名詞句 that SV ... prep.

Question A

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) If the English nature is cold, **how is it that** it has produced a great literature and a literature that is particularly great in poetry?

(都留文科・二次-C日程[英文] 1992年)

(2) **It must have been *since the period of rapid economic growth*, I suppose, that** drinking has become an everyday affair.

(長崎・二次-前期 1994年)

58. 文中の1語あるいは数語の意味を強めることを強調(emphasis)という。話し言葉と違って、書き言葉の場合、音調や身振りなどで強調を表すことは不可能なので、例えば、do, very, oneself, at all, on earth 等、特別の強意語句を添えたり、語句の反復や、倒置を用いたりしてこれを示す。(安井, 1996²: 540)が、本セクションでは、学習文法で言う It be X that ...型のものにのみ焦点を当て、考察を加えることにする。

(3) **It is to be observed accordingly that** we are still more anxious to communicate to our friends our disagreeable, than our agreeable passions.

(長崎高等商業学校 1918年)

(4) And **it was not until the newcomers had tamed the wilderness into something of an ordered society that** literature and the arts could thrive.

(福島・A日程—行政社会、経済 1989年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) **It is debate itself,** and debate alone, **that** gives rise to the desire for usable information.

(慶應義塾・経済 1997年)

(6) But **it is you that** employers declare to us that they need when we ask what we should be producing for modern times.

(一橋・二次—前期 1990年)

(7) Now **what is it that** the students learn by participating in a technology that they cannot learn by just reading about it?

(徳島・二次—前期(総合科学) 1994年)

59. この型の **that** は、関係代名詞の一種であり、先行詞は **it** である。(Fowler, 1926: 303, Jaspersen, *MEGIII*: 89, 細江, 1971: 310, 安藤, 2005: 771) この **it** は、「今問題になっている人/事柄/場所/時」というような意味を持つもの(安藤, 2005: 772)と解される。

60. 分裂文の **that** が省略されたり、**which/who/whose** で表現されることがある。そうした例を追加しよう。

cf. (1) **It was only our relentless efforts** **that** made success possible. (Declerck, 1991: 548)

(絶え間ざる努力を重ねることによってのみ、成功を収めることが可能となる)

(2) **It is the house that[which]** needs repainting, not the garage! (Declerck, 1991: 543)

(修理が必要なのは家屋であって、ガレージではないのです)

(3) **It's the teacher who** corrects the paper (not the aide). (C. Murcia & L. Freeman, 1999: 615)

(論文に朱筆を入れるのは、助手ではなく、教員です)

(4) **It's you whose** head will roll. (Huddleston & Pullum, 2005: 1418)

(頭が地面に転がることになるのはお前さんの方だけ)

Practice

<<A>>

(1) **It is** *here*, I believe, **that** the final hope against universal destruction by the hydrogen bomb can be found.

(日本・法一法律 1968年)

(2) And, strangely enough, **it was** *this very recipe* **that** this master of taste spoke about in his radio interview.

(東京工業・二次一前期 2005年)

(3) Later **it was** *the man* who worked with his head to achieve success in business and industry **who** was looked up to.

(法政・文 1970年、早稲田・商 1974, 1984年、航空大学校 1979年、大阪府立・二次 1980年、他)

Words & Phrases

- (1) final (adj. 最終的な) universal (adj. 全世界の) destruction (n. 破壊) the hydrogen bomb (水素爆弾)
(2) strangely enough (極めて奇妙なことに) recipe (n. 料理法) master (n. 巨匠) taste (n. 味)
(3) achieve (vt. ～を達成する) look up to NP (vt. ～を尊敬する ⇔ look down on NP cf. respect)

【考え方】

(1) ▶1. **It is here, I believe, that SVX.** : It is 副詞句 that SVX.の構造であるから、分裂文であることは瞬時に分かる。そこまでが理解できている点を、できれば「まさしく~/~/こそ~/~/に他ならない」等、日本語の強調語句をそえることによって、採点者にアピールしたい。

▶2. **universal destruction by the hydrogen bomb** : (Det.) 形容詞+他動・名詞+by+具体名詞の構造であるから、universal(O') destruction(Vt') by the hydrogen bomb(S')を訳出に反映する。

(2) ▶3. **it was this very recipe that this master of taste spoke about** : It is NP that[or which] SV(O 欠落).の構造より、これも分裂文と判断できる。「SがVするのは、NPに他ならない」等、の工夫があればなお可。

(3) ▶4. **it was the man who VX who was looked up to** : It is NP that[or who] VX(S 欠落).の構造より、これも分裂文と判断できる。「NPこそが VXだ」などとしてみよう。

cf. It's that sameness that makes the fruit so easy to grow, but it is also what makes it so susceptible to disease. (同じ用法の that を含む文を1つ選べ)

- ① It was such a high-priced tool that not every one of us could afford to buy it.
- ② It was so hard for me to endure the pain that I couldn't sleep at all last night.
- ③ It was not he but I that earned some money and fed his family.
- ④ It was almost impossible to dispute the prospect that the project would fail.

(法政・文—哲学他、経営—経営 2009年)

NB1 It is X that SVX.の強調の焦点部分 X に、理由を表す since/as SVX は用いられない。since/as SVX は、聞き手にすでに分かっている理由(= 旧情報)を表すからである。(Quirk et al., 1985: 1071)

(i) It is because/*since they are always helpful that he likes them.

(それらがお気に入りなのは、いつも役に立つからです)

NB2 It is X that (S)V(X).の焦点(X)の位置に形容詞・動詞などは、用いられにくい。が、用いられた場合は、引用実詞(quotation substantive: Jespersen *MEG* II: 213)と考えられる(安井(編), 1996: 118-9)。その証拠に、次の各例では that の後に主語や目的語となる名詞が1つ欠落している。

(i) **It was black that** he drank it \emptyset .

(彼はそれをブラックで飲んだ)

(ii) **It is sit that** he does \emptyset best.

(一番上手なのはお座りです)

(iii) **It was that he should say such a thing that** \emptyset surprised me.

(彼がそんなことを言ったので、私はびっくりした)

<>

(4) ①Women are often shown as weak and emotionally dependent, ②yet according to research it is men who tend to have a more romantic and ideal image of their relationships ③and it is women who are more practical.

(福井県立・二次－前期 1995年)

(5) ①The fact that human society and human nature are so imperfect is what makes life exciting to me. ②It makes me grateful to have been born a man, of which I am very proud. ③Interested as I am in the physical universe, it is in man, in his loves and hatreds, his noble achievement and ludicrous failures, that I am interested.

(青山学院・経済－経済 1968年)

Words & Phrases

(4) show O as C (OをCとみなす) emotionally (adv. 感情的に) dependent (adj. 頼っている) according to NP (～によれば) research (n. 研究) tend to V (to Vしがちである) romantic (adj. 愛情のこもった、非現実的な) ideal (adj. 理想的な) image (n. イメージ) relationship (n. 関係) practical (adj. 現実的な、実用的な)

(5) nature (n. 本質、性質) imperfect (adj. 不完全な) grateful (adj. 感謝する、ありがたいと思う) the physical universe (物理的世界) hatred (n. 敵意、憎しみ) noble (adj. 高貴な) achievement (n. 達成、業績) ludicrous (adj. 嘲笑を誘う cf. very ridiculous) failure (n. 失敗)

【考え方】

(4) ▶5. **it is men who tend to have a more romantic and ideal image of their relationships** : it is NP who VX.の構造より、分裂文と即断してよい。

▶6. **it is women who are more practical** : 上記 5.同様、**it is NP who VX.の構造**より、これも分裂文と即断できる。なお、次の例は、分裂文の強調の焦点(focus)が、動名詞であるという点で、非常に珍しい。

cf. It was *Grandmother going* to bed that woke him up again.

(東京・一次-文科 1966年)

(5) ▶7. **what makes life exciting to me** : what の内部構造が、無生物主語構文を形成しているため、訳出には工夫が必要である。ここでは、**what(M') makes(Vi') life(S') exciting(C') to me(M')**を訳出に反映することを考える。

▶8. **It makes me grateful to have been born a man, of which I am very proud** : 上記 7.と同じ。It(M') makes(Vi') me(S') grateful(C') to have been born a man(M')また、, of which I am very proud 部分は、非制限用法・文末であるため、適当な等位接続詞(and/but/because 等)を補って解釈する。

▶9. **Interested as I am in the physical universe** : X as SV の構造ゆえ、順接関係では『理由』、逆接関係では『譲歩』と考える。この判断は文脈を加味するしかない。

▶10. **it is in man, in his loves and hatreds, his noble achievement and ludicrous failures, that I am interested** : it is M that SVX.より、分裂文。また、his noble achievement and ludicrous failures は、前出の his loves and hatreds に対する同格要素である。

cf. **It is** not the reading of many books **which** is necessary to make a man wise or good, but the well-reading of a few, could he be sure to have the best.

(名古屋工業専門学校 1947年)

NB 識別問題を1つ追加しよう。

cf. The sons whose father has been their companion will seek his advice on various matters, but it is only advice that they seek, not decisions or an authoritative laying down of the law.

- ① It is very urgent that we should set to this task at once.
- ② It was blowing so hard that the ferry-boat service was interrupted.
- ③ It was in this small house that the famous artist spent his early days.
- ④ What a shame it is that you are wasting your young days! (同じ用法の it を一つ選べ)

(明治・法 1976年)

<<C>>

(6) ①⁽¹⁾Excess, it seems to me, may justly be praised if we do not praise it to excess.
②In a lukewarm world it is the enemy of lukewarmness. ③⁽²⁾It is a protest against virtues that sail among the shallows of caution and timidity and never venture among the perils of the high seas. ④St. Paul might not have been so good a Christian if he had not previously been an excessive persecutor of Christians. ⑤All genius, whether religious or artistic, is a kind of excess.

(東京 1951年)

Words & Phrases

(6) excess (n. 過度) justly (adv. まさに、ちょうど、当然のことながら) praise (vt. ～をほめる、讃える) lukewarm (adj. 生ぬるい cf. tepid) enemy (n. 敵) protest (n. 反抗) virtue (n. 美德、長所) sail (vi. 船を漕ぎ出す) shallow (n. 浅瀬) caution (n. 用心) timidity (n. 臆病、小心) venture (vi. 敢えてする) peril (n. 危険) previously (adv. 以前に) excessive (adj. 過度の) persecutor (n. 迫害者) genius (n. 天才) religious (adj. 宗教的な) artistic (adj. 芸術的な)

【考え方】

(6) ▶11. **It is a protest against virtues that sail among the shallows of caution and timidity and never venture among the perils of the high seas** : It is NP that VX の構造だが、分裂文を形成するものと即断はできない。結論から言えば、It は「人称」の it で excess を承けるもので、that はいわゆる関係代名詞である。

▶12. **All genius, whether religious or artistic, is a kind of excess** : whether {it is} religious or artistic は、接続詞中の<文主語と等しい代名詞主語+be 動詞>の省略である。例を追加しよう。

cf. **Automation can confer marked benefits on mankind, if properly applied, there is no doubt, but it will also raise** problems of employment and of social life.

(明治・商一産業経営 1957年)

61. スペースに余裕があるため、whether の用法をまとめておくと、次のようになる。

1. 名詞節形成(〜かどうか・主文が VX または SV)

(1) 主語

Whether she comes or not does not concern me. (Genius³)

(Whether SVX+VX) : あの女が来ようと来まいとどうでもいい)

cf. **It was not clear whether he was speaking the truth.** (Declerk, 1991: 266)

(真実を語っているかどうかは定かでない)

(2) 目的語(if SVX が whether SVX の代用となるのは、正式にはこの場合だけ)

I don't *know* **whether or not you'll print this.** (Carter, 2006: 540)

(S+Vt+whether SVX : これを印刷して頂けるかどうかは知りませんが)

(3) 補語(S is if SVX も、まれに見受けられる)

The question *is* **whether Drothy will come on time or not.**

(S+bc+whether SVX : 問題は、ドロシーが時間通りに来るかどうかだ)

(4) 前置詞の目的語

There is some doubt *as to* **whether the illness is infectious.** (MED²)

(SV... prep+whether SVX : その病気が感染するかどうかは、ある程度疑問だ)

2. 副詞節形成(たとえ〜であろうともそれに関わらず・主文が SVX)

: SVX whether SVX または whether SVX, SVX の構造で

(5) **Whether we win or whether we lose, we shall respect the democratic process.** (MED²)

(勝とうが負けようが、民主主義のプロセスを尊重します)

3. 同格疑念節形成(〜かどうかということ: NP+whether SVX で、NP=『疑念名詞』(question, doubt, etc.))

(6) He was still in *doubt* (about) **whether he should join them.** (安井, 1996²: 422)

(仲間に加わるべきかまだ迷っていた)

＜考え方＞

分裂文(強調構文)は、他の何らかの存在を(暗に)打ち消すことにより、それと対比されるもう一つの存在を強調するものであるため、多くの場合、相関表現(not A but B, not only A but also B, etc.)や局所限定表現(this, only, etc.)とともに用いられる。⁶²

- cf. (1) *It is you, not I who* are afraid to pursue this subject further.
: It is B, not A that (S)V(X).=It is not A but B that (S)V(X).
- (2) *It is not only* what you wear *that* counts, **but** how you wear it.
: It is not only A but [also] B that (S)V(X).
- (3) *It is not so much* power **as** love *that* makes a man obey.
: It is not so much A as B that (S)V(X).=It is B rather than A that (S)V(X).
- (4) *It's these books that* Peter has written.
: It is this[these, that, those] A that (S)V(X).
- (5) *It is only women* who live alone *that* can know what it is to yearn to have a man's strong arm. : It is only[just, merely] A that (S)V(X).

Question A

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) **It is** clearly *not the ideas themselves that* are dear to us, *but our self-esteem,* which is threatened.

(大阪女子・二次-A 日程 1993年)

(2) **It is** *not only* visitors to the zoo **who** are fascinated but uneasy in the presence of chimpanzees.

(立命館・文 1986年)

62. not so much A as B が、not so much A rather than B/but B などと表現されることがあるが、これは A rather than B/not A but B との混淆(blending)の結果生じたものと考えられる。(Huddleston & Pullum, 2002: 1317)

(3) **It is** *not* men's faults **that** ruin them *so much as* the manner in which they conduct themselves after the faults have been committed.

(専門學校入學検定試験 1900年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(4) Time stands respectfully aside, and **it is** *only* after many hesitations **that** luncheon knocks gruffly at the door.

(上智・理工 1971年)

(5) **It is** *this* binocular illusion, called stereopsis, **that** must be simulated if movies and TV are ever to become truly three-dimensional.

(京都・二次-後期 1990年)

63. *the* の指示性が強調されて、**It is that** NP **that** (S)V(X).となる例を追加しよう。

cf. **It is that magic that** turns tea from one of the simple daily beverages into a healing drink to soothe the soul.

(中央・総合政策 2005年)

64. 分裂文において、*it* 以外の代名詞が用いられることもある。(Quirk et al., 1985)

cf. (1) No, **that** was the doctor I was speaking of.

(いいえ、私が話していたのはあのお医者様です)

(2) **Those** are my feet you're treading on.

(お前が踏んづけているのは、俺の足なんだよ)

(3) **He** was a real genius **that** invented this.

(これを発明したのはあの男で、本物の天才だ)

Practice

<<A>>

(1) All people respect and even worship their ancestors, for **it is** real ancestors, *not supernatural gods*, **that** hold the key to understanding life.

(学習院・文 2008年)

(2) There are some people who maintain that Robinson Crusoe is not a very real character, and that **it is** *in his adventures rather than in himself* **that** we are interested.

(熊本・二次 1986年)

(3) It is remarkable that **it is** not always those who are most read or respected **who** have left the greatest number of sayings in the popular memory.

(横浜国立・二次(経済、工、学芸) 1965年)

Words & Phrases

(1) respect (vt. ～を尊敬する(⇔despise) cf. look up to(⇔look down on)) worship (vt. ～を崇拝する) ancestor (n. 先祖、祖先) supernatural (adj. 人知を超えた、超自然的な)

(2) maintain that SVX (SVX と主張する) character (n. 登場人物) adventure (n. 冒険) A rather than B (B というよりむしろ A cf. not so much B as A)

(3) remarkable (adj. 顕著な) not always (必ずしも～ない) sayings (n. 格言) popular (adj. 人気のある、大衆の、人民の)

【考え方】

(1) ▶1. **for it is real ancestors, not supernatural gods, that hold the key to understanding life : It is B, not A that VX.**の構造で、分裂文と即断できる。

cf. **It is not only** what you wear **that** counts, *but* how you wear it.

(明海・外国語 1991年)

It is not only A but [also] B that (S)V(X).や It is not only A that (S)V(X), but [also] B.も、分裂文の典型である。(何を着るかも大事だか、着こなしも大切である)

(2) ▶2. **There are some people who maintain that SVX, and that SVX** : まず、There be NP wh.-(S)V(X)の構造では、There be までは『視線誘導詞』として機能し、wh.-は、文の体裁を整えるための、単なる接続語以上の役割は持たないため、これらを見出し、NP(=S)+VX/NP(=O)+SV と考えて訳出を試みてよい。また、maintain に続く構造は、SV that SVX, and (SV) that SVX.であるため、これら2つの that は、名詞節を導く接続詞と判断する。「that SVX と that SVX の2つのことを言う」例を追加しよう。

cf. I do not care what happens to me after this life. I *believe that* it is this life that is important, **and that** we should make as much of it as possible.

(名古屋高等商業学校 1921年)

▶3. **it is in his adventures rather than in himself that we are interested : It is A rather than B that SVX.**で、典型的な分裂文。「SVXなのはBでなくAに他ならない/BというよりむしろAこそがSVXだ」などを基盤に訳出を試みる。

(3) ▶4. **It is remarkable that SVX : It is AP that SVX.**の構造で、『形式主語構文』が確定する。この場合、it is と that に挟まれる部分には、形容詞句・名詞句・分詞句・前置詞(主として of)+抽象名詞などが用いられ、that 以下には、SVX が続くことを確認しておきたい。

cf. **It is indeed fortunate that** we can forget; it is as necessary to forget as it is to remember.

(岩手・二次 1974年)

▶5. **it is not always those who are most read or respected who have left the greatest number of sayings in the popular memory** : 結論から言えば、最初の who は、those を修飾する関係詞節で、2つめの who が、it と呼応し、分裂文を形成する。このように、it is NP wh.-(S)V(X) wh.-(S)V(X)の構造を取る場合、どちらの wh. が it is と呼応するかは、意味を考えるしかない。

cf. But **it is you that** employers declare to us that they need when we ask what we should be producing for modern times.

(一橋・二次-前期 1990年)

<>

(4) ①Above all, conversation is a social activity and, such as, it shares characteristics of all social activities. ②These characteristics we usually take for granted so that it is only their absence we notice.

(大阪女子・二次－前期 1990年)

(5) ①In my experience, it's not what happens to you in life, but how you deal with it, that makes you a survivor and a winner. ②It's that ability to adapt and even to thrive while shedding one skin for another that keeps our minds supple and our souls vital. ③It makes us interesting to be around, gives us energy and purpose.

(筑波・二次－前期・A日程 1995年)

Words & Phrases

(4) above all (何をおいても、とりわけ cf. above all things, especially) conversation (n. 会話) social (adj. 社会的な) activity (n. 活動) share (vt. ～を分かち合う) characteristics (n. 特徴) take O for granted (Oを当然のことと思う) so that SVX (その結果 SVX) absence (n. 不在、欠席) notice (vt. ～に気づく)

(5) experience (n. 経験) deal with NP (～に対処する) survivor (n. 生存者、困難をなんとか切り抜けていく人) ability (n. 能力) adapt (vt. ～を順応させる) thrive (vi. 成長する、栄える cf. flourish, prosper) shed (vt. ～を脱ぎ捨てる cf. throw off) skin (n. 皮、皮膚) supple (adj. 従順な、融通の利く) soul (n. 魂、精神) vital (adj. 活気ある、生き生きとした) energy (n. 活力) purpose (n. 目的)

【考え方】

(4) ▶6. **These characteristics we usually take for granted** : granted の後には、so that SVX という副詞要素しか見当たらないため、O+S+Vt の移動構文と判断する。

▶7. **so that it is only their absence we notice** : it is only NP (that) SVt(O なし)で、分裂文を形成する that が省略されたとされる例。

cf. Nor **is it only in childhood that** this love of possession seems so important in our love of animals.

(熊本・二次 1968年)

(5) ▶8. **it's not what happens to you in life, but how you deal with it, that makes you a survivor and a winner** : it is not A but B that VXの構造であるから、分裂文の典型パターンと即断できる。ここまでは当前として、問題は、that 以下が、**他動詞+O+X** と、無生物主語構文を形成しているため、訳出にはひと工夫が必要となる。また、a survivor and a winner をそのまま「生存者と勝利者」としても意味が曖昧である。**名詞をそのまま訳して意味不明なら、その後に話題の中心になる名詞に絡む省略要素を補ってみる**のがよい。ここでは、in life 程度の省略を補って訳出する。

cf. **It is not in the nature of things that** a man should pursue his spiritual advancement outside of any social context.

(東京・二次 1967年)

▶9. **It's that ability to adapt and even to thrive while SVX that keeps our minds supple and our souls vital** : it is that[or those] NP that (S)V(X)の構造で、これも典型的な分裂文。なお、この場合の that や those は、定冠詞 the が強形発音されて、指示形容詞となったもの。したがって日本語に訳出する必要はない。なお、It is this NP that (S)V(X)の例を追加しよう。

cf. **It is this** above all else **which** has caused the mind of our society to lose its independence.

(関西学院・神、文 1980年)

▶10. **It makes us interesting to be around, gives us energy and purpose** : it は形式の it で、ここでは to be around を承ける。また、無生物主語構文(SVtOC型・SVO₁O₂型)であるため、It(M') makes(Vi'≡become) us(S') interesting(C') to be around(M'), gives(Vt'≡be given or have) us(S') <energy and purpose>(O')を訳出することを考える。

NB 識別問題をもう一つ追加しよう。

cf. It was from the study of these that so much was learnt about the interior of the earth.

- ① It gratified her to know that many people read her works.
- ② It strikes me that his novels attract little attention in our country.
- ③ Who is it that you were talking with over there?
- ④ It is unfortunate that my only uncle is no longer alive. (同じ用法の it を 1 つ選べ)

(筑波・一次 1978年)

<<C>>

(6) ①The administration of human affairs has fallen behind our technological advances, with the result that the physical and moral self-destruction of the human race is in the air. ②It is not to science that we must turn for guidance but to the humanities – to the several fields of learning having to do with the social and moral fibers of our people. ③We must develop the ethical, cultural and philosophical values and learn from history and literature.

(東京工業・二次 1963年)

Words & Phrases

(6) administration (n. 行政、管理、執行) affair (n. 出来事) technological (adj. 技術的な) advance (n. 進歩、前進) with the result that SVX (その結果 SVX) physical (adj. 物理的な、肉体的な) moral (adj. 道徳的な) self-destruction (n. 自己崩壊) turn to A for B (AにBを求める cf. ask A for B) guidance (n. 手掛かり、指針) humanity (n. 人間性) fiber (n. 繊維、性質、精神力) ethical (adj. 倫理的な、道徳上の) cultural (adj. 文化的な) philosophical (adj. 哲学的な) literature (n. 文学)

【考え方】

(6) ▶11. **The administration of human affairs has fallen behind our technological advances** : 文主語が抽象名詞であるから、has fallen は『形式自動詞』であるが、『否定』的な意味を持つため、訳出は副詞的に行う。したがって、The administration(Vt') of human affairs(O') has fallen(M' : 否定) (behind our technological advances)(M')を訳出に反映する。

▶12. **, with the result that the physical and moral self-destruction of the human race is in the air** : with the result that SVX「その結果 SVX」は当然として、self-destruction of human affairs 部分に注意。この of は『主格関係』を表すもので、the physical(M') and moral(M') self(O')-destruction(Vt') of the human race(S') is(×) in the air(M')と考える。

▶13. **It is not to science that we must turn for guidance but to the humanities** : it is not A that SV but B の構造から、分裂文の典型パターン。「SV なのは A ではなく B だ」を基盤に訳出を考える。なお、turn to A for B「A に B を求める」を確認のこと。

▶14. **- to the several fields of learning having to do with the social and moral fibers of our people** : 前置詞+Ving という構造における、動名詞の意味上の主語として、目的格の名詞が用いられている構造であることを確認。したがって、the several fields of learning(S') having to do with(Vt') <the social and moral fibers [of our people]>(O')を訳出する。

65. must の識別

(1) must+有意志動詞(語修飾・non-epistemic use)

: 自発的義務・命令(cf. have to は状況的義務を表す)

cf. You **must** get those done by tomorrow.

(Carter, 2006: 655)

(明日までにやっておけよ)

(2) must+無意志動詞/be Ving(文修飾・epistemic use)

: (現在または未来のことに対する)確信推量(it is certain that)

cf. He **must** be at home now

(Declerck, 1991: 351)

(今なら家にいるに違いない)

(3) must+have p.p.(文修飾・epistemic use)

: (過去の出来事に対する)可能性推量(it is certain that SVX)

cf. They **must** have got lost or they'd be here by now.

(MED²)

(道に迷ってしまったに違いない。さもなければ今頃は着いていなければならないから)

＜考え方＞

擬似強調構文(擬似分裂文: pseudo cleft sentence)とは、What (S)V(X) be X.の構造をとり、What (S)V(X) be までが、話し手と聞き手の共有する旧情報(=前提)で、強調の焦点 X、すなわち新情報が、be 動詞以下に置かれる構文である。⁶⁶ 強調の焦点部分には、that SVX の他、wh.-(S)V(X)-名詞句・(to)不定詞なども用いられる。⁶⁷

- cf. (1) **What happened was** *(that) the car broke down.*
: What \emptyset VX be that SVX.
- (2) **What I said was** *that we shouldn't go there.*
: What SV \emptyset be that SVX.
- (3) **What really counts is** *whether he has management skills.*
: What \emptyset VX be whether SVX.
- (4) **What we need is** *a hammer.*
: What SV \emptyset be NP.
- (5) **All (that) you need is** *love.*
: All (that) (S)V(X) be NP.
- (6) **The thing I want to know is** *how they managed to miss the bus.*
: The thing (that) (S)V(X) be wh.-(S)V(X).
- (7) **What she does is** *(to) write science fiction.*
: What (S)V(X) be (to) VX.

66. 強調の焦点部分 X を文頭に移動することも可能である。(Leech & Svartvik, 2002)

cf. What we need is **more time**.

→**More time** is what we need. (もっと多くの時間が我々には必要だ)

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) **What** is distinctive of human reasoning **is that** it can go immensely farther from the actual situation than any other animal's reasoning does.

(早稲田・一文 1970年)

(2) **What** investigation has revealed **is that** love is, beyond all question, the most important experience in the life of a human being.

(千葉・二次 1972年)

(3) **What** the philosophers agree about **is that** we have to think things through for ourselves, taking the different sides of every problem into account.

(大阪・二次-後期 2006年)

(4) **What** my intern taught me that night **was that** there was one more thing to do.

(信州・二次-後期・医 2006年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) **The first thing which** a scholar should bear in mind **is that** a book ought not to be read for mere amusement.

(東京工業 1949年)

(6) **What is in doubt is whether** the erosion of cultural boundaries through technology will bring the realization of a dream or a nightmare.

(山口・二次-前期 1990年)

(7) **What mattered to him**(= Walt Disney) **was** *creating* something beautiful and perfect.

(慶應義塾・商 2008年)

67. 強調の焦点部分 X に動名詞が用いられている例を追加しよう。(岸野, 2007: 278)

cf. What they are doing is **playing** minigolf.

(今しているのはミニゴルフです)

Practice

<<A>>

(1) **What makes us human, I think, is an ability** to ask questions, a consequence of our sophisticated spoken language.

(信州・医一医 2008年)

(2) **What I think may be taken as certain, is that** already there is no possibility of victory for either side as victory has been hitherto understood.

(茨城・二次 1969年)

(3) **What I do know is that** there is an increasing tendency to accept and take for granted such personal dishonesty.

(大阪女子・二次一前期 1995年)

Words & Phrases

(1) consequence (n. 結果) sophisticated (adj. 洗練された) spoken language (話し言葉(= speech) cf. written language 書き言葉)

(2) take O as C (OをCとみなす) possibility (n. 可能性) victory (n. 勝利) hitherto (adv. 今まで、従来(= till now)、今のところ(まだ) (= so far))

(3) tendency (n. 傾向) accept (vt. ~を受け入れる cf. receive) take O for granted (Oを当然のことと思う) personal (adj. 個人的な) dishonesty (n. 不誠実)

【考え方】

(1) ▶1. **What makes us human, I think, is NP : What+VX be NP.**の構造から、疑似分裂文。「VXなのはNPである」を基盤に訳出を考える。ここで厄介なのは、**what** 以下に作為動詞 **make** を用いた無生物主語構文が成立している点である。「O を C たらしめているものは」と考える。なお、強調の焦点(focus)に動名詞が用いられている例を追加しよう。

cf. **What we in fact seem to be doing is reading backward,** from knowledge of a person's past behavior to evidence of that behavior in his or her face.

(東京・二次-前期 2008年)

(2) ▶2. **What I think may be taken as certain, is that SVX : What+SV+VX be that SVX.**の構造から、SV部分は、文修飾副詞代用で、挿入的に働く疑似分裂文。「個人的な考えではあるが、VXなのはthat SVXである」を基盤に訳出を考える。例を追加しよう。

cf. **What we see** when we look at the piles on our desks **is,** in a sense, *the contents of our brains.*

(早稲田・政経 2008年)

▶3. **already there is no possibility of victory for either side : (Det.) 抽象名詞+of+抽象名詞**の構造であるから、**of** は『同格修飾』を表す。ここまでは何の問題もなさそうに見えるが、**possibility** が『可能性』を表すため、**of** 以下には、近未来の意味、すなわち、推量助動詞を適当に補って訳出する可能性があることに注意が必要である。

▶4. **as victory has been hitherto understood :** **as** は『様態』を表す接続詞。このことは、**hitherto** の意味を考えてみれば自明である。

(3) ▶5. **What I do know is that SVX : What+SV be that SVX.**の構造から、疑似分裂文と判断することは容易。また、**do** はいわゆる強調の助動詞。「本当に、実際に」等、副詞的(indeed)に訳出する。

▶6. **there is an increasing tendency to VX : (Det.) 抽象名詞 to VX.**であるから、**to VX** は、『同格修飾』と判断できる。「to VXする傾向がある」

68. 疑似分裂文の前提部分である **what (S)V(X)**部分が、副詞句を形成する前置詞の **O'欠落**となる **what SV ... prep.**の構造や、間接目的語(O_i)の欠落する **what SVO₂**となる文は、おそらく存在しないし、あってもごく稀であろう。その理由は、本来副詞句を形成する部分が、疑似分裂文の強調の焦点とはなりにくい、ということで説明がつくと思われる。ちなみに、次の文は、**what it amounts to(O'欠落)**に見えるが、**amount to** は、群他動詞を形成するものであるから、上記の説明の例外とは考えない。また、この **what** は、関係代名詞でもなければ、疑問代名詞でもない。余計な詮索は、高校生などには無用である。が、詳細は、安井(2004: 83-88)参照。

cf. **What it amounts to is that** we do not so much believe what we see as see what we believe.

(奈良女子・二次-前期 1995年)

<>

(4) ①Computers have not killed off the book and will not. ②What they can do is to co-exist peacefully alongside books, because they are two very different things, with very different functions.

(慶應義塾・医 2008年)

(5) ①This is what I thought before I started looking at some of these cases of fraud. ②What I found instead was that in every single case the person who perpetuated the fraud thought he knew the answer. ③That's quite different from feeling that you're in an imprecise field where things are not very reproducible.

(東京・二次(後期・総合科目I) 1992年)

Words & Phrases

(4) kill off (vt. ～を大量に殺す、全滅させる) co-exist (vi. 共存している) function (n. 機能)

(5) case (n. 場合) fraud (n. 詐欺、欺瞞、不正、偽物) instead (adv. その代わりに) perpetuate (vt. ～を永続させる、不滅にする) imprecise (adj. 不正確な) reproducible (adj. 再生できる)

【考え方】

(4) ▶7. **What they can do is to co-exist peacefully alongside books** : what SV be to VX.の構造から、疑似分裂文。「SV できることは、to VX だ」

(5) ▶8. **This is what I thought before SVX** : is が断定の意味を表すことから、この what は、疑問代名詞ではなく、関係代名詞と判断できる。「このことは、SVX する前に私が考えていたことである」

▶9. **What I found instead was that in every single case the person who ... thought he knew the answer** : what SV be that SVX.の構造から、疑似分裂文。「SV なのは、SVX だ」まではよい。その後は、in every single case を副詞句として、マル括弧でくくり、<the person [who ...]>(S') thought(Vt') <{that} he knew the answer>(O')と見えるのが実力。

▶10. **That's quite different from feeling that SVX** : (Det.) 抽象名詞 that SVX であるから、この that SVX は『同格修飾』。「SVX という感覚とは似ても似つかない」

69. can の識別

(1) can+有意志動詞(語修飾・non-epistemic use)

: a) 能力・行動の自由 (be able to)

cf. She **can** *speak* four languages. (CALD²)

(4 カ国語を話せる)

: b) 状況的可能

cf. If it's fine tomorrow, we **can** *go* fishing. (MED²)

(明日晴れば釣りに行ける)

(2) can+無意志動詞/be Ving(文修飾・epistemic use 通例は否定文・疑問文で用いられる)

: (現在または未来のことに対する)可能性推量(it is possible that)

cf. I am confident a solution **can** *be found*. (LDCE⁵)

(解決策をひとつは見つけられるかと、自信はあります)

(3) can+have p.p.(文修飾・epistemic use)

: (過去の出来事に対する)可能性推量(it is possible that SVX)

cf. Surely he **can't** *have forgotten* about the wedding! (MED²)

(結婚式のことを忘れてはいるはずがないわ)

<<C>>

(6) ①Consideration for others is the foundation of civilized living. ②It is what lifts us above the jungle law of every man for himself and the spoils to the strongest. ③It is the quality that makes people loved, respected, and lastingly popular – the basis of true courtesy.

(長崎・経済、学芸－外国語専攻 1956年)

Words & Phrases

(6) consideration (n. 思いやり) foundation (n. 基礎、基盤) civilized living (文明的な生活) lift (vt. ～を向上させる) spoil (n. 強奪、利権、成果) quality (n. 質、特質) lastingly(adv. ずっと続く) popular (adj. 人気のある) basis (n. 基盤) courtesy (n. 礼儀)

【考え方】

(6) ▶11. **Consideration for others is the foundation of civilized living** : (Det.) 他動・名詞+for+具体名詞の構造より、for は目的格 of の代用で、『利益性』を表す。したがって、Consideration(Vt') for others(O') と考える。「他人を思いやる気持ち」また、the foundation of civilized living も、(Det.) 他動・名詞+of+具体名詞の構造で、of は『目的格』関係を表す。よって、the foundation(Vt') of civilized living(O')を訳出する。「文明的な生活を基盤づけるもの」

▶12. **It is what lifts us above NP** : NP is what VX.より、この部分は、疑似分裂文の強調の焦点となるNPが、情報構造上の理由で、文頭に移動したものと考える。また、このitは人称のitであるから、『話題の中心』となる単数形名詞を承ける。ここでは、Consideration for others を承ける。

cf. It is not only in public ways, but in private life equally, that wisdom is needed. It is needed in the choice of ends to be pursued and in emancipation from personal prejudice. Even an end which it would be noble to pursue if it were attainable may be pursued unwisely if it is inherently impossible of achievement.

(千葉・第一期一医 1955年)

▶13. **It is the quality that makes people loved, respected, and lastingly popular** : It is NP that VX.の分裂文。これを見抜くのは容易だが、that 以下が無生物主語構文を形成しているため、(It is the quality that)(M' : まさしくそうした特性が原因なのである)とし、以下、makes(Vi' : become) people(S') [loved, respected, and lastingly popular](C)を訳出することを考える。なお、使役動詞 make の形成する無生物主語構文の例を追加しよう。

cf. *The sight of so much injustice* **made** his blood **boil**.

(中央・法—法律 1986年)

70. ofの識別問題を追加しよう。

cf. The classification of objects enables one to know what to do about them – for instance, when something is classified under the heading of “food,” we know that it can be eaten. (同じ用法のofを1つ選べ)

- ① There was great destruction of property.
- ② A wife can have property independent of her husband.
- ③ I have heard him speak of it.
- ④ He is a man of ability.
- ⑤ I have heard the name of Jones.
- ⑥ They are the most dangerous of enemies.

(同志社・法 1965年)

＜考え方＞

①文修飾の副詞(文副詞：sentence adverb)は、概略的には、述語動詞よりも前に置かれ、文内容全体に対する(広義の)言換え説明をするものと考えることが出来る。⁷¹

②副詞を下位区分すると、①VP副詞(VP adverb) ②文副詞(sentence adverb) ③接続副詞(conjunctive adverb)の3種に分類することができる。接続副詞とは、具体的には、therefore, nevertheless 等、主に文と文を接続するものだが、これについては、ここで詳しくは扱わない。

cf. (1) **Clearly**, the man didn't understand the legal document at all.

：動詞前位・文修飾(①「～なことにSVX」②「SVXだ。そしてそのことは～だ」)

(2) The man didn't understand the legal document at all **clearly**.^{72, 73}

：動詞後位・語修飾(①「～なやり方でVする」②「Vの仕方が～だ」)

Question A

下線部と同じ用法の副詞を1つ選べ。

(1) Amazingly, this figure is four times higher than it was 1990.

- ① Occasionally they went to the theater.
- ② The news is regrettably true.
- ③ They did not die happily.
- ④ We went out, though it was snowing heavily.

(東北学院 2009年)

Question B

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(2) **Unfortunately**, industrialization has made it increasingly difficult for the boy to learn adult skill directly from the father.

(同志社・神、文 1981年)

71. 文修飾副詞：学術的には、『文副詞』と呼ばれ、安藤(2005: 531-6)にしたがって、意味的に分類すると、次のようになる。文内容に対する①評価・判断(unfortunately, curiously, importantly, surprisingly, etc.) ②分野・領域指定(economically, officially, politically, etc.) ③真偽性判断(certainly, clearly; apparently, evidently; likely, probably; conceivably, perhaps) ④発話様態(confidentially, honestly, strictly, truly, etc.) ⑤主語の意図・心的状態(deliberately, reluctantly, (un)willingly; resentfully, frankly, sadly, etc.)

(3) Counting is **probably** of a much later origin, and involves a rather intricate mental process.

(同志社・経済 1980年)

(4) **Evidently** then the sound does not reach the ears at the very moment when the gun is fired, because it lags behind the light.

(千葉医学専門学校(甲) 1907年)

(5) **Generally speaking**, the young men of today take very much care of their body only to make themselves weaker.

(立命館・産業社会 1981年)

(6) Unfortunately, this is not always the case as drivers may fail to stop altogether or will **impatiently** hurry pedestrians across a road.

(九州・二次-前期 1995年)

Question C 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(7) **From the point of view of individual development** freedom is equally essential.

(東京・二次 1967年)

(8) **To be sure**, values are slow to shift. But rapid economic changes are prompting new family relationships out of sheer necessity.

(大阪・二次-前期 1994年)

72. なお、Biber(2002: 387)に指摘されるように、**文副詞の位置は、①文頭②文中③文末いずれにも用いられる**。したがって、文修飾か語修飾かは、要は、意味をよく考えよ、ということになる。

73. ただし、すべての・ly 副詞が文修飾副詞として用いられると言うわけではなく、一定の制約がある。それは、結論的に言えば、・ly を外したときに得られるのが分類的形容詞(cf. historical)である場合に限られ、・ly を外したときに残るのが性質・形状形容詞(cf. historic)の場合は除かれるということである。(安井, 1996: 152n)

Practice

<<A>>

(1) To *see* things and happenings **clearly**, both in themselves and in their relations to other things and happenings, is the aim of science.

(京都・二次 1955年)

(2) That **certainly** cannot be meaning of the internationalization that people are talking about. They **clearly** have something quite different in mind.

(高崎経済・二次-C日程 1995年)

(3) **Ultimately** they develop feelings of inferiority, and look with envy upon persons who win recognition for playing important parts in the social order well.

(新潟・二次-前期 1994年)

Words & Phrases

(1) relation (n. 関係) aim (n. 目的、意図、狙い cf. object)

(2) internationalization (n. 国際化)

(3) ultimately (adv. 究極的に) inferiority (n. 劣等) envy (n. 羨み) recognition (n. 認識) order (n. 秩序)

【考え方】

(1) ▶1. **To see things and happenings clearly** : clearly は、動詞後位より、語修飾副詞(VP 副詞)で、in a clear way の意味を表す。

cf. **Unfortunately**, the story of the apple is almost **certainly** false; Voltaire **probably** made it up.

(旭川医科・二次-前期 2012年)

▶2. **their relations to other things and happenings** : 所有格(POSS)+他動・名詞+前置詞+具体名詞の構造であるから、所有格(POSS)は他動・名詞に対して意味上の主語として機能する。すなわち、their(S') relations(Vt') to other things and happenings(O)を形成していることを確認。

▶3. **To V ... is the aim of science** : この構造は、通例、The 抽象名詞 be to VX.(SViC)の語順で用いられる。ここでは、主語が新情報(new information)を担い、C+Vi+S の語順となっていることを確認したい。

(2) ▶4. **That certainly cannot be meaning of the internationalization** : certainly は『推量』の意味を持つ、真偽性判断の副詞で、「主観的・情的」意味を強意的に示し、文中どこにおかれても文全体を修飾する。文頭に廻して、It is certain that と変換することも可能だが、この場合、「客観的・知的」意味が強調されるという違いがある。

▶5. **the internationalization that people are talking about** : (Det.) NP that SVi(Oなし)の構造であるから、that は一般に関係代名詞・目的格とされるもの。

▶6. **They clearly have something quite different in mind** : clearly は、動詞前位より、文副詞。文副詞の訳出では、最初に訳出するか、最後に訳出するかのどちらかになる。つまり、ここでは、「明らかなことに SVX だ」か「SVXなのは明らかだ」とする。意味に曖昧性のない方を好みで選べばよい。

(3) ▶7. **Ultimately they develop feelings of inferiority** : ultimately は、動詞前位より、文副詞・発話様態。発話様態の文副詞は、隠れた speaking を補って訳出することも可能。ここでは、それを確認するだけでよい。

▶8. **look with envy upon persons** : with envy⇌enviously で、VP 副詞。なお、with+形容・名詞と-ly 副詞の差も、前者が『主観的・情的』意味を、後者が『客観的・知的』意味を表すと考えてよい。

cf. Researchers could determine many of the details of his life **with** surprising *accuracy*.

(早稲田・国際教養 2012年)

▶9. **persons who win recognition for playing important parts in the social order well** : 他動詞+O(=抽象名詞)であるから、win は形式他動詞で、訳出不要である。

<>

(4) Unfortunately, the latest reports from the motor and steel industries do not encourage the belief that they can be depended on to do much to reduce unemployment in the immediate future.

(高松高等商業學校 1931年)

(5) Fortunately, these common beliefs are mostly misunderstandings – only a small part of the explanation of why the poor are poor. In all corners of the world, the poor face structural challenges that keep them from getting even their first foot on the ladder of development.

(名古屋市立・二次－前期 2006年)

Words & Phrases

(4) unfortunately (adv. 不幸なことに) late (adj. 遅い) industry (n. 産業) encourage (vt. ～を奨励する)
belief (n. 信仰、信望) depend on NP (vt. ～で決まる) reduce (vt. ～を減らす) unemployment (n. 仕事がないこと)
immediate (adj. 即座の)

(5) fortunately (adv. 幸運にも) common (adj. ありきたりの) mostly (adv. たいていは) misunderstanding (n. 誤解)
explanation (n. 説明) the poor (n. 貧乏な人) face (vt. ～に直面する) structural (adj. 構造的な)
challenge (n. 難題、やりがいのあるもの) keep O from Ving (Oが Vingしない・できない) ladder (n. 梯子)

【考え方】

(4) ▶9. **Unfortunately, SVX** : unfortunately は、動詞前位では、文修飾・評価副詞として機能する。「不幸なことに SVX」

▶10. **the latest reports from ... do not encourage the belief** : 全体は、無生物主語+encourage+O で、否定文であることから、無生物主語の副詞的訳出としては、最優先で『譲歩』を考える。「S を読んだからといって O が奨励されるわけではない」とする。

▶11. **the belief that they can be depended on to do much** : the belief に続く that SVX は、同格断定節を形成する。「SVX を信じること」なお、depend on O' to V の語法を確認。「O が to V することをあてにする/に左右される」

▶12. **to reduce unemployment in the immediate future** : 前出 do(有意志動作)に対するこの不定詞は、副詞用法・『目的』を表す。

cf. Sam's sons **tried in vain to talk** him into retiring at seventy.

(関西・文 1984年)

cf. Have you ever experienced the frustration of offering to *help* someone **only to be told** to mind your own business?

(同志社・経済 1989年)

上記の2例は、SVX+to VXの文構造も、主文の動詞が動作動詞という点もまったく同じだが、in vain/only という、意志のつながりを打ち消す「逆接・否定」の副詞句を伴っている点に注意が必要。こういう場合は、『目的』ではなく、『(逆接)結果』の読み方をする。

(5) ▶13. **Fortunately, SVX** : fortunately は、動詞前位で、文修飾・評価副詞として機能する。「幸運なことに SVX」

▶14. **the explanation of why the poor are poor** : (Det.) 他動・名詞+of+具体名詞の構造で、ofは『目的格関係』を表す。the explanation(Vt') of <why the poor are poor>(O')を確認。

▶15. **structural challenges that keep them from getting even their first foot on the ladder of development** : まず、(Det.) 具体名詞 that VX の構造から、that は主格の関係代名詞の代用として機能するまでは容易。難しいのは、that 以下に無生物主語が組み込まれている点で、先行詞を副詞的に訳出しなければ意味が通らない。したがって、structural challenges(M') that keep(×) them(S') from(M' : not) getting(Vt') <even their first foot>(O') (on the ladder of development)(M')を訳出する。

<<C>>

(6) ①The great agent of change, and, from our point of view, destruction, has actually been the machine. ②No doubt the machine has brought us many advantages, ③but it has destroyed the old ways of living, and by reason of the continual rapid change it involves, prevented the growth of new. ④Moreover, the advantage it brings us in mass-production has turned out to involve standardization, and levelling-down, of individual human beings, outside the realm of mere material commodities.

(京都府立医科・二次 1970年)

Words & Phrases

(6) agent (n. 要因) from one's point of view (adv. ~の見地からすれば) destruction (n. 破壊) actually (adv. 実際に) no doubt SVX (紛れもなくSVXだ) advantage (n. 有利、便宜) destroy (vt. ~を破壊する) continual (adj. 絶え間のない) rapid (adj. 早い) involve (vt. ~を含んでいる、~と関係がある) prevent (vt. ~を妨害する) moreover (adv. さらに cf. in addition) mass-production (n. 大量生産) turn out to VX (to VX であることが判明する) standardization (n. 規格化) levelling-down (n. レベルが下がること) individual (adj. 個人の) realm (n. 領域) material (adj. 物質的な) commodity (n. 品物、日用品)

【考え方】

(6) ▶16. **The great agent of change, and, from our point of view, destruction** : from the point of view は、文副詞・領域指定を表す。

▶17. **No doubt the machine has brought us many advantages** : 文頭 no doubt は、本来 there is no doubt that の形を取るものが変形した、文副詞。「紛れもなく SVX だ」類例に、No wonder, SVX.(←It is no wonder that SVX.)がある。

cf. No wonder some American businessmen come to their office before everyone else — *otherwise* they **would have** no opportunity to think!

(立命館・経営 1982年)

また、無生物主語+bring+O₁+O₂の構造に注意。「SによってO₁がO₂を手に入れる」を基盤に訳出を整える。

▶18. **but it has destroyed the old ways of living** : 全体は無生物主語・SVtO型の構造。したがって、it(M') has destroyed(Vi') the old ways of living(S')を訳出する。

▶19. **by reason of the continual rapid change it involves** : まず、by reason(Vt') of <the continual rapid change(O') [it involves]>を捉え(change {that} it involves は関係代名詞・目的格の省略と考えて差し支えない)、次に O'= the continual(M') rapid(M') change(Vi')を訳出することを考える。

▶20. **it ..., prevented the growth of new** : まず、無生物主語構文から、prevented(Vi') <the growth of new>(S')を捉え、さらに the growth(Vi') of new(S')という、『主格関係』の of を訳出する。

cf. With *the growth of* industrialization and *the spread of* urbanization in 19th century America, camping became a popular outdoor recreational activity.

(神戸市外語・二次-前期 2012年)

▶21. **the advantage it brings us in mass-production has turned out to involve NP** : (the advantage [{that} it brings us in mass production])(M')までが、関係代名詞・目的格の省略構造で、さらに、the advantage(M') ... has turned out to involve(Vi') NP(S')を訳出する。

▶22. **standardization, and levelling-down, of individual human beings, outside the realm of mere material commodities** : (Det.) 他動・名詞 of 具体名詞の構造より、of は『目的格関係』を表す。したがって、standardization(Vt'), and levelling-down(Vt'), of individual human beings(O'), (outside the realm of mere material commodities)(M')を訳出する。

＜考え方＞

以下の例文において、ゴシック体で示した部分は、i)1語の文修飾副詞に『変換』が出来る ii)文中に『挿入』することが出来る iii)文末に、『追加想念』的に付け足すことが出来る などの統語的特徴が類似しているため、文修飾副詞に相当する構文と考えることが出来る。

cf. (1) **Most people know that** pandas are from China.

: SVt that SVX.

→that は話し手の『断定認識』を表し、意味の重点は that 以下に置かれる。

(2) **Let's go find out whether** she is at home.

: SVt whether SVX.

→wh.-は話し手の『疑念認識』を表し、意味の重点は wh.-以下に置かれる。

(3) **The trouble is that** we are short of funds.

: S be that SVX.

→この手の表現には、成句的⁷⁴なものが多い。

(4) **The question is whether** the giant panda is more like a bear or a raccoon.

: S be whether SVX.

→この表現で用いられる名詞は、doubt, question, wonder など、極少数である。

(5) **It never occurred to me that** he was in love with her.

: It seems[or appears; happens, chances, occurs, etc.] that SVX.

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) **It has been often said that** books do for us today what universities did in earlier ages.

(海軍兵・經理學校共通選抜試験 1927年)

(2) And a language learned later in life, **scientists tell us**, goes into a different part of the brain.

(上智・文一英文他、法一国際関係法、総合人間一社会 2011年)

(3) There was once a boy brought up with books all around him. There were no walls in the house: just books, **it seemed**.

(上智・文—英文他、法—国際関係法、総合人間—社会 2010年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(4) **I trust that** in a year or so my health will permit me to be active in community affairs again.

(早稲田・理工 1977年)

(5) **Chances are** they are e-mailing their mates or booking holiday flights.

(大阪外語・二次—前期 2004年)

(6) On the whole, **it would seem that** it is right for the so-called literary culture to be critical of the so-called scientific.

(奈良女子・二次 1975年)

(7) **I wonder whether [if]** there is anybody today who is collecting anthologies.

(日本女子・文理 1956年)

(8) **The question is not whether** our society is imperfect (we can take that for granted), **but how** to deal with it.

(東京外語・二次 1970年)

(9) If I had in that instant been asked for my name **I am doubtful whether** I could have got anywhere near it.

(武蔵・経済—経済 1972年)

(10) *The alarm* (of the dog's barking) **does not tell us whether** the arrivals are friends or foes, but it ensures that necessary precautions can be taken.

(一橋・二次—前期 1994年)

74. The 抽象名詞 be that SVX. に用いられる抽象名詞としては、trouble, chance の他に、disappointment, likelihood, possibility, point, fact, hope 等、同格修飾節の that SVX をしたがえる名詞が多い。

Practice

<<A>>

(1) *I think one of the important lessons* I learned during those early years **was that** life itself was to be my most consistently rewarding teacher.

(専修・商 1969年)

(2) Fieldwork is one answer – **some say the best** – to the question of how the understanding of others, close or distant, is achieved.

(東京工業・二次一前期 2010年)

(3) Whether that's worse than the fake friendliness of some America staff is a matter of personal preference, **I suppose**.

(慶應義塾・医 2005年)

Words & Phrases

- (1) consistently (adv. 一貫して、矛盾なく、変わりなく) rewarding (adj. 価値のある cf. worthwhile)
(2) fieldwork (n. フィールドワーク、研究分野) close (adj. [心の距離感が]近い) distant (adj. [心の距離感が]遠い)
achieve (vt. ～を達成する)
(3) fake (n. 偽) friendliness (n. 親しみ) staff (n. 職員) preference (n. 好み)

【考え方】

(1) ▶1. **I think (that) SVX**: 批判を承知で、また、その書換えとは意味がまったく異なるのだが、それでも敢えて I think (that) を、強引に書換えるとすれば、to my mind とでもなろう。

▶2. **one of the important lessons I learned during those early years was that SVX (Det.) NP₁+NP₂+V(Oなし)の構造**であるから、関係代名詞・目的格の省略と判断する。

▶3. **life itself was to be my most consistently rewarding teacher**: S be to VX の構造だが、これは、名詞用法の不定詞で、「S は to VX することだ」の意味。いわゆる be to 不定詞と判断しない根拠は2つある。まず、主語が抽象名詞であること。次に、be to 不定詞なら、不定詞部分には動作動詞しか用いられない、ということである。

(2) ▶4. **SV – some say the best – X**: some say the best は、挿入的に用いられ、文修飾副詞代用構文を形成する。文修飾副詞[代用構文]が文中に用いられた場合は、「中にはそれが最高だという人もいるが SVX だ/SVX だ。そして中にはそれが最高だという人もいる」のように、訳語を、文頭、または、文末に配置するのがよい。

cf. Envy is, **I should say**, one of the most universal and deep-seated of human passions.

(聖心女子・文 1970年)

▶5. **the question of how the understanding of others, close or distant, is achieved**: the question に続く of は、『同格修飾』とも、『認識対象』とも解せるが、訳出においては、どちらでも大差なしと開き直ってしまってもよい。それよりも、how 以下が、(Det.) **他動・名詞 of 具体名詞の構造**で、抽象名詞構文が形成されていること、および、achieve が形式他動詞であるから、訳出が不要となることに注意が必要である。つまり、how(M') the understanding(Vt') of <others>(O'), (close or distant)(M' : 分詞構文), is achieved(×)と考える。

(3) ▶6. **Whether that's worse than the fake friendliness of some America staff is ... : Whether SVX+VXの構造**から、whether SVX は『疑念名詞節』として機能する。「SVX かどうかは VX だ」

▶7. **a matter of personal preference, I suppose**: SVX, SV(=判断・推定・認識・伝達型動詞)の構造は、主文の後に、SV 部分が、『追加想念(afterthought)』的に付け加えられたもので、これも、文修飾副詞の代用構文となる。OSVt の移動構文の一種と考えてもよいと思う。

<>

(4) ①One of the many inconveniences of real life is that it seldom gives you a complete story. ②Some incident has excited your interest, the people who are concerned in it are in the devil's own muddle, and you wonder what on earth will happen next.

(三重県立・二次 1970年)

(5) ①Life usually shows us all, sooner or later, that there are strangenesses not easily explained. ②Sometimes, in reading of a custom or legend, I have wondered if we have not something that was here before the Romans. ③In a little land like England almost every place is marked by man, stamped with the evidence of life, and therefore, suggesting something to the imagination.

(東京都立・二次 1954年)

Words & Phrases

(4) inconvenience (n. 不便さ) seldom (adv. めったに～ない cf. rarely, barely) complete (adj. 完全な、完璧な) incident (n. 事件) excite (vt. ～の心をわくわくさせる、旨をときめかせる、興奮させる) concern (vt. ～に関心/興味を持つ) devil (n. 悪魔) muddle (n. 泥、泥濘) on earth ([否定語や疑問詞とともに、疑念の意識を強調して]まったく[～ない]、いったい[～だろうか] cf. at all)

(5) sooner or later (adv. 遅かれ早かれ、いずれにせよ) strangeness (n. 奇妙さ、不思議さ) custom (n. 慣習) legend (n. 伝説) mark (vt. ～を特徴づける、際立たせる) stamp (vt. ～に痕跡を残す) evidence (n. 証拠) suggest (vt. [通例無生物主語で]～をほのめかす cf. imply) imagination (n. 想像力)

【考え方】

(4) ▶8. **One of the many inconveniences of real life is that SVX** : One ... that まだが文修飾副詞代用で、これを丸カッコでくくり、SV を意識する。「現実の生活における、多くの不便さのひとつとは」

cf. **The fact is that** the house has had a great reputation for being haunted.

(立教・文 B 1985 年)

cf. **Chances are** they are e-mailing their mates or booking holiday flights.

(大阪外語・二次-前期 2004 年)

▶9. **it seldom gives you a complete story** : 無生物主語+give+O₁+O₂ の構造で、主語は副詞的に訳出する。つまり、(it)(M') (seldom)(M') gives(Vt' : have or gain) you(S') <a complete story>(O') と考える。

▶10. **Some incident has excited your interest, the people who are concerned in it are in the devil's own muddle, and you wonder what on earth will happen next** : まず、文頭が不特定物主語で始まっていることから、前文に対する具体例。したがって、「例えば、具体的に言えば」などを補って訳出することも可能。また、全体は A, B, and C の共通構文で、文と文の共通接続である。A= Some incident has excited your interest, B=the people [who are concerned in it] are [in the devil's own muddle], C= you wonder <what on earth will happen next>を把握する。

(5) ▶11. **Life usually shows us all, sooner or later, that SVX** : Life ... that まだが文修飾副詞代用で、これを丸カッコでくくり、SV を意識する。「人生は、通例、誰にでも、遅かれ早かれ、次のことを教えてくれる」としても十分良いだろうが、「生きていくうちに、通例、誰にでも例外なく、じきにわかることではあるのだが」とすることも可能である。

▶12. **Sometimes, in reading of a custom or legend, I have wondered if SVX** : それぞれ、(Sometimes), (in reading of a custom or legend), (I have wondered if)が、文修飾副詞に等しい。これらを丸カッコでくくって、続く SV を意識するのは、基本である。

▶13. **we have not something that was here before the Romans** : have not は、イギリス式のやや古い言い方で、現代標準英語なら、do not have である。また、something に続く that VX は、関係代名詞・主格である。「ローマ人がやって来る以前には、イギリスには何も存在していなかったのではないか」

▶14. **SVX, stamped with the evidence of life, and therefore, suggesting something to the imagination** : SVX, p.p.[Ving, adj., etc.]は、文末の分詞構文。付帯状況を表すものと解せば、「...し/されながら SVX」とするのよしいし、等位節代用と考えるのなら、「SVX だ。そして/だが/というのよ...」とするのよしい。

<<C>>

(6) ①But in acknowledging that these writers have received from the public a full measure of credit for such genius, ingenuity, or perseverance as each may have displayed, ②I feel that there is still wanting to them a just appreciation of the excellence of their calling, and a general understanding of the high nature of the work which they perform.

(一橋 1950年、東京・二次一理科、衛生看護 1955年)

Words & Phrases

(6) acknowledging (n. 認識) measure (n.) credit (n. 信頼、信用) genius (n. 天才) ingenuity (n. 創意工夫) perseverance (n. 忍耐力) display (vt. ～を示す) want(ing) (vt. ～が足りない) just (adj. 正しい) appreciation (n. 評価) excellence (n. 優秀性) calling (n. 職業) nature (n. 本質) perform (vt. ～を遂行する)

【考え方】

(6) ▶15. **But in acknowledging that SVX** : that は、Vt'+that SVX の構造で用いられたものであるから、断定名詞節を表すものと判断する。また、この部分全体は、in Ving(≒when SVX)の O として用いられているため、全体では、「SVX ということを知ると」とする。

cf. Or do parents do that all the time, **in their choice** of mate and, these days, **in their use** of new reproductive technologies?

(一橋・二次-後期(経済) 2012年)

▶16. **these writers have received from the public a full measure of credit for such genius, ingenuity, or perseverance as each may have displayed** : these writers(S') have received(Vt)までは楽だが、他動詞 receive の後に O が直結していない。ということは、SVtMO の『移動構文』だ、という意識が重要である。したがって、(from the public)(M')を外して、<a full measure of credit for such genius, ingenuity, or perseverance as each may have displayed>(O')を把握する。なお、such NP as (S)V(X)は、関係代名詞・語修飾。「たとえば(S)V(X)のような NP」を下地に訳出を工夫する。

▶17. **I feel that SVX** : これも文修飾副詞の代用構文。「個人的な考えでは SVX だ」

cf. **Students of how children learn language** generally **agree that** the most remarkable aspect of this feat is the rapid acquisition of grammar.

(上智・文-国文他、法-国際関係法、総合人間-社会 2005年)

▶18. **there is still wanting to them a just appreciation of the excellence of their calling** : ここに用いられた wanting は、lacking[or lack of]の意味の動名詞で、there is は、形式自動詞と考えてよい。したがって、there is(×) (still)(M') wanting(Vt') to them(S') <a just appreciation of the excellence of their calling>(O')を訳出する。さらに、a just(M') appreciation(Vt') of <the excellence of their calling>(O')という、(Det.) 他動・名詞+of+具体名詞という、『目的格』の of を確認。

cf. Most significant, **there is growing recognition** of the role of people – of individuals and communities – in ensuring their own security.

(東北・二次-後期 2010年)

▶19. **and a general understanding of the high nature of the work which they perform** : ここでも、(Det.) 他動・名詞+of+具体名詞という、『目的格』の of が用いられていることを踏まえ、and a general(M') understanding(Vt') of <the high nature of the work [which they perform]>(O')を訳出する。

cf. Learning even these few details of my father's life required **endless questioning of** his few friends and even fewer relatives.

(岡山・二次-前期 2012年)

＜考え方＞

以下の例文において、ゴシック体で示した部分は、i)1語の文修飾副詞に『変換』が出来る ii)文中に『挿入』することが出来る iii)文末に、『追加想念』的に付け足すことが出来る などの統語的特徴が類似しているため、文修飾副詞に相当する構文と考えることが出来る。

cf. (1) **It is unfortunate that** we have to conclude that the book is a failure.

: It is AP that SVX.

(2) **It is no wonder that** they're called *giant* pandas!

: It is NP that SVX.

(3) **Was it really of necessity that** you say that?

: It is of 抽象名詞 that SVX.

(4) **It is requested that** visitors should keep off the grass.

: It is p.p. that SVX.

(5) **It's hardly surprising (that)** you're putting on weight.

: It is Ving that SVX. [Ving の形はしているが、形容詞である]

(6) **It is doubtful whether** mankind will survive a nuclear war.

: It is AP whether[or if] SVX. [whether/if SVX の他、疑問詞節も用いられる]

Question A

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) **It is clear that** we should not expect to extract from history any absolute judgments, either on the past or on the future.

(和歌山県立医科・医 1964年)

(2) **It is a common saying that** thought is free. A man can never be hindered from thinking whatever he chooses so long as he conceals what he thinks.

(慶應義塾・医 1961年、自治医科・一次 1974年、他多数)

75. It be AP[or NP, of+形容・名詞, p.p., Ving] for S to VX.も、文修飾副詞代用構文を形成するのはもちろんである。

(3) Our fears, **it is evident**, do not march in all respects with our sense of physical danger.

(筑波・二次 1975年)

(4) **It is of great importance that** these young men are presented nude, because that defines them as athletes.

(早稲田・一文 2005年)

(5) **It is well known that** where the white man has invaded a primitive culture the most destructive effects have come not from physical weapons but from ideas.

(関西・社会 1983年)

(6) **It is not surprising that** current government, which has made child poverty a focus for many years, should be keen to protect youngsters from the evils of tobacco, etc.

(早稲田・社会科学 2009年)

(7) **It is indeed fortunate that** we can forget; *it is as necessary to* forget as it is to remember.

(岩手・二次 1974年)

(8) **It is impossible to** be happy without activity, but **it is impossible to** be happy if the activity is excessive or of a repulsive kind.

(獨協・外国語 1985年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(9) **It is doubtful if** the mass of Americans who accept this judgment realize what its implications are.

(神戸市外語・二次 1972年)

(10) Even if it were morally acceptable for the rich nations of the world to use immigration controls to preserve their disproportionate wealth, **it is doubtful whether** they achieve this purpose.

(青山学院・国際政経 2004年)

Practice

<<A>>

(1) **It is a prevalent idea** among men who are not very prosperous in their occupation **that** any other business is better than the one in which they are engaged.

(高等學校選抜共通試験 1921年)

(2) **It is certain that it is a refusal to** recognize, since the children, instead of treating their parents as though they were strangers, are deliberate in their avoidance of them.

(神戸・二次-後期 1995年)

(3) In education **it is convenient to believe that** all men are created equal, and this has been the main difficulty ever since any of us alive can remember.

(東京・二次 1971年)

Words & Phrases

(1) prevalent (adj. 広く行き渡った) prosperous (adj. 繁栄している、成功している cf. successful) occupation (n. 職業) be engaged in NP (～に従事している)

(2) refusal (n. 拒絶) instead of Ving (～する代わりに) as though[if] SVX (まるでSVXかのように) deliberate (adj. 意図的な、慎重な) avoidance (n. 回避)

(3) it is convenient to VX (to VXすることは都合がよい) main (adj. 主要な) alive (adj. 生きている)

【考え方】

(1) ▶1. **It is a prevalent idea ... that SVX : It is NP that SVX.**の構造は、形式代名詞 *it* を用いた文修飾副詞代用構文。「よく知られた考え方ではあるが SVX だ」を基盤に訳出を調整する。

cf. It was a saying of Aristotle, that to become an able man in any profession whatever, three things all necessary – nature, study, and practice.

(海軍機関学校 1903年)

また、次の例のように、*it happens[occurs, strikes somebody, etc.]*も、形式代名詞 *it* を用いたもので、文修飾副詞代用構文と考えてよい。

cf. An Englishman is slow in making friends, but, at the same time, **it rarely happens that** he does not prove faithful to them when once made.

(第一乃至八高等学校 1910年)

▶2. **any other business is better than the one in which they are engaged : <any other business>(S) is(Vi) [better](C) (than the one [in which they are engaged])(M)**と考える。

(2) ▶3. **It is certain that SVX : It is AP that SVX.**の構造は、形式代名詞 *it* を用いた文修飾副詞代用構文。「まちがいでなく/確実に SVX だろう」を基盤に訳出を調整する。

▶4. **it is a refusal to VX : It is NP[AP, Ving, p.p., of+形容・名詞] to VX.**の構造は、形式代名詞 *it* を用いた文修飾副詞代用構文。「受け入れてもらえないかもしれないが VX だ」を基盤に訳出を調整する。なお、*It is AP to VX.*の例を追加しよう。

cf. It is better to laugh at the fears of a child than to attempt to restrain them by violence, but it is still better to overcome them by the force of reason.

(東京高等師範学校・官費専修科(国語漢文科) 1901年)

▶5. **since the children, instead of ..., are deliberate in their avoidance of them : be+形容詞+前置詞+抽象名詞[or Ving]**は、形容詞を副詞的(M')に、抽象名詞[or Ving]を動詞的(V)に、前から後に訳し下ろすことが出来る。したがって、*since* 以下は、*the children(S')*, *(instead of ...)(M')*, *are(×) (deliberate in)(M)* *their(S')* *avoidance(Vt')* *of them(O')*と考える。

(3) ▶6. **it is convenient to believe that SVX :** 文頭の *it* は形式代名詞で、*to believe that SVX* 全体を承けるものだが、意味の重点はどこか、という視点からすれば、*(it is convenient)*と*(to believe that)*を、それぞれ文修飾副詞の代用構文と見て、「次のことを信じるのは都合がいいことなのである。それはすなわち...」とするのがよい。

cf. **It's quite reasonable to disbelieve that** your driving behavior will be affected by wearing a seat belt, but it's not any single individual's behavior that matters.

(横浜国立・二次-前期 2006年)

<>

(4) It may not be out of place to point out that while the process of socialization is rapidly developing, individual development so far from stopping, is progressing no less rapidly. It is too often forgotten that the former is but the means to secure the latter.

(大阪女子・二次 1955年)

(5) Just as the invention of machinery of one kind or another has made it difficult for people to take a pride in physical work, since they know that a bulldozer or something would do it much better, so it's becoming true the development of computers is making it more difficult to take a pride in mental work.

(神奈川・外国語 1970年)

Words & Phrases

(4) be out of place (不適當である) point out that SVX (vt. SVXを指摘する) process (n. 過程) socialization (n. 社会化、社会主義化) rapidly (adv. 急速に) far from Ving (Ving ところではない、まったく Ving ない) progress (vi. 進歩する) but (adv. ～にすぎない cf. only) means (n. 手段) secure (vt. ～を守る、保障する)

(5) invention (n. 発明) machinery (n. 機械類) make it difficult for S to VX (for S が to VX することを難しくする) take a pride in NP (～に誇りを持つ) physical work (n. 肉体労働) mental work (n. 知的作業)

【考え方】

(4) ▶7. **It may not be out of place to point out SVX** : 文頭 It は形式代名詞で、後続の to point that SVX を予告指示する。前から訳出するか、後から訳出するかは、各人の好み、および、情報量の問題だが、「次のことを指摘するのはそう不適當なことではない。すなわち…」と、前からの訳出例を、参考までに載せておこう。

▶8. **while the process of socialization is rapidly developing** : while は『対照』を表す接続詞で、「SVX だが、その一方では SVX だ」を表す。

▶9. **individual development so far from stopping, is progressing no less rapidly** : so far from stopping は、分詞構文で、本来的には、前にカンマが欲しいところ。「とどまることを知らずに」また、no less rapidly は、「それに負けず劣らず急速に」とでもすればよい。

▶10. **It is too often forgotten that the former is but the means to secure the latter** : 文頭 It は形式代名詞で、後続の that SVX を予告指示する。「次のことが忘れられていることは非常に多い。すなわち…」なお、the former ..., the latter ~ は、the former が 2 つのうちの「前者」、ここでは、the process of socialization を、the latter が 2 つのうちの「後者」、ここでは、individual development を、それぞれ指示する。

(5) ▶11. **Just as the invention of machinery of one kind or another has made it difficult for S to VX** : まず、Just as SVX, so SVX は、『様態』を表す as の定型表現で、「SVX であるのとまったく同じように SVX だ」を表す。また、無生物主語+make it difficult for S to VX は、「無生物主語によって for S が to VX しにくくなる」を基盤に、訳出を試みる。

▶12. **since they know that a bulldozer or something would do it much better** : since は、ここでは『追叙理由』を表し、とりあえず、「というも次のことを知っているからだ。すなわち…」としておく。後に続く a bulldozer or something は、後出の would に対する条件節代用構文を形成する。したがって、(a bulldozer or something)(M') : ブルドーザーなどを使えば would do(Vi') it(S') much better(M') を訳出することを考える。

▶13. **so it's becoming true (that) the development of computers is making it more difficult to take a pride in mental work** : この例のように、形式代名詞 it の内容を示す補文標識の that は、省略されることがある。また、無生物主語+is making it more difficult to VX に注意。(the development(Vi') of computers(S'))(M') is making(M') (it more difficult)(M') to take a pride(Vi') (in mental work)(M') を訳出する。

<<C>>

(6) The question whether a medical man should not tell a patient that he has only a short time to live has been much debated in lay circles, and it is impossible to return any general answer to it. Everything depends on the character of the patient, and it is for the relatives and friends to help the doctor to come to a decision on this point. In the majority of cases it is right and proper that a grievously sick patient should realize that his time on this earth is likely to be short, if for no other reason than that he may be enabled to put his affairs in order.

(慶應義塾・医 1958年)

Words & Phrases

(6) The question whether SVX (SVX かどうかという問題) a medical man (n. 医者) debate (vt. ～を論じる) in lay circles (素人の集団の中で) general (adj. 一般的な) depend on NP (vt. [モノゴトは]～で決まる、に左右される cf. determine) character (n. 性格) patient (n. 患者) relative (n. 親戚、親類) come to a decision on NP (～に決断を下す) the majority of NP (大多数の) case (n. 場合、症例) grievously (adv. とても病気が重い) realize that SVX (SVX を認識する) no other [～] than ... (...以外には何も～ない) put NP in order (～を整理する) affair (n. 個人的な事情)

【考え方】

(6) ▶14. **The question whether SVX has been much debated in lay circles** : whether SVX は、前出 the question に対する『同格疑念節』を形成する。「SVX かどうかという問題は、素人の間でも、これまでにかなり議論の対象となってきたものであった」

▶15. **a medical man should not tell a patient that SVX** : ここは、「医者には患者に次のことを伝えるべきではない」と、敢えて前から訳出しなくてもよいかもしれない。日本語のバランスの問題である。

▶16. **it is impossible to return any general answer to it** : answer に続く to は『一致』を表す。「それに対する一般的な解答を得ることは不可能だ」

▶17. **Everything depends on the character of the patient** : 無生物 S depend on NP であるから、「無生物 S かどうかは～で決まる・左右される」とする。

▶18. **it is for the relatives and friends to help the doctor to come to a decision on this point** : it は人称代名詞で、everything を承ける。また、for ... friends は、後に続く不定詞の意味上の主語として機能する。

▶19. **it is right and proper that SVX** : 英語では、このように、right, proper といった、よく意味の似た言葉が無作為に複数並べる傾向がある。こういう場合は、片方を無視するか、片方をもう片方に対する強調語句としてしまうか、または、日本語のバリエーションに自信があるなら、はっきり意味の異なる類義語句を並べるか、いずれかで対応すればよい。具体的に言うと、「適切である」とか、「とても適切である」、または、「正しく、また適切である」といった具合である。

▶20. **a grievously sick patient should realize that SVX** : should+無意志動詞は『推定』を表し、「S は～のはずだ」となる。

Part 4. 全体の意味を中心に
: 比較構文の研究

＜考え方＞

比較構文には、a)「別個」の存在AとBの共通性質に対する、『優劣・位置付け』を示すもの(他者比較)と、b)「一つ」の存在の持つ、異なる属性A・Bの『優劣・位置付け』を示すもの(自者比較)の2つ⁷⁶がある。このうち、自者比較の場合、たとえ1音節語(cf. wise, kind)や2音節語(cf. happy, lovely)であっても、-er, -estではなく、more, mostが用いられる⁷⁷ことに注意が必要となる。

- cf. (1) The river is **as deep as** it is *wide*.
 : 同一物の事物の異なる性質の度合いを比較する場合は、比較節の原級は必ず表現される。
- (2) Mary is **as clever as** Jane is *pretty*.
 : この clever と pretty は、二人の属性という「一つの基準の異なる側面」を比較している。
- (3) *Your child's health* is **more important than** *the doctor's feelings*.
 : Your child's health と the doctor's feelings は、異なる2つの存在を比較する(他者比較)
- (4) He is **more shy than** *unsocial*.
 : He is shy と he is unsocial の比較であることから、自者比較。more A than B(= A rather than B=not so much B as A⁷⁷)「BというよりもむしろAだ」
- (5) His statement was **less an apology than** *a confession*.
 : more A than B型の自者比較を less を用いて表現すると、less B than Aの語順になる。
- (6) *He* is **more of a fool than** *Alice (is)*./**than** I thought.
 : more of NP型の自者比較は、名詞の示す「タイプ」を強調する。
- (7) Love is **the most important thing** *in the world*.
 : 他者比較の最上級。通例、in NP や of NP、関係詞節などの、『範囲の限定』語句を伴う。
- (8) This cord is **strongest** at this point.
 : 「1つのひも」の持つ、この部分と他の部分との比較で、自者比較である。

76. 他者比較か自者比較かは、比較の対象Bの品詞・形を手がかりに、比較の対象Aを見抜くことでわかる。

77. 自者比較でも、than以下に省略のない場合は、-er, -estの表現形式が用いられる。

cf. a. The river is **wider** than *it is deep*. (C. Murcia & L. Freeman, 1999: 724)

(深いというよりも広い)

b. The wall was in some places **thicker** than *it was high*. (Curme, 1931: 505)

(この壁の一部は高いというよりも厚い)

78. not so much A as Bが、not A so much as Bと表現される場合もある。

cf. The greatest poet is **not** really in advance of his day **so much as** in the line along which advance takes place.

(信州・二次 1969年)

(最も偉大な詩とは、時代の進歩の中ではなく、その進歩が生じる方向性の中に存在するものなのだ)

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) For the investigators of Earth's underground, the area of **most** interest is in some ways just **as remote as** a distant planet.

(東京・二次－前期 2008年)

(2) Nature in her own time reveals her secrets to the patient questioner, and the plain fact is that nature is infinitely **cleverer** than man.

(東京・二次 1983年)

(3) Although *some choice* is undoubtedly **better than none**, *more* is not always **better than less**.

(筑波・二次－後期 2005年, 早稲田・理工 2005年)

(4) The man assigned to help her made her feel like **the stupidest** person in the world.

(大阪女子・二次 1996年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) The object of a liberal training is **not so much** learning itself **as** the spirit of learning.

(佐賀・二次 1964年)

(6) Calling upon others for help in forming a decision is *worse than useless*.

(東京高等商業学校 1899年)

(7) Members concluded that parents of children under two should play with them **rather than** allow them to watch television.

(岡山・二次－前期 2000年)

(8) Today, camping is **more of** a temporary recreation or sport **than** it is a permanent way of living.

(関西・法A 2002年)

Practice

<<A>>

(1) For example, Japanese are now **as** familiar *with Western music as with their own*, and *they* probably *have as* great a mastery of it **as do most peoples of Occident**.

(高崎経済・二次-C 日程 1995 年)

(2) The uneducated are sometimes discontented, simply because they have been given to understand that **more** education would have made them **happier**.

(早稲田・一文 1961 年)

(3) A life spent writing has taught me to be suspicious of words. Those that seem **clearest** are often **the most treacherous**.

(早稲田・一文 2004 年)

Words & Phrases

(1) be familiar with NP (～をよく知っている) mastery (n. 支配、統率、熟達) peoples (n. 民族、国民) Occident (n. オクシデント(地名))

(2) the uneducated (教養のない人々) discontented (adj. 不満な、飽き足らない) simply because SVX (単に SVX だからだ)

(3) spend O Vng (O を費やして Vng する) be suspicious of NP (～を疑っている) treacherous (adj. 不誠実な、当てにならない)

【考え方】

(1) ▶1. **Japanese are now as familiar with Western music as with their own** : with Western music と with their own との比較であるから、『他者比較』であることを見抜くことは容易。

▶2. **they probably have as great a mastery of it as do most peoples of Occident** : 比較対象 A・B が、ここでは、主文と as SVX であることを確認しておこう。これも『他者比較』である。また、比較の対象 B を導く as, than の後には、主語が名詞で、情報量が重い(=新情報の焦点)場合、as/than do[does, did]+S の語順をとることがある。訳出に特別な工夫は要らないが、代動詞 do[does, did]の内容をしっかりとらえる必要はある。

(2) ▶3. **more education would have made them happier** : 作為動詞 make を用いた無生物主語構文であるから、more education(M・条件) would have made(Vi' : become) them(S') happier(C')を訳出する。

(3) ▶4. **A life spent writing has taught me to be suspicious of words** : 教示型動詞 teach を用いた無生物主語構文。A life [spent writing](M') has taught(Vt') me(S') <to be suspicious of words>(O')を訳出する。

▶5. **Those that seem clearest are often the most treacherous** : 最初の clearest は、絶対比較⁷⁹の最上級であるから、一種の誇張法と考えればよい。次の最上級表現 the most treacherous は、他者比較である。

79. 絶対比較とは、具体的な程度差を示すものではなく、漠然とした程度の高さを示すものであり、厳密には、比較ではなく、誇張法の一つと考えられる。その意味で『擬似比較』と呼ばれることもある。絶対比較にも、程度に応じて、比較級(=)・最上級(= very, extremely)のグレードがある。ただし、絶対比較級は、最上級ほど普通には用いられない。

また、絶対最上級の形容詞・副詞には、主観(感情・意見等)を表すものしか用いられないことに注意しよう(Quirk et al., 1972: 287)。以下は、いずれも、絶対比較の例である。

(1) Better management may enable one man to milk **more** cows. (Sinclair (ed.), 2004²: 302)

(上手にやれば、より多くの牛から乳を絞れる)

(2) the **lower** classes; **higher** education; the **more complex** problems of life (Curme, 1931: 508)

(下層階級/高等教育/人生における複雑な問題)

なお、以下の(3), (4)は、(3)→形容詞の最上級に the がつかないことから、絶対最上級の例と判断する。(4)→形容詞の最上級は、of+全体集合を表す名詞や、in+場所の名詞など「範囲の限定語句」を伴う場合、序列を特定する意識から、the を伴うという点に、注意が必要である。

(3) Harry is **most intelligent**.

(ハリーはとても聡明だ)

(4) Harry is **the most intelligent** (of the students). (以上 Declerck, 1991: 345)

(ハリーは(その学生たちの中で)最も聡明である)

<>

(4) ①In the study of nature, an explanation must be not only consistent with the facts but also as simple and direct as possible. ②Where several explanations are advanced, the rule is followed that the one which is more simple is also more nearly correct. ③To choose the more complex explanation, says a recent writer on the nature of science, would be as sensible “as travelling eastward around the world to reach your neighbour’s house which is next door to the west.”

(大阪市立・二次 1972年)

(5) ①The evil, I suppose, lies in our education. ②We standardize our children. ③We aim at making them like ourselves instead of teaching them to be themselves – new prophets and teachers, new adventures in the wilderness of the world. ④We are more concerned about putting our thoughts into their heads than in drawing their thoughts out, and we succeed in making them rich in knowledge but poor in wisdom.

(専修・経済 1970年)

Words & Phrases

(4) explanation (n. 説明) be consistent with NP (～と一致する、矛盾しない) simple (adj. 単純な、簡単な) direct (adj. 直接の) advanced (adj. 進んだ) follow (vt. ～に従う) correct (adj. 正確な) complex (adj. 複雑な) sensible (adj. 分別のある) eastward (adv. 東に) next door to NP (～の隣に)

(5) evil (n. 悪) suppose (vt. ～と思う) lie in NP (～の中にある) standardize (vt. ～を規格化する) aim at Ving (～しようと努力する cf. aim to V) prophet (n. 予言者) wilderness (n. 未開、荒野) be concerned about NP (～に関心がある) put A into B (AをBに入れる) drawing NP out (～を引き出す)

【考え方】

(4) ▶6. **In the study of nature** : まず、**in+抽象名詞**が、when SVX の代用表現であることを踏まえ、「～することにおいて」としておく。次に、(Det.) **他動・名詞+of+具体名詞の構造**から、of は目的格関係を表すもので、the study(Vt') of nature(O')を訳出する。

▶7. **as simple and direct as possible** : as ... as possible 「出来る限り」は、一種の定型表現として記憶しておく。

▶8. **the rule is followed that SVX** : that SVX は、the rule に対する同格断定節が『外置限定』されたもので、移動表現。

▶9. **the one which is more simple is also more nearly correct** : 比較の対象を表す than が見えない。こういう場合は、文脈上自明の比較対象を考えて、場合によっては、それを明示した訳出を行わなければならないことに、注意が必要である。⁸⁰

▶10. **To choose the more complex explanation, ..., would be as sensible "as ...** : 挿入部分 says ... science を外してみれば、文頭の to 不定詞は、後出 would に対する文主語であることがわかる。ただし、ここでは、条件節の代用構文となっていることに注意。

(5) ▶11. **We are more concerned about putting A into B than in drawing C out** : 自者比較で、「C を引き出そうとするよりも、A を B に詰め込もうとする」

▶12. **we succeed in making them rich in knowledge but poor in wisdom** : we(S') succeed in(M') making(Vt') them(O') rich in knowledge(C₁) but poor in wisdom(C₂)を訳出する。

80. 比較の対象 B を示す as/than 以下が省略された例を追加しよう。

cf. (1) But it is just **as certain** that he will never learn to talk, that is, to have communication according to the traditional system of a particular society.

(早稲田・理工 1983年)

(2) **Worse still**, working **harder** in order to be able to afford **more** material goods could even end up making people **unhappier** if they do not have enough spare time.

(早稲田・政経 2004年)

(6) ①It has been said that the young child plays with materials and thereby learns them. ②The truth of this observation can nowhere be seen as clearly as in the field of the arts — picture-making, modelling, music and drama. ③The first scribble of childhood with a well-sucked crayon will as surely lead to the making of recognizable shapes to represent 'Mummy' as will his early enthusiastic claps to the rhythm of nursery rhyme or popular song to the free-flowing steps of a yet unknown pop culture or the formal patterns of the traditional dance. ④There seems to be in all young children a desire to express themselves by making marks and constructions, by making sounds and through physical response to the sounds that they hear.

(京都・二次 1982年)

Words & Phrases

(6) material (n. 物質、物) thereby (adv.) learn (vt. ～を身につける cf. acquire) truth (n. 真実) observation (n. 観察) modeling (n. モデル、模型) scribble (n. 落書き) well-sucked crayon (よく舐めたクレヨン) lead to NP (～につながる、～を引き起こす) recognizable (adj. 見分けがつく、認識できる) represent (vt. ～を表す) enthusiastic (adj. 熱狂的な、熱心な) clap (n. 拍手) rhythm (n. リズム) nursery rhyme (童謡) popular song (流行歌) free-flowing step (流れるような足取り) pop culture (大衆文化) formal (adj. 正式の) pattern (n. 型) traditional (n. 伝統的な) desire (n. 願望) mark (n. 跡、痕跡) construction (n. 構造、建築) response (n. 反応)

【考え方】

(6) ▶13. **The truth of this observation can nowhere be seen as clearly as in the field of the arts** : 比較対象 A=nowhere, B=in the field of the arts を確認する。

▶14. **The first scribble of childhood with a well-sucked crayon will as surely lead to the making of recognizable shapes to represent 'Mummy'** : 文主語は、(Det.) 自動・名詞+of+具体名詞の構造で、ofは『主格関係』を表すものとして処理してよい。したがって、The first(M') scribble(Vi') of childhood(S'[厳密にはM']) (with a well-sucked crayon)(M')を訳出する。また、ここまでが無生物主語であるから、全体をif SVXの代用表現として訳出することを考える。また、主文の lead to は、目的語に抽象名詞が用いられているため、訳出は必ずしも不要である。will as surely(M') lead to(×) the making(Vi') of <recognizable shapes [to represent 'Mummy']>(S')を訳出する。

▶15. **as will his early enthusiastic claps to the rhythm of nursery rhyme or popular song to the free-flowing steps of a yet unknown pop culture or the formal patterns of the traditional dance** : 比較の対象 B を表す as/than 以下では、主文との共通要素は省略可能である。このことを踏まえ、意味から、as will(aux. v) <his early enthusiastic claps to the rhythm of nursery rhyme or popular song>(S') lead to (Vt') <the free-flowing steps [of a yet unknown pop culture] or the formal patterns [of the traditional dance]>(O')と考える。

▶16. **a desire to express themselves by making marks and constructions, by making sounds and through physical response to the sounds that they hear** : to express ...は、前出の a desire に対する同格修飾の不定詞。a desire to(M') express(Vt') themselves(O') (by making marks and constructions), (M'₁) (by making sounds)(M'₂) and (through physical response to the sounds [that they hear])(M'₃)を確認する。

81. 例を追加しよう。

cf. (1) As we lose interest in things other than the material, we become correspondingly **less** like human beings, and in that sense we lose humanity.

(東京・二次 1980年)

(2) When do people feel **most happy**? If we can begin to find an answer to it, perhaps we shall eventually be able to order life so that happiness will play a **larger** part in it.

(お茶の水女子・二次-前期 2006年)

＜考え方＞

最上級(superlative degree)の示す内容に近い意味を、原級(positive degree)や、比較級(comparative degree)で表現することが可能な場合がある。⁸² この場合に用いられる表現形式としては、i)否定主語+as ... as ~ ii)as ... as any/ever ~ iii)as ... as S can/possible iv)否定主語+-er than ~ v)-er than any/ever ~ などがある。

- cf. (1) *Nothing* is **so** trying **as** to be kept waiting for dinner to be served.
: 否定主語+so[as] ... as ~.
- (2) There is *no one* **as** dangerous **as** an idealist with a machine gun.
: There be+否定主語+so[as] ... as ~.
- (3) It was **as** happy a marriage **as** *anyone* could *ever* dream of.
: so[as] ... as any ~.
- (4) **Nothing** is **more precious than** time, yet **nothing** is **less valued**.
: 否定主語+-er ... than ~.
- (5) She looked **more thin** today **than** I've **ever** seen her.
: -er ... than ever ~.
- (6) There are **more** people getting a better education **than ever**.
: There is NP+Ving[p.p./to V] ...の場合、NPをS'として、Ving[p.p./to V]をV'として訳出することも可能である。

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) **Nothing** has done **as** much **as** the energy crisis to convince Americans that the economic interdependence of the world is real and that it includes the United States.

(岡山・二次-前期[A日程] 1991年)

(2) **There is nothing** too little for **so** little a creature **as** man. It is by studying little things that we attain the great art of having as little misery and as much happiness as possible.

(日本・医学部豫科 1948年、新潟高等學校、福岡高等學校)

(3) In the end, ideally, a decision is made that satisfies **as** many people **as possible** while accommodating others' needs **as** much **as possible**.

(神戸・二次-前期 1997年)

(4) Fiction that does any of these things is **as** truly ‘educational’ **as any** textbook or book of information.

(京都・二次 1977年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) **Nothing** destroys the confidence of the reader in the biography **faster than** to feel that he is continuously covering up for his hero.

(東京・二次 1970年)

(6) Next to truth, *there is* **nothing more impressive than** man’s patient effort to reach it irrespective to consequences.

(早稲田・第一理工 1967年)

(7) There are **more** young people alive now **than** at **any** other time in history.

(釧路公立・二次一中期 2000年)

(8) The influence of the printing press upon the matter printed appears **nowhere more** clearly **than** in connection with the novel.

(東京・二次 1957年)

82. 最上級と最上級相当表現とは、必ずしも意味が等価ではない。その決定的な差は、最上級が『明確な番付・序列』を示す表現であるのに対し、最上級代用表現は、同程度の何らかの存在を、場合によっては暗示することにある。

Practice

<<A>>

(1) To be correct in one's use of language – and that means following the rules of grammar – makes it **as** certain **as** it **ever** can be that one's reader will get the intended message.

(神戸・二次－前期 2002年)

(2) But I expect that **nothing** will make one observe **more** quickly or **more** thoroughly **than** having to face the difficulty of representing the thing observed.

(京都薬科・薬 1969年)

(3) It is **more** wonderful **than anything** you can imagine to feel the love and confidence these children give you, and the knowledge that you are needed.

(東京・二次 1975年)

Words & Phrases

- (1) make it certain that SVX (SVX が確かだと思う) as ... as S ever can be (出来る限り)
- (2) thoroughly (adv. 徹底的に) face (vt. ～に直面する/している) represent (vt. ～を表す)
- (3) wonderful (adj. 素晴らしい) confidence (n. 自信)

【考え方】

(1) ▶1. **To be correct in one's use of language** : To VX+VXの構造から、この不定詞は名詞用法・文主語として機能する。ただし、ここまですぐ後出の **makes** に対する無生物主語構文を形成するため、訳出は副詞的に行うのがよい。「言葉遣いが正確であるならば」

▶2. **– and that means following the rules of grammar –** : ダッシュ(dash: –)はカンマの強形と考えおけばよい。ここでは、挿入句を形成し、「SVX だが」程度に軽く訳出しておく。また、**that** は人称の *it* の強意形で、前出の *to* 不定詞部分を指す。

▶3. **makes it as certain as it ever can be that SVX** : *make it certain that SVX* という、形式目的語 *it* が *that SVX* を承ける構造。ここに、*as ... as ever* が絡んで、やや複雑な様相を帯びている。

(2) ▶4. **nothing will make one observe more quickly or more thoroughly than having to face the difficulty of representing the thing observed** : 使役動詞 *make* の形成する無生物主語構文であるから、*nothing(M')* will *make*(× or *M')* *one(S')* *observe*(*Vt'*) (*more quickly or more thoroughly*)(*M'*) (*than having to face*)(*Vt'*) <*the difficulty [of representing the thing observed]*>(O')を訳出する。

cf. *Nothing more* discourages a teacher **than** when his most careful explanation fails to make his pupils understand.

(長崎高等商業学校 1912年)

(3) ▶5. **It is more wonderful than anything you can imagine to VX** : *it* は形式主語で、後出の *to VX* を承ける。また、*anything* の後には、目的格関係代名詞に相当する **that** が省略されていることを確認。「あなたがたの頭に浮かぶいかなるものよりも *to VX* は...」

▶6. **the love and confidence these children give you** : (Det.) NP₁+NP₂+V(O欠落)の構造であるから、*confidence* の後には、目的格関係代名詞に相当する **that** が省略されている。したがって、<the love and confidence(O'₂) [*these children*(S') *give*(*Vt'*) *you*(O'₁)]>を訳出する。

cf. Today, most linguists agree that **the knowledge that speakers have of the language or languages they speak** is knowledge of something quite abstract.

(関西外語・外国語－英米語[前期] 2004年)

▶7. **the knowledge that you are needed** : (Det.) NP **that SVX** の構造で、NP=『概念・認識・経験・可能性』を意味する抽象名詞であるから、この **that** は同格断定節を形成するもの。

cf. I could not prevail upon her to accept any money nor exact *any promise* from her **that** she would do so at another time.

(東京外国語学校 1903年)

<>

(4) There is no more heartbreaking memory of that war than the posters of photographs of lost children, and children seeking their parents, that were hung in every police station and railway terminal.

(中央・法一法律 2000年)

(5) I was brought low, and there was nothing to take refuge in but the philosophical; this disease would force me to ask more of myself as a person than I ever had before, and to seek out a different ethic.

(一橋・二次一前期 2006年)

Words & Phrases

(4) heartbreaking (adj. 棟の張り裂けるような、悲痛な) memory (n. 記憶) lost children (戦争で亡くなった子供たち) hang (vt. ～を掛ける)

(5) refuge (n. 避難所) the philosophical (動じないもの、達観したもの) disease (n. 病気、疾病) force O to V (Oに無理矢理 to V させる) ask A of B (BにAを要求する) seek out NP (～を探し求める cf. look for NP, try to find NP) ethic (n. 倫理、道徳、価値体系)

【考え方】

(4) ▶8. **There is no more A than B**: 「BほどAなものはない」短絡的に no more A than B、すなわち、「Bでないのと同様Aでもない」などと考えるはいけない。

▶9. **, that were hung in every police station and railway terminal**: that は関係代名詞・主格の代用となるもの。先行詞は、the posters である。

(5) ▶10. **I was brought low, and there was nothing to take refuge in but the philosophical**: まず、I was brought low は、後の文脈が精神的な意味合いを強く帯びるため、「気持ちが(陰)鬱になった」とする。また、nothing to take refuge in は、(Det.) 具体名詞+to V … prep.(Oなし)の構造で、形容詞用法不定詞の目的格修飾。こういう場合は、**隠れた助動詞の意味を適宜補って訳出する**が必要になる。なお、but the philosophical の but は前置詞(= except, save)で、前出の『全体概念語句』や『完全否定語句』(ここでは nothing)に対する「例外」となる語句を導く。

cf. I often wish I could read – that is, read easily. As it is, I have *nothing to do but to think*, and *nothing to think of* but myself, and what I should like to be.

(第一高等学校 1908年)

▶11. **this disease would force me to ask more of myself as a person than I ever had before, and to seek out a different ethic**: force+O+to V の形成する無生物主語構文。したがって、this disease(M') would force(× or M') me(S') to ask(Vt') more(A) of myself(B) (as a person) (than I ever had before)(M'), and to seek out(Vt') a different ethic(O')を訳出することを考える。

cf. We are enslaved by speed. *Fast Life* interrupts our habits, pervades the privacy of our homes and **forces us to eat** Fast Foods.

(獨協・外国語、経済、法A 2004年)

82. but の識別問題を追加しよう。

Q. Before photography, almost the only method of producing multiple images was by making a design on a copper plate, stone, or woodblock, applying ink to it, and then pressing the inked design onto a sheet of paper to form a print. Hence from the end of the fifteenth to the mid-nineteenth century, prints in a certain sense controlled the ways in which the world was made visible to all but the few who had access to paintings and drawings.

- ① No one is so old but that one can learn.
- ② No one but me went there.
- ③ There is no rule but has some exceptions.
- ④ I met her but a moment ago.
- ⑤ This is one example but is not the only one.

(早稲田・教育 2009年)

<<C>>

(6) ①Modern humanism has some characteristics: ②first, it appreciates all that is noblest and most lovely in the works of man and nature. ③It seeks knowledge for its own sake and not merely for the benefits which come from its application.

④Its interests are as wide as humanity itself, and many of its leaders in their fight against wretchedness and poverty have proved that they are humanitarians as well as humanists.

⑤Man is the supreme object of their study and care; ⑥there is nothing higher than him, nor is there anything in the world of nature more worthy of their devotion and service. ⑦They are thus opposed to the political principle which treats the individual as a mere tool of the state, or to an industrial system which regards him as a mere part in a gigantic wealth-producing machine.

(青山学院・文一英米文、他 1969年)

Words & Phrases

(6) modern (adj. 現代の) humanism (n. 人間主義) characteristic (n. 特徴) appreciate (vt. ～を評価する)
noble (adj. 高貴な) lovely (adj. 純粋な) works (n. 作品、製品) knowledge for its own sake (知識のための知識)
benefit (n. 恩恵、利益) application (n. 応用) humanity (n. 人間性) wretchedness (n. 不幸、悲惨) poverty (n. 貧困)
prove that SVX (SVXであることを証明する) humanitarian (n. 人道主義者) supreme (adj. 至高の) object (n. 対象)
be worthy of NP (～にふさわしい) devotion (n. 専心) service (n. 献身) be opposed to NP (～に反対する)
principle (n. 原理) treat O as C (OをCとみなして扱う) individual (n. 個人) mere (adj. 単なる) state (n. 国家)
industrial (adj. 産業の) regard O as C (OをCとみなす) gigantic (adj. 巨大な)

【考え方】

(6) ▶12. **it appreciates all that is noblest and most lovely in the works of man and nature** : この文の noblest, most lovely は、いわゆる『絶対比較』で、一種の誇張法と考える。また、可算名詞の work は、辞書では確かに、「作品、製品」だが、ここでは、「産み出したもの」程度を基軸に訳出を考えたい。

▶13. **the benefits which come from its application** : from+抽象名詞は、ここでは、『原因(の起点)』を表す。また、**所有格+他動・名詞の構造**であるから、its(O') application(Vt')と考える。

cf. The characteristic of our age is not the improvement of science, rapid as this is, so much as **its extension** to all men.

(第一～第八高等学校 1924年)

▶14. **in their fight against wretchedness and poverty** : in+抽象名詞≒when SVX とほぼ同値。in their(S') fight against(Vt') <wretchedness and poverty>(O')を訳出する。

cf. The mind never unbends itself so agreeably as **in** the conversation of a well-chosen friend.

(東京商船学校 1897年)

▶15. **Man is the supreme object of their study and care** : (Det.) **具体名詞+of+[所有格+他動・名詞の構造]**であるから、関係代名詞目的格修飾の代用構文。したがって、<the supreme object(O') [of their(S') study and care(Vt')]>を訳出する。

cf. The reader can make the pace of his reading exactly correspond with **the needs of his own understanding**.

(立命館・文 1989年)

▶16. **there is nothing higher than him** : there is 否定主語+比較級であるから、最上級相当表現。「～以上に崇高なものはない」higher は、前出 supreme の言換えである。

▶17. **nor is there anything in the world of nature more worthy of their devotion and service** : 文頭 nor(否定辞)による倒置語順に留意。また、more worthy は、anything を修飾する形容詞の後置修飾構造。「…にふさわしいもの」さらに、<anything(O') ... [more worthy] [of their(S') devotion and service(Vt')]>となり、(Det.) **具体名詞+of+[所有格+他動・名詞の構造]**であるから、この of も、関係代名詞目的格修飾の代用構文を形成する。

cf. Understanding the world around us usually seems simple and effortless. But in fact our conception of the world is in large part **a matter of our own creation**.

(埼玉・二次-前期(教養) 2007年)

＜考え方＞

比較級表現に先行する表現は、すべて比較の『程度差』を示す副詞的な働き⁸³をする。この『程度差』を表す部分に数量詞(many, much; (a) few, (a) little; some, any, even, etc.)が用いられた場合、「漠然とした程度差」を示すものとする。当然ながら、原級・最上級表現に前置される要素もまた、比較の『程度差』を示すものとする。

- cf. (1) Why does man seem to have **many more** *diseases* than animals have?
: many more+可算名詞・複数
- (2) He needed **much**[far, a lot] **more** *money*.
: much more+不可算名詞
- (3) My boyfriend is **much/far** *older* than me.
: 形容詞・副詞の程度差を漠然と表す場合、very much は用いられる。
- (4) Water is **eight hundred times** *as dense as* air.
: 倍数詞(half, double, twice; ~ times)+同等比較表現で、倍数表現を表す。
- (5) The planet Uranus is **about four times** *the size of* Earth.
: 倍数詞+as ... as を、倍数詞+the 抽象名詞 of で表現することも可能。

Question A

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) Culture hides **much more** than it reveals, and strangely enough, what it hides, it hides most effectively from its own participants.

(小樽商科・二次 1969年、立命館・経済、国際関係、文一英文 1996年)

(2) It sometimes happens that men are **much better** than they have credit for being, and as often men are **much worse** than they appear to be.

(東京外国語学校 1913年)

(3) But whoever undertakes the study is bound to learn **many more surprising things** from it than a simple study of nature can disclose.

(立命館・経済 1971年)

(4) I really liked Mrs. Dibble. She was this sophisticated, smart but energetic lady **a whole lot older** than my mother.

(一橋・二次一前期 2000年)

(5) Yet now the developing world is growing older, too, and at a faster pace. Mexico is aging **five times faster than** the U. S., due primarily to a dramatic fall in fertility.

(大阪市立・二次-前期 2005年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(6) His indifference to music and painting must be set against his love of poetry; even his concern for his health was **little more than** a consequence of the Kantian philosophy of duty.

(筑波・二次-前期 1997年)

(7) It also magnifies differences between calls; if the sound coming from the right is **a tiny bit louder** than the sound coming from the left, by the time the signal reaches the cricket's brain, the sound from the right will dominate.

(北海道・二次-前期 1997年)

Question C 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(8) **Even more important** are the local people's ways of responding to modern development, especially in terms of their economic and social benefits and costs.

(慶應義塾・総合政策 2006年)

(9) It is well to live on yesterday's income, not on today's and **still less** on that of tomorrow.

(神田外語・外国語 1993年)

(10) Parenthood is **[by] far the toughest job** in creation, which may explain why it is so often done badly.

(大阪外語・二次-A日程 1989年)

83. 数量詞+比較級においては、『程度差』が a)「大」→many, much, a lot b)「中」→some, any c)「小」→little, few, bit d)「ゼロ」→no と表現される。なお、very は単なる強調語句(intensifier)で、『程度差』を示すものではないから、比較級の強調副詞としては用いられない。some, even, still, yet, その他が比較級を強調する場合、some(=somewhat)は「いくぶん、多少とも」を、even, still, yet は「なおさら、一層」を示す。また、最上級を修飾する[by] far, very の場合、by far the -est が最も普通の表現で、very the -est は、名詞を伴う場合に限られる。

cf. He is **the very best** singer in the chorus.

(千葉商科・商経 1994年)

Practice

<<A>>

(1) A lot of invention nowadays is modification of existing products and processes to make them **a little bit more commercial, a little bit more effective.**

(神戸・二次－後期 1999年)

(2) His spiritual growth is **even more mysterious** to him than his physical development.

(鹿児島・二次－前期 1992年)

(3) It was the biggest volcanic explosion in ten thousand years – *150 times the size of* Mount St. Helens, equal to sixty thousand Hiroshima-sized atom bombs.

(東京外語・二次－前期 2005年)

Words & Phrases

(1) invention (n. 発明) nowadays (adv. 最近の) modification (n. 変更、修正 cf. change) existing (adj. 現存の) product (n. 産物) process (n. 過程、作用、変化、処理、前進、経過) a little bit (adv. ほんのわずか) commercial (adj. 商業の) effective (adj. 効果的な)

(2) spiritual (adj. 精神的な) mysterious (adj. 神秘的な) physical (adj. 肉体の、物理的な)

(3) volcanic (adj. 火山の) explosion (n. 爆発) the size of NP (大きさ、規模) equal to NP (～に匹敵する) atom bombs (原爆)

【考え方】

(1) ▶1. **modification of existing products and processes** : (Det.) 他動・名詞+of+具体名詞の構造であるから、of は『目的格関係』を表す。したがって、modification(Vt') of <existing products and processes>(O') を訳出する。なお、この文を疑似無生物主語構文と考えて、主語を副詞的に訳出することは、おそらくは不可能であろう。

▶2. **to make them a little bit more commercial, a little bit more effective** : この不定詞は、副詞用法・目的を表す。また、比較級の前に置かれた a little bit は、程度差が小さいことを示す副詞語句である。to make(Vt') them(O') a little bit(M') more commercial(C'1), a little bit(M') more effective(C'2) と考える。

cf. One general point I want to emphasize is that the scientific approach to things is **a far more personal and imaginative activity** than is sometimes realized.

(東京・二次 1979年)

(2) ▶3. **His spiritual growth is even more mysterious to him** : 所有格+形容詞+自動・名詞であるから、所有格は自動・名詞に対する意味上の主語として機能する。が、ここでは、直訳の方が、むしろわかりやすいかもしれない。また、モノゴト+状態表現+to ヒトの構造であることを踏まえ、<His spiritual growth>(O') is even(M') more mysterious to(Vt') him(S') と考える。

cf. When men say that nature is not arbitrary but follows consistent laws, they mean implicitly that her laws **are intelligible to the human mind**.

(上智・文-心理, 史, 英文, 他 1981年)

▶4. **than his physical development** : やはり、所有格+形容詞+自動・名詞の構造であるから、所有格は自動・名詞に対する意味上の主語として機能する。が、これも直訳でよかろう。

cf. On top of these ecological concerns, our technology has become **far more complicated** while requiring decisions to be made about it **much more rapidly**.

(東北・二次-前期 1998年)

(3) ▶5. **150 times the size of Mount St. Helens** : α times the size of NP で、「～の α 倍の大きさ/規模」を表す。同等比較(相当表現)といえども、比較表現に先行する語句はすべて、『程度差』を表す副詞として理解したい。なお、倍数表現の例を追加しよう。

cf. America is the bigger market, but Europe drives the industry's growth. It has more than **twice as many** people under the age of 25 than the United States.

(早稲田・商 2004年)

▶6. **SVX, equal to sixty thousand Hiroshima-sized atom bombs** : SVX, adj. ...の構造であるから、分詞構文と判断する。「そしてそれは～に匹敵する」と、適当な等位接続詞を補って訳出する。

cf. He who aims at high achievement must keep himself in prime condition, **always ready** for life's great contests.

(東京商船学校・選抜試験 1906年)

<>

(4) ①Diagnosing mental disorders has always been a tricky business, with doctors often relying on little more than observation, experience and the occasional hunch. ②Once the labels are applied, however, they stick, and medical texts tend to accept the result as truth – reporting, say, that two times as many women suffer from depression as men or that twice as many men suffer from alcoholism.

(上智・文—国文、英文、他、社会、法—国際関係法 2004年)

(5) ①A long training in the normal college not only makes the future teacher much more efficient, ②but it ensures his remaining longer at his post; ③for the more thoroughly the habits of his mind are moulded to his future occupations, ④and the more thoroughly we habituate him to the peculiar life that is marked out for him, the less capable will he be afterwards of changing his career.

(東京高等師範學校・本科(文理共通) 1897年)

Words & Phrases

(4) diagnose (vt. ～を診断する) mental disorders (精神錯乱) tricky (adj. 慎重を要する、扱いにくい) rely on NP (～を頼りにする) observation (n. 観察) experience (n. 経験) occasional (adj. 時々の、たまの) hunch (n. 予感、虫の知らせ) label (n. レッテル) apply (vt. ～を適用する、つける) stick (vi. 執着する、定着する) accept O as C (O を C として受け入れる) suffer from NP (～で苦しむ) depression (n. 抑鬱、鬱病) alcoholism (n. アルコール依存症)

(5) efficient (adj. 有能な、効率のよい) ensure (vt. ～を確実にする) post (n. 地位) thoroughly (adv. 徹底的に) habit (n. 習慣) mould A to B (A を B に合うようにする) occupation (n. 職業) habituate A to B (A を B に慣れさせる) peculiar (adj. 特徴的な、特有の) mark A out for B (A を B に選抜する、運命づける) capable (adj. 有能な) career (n. 仕事)

【考え方】

(4) ▶7. **with doctors often relying on little more than observation, experience and the occasional hunch** : with+NP+Ving[or p.p., adj., PP]は、独立分詞構文の前に with が添加されて生じた、with 絶対構文(absolute WITH construction)と呼ばれるもの。NP と分詞の間に、S'-V'[or C']の関係が生じることに注意が必要である。ここでは、with doctors(S') often(M') relying on(Vt') <little more than observation, experience and the occasional hunch>(O')の関係を訳出に反映する。

▶8. **SVX – reporting, say, that SVX** : 文末の分詞構文。論説文体であるから、前から後に訳し下ろすのがよい。

▶9. **two times as many women suffer from depression as men** : 本来的には、two times as ... as ~は文法的には破格なのだが、心理的には十分理解できる。

▶10. **or that twice as many men suffer from alcoholism** : or による共通関係から、that の前に共通要素 reporting を補って読む。

(5) ▶11. **A long training in the normal college not only makes the future teacher much more efficient** : 作為動詞 make+O+C の形成する無生物主語構文。したがって、A long training in the normal college(M') not only makes(Vi: become) the future teacher(S') much more efficient(C')を訳出することを考える。なお、この場合、主語は「条件」というよりも、『場合』であろう。

▶12. **but it ensures his remaining longer at his post** : but it ensures his remaining longer at his post : it(M') ensures(Vi') <his remaining longer at his post>(S')を、さらに、ensures(M') his(S') remaining(Vi') longer(M') at his post(C')とする工夫が欲しい。

▶13. **for the more thoroughly the habits of his mind are moulded to his future occupations** : for は等位接続詞で、『追叙理由』を表す。また、the more ... occupations は副詞節で、「...すればするほど」の意。

▶14. **and the more thoroughly we habituate him to the peculiar life that is marked out for him** : 等位接続詞 and に着目し、この部分も副詞節を形成するものと判断する。短絡的に「それだけいっそう～」等としてはいけない。

▶15. **the less capable will he be afterwards of changing his career** : ここからが主節。本来の語順に戻せば、he will be afterwards capable of changing his career となる。

<<C>>

(6) ①It is difficult for us in these later days to conceive the profound and stirring influence on thought and literature of such an alteration as the Renaissance brought about. ②To men at the end of the fifteen century there was scarcely a year but brought another bit of received and recognized thinking to the scrap-heap; ③scarcely a year but some new discovery found itself surpassed and in its turn discarded, or lessened in significance by something still more new.

(名古屋・二次 1958年)

Words & Phrases

(6) conceive (vt. ～を思いつく、心に抱く、想像する) profound (adj. 深遠な) stirring (adj. 感動的な、活発な) influence (n. 影響) literature (n. 文学) alteration (n. 変更、修正) bring about NP (～を引き起こす) scarcely (adv. ほとんど～ない) receive (vt. ～を受け入れる) recognize (vt. ～を認識する) the scrap-heap (ゴミ捨て場) surpass (vt. ～を優る、しのぐ、超越する) in one's turn (入れ替わりに、今度はそれが) discard (vt. ～を捨て去る、断念する) lessen (vt. ～を減じる) significance (n. 重要性)

【考え方】

(6) ▶16. **the profound and stirring influence on thought and literature of such an alteration as the Renaissance brought about** : (Det.) 形容詞+他動・名詞+on+具体名詞+of+具体名詞の構造で、on は他動・名詞 influence の意味(影響)に合わせて、目的格 of に取って代わって用いられたもので『影響力・作用力』を表す。ただし、この語順で用いられるのは、かなり有標(marked)な例。したがって、the profound(M') and stirring(M') influence(Vt') on <thought and literature>(O') of <such an alteration [as the Renaissance brought about]>(S')と見え、これを訳出する。ただし、無生物主語構文が組み込まれているので、訳出はさらに工夫が必要となる。

cf. *The most important effect of machine production on the imaginative picture of the world is an immense increase in the sense of human power.*

(神戸商科・二次 1957年)

▶17. **there was scarcely a year but brought another bit of received and recognized thinking to the scrap-heap** : この but は、否定語を伴う先行詞+but+(S)V(X)の構造で用いられていることから、いわゆる疑似関係代名詞と呼ばれるもの。「but VX でない先行詞はほとんどない」という二重否定を基盤に訳出を考える。なお、bring A to B という『帰着型動詞』の形成する無生物主語構文にも注意が必要。

cf. *A simple glimpse at even some of her (= Mona Lisa's) features – her silhouette, her eyes, perhaps her hands – brings instant recognition even to those who have no taste or passion for painting.*

(東京・二次-前期 2004年)

▶18. **scarcely a year but some new discovery found itself surpassed and in its turn discarded, or lessened in significance by something still more new** : この but も、前出の but と同じもので、疑似関係代名詞である。なお、some new discovery(M') found(×) itself(S') surpassed(Vi'1) and (in its turn)(M') discarded(Vi'2), or lessened(Vi'3) in significance(M') by something still more new(M')と考える。

84. the の識別問題を追加しよう。

Q. When I no longer need something, I just throw it away, and my *furoshiki* becomes all the lighter.

- ① Which is the lighter of the two?
- ② All the lights have to be out by eleven.
- ③ My fortune has changed for the better.
- ④ He's had a holiday and looks the better.
- ⑤ It cost the better part of my pay.

(名城・商 1980年)

＜考え方＞

比較級に the が伴う場合、単純な the -er of the two を別にすれば、i) 他者との比較をせず、ii) 前後に『理由・譲歩・場合・条件』等の副詞語句を伴い、iii) 形容詞・副詞が比較される場合に用いられる。この場合の the は「(～だから)それだけよけいに」の意味の指示副詞で、前後の『理由・譲歩・条件・場合』の副詞語句の内容を指す。

- cf. (1) I like him all **the better** *on account of his shyness*.
: the 比較級+副詞語句[理由]
- (2) *It's a common problem but this doesn't make it any **the less** disturbing.*
: the 比較級+副詞語句[譲歩]
- (3) *If you start now, you'll be back **the sooner**.*
: the 比較級+副詞語句[条件]
- (4) *The **more** I swim, **the more** energetic I feel.*
: the 比較級 ..., the 比較級 [X] SV[X].⁸⁵

Question A

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) This expectation was **all the greater** *because I came from a home in which my father never did any housework, and I had never been obliged to do any either.*

(神戸・二次-前期 1997年)

(2) *When conflicts center about the primary issues of life, it is **all the more difficult** to face them and resolve them.*

(慶應義塾・文 1977年)

(3) *Though he was poor, he was **none the less** happy.*

(北海学園・経済 1991年)

(4) *He is a little awkward in his manners but we cannot praise his wisdom **the less**.*

(海軍兵学校 1901年)

85. 一般に『比例比較級』(comparative of proportion)と呼ばれるもので、最初の the は関係副詞 that の弱形(=in what degree)、2つ目の the は、指示副詞(それだけいっそう; to that degree)である。

(5) Some young people today are **none the wiser** for their university education.

(明治学院・文 1994年)

(6) If the defeat on the Yalu was thoroughly well deserved by the Russians, the victory of the Japanese was **none the less highly meritorious**.

(海軍兵學校 1900年)

(7) Be careful not to interrupt another when he is speaking; *hear him out*, and you will understand him **the better**, and you will be able to give the better answer.

(第五高等學校 1908年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(8) **The greater** the uniformity that in fact exists, **the more eager** becomes the search for differences that may mitigate it.

(室蘭工業・二次 1970年, 新潟・二次 1973年, 中央・経済 1977年)

(9) **The more** control we learn to exercise over our material environment, **the more embarrassing** are the effects of mechanical breakdown.

(神戸・二次 1971年)

(10) Languages exist to serve practical purposes and they serve those purposes **the better the more people** in the same society speak the same language.

(一橋・二次-後期 2001年)

86. 次の例では、(the) hungrier が、主語より前置されていないことに注意。こういう場合は、the+比較級が前置されていないほうが主文となる。

(i) They became **(the) hungrier** the harder they worked. (Quirk et al., 1985: 1001n.)

(働けば働くほど、おなかが空いてきた)

(ii) Yet all these things seemed to me **the less important** the longer I worked with Einstein and *the better* I knew him.

(新潟・二次 1959年, 東京・一次-文科 1970年)

(だが、アインシュタインと一緒に研究をすればするほど、そして、彼のことをよく知れば知るほど、こうしたことすべてがどうでもいいことのように思えてきた)

Practice

<<A>>

(1) In one sense it is **all the easier** for an Englishman to change, *in that he has never had any preconceived plan or principles*, which it would be a wrench to abandon.

(関西学院・経済 1972年)

(2) All crowns are more or less crowns of thorns. *The better and more conscientious the wearier, the more heavily* do the responsibilities of power weigh on him.

(東京外国語学校 1913年)

(3) *The greater* a man is **the farther** he is from ordinary people, and **the more difficult** do they find it to see him and understand him properly.

(奈良女子・二次 1955年)

Words & Phrases

(1) in one sense (ある意味では) in that SVX (①SVXという点において ②SVXなので) preconceived (adj. 予め抱かれた) principle (n. 原理) wrench (n. ねじり、ひねり、悲壮感、苦痛) abandon (vt. ～を見捨てる、捨て去る、断念する)

(2) crown (n. 王冠、王位、栄冠) more or less (多かれ少なかれ) thorn (n. 刺、針) conscientious (adj. 良心的な) weary (adj. 疲れきっている、うんざりした) responsibility (n. 責任) weigh on NP (～に重く押し掛かる)

(3) ordinary (adj. 普通の) properly (adv. 適切に)

【考え方】

(1) ▶1. **it is all the easier for an Englishman to change, in that SVX** : in that SVX という『理由』の副詞語句と呼応して、the+比較級表現となっていることを確認する。なお、all は、「順接」関係であることを明示するための副詞で、なくても構わない。

cf. *When we are told not to come, we become **all the more eager** to go.*

(早稲田・理工 1994年)

▶2. **SVX, which it would be a wrench to abandon** : which の先行詞は any preconceived plan or principlesw で、これが abandon の O となる。なお、would は仮定法・婉曲推量だが、これは、周囲の文の時制と比較してみれば識別は容易。

(2) ▶3. **All crowns are more or less crowns of thorns** : more or less は、比較の定型表現。「程度の差こそあれ、多かれ少なかれ」

▶4. **The better and more conscientious the wearier** : The better and more conscientious {he is,} the wearier {he is}. の省略を補えるのが実力。比較表現においても、**前後関係から自明の要素は省略可能**である。

cf. **The more important** a thing is to us **the more difficult** we find it to cut down our consumption and **the less effect** do changes in its price have on the amount we buy.

(成蹊・経済 1971年)

▶5. **the more heavily do the responsibilities of power weigh on him** : この部分は、前出の the wearier に対する並列要素。やはり主文として機能することは言うまでもない。本来、文中で用いられるはずの heavily が文頭に移動したことにより、その後に語順転倒が生じているため、我々外国人の眼には、やや、奇異に映る。が、本来の語順に戻せば、the responsibilities of power weigh on him more heavily となる。

(3) ▶6. **The greater a man is** : ここまでが副詞節。「人は偉大であればあるほど」

▶7. **the farther he is from ordinary people** : ここからが主節。「一般の人とはますますかけ離れた存在となり」

▶8. **and the more difficult do they find it to see him and understand him properly** : more difficult が、副詞節の内容と呼応して、できるだけ近い位置、すなわち、節頭に移動していること、及び、構文をはっきりとさせるために、意味のない、時制だけを示す形式的な助動詞 do が生じているため、逆に我々外国人にとっては解りにくい。本来の語順に戻せば、they find it more difficult to see him and understand him properly となる。

<>

(4) ①The more intelligent he is, the more questions a person asks and the less satisfied he is with conventional answers. ②It is this capacity for wonder at his own existence that distinguishes man from the animals around him.

(明治学院・文一英文 1966年)

(5) ①From the late eighteenth century onwards, the progress of the Industrial Revolution signaled the end of Britain as a nation of countrymen, and perhaps helped to implant harmony with nature, or the fond dream of somehow returning to find one's roots in ruralism. ②The greater the spread of the terrace and the factory, the office and the suburb, the more the realities of the countryside receded, until a life governed by unceasing labour and the uncertainties of the weather was transformed into a dreamland of health and happiness.

(東京・二次(前期) 1993年)

Words & Phrases

(4) intelligent (adj. 知的な、聡明な cf. intellectual (学問的に)知的な) satisfied (adj. 満足している) conventional (adj. 因習的な) capacity (n. 能力、受容力) wonder (n. 不思議なこと) existence (n. 存在) distinguish A from B (AとBを区別する)

(5) onwards (adv. 前方へ、進んで) progress (n. 進歩、進展) the Industrial Revolution (産業革命) signal (vt. ～を合図する、知らせる) help to V (to Vするのを手伝う、to Vしやすくなる) implant (vt. ～を植え付ける、教え込む、はめ込む) harmony (n. 調和) somehow (adv. どうか) root (n. 根源) ruralism (n. 田舎主義) spread (n. 蔓延、広がり) terrace (n. テラス、台地) reality (n. 現実性) recede (vi. 後退する、減少する、弱まる、撤回する) unceasing labour (果てしなく続く労働) uncertainty (n. 不確実性) transform A into B (AをBに変える)

【考え方】

(4) ▶9. **The more intelligent he is** : 文頭に the+比較級表現が生じていることから、ここまでが副詞節。
「頭がよければよいほど」

▶10. **the more questions a person asks** : ここからが主節 1。「それだけますます～」

▶11. **and the less satisfied he is with conventional answers** : 等位接続詞 and に着目する。こちらが主節 2。ただし、the less(M' : 否定) satisfied(C') he(S') is(Vi') (with conventional answers)(M')を確認。

▶12. **It is this capacity for wonder at his own existence that distinguishes A from B** : It is this NP that VX の構造より、分裂文と判断することは容易である。なお、典型的な分裂文の例を追加しよう。

cf. **It is not** what we lack, **but** what we see others have, **that** makes us discontented.

(東京高等工業学校 1909年)

(5) ▶13. **the progress of the Industrial Revolution signaled the end of Britain as a nation of countrymen** : 全体は、無生物主語構文(SVtO型)で、(the progress(Vi') of the Industrial Revolution(S')) signaled(Vi') <the end of Britain [as a nation of countrymen]>(S')を訳出することを考える。

cf. The habits of diligence, economy, and thrift, formed in this period of his career, **attended** him through life.

(仙台医学専門学校 1905年)

▶14. **and perhaps helped to implant harmony with nature, or the fond dream of somehow returning to find one's roots in ruralism** : help to V の形成する無生物主語構文(SVtO型)で、helped to implant(Vi') <harmony with nature>(S₁), or <the fond dream [of somehow returning to find one's roots in ruralism]>(S₂)と考える。

▶15. **The greater the spread of the terrace and the factory, the office and the suburb** : やはり最後に意味の軽い be 動詞が省略されている。ここまでが副詞節。

▶16. **the more the realities of the countryside receded** : ここからが主節。the more(M') <the realities of the countryside>(S') receded(Vi')を訳出する。

▶17. **until a life governed by unceasing labour and the uncertainties of the weather was transformed into a dreamland of health and happiness** : into は『変化・結果』を表し、becoming に近い意味を持つ。until <a life [governed by unceasing labour and the uncertainties of the weather]>(S) was transformed into(Vi') <a dreamland of health and happiness>(C')と考えてよい。

<<C>>

(6) ①The primary aim of science is to find truth, new truth. ②⁽¹⁾This search is the more successful the more it is directed towards finding truth for its own sake, regardless of its possible practical use or application. ③All the same, new truth and knowledge always elevate human life and most usually find practical application. ④As a rule, ⁽²⁾the deeper and more fundamental a new truth, the greater and more important will be its practical possibilities. ⑤In fact everything we have, including life itself, we owe to science, to research. ⑥⁽³⁾If everything given to us by research were to be taken away, civilization would collapse and we would stand naked, searching for caves again.

(日本福祉・社会福祉 1977年)

Words & Phrases

(6) primary (adj. 第一の、主要な cf. chief 初期の cf. primitive 根本的な cf. basic) aim (n. 目的 cf. intention, object) truth (n. 真理) search (n. 探究) successful (adj. うまくいく) direct A towards B (AをBに向ける) truth for its own sake (真理のための真理) regardless of NP (prep. ~に関わらず) practical (adj. 実用的な) application (n. 応用) all the same (それでも) knowledge (n. 知識) elevate (vt. ~を向上させる) as a rule (概して cf. in general⇔generally) fundamental (adj. 基本的な、根本的な、土台をなす、もとの cf. underlying, basic, original) in fact (実際 cf. indeed) including (prep. ~を含んで) owe A to B (AはBのおかげだ) research (n. 研究) take NP away (~を取り去る、排除する) civilization (n. 文明) collapse (vi. 崩壊する) naked (adj. 裸足の、裸の) search for NP (~を求めて捜す) cave (n. 洞穴、洞窟)

【考え方】

(6) ▶18. **The primary aim of science is to find truth, new truth** : (Det.) 形容詞+自動・名詞+of+具体名詞の構造から、ofは『主格関係』を表す。が、ここでは、直訳でも十分である。

▶19. **This search is the more successful the more it is directed towards finding truth for its own sake** : 一つ目の the more の位置に着目。文頭に位置していないことから、This search is the more successfulまでが主文と判断する。「この探究はそれだけうまくいく」ここで、「それだけ」とは「どれだけ?」と考え、その答を the more it is directed towards finding truth for its own sake に求める頭の働きが重要。

▶20. **regardless of its possible practical use or application** : 所有格+文修飾形容詞+語修飾形容詞+他動・名詞の構造であるから、its(O') (possible)(M') practical(M') use(Vt'₁) or application(Vt'₂)を読み取る。つまり、it is possible that it is practically used or applied と節変換することが出来れば容易である。

▶21. **the deeper and more fundamental a new truth, the greater and more important will be its practical possibilities** : (the deeper and more fundamental(C') a new truth(S'))の後には、意味の軽い動詞 be が省略されている。ここまでが副詞節。続く主節は、[the greater and more important](C') will be(Vi') <its practical possibilities>(S')の移動構文に注意。

▶22. **everything we have, including life itself, we owe to science, to research** : <everything [we have]>を関係詞の省略と考え、everything を文の S と考える。ここまでは、自然な反応である。が、それなら、everything に呼応する V が現れるはずだが、予想に反して、we owe ...と続く。we は主語としてしか機能しないので、この everything は、①being の省略された分詞構文 ②O+S+Vt の移動構文のどちらかである。ここでは後者。

▶23. **If everything given to us by research were to be taken away** : If S were to V ...の構造では、were to は『不都合の生じる万一』を表す。were to の訳出は「仮に」としておけばよい。なお、if S should V ... と異なり、この場合、主文には仮定法しか用いられない。

▶24. **civilization would collapse and we would stand naked** : 周囲の文が現在時制で、この文には、過去を表す副詞がないにも関わらず過去形が用いられているのであるから、この would は仮定法の帰結節と判断するしかない。

▶25. **SVX, searching for caves again** : SVX, Ving ...の構造であるから、Ving は分詞構文(文末)と判断する。論説文体であることを考慮に入れ、等位接続詞の代用表現と考え、出来るだけ前から後に訳し下ろすのが好ましい。論理関係に重点が置かれているからである。

＜考え方＞

no 比較級 than を用いた表現において、no は「語修飾」を表し、「～以上/以下に…だなんてとんでもない」の意味で、比較級そのものを否定する。これに対し、not は「文修飾」を表し、「SVX 以上/以下であるという事実はない」の意味で、文の示す命題内容全体を否定する。

- cf. (1) She looks **no older** than her daughter.
 : She looks **just as old as** her daughter.
- (2) There were **no fewer** than 10,000 people at the meeting.
 : There were **not as few as** 10,000 people at the meeting.
- (3) *There were* **not fewer** than 10,000 people at the meeting.
 : **It is not that** there were few 10,000 people at the meeting.
- (4) TV commercials are **no better than** print ads.
 : no better than=almost as bad as 「～も同然である(悪い)」
- (5) There were **no more than** ten people present.⁸⁷
 : no more than=only 「たったの～」
- (6) There were **not more than** ten people present.
 : not more than=at [the] most 「せいぜい～」
- (7) He paid **no less than** ten dollars.
 : no less than=as much[or many] as 「たっぷり～も」
- (8) He paid **not less than** ten dollars.
 : not less than=at least 「少なくとも～」

Question A

次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) A little reflection might have reminded me that my own talk was **no better than** Englishmen's.

(早稲田・教育 1966年)

(2) With the arrival and display of the giraffe in Paris, its existence was **no longer** in doubt.

(東京都立・二次一工 1994年)

87. no more than や no less than の後に数値表現が続くと、数の「少なさ/多さ」が強意的に示される。

(3) **No fewer than** six pregnant women went undiscovered until they delivered babies.

(筑波・二次一前期 1997年)

(4) There are probably **no more than** five hundred (books) in all, but for the most part the books represent my own choice.

(奈良県立医科・二次 1981年, 弘前・二次 1981年, 関西・経済 1981年)

(5) It(= the drama) provides us with **no less than** a universal picture of the nature of man, good man and evil man.

(日本女子・文 1973年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(6) According to the American rules of etiquette, it is poor taste to arrive exactly on time. One should always allow the hostess at least five but **not more than** ten minutes of extra time to prepare.

(高知・二次一前期[人文] 1995年)

(7) In Shakespeare's London, though we have no accurate means of measurement, it is probable that **not less than** a third and probably as many as half of the people could at least read.

(関西学院・社会 1977年)

Question C 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(8) Paying more for watch gets you **nothing more than** a bigger bill.

(同志社・文、神 1983年)

(9) We want you to be content with **nothing less than** the whole truth about the subject that interests you.

(聖心女子・文 1978年)

Practice

<<A>>

(1) By the way, **no less than** sixty per cent of these same doctors said that they would like to be told if they themselves had an equally fatal form of cancer.

(東京・二次－後期[論文 I] 1997年)

(2) The talent of success is **nothing more than** doing what you do well, without a thought of fame.

(東京商船學校・選抜試験(4月施行) 1904年)

(3) Significantly, Orwell argues that his call for clear English is **nothing less than** an opportunity to bring about political and social change.

(愛知県立・二次－外国語 1978年)

Words & Phrases

(1) fatal (adj. 致命的な) cancer (n. 癌)

(2) talent (n. 才能) success (n. 成功) fame (n. 名声)

(3) significantly (adv. 重要なことだが) argue that SVX (SVX と論じる) opportunity to VX (to VX) bring about NP (～を引き起こす) political (adj. 政治的な) social (adj. 社会的な)

【考え方】

(1) ▶1. **no less than sixty per cent of these same doctors** : no less than=as much/many as を確認しておきたい。なお、no less than+数値表現では、「数の多さ」が強意的に示される。例を追加しよう。

cf. The fact remains that **no less than** 11 per cent of all Japanese overseas honeymooners went to Europe in 1980 compared with 12 per cent to the mainland US.

(立命館・理工 1984年)

これに対し、no more than+数値表現では、「数の少なさ」が強意的に示されることは言うまでもない。

cf. The future of the East, and of all the world, is based partly on the Japanese student. I see him, and her, smiling nervously as he reads this. But it is **no more than** the truth.

(早稲田・第一政経 1971年)

▶2. **they would like to be told if they themselves had an equally fatal form of cancer** : would は時制の一致による直説法(will の過去形)で、仮定法ではない、というのは、意味からの判断である。

(2) ▶3. **The talent of success is nothing more than doing what SV** : 強いて分析するなら、The talent of success の of は、(Det.) **具体名詞+of+形容・名詞の構造**であるから、『主格修飾関係』を表す。また、nothing more than は定型表現で、「せいぜい～にすぎない」ことを示す。

cf. It is not the men **of thought**, but the men **of action**, who are fitted to push their way to wealth and honour.

(東京高等工業学校 1901年)

▶4. **without a thought of fame** : (Det.) **他動・名詞+of+具体名詞の構造**から、of は『目的格関係』を示し、a thought(Vt') of fame(O')を訳出する。

cf. *The most important effect of machine production on the imaginative picture of the world is an immense increase in the sense of human power.*

(神戸商科・二次 1957年)

(3) ▶5. **Significantly, SVX** : significantly は文修飾副詞で、「重要なことだが、SVX/SVX なのは重要である」となる。

▶6. **his call for clear English** : 所有格+他動・名詞+for+具体名詞の構造で、for は『目的物』を表し、目的格関係の of の代用となる。したがって、his(S') call for(Vt') clear English(O')を訳出する。

▶7. **nothing less than an opportunity to bring about political and social change** : まず、nothing less than は定型表現で「～以外のものではない、まったく～に他ならない」の意味。また、an opportunity to bring about political and social change の不定詞は同格修飾関係を表し、「to VX する機会」とする。

<>

(4) ①Language is no better and no worse than the men who speak it. ②The terms of which it is composed have no independent vitality in themselves; ③it is the meaning which the men who use them put into them, that gives them all their power. ④It is never language in itself that becomes weak or corrupt, that it shares in their degradation.

(和歌山県立医科・二次 1969年)

(5) ①But class is still a powerful force in American life. ②Over the past three decades, it has come to play a greater, not lesser, role in important ways. ③At a time when education matters more than ever, success in school remains linked tightly to class. ④At a time when the country is increasingly integrated racially, the rich are isolating themselves more and more. ⑤At a time of extraordinary advances in medicine, class differences in health and lifespan are wide and appear to be widening.

(早稲田・商 2006年)

Words & Phrases

(4) term (n. 言葉) be composed of NP (～成り立っている) independent (adj. 独立した、関係のない) vitality (n. 生命力) in oneself (それ自体) put A into B (AをBに入れる) corrupt (adj. 墮落した、不正な) degradation (n. 降格、低下、悪化)

(5) class (n. 階級) still (adv. 未だに) force (n. 力、強さ、勢い) decade (n. 10年) come to V (結果としてto Vするようになる) play a role (役割を果たす) education (n. 教育) matter (vi. 重要である) link A to B (AをBにつなげる、連結する) tightly (adv. しっかりと、きつく) integrate (vt. ～をまとめる、統合する cf. combine 人種差別を撤廃する(⇔segregate)) racially (adv. 人種的に) the rich (お金持ち) isolate (vt. ～を切り離す、孤立させる) extraordinary (adj. 尋常でない) advance (n. 進歩) medicine (n. 医学) lifespan (n. 寿命) widen (vi. 広がる)

【考え方】

(4) ▶8. **Language is no better and no worse than the men who speak it** : no better than(= almost as bad as)と no worse than(almost as good as)という、2つの定型表現が交錯して用いられているため、Language is no better than the men who speak it と、Language is no worse than the men who speak it という、2つの文に戻して考え、重複する、くだいと思われる日本語部分は、省いてしまえばよい。

▶9. **The terms of which it is composed have no independent vitality in themselves** : <The terms [of which it is composed]>(S) have(Vt) <no independent vitality>(O) (in themselves)(M)で、in themselves は、文の主語を強調する。

▶10. **it is the meaning which the men who use them put into them, that VX** : it is は that と呼応して分裂文を形成し、<the meaning(A) [which the men(S') [who use them] put(Vt') into them(B)]>と考える。

▶11. **It is never language in itself that becomes weak or corrupt, that it shares in their degradation** : 上記▶10.同様、この It is も、後出の that と呼応し、分裂文を形成する。また、<language in itself>(S') [that becomes(Vi') [weak or corrupt](C')]で、「C'になる S'を」としておき、it(S) shares(Vt) (in their degradation)(M)につながるようにまとめる。

(5) ▶12. **it has come to play a greater, not lesser, role in important ways** : it は人称の it で、話題の中心を承ける。ここでは、it=class と判断する。

▶13. **At a time when education matters more than ever** : more than ever は、比較の定型表現で、最上級に近い意味を表す。「これまで以上に」

cf. Today, **more than ever before**, the survival of our free society depends upon the citizen who is both informed and concerned.

(大阪・二次一全学共通 1962年)

▶14. **the rich are isolating themselves more and more** : more and more は、漸層比較級と呼ばれる、比較の定型表現。「ますます」

cf. With the growing complexity of society it is becoming **more and more** important that men and women should speak with clarity and poise.

(早稲田・一文 1966年)

類似の表現に、more or less(多かれ少なかれ、程度の差こそあれ)がある。その例を追加しよう。

cf. From a study of the productions of the various presses of different countries can be determined, **more or less** accurately, the general requirements of the reading public.

(電気通信・二次 1958年)

<<C>>

(6) ①Strange things (it may seem a paradox, but it is nevertheless the truth) are easier to understand than those we know too well. ②The nearer, the more everyday and familiar an event is, the greater the difficulty we find in comprehending it or even realizing that it *is* an event – that it actually takes place. ③Habit causes us to react automatically to the things which surround us. ④Confronted by the unknown, we are forced to think; hence our passionate dislike of unfamiliar things; ⑤but in the face of the known, we are hardly better than machines.

(横浜国立・経済 1954年、新潟・二次 1971年、熊本、大分、他)

Words & Phrases

(6) paradox (n. 逆説) nevertheless (adv. それにもかかわらず) comprehend (vt. ～を理解する) realize (vt. ～を認識する) event (n. 出来事) actually (adv. 実際に) take place (起こる) habit (n. 習慣) react to NP (～に反応する) automatically (adv. 自動的に) surround (vt. ～を取り囲む) confront (vt. ～に直面する) hence (adv. それゆえ) passionate (adj. 情熱的な) hardly better than ... (ほぼ...と同然だ cf. no better than)

【考え方】

(6) ▶15. **Strange things (it may seem a paradox, but it is nevertheless the truth) are easier to understand than those we know too well** : O' be easy[difficult, hard, etc.] to V(O なし).の構造は、受身の代用構文を形成する。「O'は Vt'しやすい/しにくい」生成文法の用語では、tough 移動構文(tough-movement)と呼ばれる特殊構文。したがって、**Strange things(O') are(×) easier(M') to understand(Vt') (than those [we know too well])(M')**を訳出する。なお、挿入句は、なにもカンマだけの専売特許ではない。ダッシュやカッコの方が(視覚的にも)強意的である。和訳を作る際には、句点(,)で示してもよいし、ダッシュやカッコをそのまま用いてもよい。

▶16. **The nearer, the more everyday and familiar an event is** : The 比較級 ..., the 比較級 ~.の前半部分。「ある出来事が、近ければ近いほど、そして日常的で馴染み深いものであればあるほど」

▶17. **the greater the difficulty we find in comprehending it or even realizing that it is an event – that it actually takes place** : The 比較級 ..., the 比較級 ~.の後半部分。the greater(M') the difficulty(M') we(S') find(M' or ×) in comprehending(Vt') it(O') or even(M') realizing(Vt') <that it is an event – that it actually takes place>(O')を訳出する。なお、文中イタリック体で示された動詞(ここでは *is*)は、その時制・事実性を強調するための文体上の工夫である。

▶18. **Habit causes us to react automatically to the things which surround us** : 使役型動詞 cause+O+to V の形成する無生物主語構文。したがって、Habit(M') causes(× or M') us(S') to react (automatically)(M') to(Vt') <the things [which surround us]>(O')を訳出する。

▶19. **Confronted by the unknown, we are forced to think** : p.p. ..., SVX.であるから、Confronted by the unknown は、分詞構文。「見知らぬものに直面すると」

▶20. **our passionate dislike of unfamiliar things** : 所有格+形容詞+他動・名詞+of+具体名詞の構造であるから、of は『目的格関係』を示す。したがって our(S') passionate(M') dislike(Vt') of unfamiliar things(O')を訳出する。

▶21. **in the face of the known, we are hardly better than machines** : まず、in+抽象名詞≒when SVX に着目し、in the face(Vt') of the known(O')を訳出する。次に、hardly better than ~は、否定+比較の定型表現に近い。「ほぼ～も同然である」

＜考え方＞

no more X than Y^{7*}は、Y=(常識的に)自明の「否定」内容を示し、これと同様に、主文の命題内容自体も成立「しない」ことを示す表現である。これに対し、no less X than Y では、Y=自明の「肯定」内容が用いられ、これと程度差なしに、主文の命題内容が成立「する」ことを示す。また、not X any less than Y の形で表現されることは、ごく稀である。

cf. (1) He is **no more** mad **than** I am.

: no more X than Y は「Yである以上に X であるだなんてとんでもない→Y(がそうでないのと)同様 X でもない」という『否定』事実を示す。⁸⁸

(2) He is **not** able to speak Chinese **any more than** I am.

: no more ... than より not ... any more than の方が否定の意味は強く感じられる。

(3) Sunlight is **no less** necessary to good health **than** fresh air.

: no less X than Y は「Yである以上に X でないだなんてとんでもない→Y(がそうであるのと)同様 X でもある」という『肯定』事実を示す。

(4) The last comer, who turned out to be **no less** a person **than** the Prime Minister. : no less a person than X で、「X その人に他ならない」の意味を表すことがある。

Question A 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(1) Needless to say, women are **no more** guided exclusively by intuition **than** men are by reason.

(東北・二次 1987年)

(2) The scientist has a love of facts, even isolated facts, similar to the poet's love of words. But a collection of facts is **not** science **any more than** a dictionary is poetry.

(京都・二次 1967年、北海道・二次 1968年)

(3) There is always a limit to the amount of change of which an organism is capable, and this is **no less** true of the social **than** of the physical organism.

(東京・二次 1970年)

(4) I don't think Americans are **any less** hardworking **than** Japanese people.

(一橋・二次一前期 2004年)

Question B 次の英文をわかりやすく和訳せよ。

(5) Thinking is a natural thing, just as natural as breathing or nutrition. This means that one does **not** learn to think **any more than** he learns to breathe or to assimilate food.

(慶應義塾・商 1967年)

(6) The college student must learn how to concentrate. He may be able to read a weekly magazine and listen to the radio at the same time, but he **cannot** expect to learn his history and economics with **anything less than** complete concentration.

(慶應義塾・文 1970年)

88. 次の例は、no more ... than の形はしていても、上の文とは異なるものであることに注意が必要。常に意味をよく考える姿勢が重要である。

cf. The mature person is skeptical of any statement founded on **no more** solid basis **than** that it has always been believed.

(同志社・文 1970年)

(一定以上に頭のいい人間は、そのことが一般的に信じられている、ということ以上の根拠に基づいているのでなければ、いかなる言葉をも疑ってかかるものである)

Practice

<<A>>

(1) The Russians are **no less** perceptive and **no more** inclined to a death wish **than** we. Their experience of the death and devastation of war is far more comprehensive than ours.

(慶應義塾・経済 1979年)

(2) I was **no more** or **less** valuable **than** the man sitting next to me in the chemo center. It was not a question of worthiness.

(一橋・二次一前期 2006年)

(3) My mother loved me **no less** ardently **than** my father, but she was of a quicker temper, and less clever at winning affection.

(中央・法一法律 1957年)

Words & Phrases

(1) perceptive (adj. ～がよくわかっている[+of]) be inclined to NP (傾いている) a death wish (死にたいという願望) experience (n. 経験) devastation (n. 荒廃、廃墟 cf. ruin) comprehensive (adj. 広範囲な cf. complete 包括的な cf. inclusive)

(2) valuable (adj. 価値のある) next to NP (～のとなりに) chemo=chemotherapy (化学療法) worthiness (n. 価値)

(3) ardently (adj. 熱烈に、激しく cf. passionately) temper (n. 気質) be clever at Ving (巧みに～する) affection (n. 愛情)

【考え方】

(1) ▶1. **The Russians are no less perceptive and no more inclined to a death wish than we** : 相反する2つの表現、no less ~ than(肯定)と no more ~ than(否定)とが交錯・融合してしまっているため、一気に意味を取りにくい。こういう場合は、The Russians are no less perceptive **{than we}** and **{they are}** no more inclined to a death wish than we と、2箇所省略部分を補って考え、その後、日本語でくどいと思われる部分を省く、という手順で処理するのが無難な線か。

cf. A born poet can **no more** help being a poet **than** an eagle can help soaring.

(第一高等學校 1899年)

▶2. **Their experience of the death and devastation of war is far more comprehensive than ours** : 所有格+他動・名詞+of+具体名詞の構造であるから、ofは『目的格関係』を示す。したがって<Their(S') experience(Vt') of the death(O') and devastation(Vt') of war(O')>を訳出する。また、抽象名詞主語であるから、このisは『形式自動詞』で、訳出不要。far more(M') comprehensive(M') than ours(M')を表層の主語 experience と devastation につながるように訳語を調整する。

(2) ▶3. **I was no more or less valuable than the man** : 考え方は上記1.に同じ。I was no more {valuable than the man} or {I was} less valuable than the man と省略要素を補うことから始める。

cf. Knowledge can **no more** be planted in the human mind without labour **than** a field of wheat can be produced without the previous use of the plow.

(大阪高等工業學校 1908年)

(3) ▶4. **My mother loved me no less ardently than my father** : no less ~ than ...が、肯定表現であることが確認できれば十分。「...同様、~である/してくれる」

cf. Being accurate in such matters is **no less** important **than** being accurate in other aspects of your language.

(横浜市立・二次-前期 2004年)

▶5. **she was of a quicker temper, and less clever at winning affection** : of a quicker temper のofは、主格修飾関係を示すもの。ただし、筆者の眼には、これが she(M') was(Vi') of a quicker(C') temper(S')に見える。「母は気性が激しく」また、**具体名詞+be+形容詞(+前置詞)+抽象名詞/Ving**の構造を踏まえ、less(M') clever(M') at winning(Vt') affection(O')を訳出する。なお、類例を追加しよう。

cf. (1) Those who **are quick in talking** are not always **quick in listening**. Sometimes even their brilliancy produces a sort of stupidity.

(一橋・二次 1973年)

(2) Success may **be late in coming**, but when it does come it makes amends for much previous failure.

(東京高等商業學校 1908年)

<>

(4) ①Although the frontier has been a significant part of America's past and has helped shape the American character, ②it provides no more a complete explanation of American behavior than does feudalism the European nor a samurai past explain in the modern Japanese man and woman.

(高知・二次一前期 1991年)

(5) ①No political form has hitherto been discovered which is equally favorable to the prosperity and the development of all the classes into which society is divided. ②These classes continue to form, as it were, so many distinct communities in the same nation; ③and experience has shown that it is no less dangerous to place the fate of these classes exclusively in the hands of any one of them, than it is to make one people the decider of the destiny of another.

(上智・法 1968年)

Words & Phrases

(4) frontier (n. 国境 cf. border 辺境、限界 cf. limit 最先端) significant (adj. 重要な) help V (～しやすくする) character (n. 正確) provide A with B (AにBを供給する) complete (adj. 完全な) explanation (n. 説明) behavior (n. 行動) feudalism (n. 封建主義)

(5) political (adj. 政治的な) hitherto (adv. 今まで、従来 till now 今のところ cf. so far) favorable (adj. 好ましい) prosperity (n. 繁栄) divide A into B (AをBに分割する) as it were (いわば[文中挿入句として]) distinct (adj. まったく異なった cf. different はっきりした cf. definite) experience (n. 経験) show that SVX (SVXがわかる) fate (n. 運命) exclusively (adv. 専ら、まったく) decider (n. 決定者) destiny (n. 運命)

【考え方】

(4) ▶6. **Although the frontier ... and has helped shape the American character** : 無生物主語 +help+V+O の無生物主語構文を見抜き、「国境の存在は、アメリカ人の性格を形成するのに役に立ってきた」を基盤に訳出を練り上げる。

▶7. **it provides no more a complete explanation of American behavior than ...** : まず、no more A than B「Bと同様 Aでもない」を確認する。次に、it(M') provides(Vi') <a complete explanation [of American behavior]>(S')を訳出し、全体を『否定』でまとめる。

▶8. **does feudalism the European nor a samurai past explain in the modern Japanese man and woman** : than 以下は、does feudalism(O) the European(S₁) nor a samurai past(S₂) explain(Vt) (in the modern Japanese man and woman)(M)という、O+S+Vt の移動構文となっていることに注意。

(5) ▶9. **No political form has hitherto been discovered which is equally favorable to the prosperity and the development of all the classes** : which ... classes まで全体は、文主語 No political form を先行詞とする、外置限定構文。which 以下の情報量が重くなり、文末重心の原理が働いて移動したのだから、「目下のところ、いかなる政治形態も見つかってはいない。その政治形態とは...なものである」と、非制限的に訳し下ろしてよい。

▶10. **experience has shown that SVX** : 無生物主語であるから、experience(M') has shown(Vi') <that SVX>(S')、すなわち、「経験によって SVX がわかった」とする。

▶11. **it is no less dangerous to place the fate of these classes exclusively in the hands of any one of them** : 全体は、no less ... than ~ 「~と同様...でもある」という『肯定』の意味関係に留意する。また、it は形式代名詞で to place ... them を承ける。したがって、「(than 以下同様)to VX することは危険である」とし、さらに、place(Vt') <the fate [of these classes]>(O') (exclusively)(M') (in the hands of any one of them)(M')を訳出する。

▶12. **than it is to make one people the decider of the destiny of another** : くどいようだが、no less と呼応して用いられる that 以下であるから、『肯定』の意味で捉える。まず、it is {dangerous} to VX の共通要素の省略を補い、その上で、make(Vi') one people(S') <the decider of the destiny of another>(O')、さらに、(Det.) 他動・名詞+of+具体名詞の構造から、the decider(Vt') of <the destiny [of another]>(O')を訳出する。

cf. He *was* an early advocate of women's right.

(立教・社会 1986年)

<<C>>

(6) ① Change is the only certainty. ② It is the law of growth, no less in the development of nations and civilizations than in nature. ③ Stripped to their essentials, man's major problems have always hung on the necessity of making adjustment to the irresistible force of change. ④ Willingly or no, he has constantly been wrenched from the comfortably familiar and pushed into the new and strange. ⑤ The success or failure of an individual or of a civilization is in large part a measure of adaptability to the flow of circumstance.

(神戸・二次 1974年)

Words & Phrases

(6) certainty (n. 確実性) strip (vt. ~をはぎ取る) essential (n. 本質) major (adj. 主要な) make adjustment to NP (~を調整する) irresistible (adj. 抵抗し難い) force (n. 暴威、猛威、力) willingly (adv. よろこんで、快く) constantly (adj. 絶えず) wrench (vt. ~をねじる、ひねる、ねじり取る) comfortably (adv. 快適に) familiar (adj. なじみ深い) push A into B (AをBに押し込む) failure (n. 失敗、挫折) individual (n. 個人、個体) measure (n. 尺度) adaptability (n. 適応性、順応性) circumstance (n. 環境、事情)

【考え方】

(6) ▶13. **It is the law of growth, no less in the development of nations and civilizations than in nature** : it は人称の it で、話題の中心、つまり、change を承ける。また、no less ... than ~ 「～同様...でもある」という『肯定』の意味であることを確認。

▶14. **Stripped to their essentials, SVX** : p.p. ..., SVXの構造であるから、p.p. ...は分詞構文。「...されて、SVX」を基盤に訳出を考える。」ただし、次のような『分詞句前置』の移動構文に注意。

cf. *And allied to the power of speech is the power of listening to other speakers.*

(早稲田・一文 1966年)

上記の例では、p.p. ...+be+S+X.となっている点が最大の違いである。この場合は、受身文の変形と考え、処理すればよい。

▶15. **the necessity of making adjustment to the irresistible force of change** : 形態的に見れば、(Det.) **抽象名詞 of 抽象名詞[or Ving]**であるから、厳密には同格修飾であろうが、訳出を考慮に入れると、『主格関係』の of 的に処理する方がよい。the necessity(C') of making adjustment to the irresistible force of change(S')とし、さらに、形式他動詞 make に留意し、(S')= making(×) adjustment(Vi') to <the irresistible force [of change]>(O')を訳出する。なお、形式他動詞の例をひとつ追加しよう。

cf. *We allow our assumptions of what the speaker is going to say to block out what he is really saying.*

(立命館・A方式-4教科型(2/8) 2004年)

▶16. **The success or failure of an individual or of a civilization** : (Det.) **自動・名詞+of+具体名詞の構造**から、of は『主格関係』を表し、The success(Vi'1) or failure(Vi'2) of an individual(S'1) or of a civilization(S'2)を訳出することを考える。

cf. *In the New World, the arrival of Columbus and the Europeans who followed him reduced the roughly 300 native languages to only about 170 by the twentieth century.*

(東京工業・二次-後期 2007年)

▶17. **a measure of adaptability to the flow of circumstance** : (Det.) **抽象名詞+of+抽象名詞の構造**から、of は『同格修飾関係』を表し、a measure(M') of adaptability(Vi') to the flow of circumstance(M')を訳出する。

cf. *A very high barrier stands between us and the habit of making rough estimates – the fear of getting the “wrong” answer.*

(慶應義塾・環境情報 2004年)

